

令和3年度

総合計画のための市民意識調査結果報告書

川口市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の概要	2
(1) 調査の目的	2
(2) 調査の設計	2
(3) 回収結果.....	2
(4) 報告書の表記について.....	2
(5) 標本誤差について.....	3
2. 調査回答者の属性.....	4
(1) 性別.....	4
(2) 年齢.....	4
(3) 出生地	5
(4) 職業.....	5
(5) 通勤・通学先.....	6
(6) 家族構成.....	6
(7) 住居形態.....	7
(8) 居住年数.....	7
(9) 居住地域.....	8
第2章 調査結果	9
1. 川口市の居住意向.....	10
(1) 居住意向.....	10
(2) 居住意向（性別、性・年齢別）	11
(3) 居住意向（出生地別）	12
(4) 居住意向（職業別）	12
(5) 居住意向（通勤・通学先別）	13
(6) 居住意向（家族構成別）	13
(7) 居住意向（住居形態別）	14
(8) 居住意向（居住年数別）	14
(9) 居住意向（居住地域別）	15
2. 川口市の良いところ	16
(1) 川口市の良いところ・好きなところ	16
(2) 川口市の良いところ・好きなところ（性・年齢別）	18
(3) 川口市の良いところ・好きなところ（出生地別）	20
(4) 川口市の良いところ・好きなところ（通勤・通学先別）	21
(5) 川口市の良いところ・好きなところ（住居形態別）	22
(6) 川口市の良いところ・好きなところ（居住地域別）	23
(7) 川口市の良いところ・好きなところ（居住意向別）	24

3. 川口市の良くないところ	25
(1) 川口市の良くないところ・嫌いなところ	25
(2) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（性・年齢別）	27
(3) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（出生地別）	29
(4) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（通勤・通学先別）	30
(5) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（住居形態別）	31
(6) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（居住地域別）	32
(7) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（居住意向別）	33
4. 川口市の好きな場所、もの、行事	34
(1) 川口市の好きな場所、もの、行事	34
(2) 川口市の好きな場所、もの、行事（性・年齢別）	35
(3) 川口市の好きな場所、もの、行事（通勤・通学先別）	37
(4) 川口市の好きな場所、もの、行事（居住地域別）	38
(5) 川口市の好きな場所、もの、行事（居住意向別）	39
5. 川口市自治基本条例の周知状況	40
(1) 川口市自治基本条例の周知状況	40
(2) 川口市自治基本条例の周知状況（性別、性・年齢別）	41
6. 川口市の状況や取り組みについての実感	42
(1) 川口市の状況や取り組みについての実感	42
(2) 状況や取り組みについての実感（性・年齢別）	48
(3) 状況や取り組みについての実感（居住地域別）	52
7. 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの	55
(1) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの	55
(2) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性別）	57
(3) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性・年齢別）	58
(4) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（居住地域別）	61
8. 川口市の都市整備に対する満足度	63
(1) 川口市の都市整備に対する満足度	63
(2) 都市整備に対する満足度（性・年齢別）	64
(3) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（居住地域別）	65
9. 合併によって良くなつたこと	66
(1) 合併によって良くなつたと感じること	66
(2) 合併によって良くなつたと感じること（性・年齢別）	67
(3) 合併によって良くなつたと感じること（居住地域別）	69
10. 合併によって悪くなつたこと	70
(1) 合併によって悪くなつたと感じること	70
(2) 合併によって悪くなつたと感じること（性・年齢別）	71
(3) 合併によって悪くなつたと感じること（居住地域別）	73
11. 市町村合併の評価	74
(1) 市町村合併の全体的な評価	74
(2) 市町村合併の全体的な評価（性・年齢別）	75
(3) 市町村合併の全体的な評価（居住地域別）	76

12. 災害時の備え	77
(1) 災害時の備え	77
(2) 災害時の備え（性・年齢別）	78
(3) 災害時の備え（居住地域別）	79
13. 食料や飲料水の備蓄数	80
(1) 食料や飲料水の備蓄数	80
(2) 食料や飲料水の備蓄数（性・年齢別）	81
(3) 食料や飲料水の備蓄数（居住地域別）	82
14. 非常用トイレの備蓄数	83
(1) 非常用トイレの備蓄数	83
(2) 非常用トイレの備蓄数（性・年齢別）	84
(3) 非常用トイレの備蓄数（居住地域別）	85
15. 防災訓練への参加	86
(1) 防災訓練への参加	86
(2) 防災訓練への参加（性・年齢別）	87
(3) 防災訓練への参加（居住地域別）	88
16. 分散避難・在宅避難の認知度	89
(1) 分散避難・在宅避難の認知度	89
(2) 分散避難・在宅避難の認知度（性・年齢別）	90
(3) 分散避難・在宅避難の認知度（居住地域別）	91
17. 市から発信する防災・災害情報の入手手段	92
(1) 市から発信する防災・災害情報の入手手段	92
(2) 市から発信する防災・災害情報の入手手段（性・年齢別）	93
(3) 市から発信する防災・災害情報の入手手段（居住地域別）	94
18. 喫煙の有無	95
(1) 喫煙の有無	95
(2) 喫煙の有無（性・年齢別）	96
(3) 喫煙の有無（居住地域別）	97
19. 受動喫煙の認知度	98
(1) 受動喫煙の認知度	98
(2) 受動喫煙の認知度（性・年齢別）	99
(3) 受動喫煙の認知度（居住地域別）	100
20. 国の受動喫煙対策の認知度	101
(1) 国の受動喫煙対策の認知度	101
(2) 国の受動喫煙対策の認知度（性・年齢別）	102
(3) 国の受動喫煙対策の認知度（居住地域別）	103
21. 1年間に受動喫煙にあった施設	104
(1) 1年間に受動喫煙にあった施設	104
(2) 1年間に受動喫煙にあった施設（「行かなかった」「無回答」除く）	105
(3) 1年間に受動喫煙にあった施設（性・年齢別）	106
(4) 1年間に受動喫煙にあった施設（居住地域別）	107
22. 児童虐待への関心	108
(1) 児童虐待への関心	108
(2) 児童虐待への関心（性・年齢別）	109
(3) 児童虐待への関心（居住地域別）	110

23. 児童虐待にあたる行動.....	111
(1) 児童虐待にあたる行動.....	111
(2) 児童虐待の場合とそうでない場合があると思う行動（性・年齢別）	112
(3) 児童虐待の場合とそうでない場合があると思う行動（居住地域別）	114
24. 児童虐待について知っていること	115
(1) 児童虐待について知っていること	115
(2) 児童虐待について知っていること（性・年齢別）	116
(3) 児童虐待について知っていること（居住地域別）	118
25. 広報かわぐちの閲読状況.....	119
(1) 広報かわぐちの閲読状況.....	119
(2) 広報かわぐちの閲読状況（性・年齢別）	120
(3) 広報かわぐちの閲読状況（居住地域別）	121
26. 広報かわぐちの満足度.....	122
(1) 広報かわぐちの満足度.....	122
(2) 広報かわぐちの満足度（性・年齢別）	123
(3) 広報かわぐちの満足度（居住地域別）	124
27. 広報かわぐちの情報量.....	125
(1) 広報かわぐちの情報量.....	125
(2) 広報かわぐちの情報量（性・年齢別）	126
(3) 広報かわぐちの情報量（居住地域別）	127
28. 希望する広報かわぐちの入手方法.....	128
(1) 希望する広報かわぐちの入手方法.....	128
(2) 希望する広報かわぐちの入手方法（性・年齢別）	129
(3) 希望する広報かわぐちの入手方法（居住地域別）	130
29. 広報かわぐちの発行頻度	131
(1) 広報かわぐちの発行頻度	131
(2) 広報かわぐちの発行頻度（性・年齢別）	132
(3) 広報かわぐちの発行頻度（居住地域別）	133
(4) ちょうどいい発行頻度（発行頻度が「多い」回答者）	134
(5) ちょうどいい発行頻度（発行頻度が「少ない」回答者）	134
30. 広報かわぐちの好きなページ	135
(1) 広報かわぐちの好きなページ	135
(2) 広報かわぐちの好きなページ（性・年齢別）	136
(3) 広報かわぐちの好きなページ（居住地域別）	137
31. 広報かわぐちに載せて欲しい記事	138
(1) 広報かわぐちに載せて欲しい記事	138
(2) 広報かわぐちに載せて欲しい記事（性・年齢別）	139
(3) 広報かわぐちに載せて欲しい記事（居住地域別）	140
32. スポーツ等の頻度.....	141
(1) スポーツ等の頻度.....	141
(2) スポーツ等の頻度（性・年齢別）	142
(3) スポーツ等の頻度（居住地域別）	143

33. スポーツ等の目的.....	144
(1) スポーツ等の目的.....	144
(2) スポーツ等の目的（性・年齢別）	145
(3) スポーツ等の目的（居住地域別）	146
34. スポーツ等をした場所・施設	147
(1) スポーツ等をした場所・施設	147
(2) スポーツ等をした場所・施設（性・年齢別）	148
(3) スポーツ等をした場所・施設（居住地域別）	149
35. スポーツ等をしない理由	150
(1) スポーツ等をしない理由	150
(2) スポーツ等をしない理由（性・年齢別）	151
(3) スポーツ等をしない理由（居住地域別）	152
36. 過去1年間に行ったスポーツ等	153
(1) 過去1年間に行ったスポーツ等	153
(2) 過去1年間に行ったスポーツ等（性・年齢別）	154
(3) 過去1年間に行ったスポーツ等（居住地域別）	157
第3章 調査結果の分析	159
1. 川口市の特徴.....	160
2. 川口市の課題.....	163
参考資料（調査票・単純集計結果）	165

第1章 調査の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本意識調査は、「川口市総合計画」に基づいて様々な施策を実施している、市のまちづくりに対する市民の評価や意見を伺い、住んで良かった、これからも住み続けたいと実感できるより良いまちとするため実施しました。

(2) 調査の設計

- ① 調査地域 川口市全域
- ② 調査対象 川口市に住民登録している満18歳以上の市民
- ③ 対象人数 5,000人
- ④ 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- ⑤ 調査時期 令和3年6月1日（火）～6月21日（月）
- ⑥ 調査方法 郵送配布・郵送回収

(3) 回収結果

配布数	回収数	有効回収数	有効回答率
5,000件	1,723件	1,722件	34.4%

(4) 報告書の表記について

- ① 調査結果の回答比率はすべて百分率（%）で表しており、その質問の回答者数を基数として、百分率の小数点第2位を四捨五入して算出しています。このため、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- ② 複数回答形式の場合、回答比率の合計は100%を超えます。
- ③ グラフ中の「n」(net)とは、その質問への回答者数を表します。
- ④ 属性別のクロス集計では、属性項目の無回答を除いて集計しているため、属性の各項目の「n」の合計が「全体」と一致しない場合があります。例えば年齢別の場合、年齢を回答していない人がいるため、年齢別の合計が「全体」の回答数になりません。そのほかの設問間クロス集計においても同様となります。
- ⑤ 回答数が小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめています。

⑥ 表中の記号の意味は、以下の通りです。

全体値より

\star : 15.1 ポイント以上高い \circ : 10.1~15 ポイント高い \triangle : 5.1~10 ポイント高い	\star : 15.1 ポイント以上低い \bullet : 10.1~15 ポイント低い \blacktriangle : 5.1~10 ポイント低い
--	---

(5) 標本誤差について

本調査は、調査対象となる母集団（川口市全域に住む18歳以上の市民）から一部を抽出した標本（サンプル）の比率等から母集団の比率等を推測する、いわゆる「標本調査」を行っています。したがって、母集団に対する標本誤差が生じることがあります。

標本誤差は下式で統計学的に得られ、①比率算出の基数（n）②回答の比率（p）によって誤差幅が異なります。（信頼度は95%とします）

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \doteq \pm 1.96 \sqrt{\frac{p(1-p)}{n}}$$

（N：母集団（川口市の18歳以上の人口）、n：比率算出の基数（回答者数）、p：回答の比率）

今回の調査では、n=1,722であるから、例えば、ある回答（調査結果）が20%（p=0.2）の場合、標本誤差は

$$\pm 1.96 \sqrt{\frac{0.2 \times 0.8}{1,722}} \doteq \pm 0.0189$$

となり、真の値は95%の信頼度で20%±1.89%の範囲内（18.11%～21.89%）にあることとなります。同様に計算したものが下表です。

【標本誤差早見表（主なもの）】

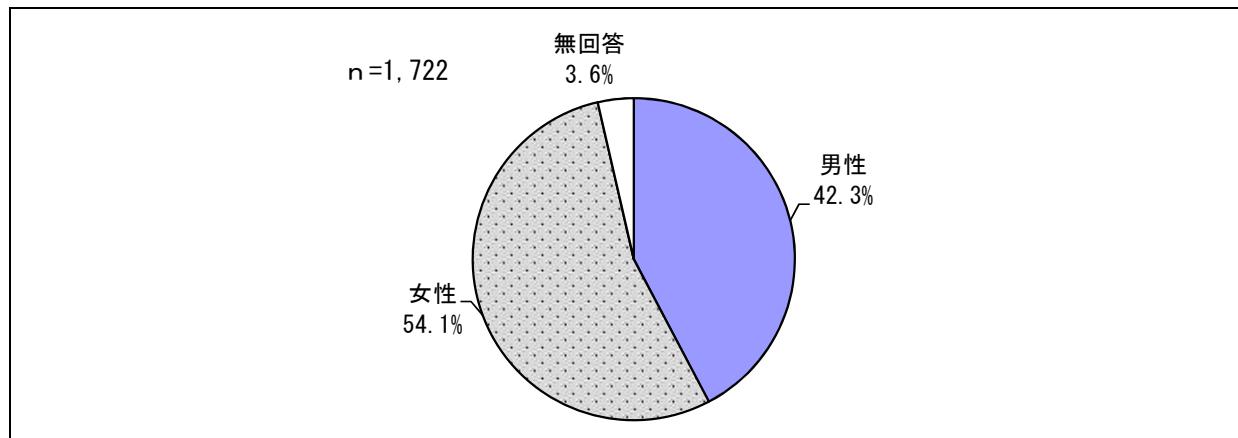
$n \backslash p$	10%または90%	20%または80%	30%または70%	40%または60%	50%
1,722	±1.42	±1.89	±2.16	±2.31	±2.36
1,000	±1.86	±2.48	±2.84	±3.04	±3.10
500	±2.63	±3.51	±4.02	±4.29	±4.38
300	±3.39	±4.53	±5.19	±5.54	±5.66
100	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

2. 調査回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が42.3%、「女性」が54.1%、「女性」が「男性」を11.8ポイント上回っています。

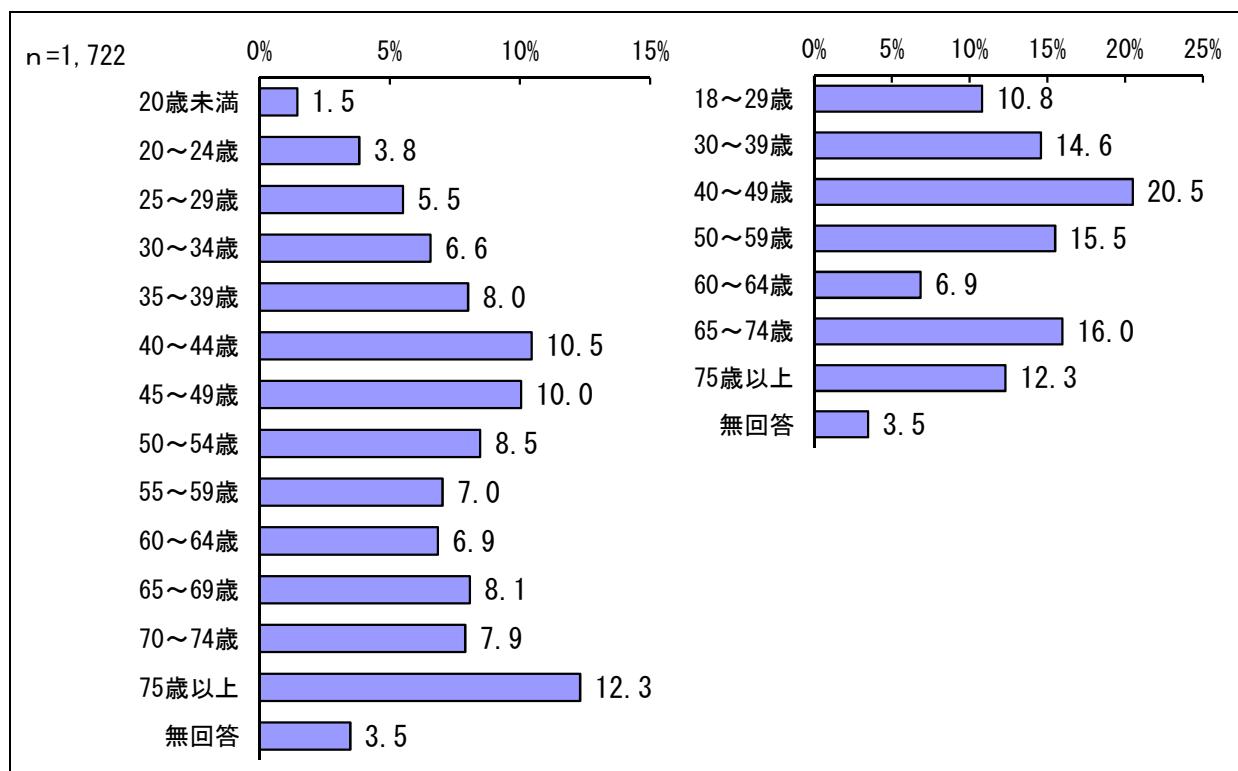
【F 1 性別】



(2) 年齢

回答者の年齢は、「75歳以上」が12.3%、「40~44歳」が10.5%、「45~49歳」が10.0%と1割以上で高くなっています。

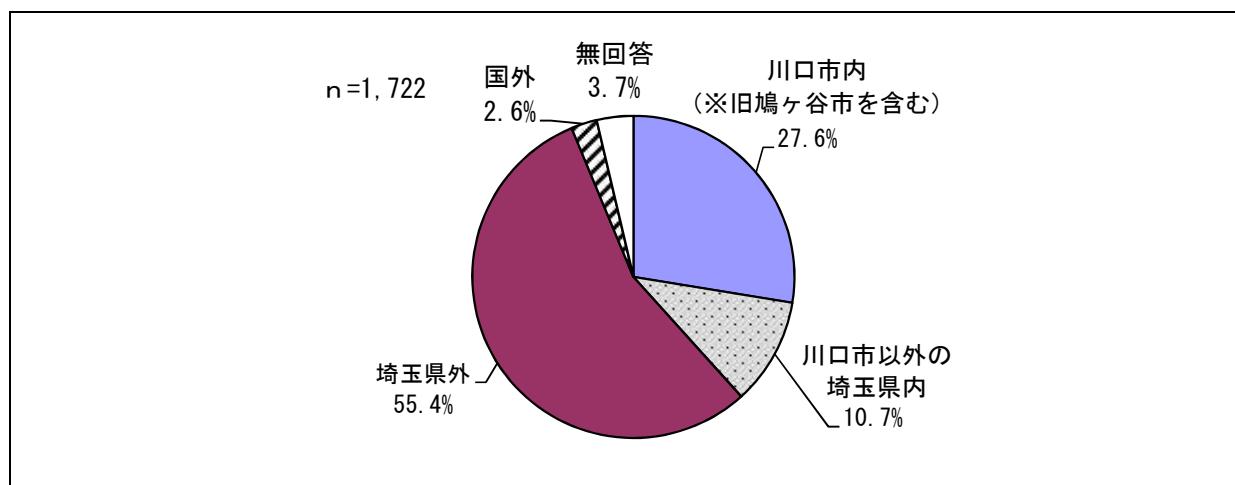
【F 2 年齢】



(3) 出生地

回答者の出生地は、「埼玉県外」が55.4%と5割半ばを占めており、「川口市内」が27.6%と続いています。

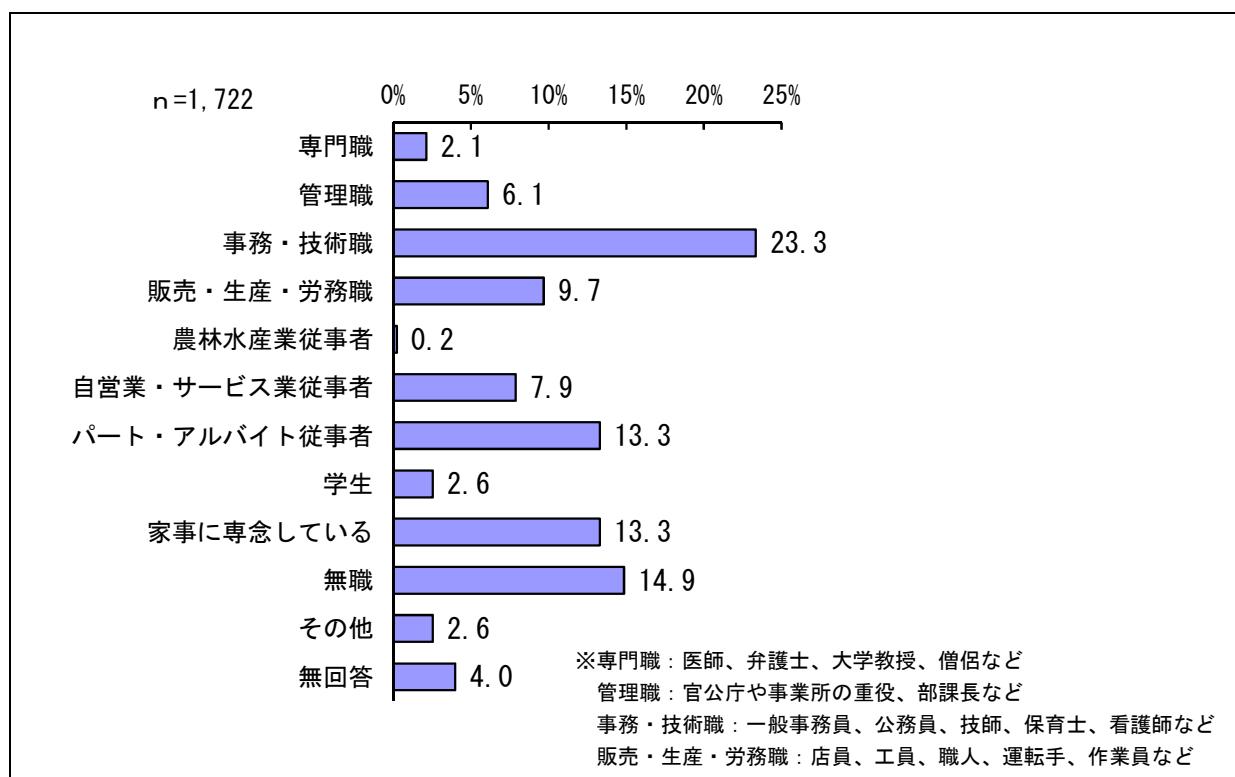
【F3 出生地】



(4) 職業

回答者の職業は、「事務・技術職」が23.3%と2割を超えて最も高く、次いで「無職」、「パート・アルバイト従事者」、「家事に専念している」が1割を超えて続いています。

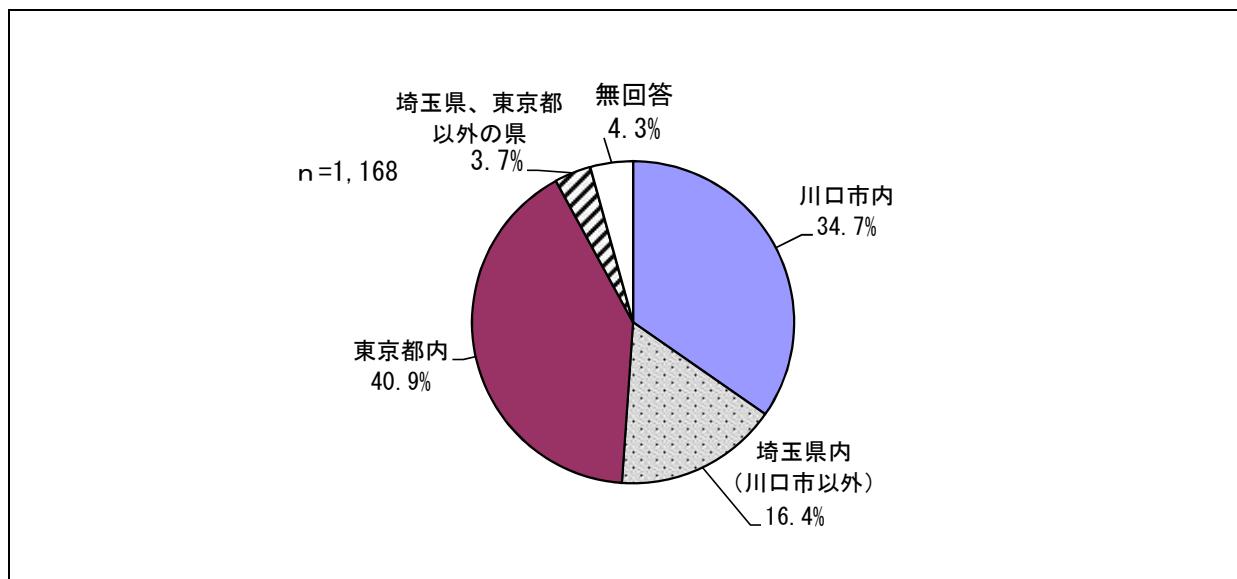
【F4 職業】



(5) 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先（家事に専念している、無職を除く）は、「東京都内」が 40.9%と 4 割強を占めており、「川口市内」が 34.7%と続いています。

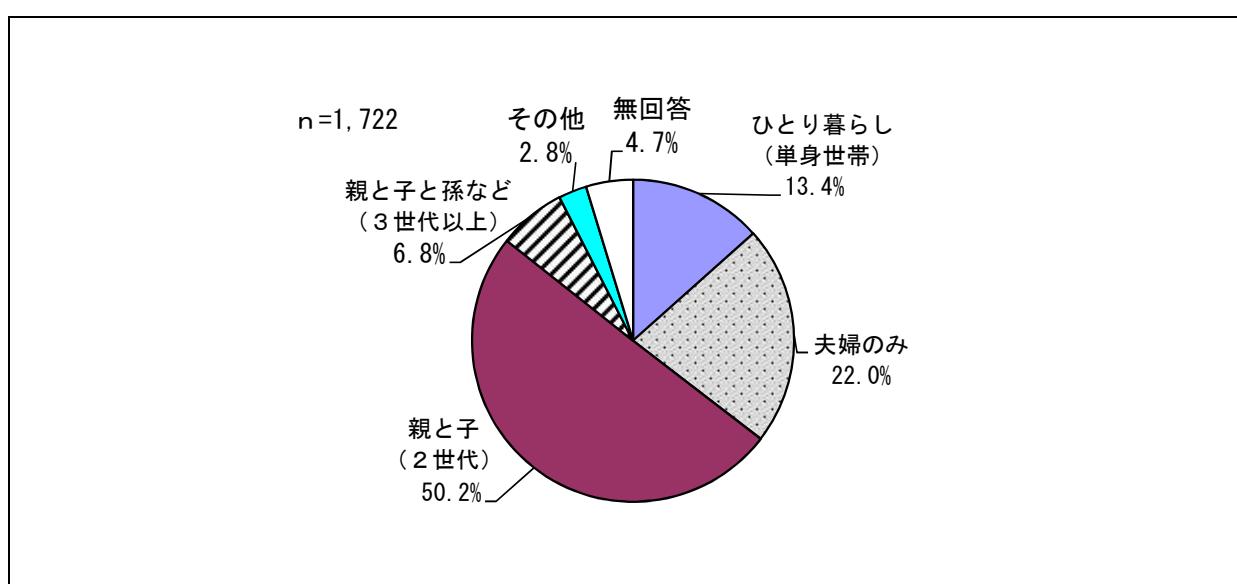
【F 5 通勤・通学先】



(6) 家族構成

回答者の家族構成は、「親と子（2 世代）」が 50.2%と 5 割を占めており、「夫婦のみ」が 22.0%、「ひとり暮らし（単身世帯）」が 13.4%と続いています。

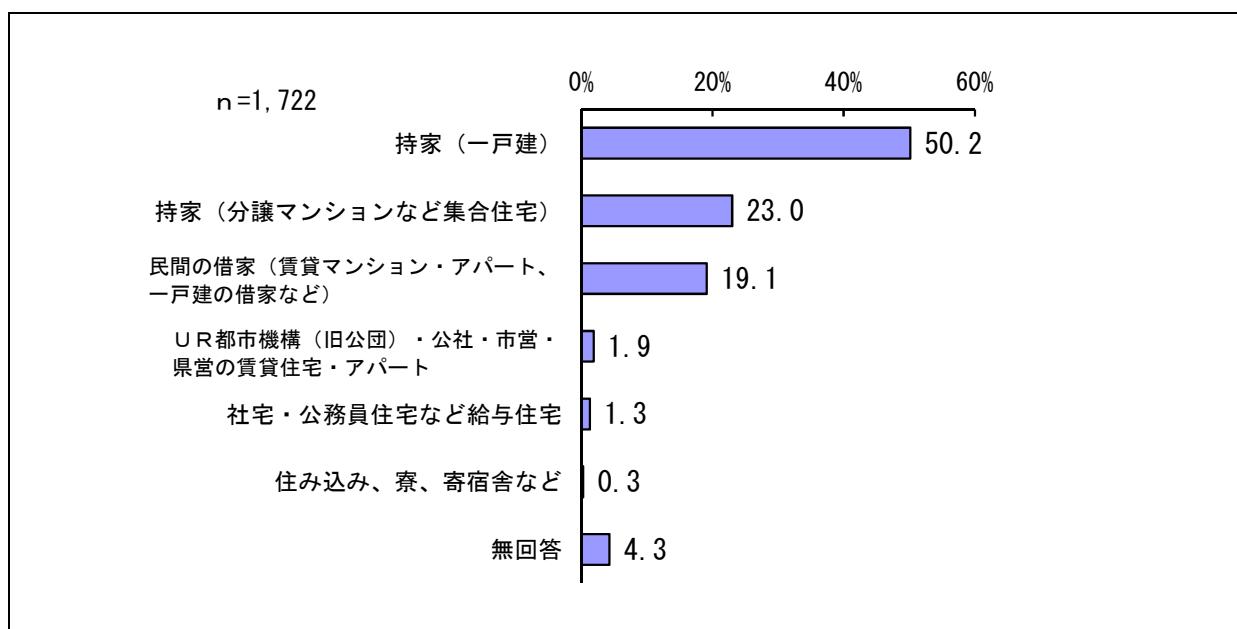
【F 6 家族構成】



(7) 住居形態

回答者の住居形態は、「持家（一戸建）」が 50.2%と 5割を占めて最も高く、「持家（分譲マンションなど集合住宅）」が 23.0%、「民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）」が 19.1%と続いています。

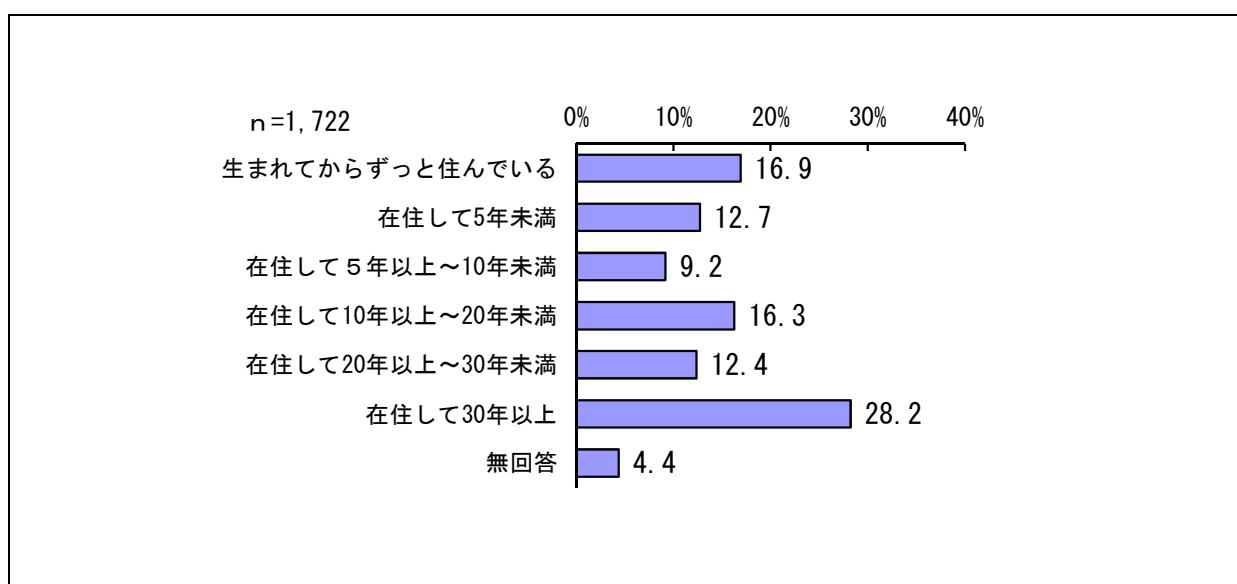
【F 7 住居形態】



(8) 居住年数

回答者の居住年数は、「在住して 30 年以上」が 28.2%ともっと高く、「生まれてからずっと住んでいる」が 16.9%、「在住して 10 年以上～20 年未満」が 16.3%と続いています。

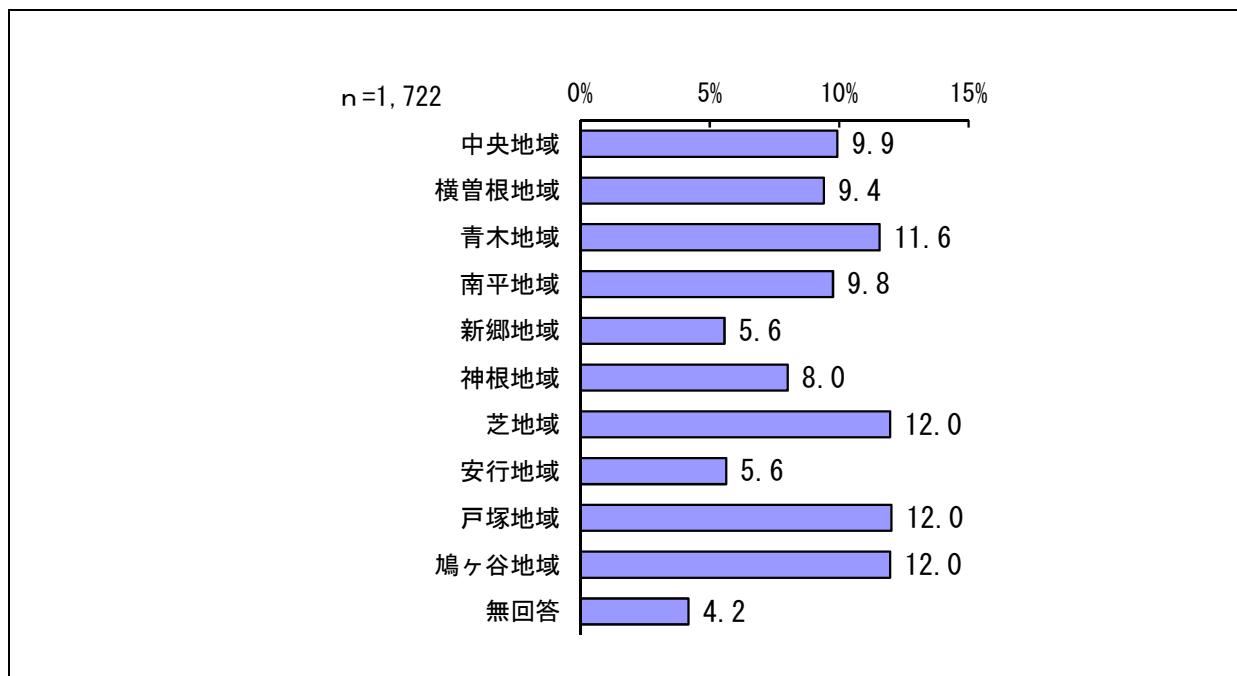
【F 8 居住年数】



(9) 居住地域

回答者の居住地域は、「芝地域」、「戸塚地域」、「鳩ヶ谷地域」が 12.0%と最も高く、次いで「青木地域」が 11.6%と 1割を超えて続いています。

【F 9 居住地域】



第2章 調査結果

1. 川口市の居住意向

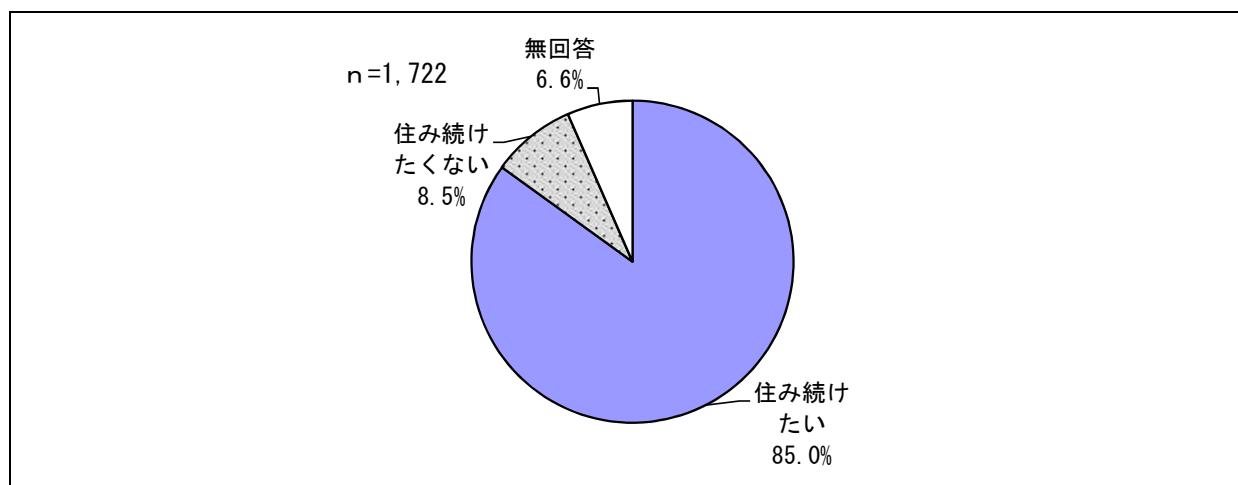
(1) 居住意向

問1 今後とも、川口市に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

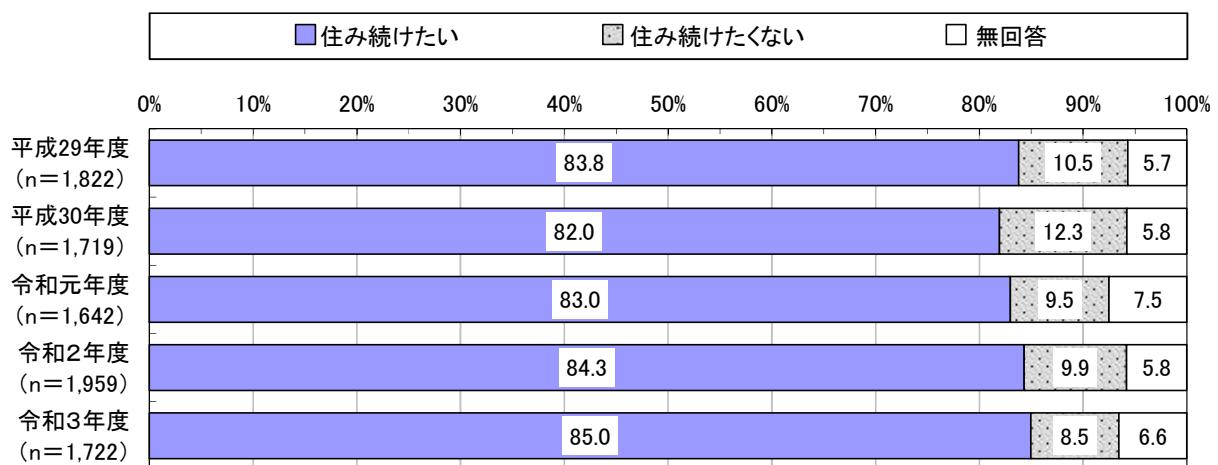
川口市の居住意向は、「住み続けたい」が85.0%と8割半ばを占めており、「住み続けたくない」は8.5%と1割を切っています。

居住意向の推移をみると、「住み続けたい」は平成30年度からやや増加傾向にあり、令和3年度は過去5年間で最も高くなっています。

【居住意向（全体）】



【居住意向の推移】



(2) 居住意向（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「住み続けたい」は、男性の50～64歳で9割を超えて高くなっていますが、女性はいずれの年代も8割台となっています。一方、「住み続けたくない」は、男性の18～29歳や、女性の18～49歳といった若い年代が1割を超えて高くなっています。

【居住意向（性別、性・年齢別）】

	(人)		(%)	
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,722	85.0	8.5	6.6
男性	728	86.5	6.3	7.1
女性	932	84.9	9.5	5.6
男性	18～29歳	77	81.8	13.0
	30～39歳	91	85.7	6.6
	40～49歳	160	86.3	8.1
	50～59歳	120	△ 90.8	▲ 2.5
	60～64歳	57	△ 91.2	5.3
	65～74歳	121	89.3	▲ 2.5
	75歳以上	101	80.2	7.9
女性	18～29歳	109	85.3	11.9
	30～39歳	159	83.0	△ 15.1
	40～49歳	193	80.8	13.5
	50～59歳	147	87.1	6.1
	60～64歳	61	88.5	6.6
	65～74歳	153	88.9	5.9
	75歳以上	109	83.5	△ 3.7
				△ 12.8

(3) 居住意向（出生地別）

出生地別にみると、「住み続けたい」は、川口市内が 88.6%と 9割近くを占めて高くなっています。一方、「住み続けたくない」は、川口市以外の埼玉県内が 1割を超えていました。

【居住意向（出生地別）】

	(人)	(%)		
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,722	85.0	8.5	6.6
川口市内	475	88.6	6.3	5.1
川口市以外の埼玉県内	185	81.6	10.3	8.1
埼玉県外	954	84.9	8.6	6.5
国外	45	84.4	8.9	6.7

(4) 居住意向（職業別）

職業別にみると、「住み続けたい」は、農林水産業従事者が 100.0%、自営業・サービス業従事者が 90.4%と 9割を超えて高くなっています。一方、「住み続けたくない」は、専門職が 18.9%、学生が 13.6%と 1割を超えて高くなっています。

【居住意向（職業別）】

	(人)	住み続けたい	住み続けたくない	無回答	(%)
	合計				
全体	1,722	85.0	8.5	6.6	
専門職	37	▲ 75.7	○ 18.9		5.4
管理職	105	82.9	7.6		9.5
事務・技術職	402	86.1	8.7		5.2
販売・生産・労務職	167	89.8	6.0		4.2
農林水産業従事者	4	○ 100.0	▲ 0.0	▲ 0.0	
自営業・サービス業従事者	136	△ 90.4	5.1		4.4
パート・アルバイト従事者	229	85.2	9.2		5.7
学生	44	▲ 77.3	△ 13.6		9.1
家事に専念している	229	86.0	8.3		5.7
無職	256	83.6	7.0		9.4
その他	44	▲ 79.5	9.1		11.4

(5) 居住意向（通勤・通学先別）

通勤・通学先別にみると、「住み続けたい」は、通勤・通学先にかかわらず8割半ば程度を占めています。

【居住意向（通勤・通学先別）】

	(人)	(%)		
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,168	85.0	8.5	6.6
川口市内	405	86.9	7.4	5.7
埼玉県内（川口市以外）	192	86.5	8.3	5.2
東京都内	478	85.1	9.4	5.4
埼玉県、東京都以外の県	43	86.0	7.0	7.0

(6) 居住意向（家族構成別）

家族構成別にみると、「住み続けたい」は、親と子と孫など（3世代以上）以外のいずれも8割を超えています。一方、「住み続けたくない」は、ひとり暮らし（単身世帯）が12.1%と1割を超えて高くなっています。

【居住意向（家族構成別）】

	(人)	(%)		
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,722	85.0	8.5	6.6
ひとり暮らし（単身世帯）	231	82.7	12.1	5.2
夫婦のみ	379	86.3	6.3	7.4
親と子（2世代）	865	87.3	7.9	4.9
親と子と孫など（3世代以上）	117	▲ 79.5	6.8	△ 13.7
その他	49	83.7	6.1	10.2

(7) 居住意向（住居形態別）

住居形態別にみると、「住み続けたい」は、民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）、住み込み、寮、寄宿舎などが8割を切って低くなっています。一方、「住み続けたくない」は、住み込み、寮、寄宿舎などが20.0%、民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）が15.5%、UR都市機構（旧公団）・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパートが12.5%と1割を超えて高くなっています。

【居住意向（住居形態別）】

	(人)	(%)		
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,722	85.0	8.5	6.6
持家（一戸建）	864	88.1	5.6	6.4
持家（分譲マンションなど集合住宅）	396	86.9	6.8	6.3
民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）	329	▲ 78.1	△ 15.5	6.4
UR都市機構（旧公団）・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパート	32	84.4	12.5	3.1
社宅・公務員住宅など給与住宅	22	86.4	9.1	4.5
住み込み、寮、寄宿舎など	5	★ 60.0	○ 20.0	○ 20.0

(8) 居住意向（居住年数別）

居住年数別にみると、「住み続けたい」は、生まれてからずっと住んでいるが91.8%と9割を超えており、居住年数が長いほど「住み続けたい」が上がっていく傾向にあります。一方、「住み続けたくない」は、在住して10年未満の居住年数で1割半ば前後を占め、高くなっています。

【居住意向（居住年数別）】

	(人)	(%)		
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,722	85.0	8.5	6.6
在住して5年未満	219	80.4	△ 15.1	4.6
在住して5年以上～10年未満	158	80.4	△ 14.6	5.1
在住して10年以上～20年未満	280	83.2	9.6	7.1
在住して20年以上～30年未満	213	84.5	7.5	8.0
在住して30年以上	486	87.9	4.3	7.8
生まれてからずっと住んでいる	291	△ 91.8	4.5	3.8

(9) 居住意向（居住地域別）

居住地域別にみると、「住み続けたい」は、南平地域が 91.7%と9割を超えて高くなっているほか、全地域において8割を超えています。一方、「住み続けたくない」は、横曽根地域が 11.1%、中央地域が 10.5%、安行地域が 10.3%と1割を超えて高くなっています。

【居住意向（居住地域別）】

	(人)		(%)	
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,722	85.0	8.5	6.6
中央地域	171	83.0	10.5	6.4
横曽根地域	162	84.6	11.1	4.3
青木地域	199	85.4	7.5	7.0
南平地域	168	△ 91.7	6.0	2.4
新郷地域	96	88.5	6.3	5.2
神根地域	138	87.0	6.5	6.5
芝地域	206	83.5	8.3	8.3
安行地域	97	80.4	10.3	9.3
戸塚地域	207	83.6	8.7	7.7
鳩ヶ谷地域	206	85.4	8.7	5.8

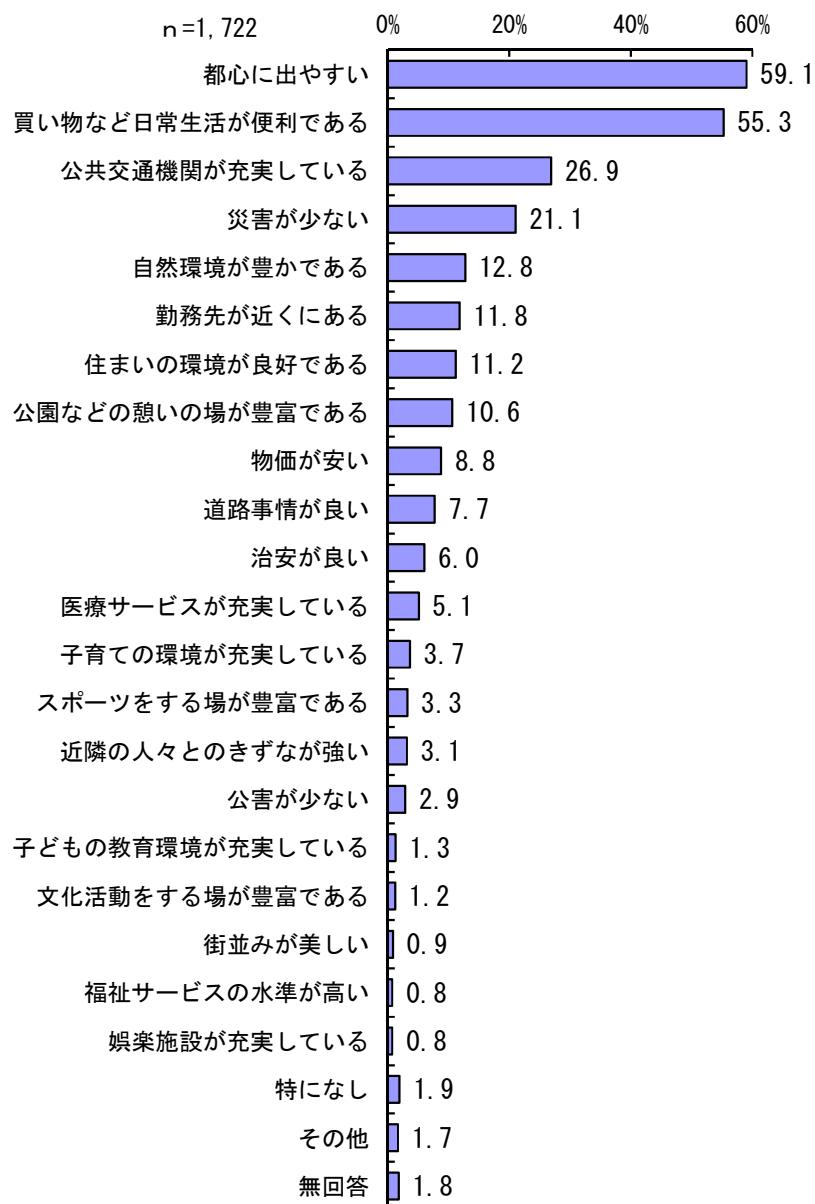
2. 川口市の良いところ

(1) 川口市の良いところ・好きなところ

問2 (1) 川口市の良いところ、好きなところは何ですか。 (○は3つまで)

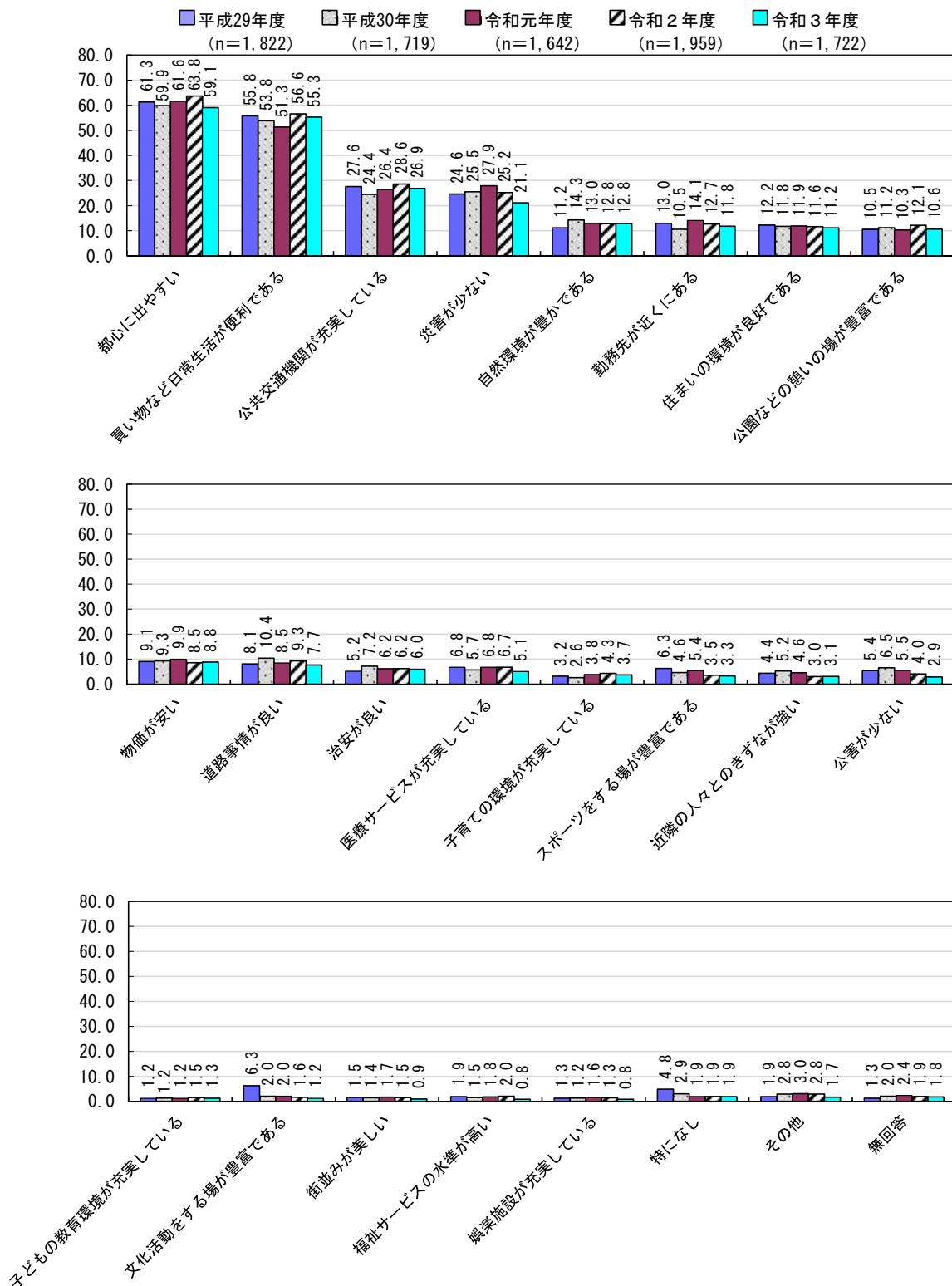
川口市の良いところ・好きなところは、「都心に出やすい」が59.1%、「買い物など日常生活が便利である」が55.3%と5割半ばを超えて高く、次いで「公共交通機関が充実している」が26.9%、「災害が少ない」が21.1%と2割を超えて続いています。

【川口市の良いところ・好きなところ（全体）】



川口市の良いところ・好きなところの推移をみると、全体的な傾向は平成29年度からあまり変わっていませんが、「物価が安い」と「近隣の人々とのきずなが強い」以外の項目はいずれも令和2年度より下がっており、特に「都心に出やすい」は4.8ポイント、「災害が少ない」は4.1ポイント、令和2年度調査より下がっています。

【川口市の良いところ・好きなところの推移】



(2) 川口市の良いところ・好きなところ（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「都心に出やすい」は、18～29歳の女性が76.1%、男性が71.4%とともに7割を超えて高くなっています。

「買物など日常生活が便利である」は、男性の40～49歳が61.3%、女性の60～64歳が72.1%と高く、40～49歳以外のいずれの年齢でも女性が男性を上回っています。

「公共交通機関が充実している」は、18～29歳の女性が36.7%、男性が35.1%と高くなっています。

「災害が少ない」は、75歳以上の女性が41.3%、男性が36.6%と高くなっています。また、男女ともに、60歳以上の「災害が少ない」の割合は60歳未満よりも高くなっています。

【川口市の良いところ・好きなところ（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,722)	男性						
		18～29歳 (n= 77)	30～39歳 (n= 91)	40～49歳 (n= 160)	50～59歳 (n= 120)	60～64歳 (n= 57)	65～74歳 (n= 121)	75歳以上 (n= 101)
都心に出やすい	59.1	○ 71.4	△ 68.1	56.9	62.5	61.4	▲ 50.4	★ 43.6
買い物など日常生活が便利である	55.3	▲ 46.8	56.0	△ 61.3	53.3	54.4	▲ 48.8	● 40.6
公共交通機関が充実している	26.9	△ 35.1	29.7	26.9	△ 32.5	▲ 19.3	27.3	▲ 21.8
災害が少ない	21.1	▲ 13.0	● 9.9	▲ 12.5	16.7	24.6	△ 28.9	☆ 36.6
自然環境が豊かである	12.8	9.1	13.2	14.4	10.8	15.8	△ 18.2	○ 23.8
勤務先が近くにある	11.8	15.6	15.4	11.9	10.0	△ 17.5	8.3	▲ 2.0
住まいの環境が良好である	11.2	13.0	7.7	13.1	12.5	○ 24.6	11.6	10.9
公園などの憩いの場が豊富である	10.6	6.5	13.2	13.1	7.5	14.0	14.0	7.9
物価が安い	8.8	9.1	6.6	8.1	4.2	5.3	8.3	9.9
道路事情が良い	7.7	5.2	6.6	10.0	△ 15.0	5.3	△ 14.9	5.9
治安が良い	6.0	9.1	2.2	4.4	5.0	7.0	7.4	△ 14.9
医療サービスが充実している	5.1	▲ 0.0	3.3	1.9	4.2	8.8	9.1	○ 16.8
子育ての環境が充実している	3.7	3.9	6.6	△ 8.8	3.3	1.8	1.7	0.0
スポーツをする場が豊富である	3.3	2.6	1.1	3.8	7.5	5.3	4.1	3.0
近隣の人々とのきずなが強い	3.1	0.0	2.2	0.0	3.3	7.0	3.3	6.9
公害が少ない	2.9	1.3	0.0	1.3	1.7	0.0	2.5	6.9
子どもの教育環境が充実している	1.3	1.3	3.3	1.9	0.0	1.8	1.7	1.0
文化活動をする場が豊富である	1.2	0.0	2.2	0.0	0.8	1.8	0.0	1.0
街並みが美しい	0.9	1.3	2.2	0.0	0.8	0.0	0.8	1.0
福祉サービスの水準が高い	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.0
娯楽施設が充実している	0.8	2.6	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特になし	1.9	2.6	1.1	2.5	5.0	1.8	0.8	4.0
その他	1.7	0.0	1.1	1.9	1.7	0.0	2.5	2.0
無回答	1.8	2.6	2.2	1.3	0.8	0.0	3.3	3.0

【川口市の良いところ・好きなところ（女性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	女性 (%)						
		18~29歳 (n= 109)	30~39歳 (n= 159)	40~49歳 (n= 193)	50~59歳 (n= 147)	60~64歳 (n= 61)	65~74歳 (n= 153)	75歳以上 (n= 109)
都心に出やすい	59.1	☆ 76.1	△ 67.9	60.6	○ 69.4	59.0	▲ 50.3	★ 33.9
買い物など日常生活が便利である	55.3	59.6	△ 62.3	58.0	○ 67.3	☆ 72.1	50.3	● 45.0
公共交通機関が充実している	26.9	△ 36.7	31.4	▲ 21.8	25.2	▲ 21.3	▲ 21.6	26.6
災害が少ない	21.1	● 10.1	● 10.1	17.6	▲ 15.6	○ 34.4	☆ 39.9	☆ 41.3
自然環境が豊かである	12.8	▲ 2.8	▲ 3.1	9.8	17.0	△ 18.0	15.0	17.4
住まいの環境が良好である	11.8	11.0	11.9	16.1	15.0	○ 23.0	9.8	▲ 1.8
公園などの憩いの場が豊富である	11.2	14.7	15.7	10.4	6.8	8.2	7.8	8.3
勤務先が近くにある	10.6	7.3	△ 17.0	11.4	▲ 5.4	9.8	11.1	9.2
道路事情が良い	8.8	9.2	6.9	8.3	8.2	13.1	△ 15.7	8.3
物価が安い	7.7	6.4	3.8	7.3	7.5	6.6	▲ 2.6	4.6
治安が良い	6.0	8.3	2.5	4.7	2.7	1.6	9.2	10.1
医療サービスが充実している	5.1	▲ 0.0	5.0	3.1	6.8	▲ 0.0	4.6	7.3
子育ての環境が充実している	3.7	2.8	△ 10.1	4.1	2.0	1.6	0.0	0.0
スポーツをする場が豊富である	3.3	3.7	1.3	2.1	2.7	1.6	3.9	0.9
近隣の人々とのきずなが強い	3.1	0.9	0.0	1.0	2.0	1.6	△ 9.2	△ 8.3
公害が少ない	2.9	2.8	1.3	1.6	3.4	3.3	4.6	△ 9.2
子どもの教育環境が充実している	1.3	0.0	1.9	3.1	0.0	0.0	0.7	0.9
街並みが美しい	1.2	0.9	0.6	0.5	0.7	0.0	3.9	4.6
文化活動をする場が豊富である	0.9	0.9	0.6	0.5	0.0	0.0	0.7	3.7
娯楽施設が充実している	0.8	0.0	1.3	0.0	2.0	0.0	1.3	2.8
福祉サービスの水準が高い	0.8	0.9	3.8	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0
特になし	1.9	0.9	1.3	2.6	0.7	0.0	0.0	1.8
その他	1.7	0.0	1.3	2.1	2.0	3.3	2.6	1.8
無回答	1.8	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	1.3	△ 7.3

(3) 川口市の良いところ・好きなところ（出生地別）

出生地別にみると、「都心に出やすい」は、埼玉県外を除き、いずれの出生地でも6割を超えてています。

「買い物など日常生活が便利である」は、国外が62.2%と6割を超えて高くなっています。

「公共交通機関が充実している」は、川口市以外の埼玉県内が30.8%と3割を超えて高くなっています。

【川口市の良いところ・好きなところ（出生地別）】

(%)

	全体 (n=1,722)	川口市内 (n= 475)	川口市以外 の埼玉県内 (n= 185)	埼玉県外 (n= 954)	国外 (n= 45)
都心に出やすい	59.1	63.8	63.8	56.2	62.2
買い物など日常生活が便利である	55.3	53.9	54.1	56.8	△ 62.2
公共交通機関が充実している	26.9	26.1	30.8	26.6	24.4
災害が少ない	21.1	24.6	▲ 11.4	22.2	● 8.9
自然環境が豊かである	12.8	11.8	13.0	13.6	11.1
勤務先が近くにある	11.8	13.3	14.1	10.7	▲ 6.7
住まいの環境が良好である	11.2	10.3	▲ 5.9	12.9	13.3
公園などの憩いの場が豊富である	10.6	7.4	10.3	12.4	13.3
物価が安い	8.8	8.0	5.9	9.4	13.3
道路事情が良い	7.7	5.7	11.4	7.5	4.4
治安が良い	6.0	5.3	5.9	6.3	△ 13.3
医療サービスが充実している	5.1	3.6	5.4	5.5	△ 11.1
子育ての環境が充実している	3.7	4.4	4.3	3.0	6.7
スポーツをする場が豊富である	3.3	2.5	3.8	3.2	2.2
近隣の人々とのきずなが強い	3.1	3.2	2.7	3.0	4.4
公害が少ない	2.9	2.5	1.1	3.4	0.0
子どもの教育環境が充実している	1.3	0.6	1.6	1.5	4.4
文化活動をする場が豊富である	1.2	1.3	1.6	1.0	2.2
街並みが美しい	0.9	0.6	0.0	1.0	2.2
福祉サービスの水準が高い	0.8	0.6	0.5	0.8	0.0
娯楽施設が充実している	0.8	0.6	0.0	0.6	△ 6.7
特になし	1.9	2.1	3.2	1.5	0.0
その他	1.7	2.5	0.5	1.5	2.2
無回答	1.8	1.9	1.1	1.7	2.2

(4) 川口市の良いところ・好きなところ（通勤・通学先別）

通勤・通学先別にみると、「都心に出やすい」は、東京都内で 73.4%、埼玉県、東京都以外の県で 72.1%と 7 割を超えて高くなっています。

「買い物など日常生活が便利である」は、埼玉県内（川口市以外）が 61.5%と 6 割を超えて高くなっています。

「勤務先が近くにある」と「災害が少ない」は、川口市内が、それ以外の通勤・通学先よりも高くなっています。

【川口市の良いところ・好きなところ（通勤・通学先別）】

	全体 (n=1,168)	川口市内 (n= 405)	埼玉県内 (川口市以外) (n= 192)	東京都内 (n= 478)	埼玉県、東京都 以外の県 (n= 43)
都心に出やすい	59.1	57.8	58.3	○ 73.4	○ 72.1
買い物など日常生活が便利である	55.3	52.6	△ 61.5	58.6	53.5
公共交通機関が充実している	26.9	24.0	30.2	29.1	30.2
災害が少ない	21.1	△ 27.7	19.3	● 9.0	▲ 14.0
自然環境が豊かである	12.8	13.6	10.4	10.9	16.3
勤務先が近くにある	11.8	☆ 30.6	14.6	▲ 5.4	▲ 4.7
住まいの環境が良好である	11.2	11.4	10.9	12.6	9.3
公園などの憩いの場が豊富である	10.6	7.2	7.8	13.0	▲ 4.7
物価が安い	8.8	7.2	▲ 3.1	9.2	4.7
道路事情が良い	7.7	9.1	△ 13.5	6.5	7.0
治安が良い	6.0	3.2	6.3	5.4	9.3
医療サービスが充実している	5.1	5.7	3.1	2.1	▲ 0.0
子育ての環境が充実している	3.7	3.2	3.6	4.8	4.7
スポーツをする場が豊富である	3.3	3.5	3.6	2.3	2.3
近隣の人々とのきずなが強い	3.1	2.5	2.6	1.9	0.0
公害が少ない	2.9	1.7	1.6	2.1	2.3
子どもの教育環境が充実している	1.3	1.7	0.5	1.0	4.7
文化活動をする場が豊富である	1.2	1.0	1.0	0.6	0.0
街並みが美しい	0.9	0.5	0.5	0.8	0.0
福祉サービスの水準が高い	0.8	0.2	0.0	0.6	0.0
娯楽施設が充実している	0.8	0.5	0.0	1.7	0.0
特になし	1.9	1.0	1.6	2.7	4.7
その他	1.7	1.0	3.1	1.5	0.0
無回答	1.8	1.5	1.0	0.6	0.0

(5) 川口市の良いところ・好きなところ（住居形態別）

住居形態別にみると、「都心に出やすい」は、持家（分譲マンションなど集合住宅）が 67.2% と 6割半ばを超えて最も高くなっています。

「買い物など日常生活が便利である」は、社宅・公務員住宅など給与住宅が 68.2%、持家（分譲マンションなど集合住宅）が 63.1% と 6割を超えて高くなっています。

「災害が少ない」は、UR都市機構（旧公団）・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパートが 28.1%、持家（一戸建）が 27.8% と 2割半ばを超えて高くなっています。

【川口市の良いところ・好きなところ（住居形態別）】

	全体 (n=1,722)	持家 (一戸建) (n= 864)	持家（分譲 マンションなど集合住 宅） (n= 396)	民間の借家 (賃貸マン ション・ア パート、一 戸建の借家 など) (n= 329)	UR都市機 構（旧公 団）・公 社・市営・ 県営の賃貸 住宅・ア パート (n= 32)	社宅・公務 員住宅など 給与住宅 (n= 22)	住み込み、 寮、寄宿舎 など (n= 5)
都心に出やすい	59.1	56.3	△ 67.2	58.4	62.5	63.6	60.0
買い物など日常生活が便利である	55.3	51.7	△ 63.1	57.1	56.3	○ 68.2	★ 40.0
公共交通機関が充実している	26.9	23.1	29.8	31.3	31.3	○ 40.9	▲ 20.0
災害が少ない	21.1	△ 27.8	▲ 13.9	▲ 12.5	△ 28.1	18.2	☆ 60.0
自然環境が豊かである	12.8	17.1	8.3	▲ 6.7	△ 21.9	9.1	● 0.0
勤務先が近くにある	11.8	11.6	8.6	15.5	9.4	☆ 27.3	● 0.0
住まいの環境が良好である	11.2	10.8	12.6	12.2	12.5	▲ 4.5	△ 20.0
公園などの憩いの場が豊富である	10.6	9.8	11.4	11.6	15.6	△ 18.2	● 0.0
物価が安い	8.8	6.9	11.9	10.0	9.4	4.5	○ 20.0
道路事情が良い	7.7	8.3	5.6	7.6	▲ 0.0	9.1	▲ 0.0
治安が良い	6.0	7.1	3.3	7.6	▲ 0.0	4.5	○ 20.0
医療サービスが充実している	5.1	5.1	5.1	3.3	△ 12.5	▲ 0.0	▲ 0.0
子育ての環境が充実している	3.7	3.4	4.0	4.9	0.0	0.0	0.0
スポーツをする場が豊富である	3.3	3.9	2.5	2.1	0.0	0.0	0.0
近隣の人々とのきずなが強い	3.1	4.7	1.3	0.9	3.1	4.5	0.0
公害が少ない	2.9	3.6	3.0	0.3	3.1	4.5	☆ 20.0
子どもの教育環境が充実している	1.3	1.3	1.8	1.2	0.0	0.0	0.0
文化活動をする場が豊富である	1.2	1.6	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
街並みが美しい	0.9	0.6	0.8	1.5	3.1	0.0	0.0
福祉サービスの水準が高い	0.8	0.8	0.3	1.2	0.0	0.0	0.0
娯楽施設が充実している	0.8	0.5	0.3	1.8	3.1	0.0	0.0
特になし	1.9	2.0	1.5	1.8	0.0	0.0	0.0
その他	1.7	2.1	1.8	0.9	0.0	0.0	0.0
無回答	1.8	1.6	1.0	3.0	0.0	0.0	0.0

(6) 川口市の良いところ・好きなところ（居住地域別）

居住地域別にみると、「都心に出やすい」は、横曽根地域が 74.7%と最も高く、中央地域も 71.3%と 7割を超えています。一方、新郷地域、神根地域、戸塚地域では 5割を切って低くなっています。

「買い物など日常生活が便利である」は、中央地域が 70.2%と 7割に達し最も高くなっています。一方、安行地域が 39.2%、神根地域が 42.0%、新郷地域が 42.7%と 4割前後で低くなっています。

「公共交通機関が充実している」は、安行地域が 7.2%と 1割を切って最も低く、神根地域も 19.6%と 2割を切っています。

「災害が少ない」は、安行地域が 41.2%と 4割を超えて最も高く、新郷地域と神根地域も 3割を越えています。一方、中央地域が 5.8%と 1割を切って最も低くなっています。

【川口市の良いところ・好きなところ（居住地域別）】

	全体 (n=1,722)	中央 地域 (n= 171)	横曽根 地域 (n= 162)	青木 地域 (n= 199)	南平 地域 (n= 168)	新郷 地域 (n= 96)	神根 地域 (n= 138)	芝 地域 (n= 206)	安行 地域 (n= 97)	戸塚 地域 (n= 207)	鳩ヶ谷 地域 (n= 206)	(%)
都心に出やすい	59.1	○ 71.3	☆ 74.7	△ 66.3	△ 68.5	● 46.9	● 46.4	57.8	★ 39.2	● 48.3	58.7	
買い物など日常生活が便利である	55.3	○ 70.2	△ 63.0	△ 62.3	55.4	● 42.7	● 42.0	△ 60.7	★ 39.2	50.7	54.9	
公共交通機関が充実している	26.9	△ 32.2	23.5	30.7	27.4	22.9	▲ 19.6	31.1	★ 7.2	29.0	31.6	
災害が少ない	21.1	★ 5.8	▲ 13.6	23.6	▲ 13.7	△ 30.2	☆ 37.0	24.3	☆ 41.2	19.3	20.9	
自然環境が豊かである	12.8	▲ 5.8	▲ 4.9	▲ 3.5	▲ 4.8	16.7	○ 27.5	▲ 2.9	☆ 44.3	○ 24.6	13.1	
勤務先が近くにある	11.8	9.9	9.3	10.6	15.5	16.7	12.3	10.2	11.3	12.6	12.6	
住まいの環境が良好である	11.2	11.1	12.3	9.5	15.5	7.3	8.0	7.3	11.3	△ 17.4	10.7	
公園などの憩いの場が豊富である	10.6	10.5	9.9	9.0	11.3	9.4	5.8	9.2	8.2	△ 20.3	9.2	
物価が安い	8.8	13.5	△ 16.0	8.0	11.3	12.5	10.1	4.4	4.1	4.8	6.3	
道路事情が良い	7.7	4.1	3.7	5.5	4.8	8.3	9.4	7.8	9.3	12.1	8.7	
治安が良い	6.0	4.1	3.7	4.0	4.2	9.4	7.2	5.3	7.2	5.8	△ 11.7	
医療サービスが充実している	5.1	7.0	4.3	5.0	4.2	7.3	8.7	3.4	2.1	3.9	5.3	
子育ての環境が充実している	3.7	2.9	4.9	2.5	4.8	1.0	1.4	4.4	4.1	6.8	2.4	
スポーツをする場が豊富である	3.3	2.3	3.7	4.0	1.8	4.2	5.1	4.4	4.1	1.9	1.9	
近隣の人々とのきずなが強い	3.1	2.3	1.2	2.5	5.4	4.2	2.9	3.9	5.2	0.5	4.9	
公害が少ない	2.9	0.6	1.2	2.0	4.2	6.3	4.3	2.9	6.2	2.9	2.4	
子どもの教育環境が充実している	1.3	1.2	0.6	2.5	1.8	0.0	0.0	1.5	2.1	1.9	0.0	
文化活動をする場が豊富である	1.2	1.8	1.9	1.5	1.2	2.1	1.4	1.0	0.0	0.5	0.5	
街並みが美しい	0.9	1.8	0.6	0.0	0.0	0.0	1.4	0.5	1.0	0.5	1.9	
福祉サービスの水準が高い	0.8	0.0	0.6	0.0	0.0	2.1	1.4	1.9	0.0	0.0	1.0	
娯楽施設が充実している	0.8	0.6	1.2	1.5	0.6	0.0	0.0	0.5	0.0	1.0	1.0	
特になし	1.9	1.2	0.0	1.5	3.6	2.1	1.4	2.9	2.1	2.4	1.0	
その他	1.7	0.0	2.5	2.5	0.6	3.1	1.4	2.9	0.0	1.0	2.4	
無回答	1.8	0.6	1.9	2.0	0.6	3.1	1.4	3.4	2.1	1.0	1.9	

(7) 川口市の良いところ・好きなところ（居住意向別）

居住意向別にみると、住み続けたいと回答している人はいずれの項目も全体の割合とほぼ同じ割合になっています。一方、住み続けたくない回答者では、「買物などの日常生活が便利である」が 41.8%と、住み続けたいと回答している人よりも 16.4 ポイント低くなっています。

【川口市の良いところ・好きなところ（居住意向別）】

	全体 (n=1,722)	住み続けたい (n= 1,463)	住み続けたくない (n= 146)	(%)
都心に出やすい	59.1	60.0	58.9	
買い物など日常生活が便利である	55.3	58.2	● 41.8	
公共交通機関が充実している	26.9	27.9	24.7	
災害が少ない	21.1	21.6	16.4	
自然環境が豊かである	12.8	13.7	▲ 5.5	
勤務先が近くにある	11.8	12.0	13.7	
住まいの環境が良好である	11.2	12.6	▲ 2.7	
公園などの憩いの場が豊富である	10.6	11.1	6.8	
物価が安い	8.8	8.9	11.6	
道路事情が良い	7.7	8.1	4.8	
治安が良い	6.0	6.2	5.5	
医療サービスが充実している	5.1	5.7	2.1	
子育ての環境が充実している	3.7	3.8	4.8	
スポーツをする場が豊富である	3.3	3.3	2.7	
近隣の人々とのきずなが強い	3.1	3.2	2.1	
公害が少ない	2.9	2.8	2.7	
子どもの教育環境が充実している	1.3	1.4	0.0	
文化活動をする場が豊富である	1.2	1.3	0.7	
街並みが美しい	0.9	0.9	1.4	
福祉サービスの水準が高い	0.8	0.9	0.0	
娯楽施設が充実している	0.8	0.8	0.0	
特になし	1.9	1.4	6.8	
その他	1.7	1.7	1.4	
無回答	1.8	0.3	0.7	

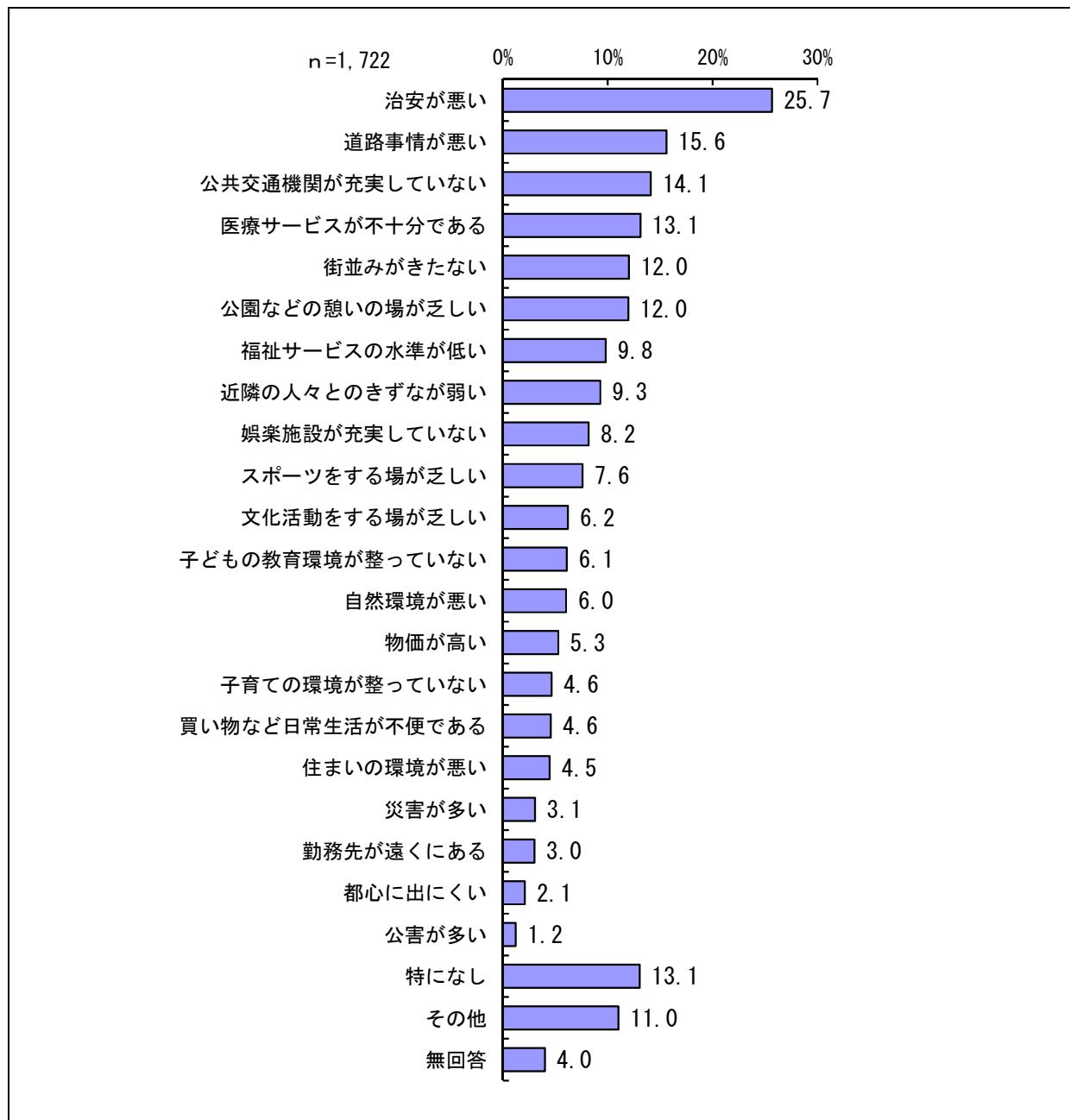
3. 川口市の良くないところ

(1) 川口市の良くないところ・嫌いなところ

問2 (2) 川口市の良くないところ、嫌いなところは何ですか。 (○は3つまで)

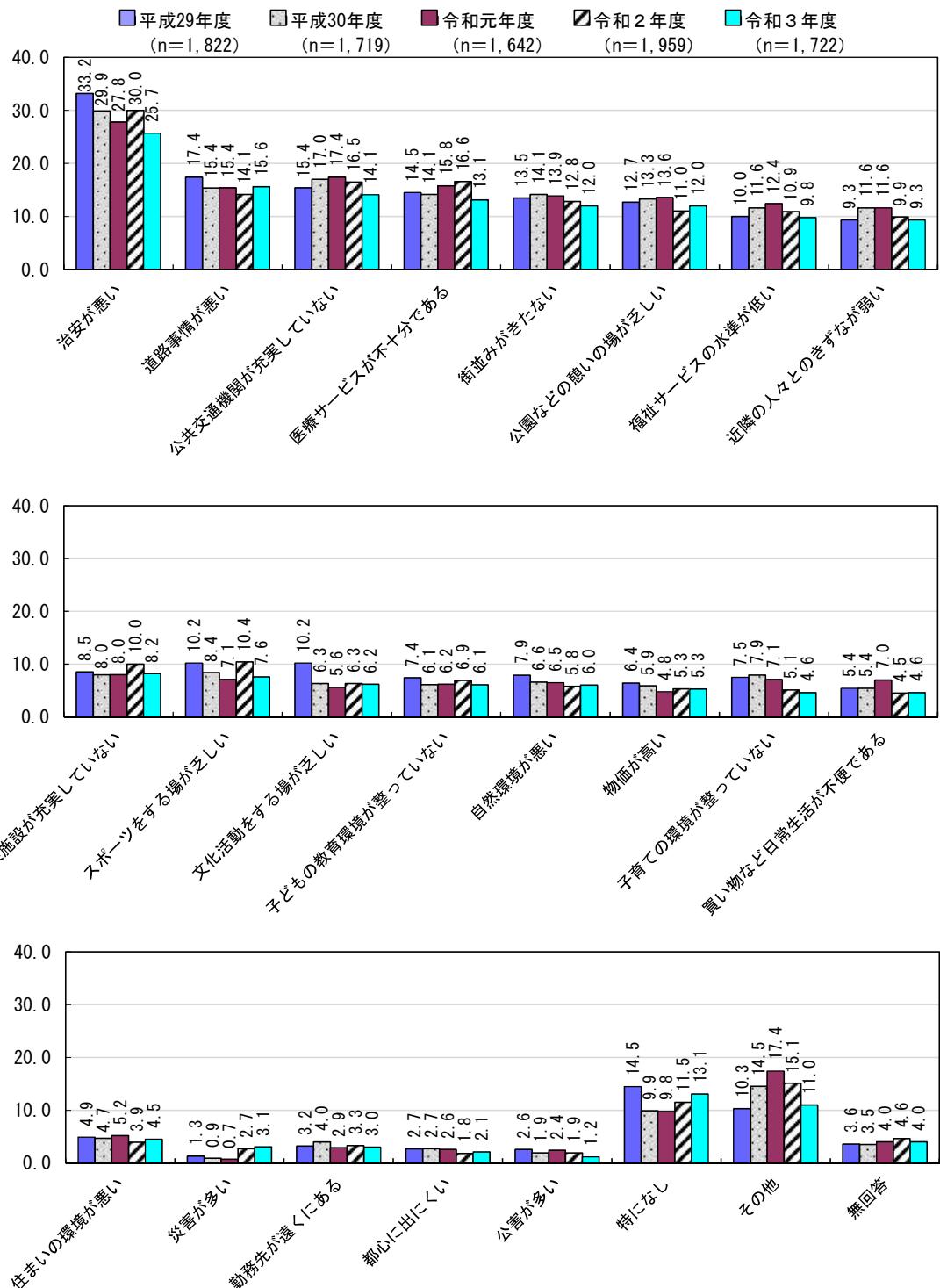
川口市の良くないところ・嫌いなところは、「治安が悪い」が 25.7%と2割半ばを超えて最も高く、次いで「道路事情が悪い」が 15.6%、「公共交通機関が充実していない」が 14.1%と続いています。また「特になし」も 13.1%と1割を超えています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（全体）】



川口市の良くないところ・嫌いなところの推移をみると、全体的な傾向は平成 29 年度からあまり変わっておらず、いずれの年度も「治安が悪い」が最も高くなっていますが、令和 2 年度調査と比べると 4.3 ポイント下がっています。また、「医療サービスが不十分である」が 3.5 ポイント、「スポーツをする場が乏しい」が 2.8 ポイント、「公共交通機関が充実していない」が 2.4 ポイント、令和 2 年度調査より下がっています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところの推移】



(2) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「治安が悪い」は、男性の 40～49 歳が 45.0%、女性の 18～29 歳が 36.7%と高くなっています。

「道路事情が悪い」は、男性の 18～29 歳が 24.7%と高くなっています。

「公共交通機関が充実していない」は、女性の 65～74 歳が 21.6%と 2割を超えて高くなっています。

「福祉サービスの水準が低い」は、男女ともに、60 歳以上の回答者が 1割を超えて高くなっています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	男性 (%)						
		18～29歳 (n= 77)	30～39歳 (n= 91)	40～49歳 (n= 160)	50～59歳 (n= 120)	60～64歳 (n= 57)	65～74歳 (n= 121)	75歳以上 (n= 101)
治安が悪い	25.7	24.7	△ 33.0	☆ 45.0	28.3	28.1	20.7	★ 7.9
道路事情が悪い	15.6	△ 24.7	18.7	15.6	13.3	19.3	11.6	19.8
公共交通機関が充実していない	14.1	● 2.6	17.6	16.3	13.3	▲ 7.0	▲ 8.3	10.9
医療サービスが不十分である	13.1	▲ 3.9	▲ 7.7	11.3	15.8	△ 19.3	14.0	11.9
街並みがきたない	12.0	9.1	13.2	13.1	9.2	▲ 5.3	16.5	15.8
公園などの憩いの場が乏しい	12.0	7.8	▲ 5.5	▲ 6.3	10.8	14.0	△ 17.4	○ 22.8
福祉サービスの水準が低い	9.8	▲ 3.9	▲ 3.3	8.1	9.2	△ 15.8	△ 17.4	△ 16.8
近隣の人々とのきずなが弱い	9.3	6.5	9.9	7.5	12.5	12.3	14.0	△ 18.8
娯楽施設が充実していない	8.2	13.0	8.8	6.9	6.7	12.3	9.1	11.9
スポーツをする場が乏しい	7.6	9.1	9.9	3.8	10.0	10.5	5.0	3.0
文化活動をする場が乏しい	6.2	3.9	2.2	2.5	4.2	△ 12.3	10.7	6.9
子どもの教育環境が整っていない	6.1	2.6	6.6	10.0	7.5	1.8	▲ 0.0	3.0
自然環境が悪い	6.0	9.1	3.3	7.5	5.8	5.3	7.4	5.9
物価が高い	5.3	9.1	△ 11.0	6.3	8.3	7.0	5.0	5.0
子育ての環境が整っていない	4.6	5.2	7.7	3.1	5.0	3.5	1.7	2.0
買い物など日常生活が不便である	4.6	3.9	3.3	0.6	5.0	5.3	3.3	△ 10.9
住まいの環境が悪い	4.5	9.1	5.5	3.1	3.3	5.3	5.0	3.0
災害が多い	3.1	3.9	6.6	5.0	3.3	1.8	0.8	2.0
勤務先が遠くにある	3.0	1.3	5.5	3.8	5.8	1.8	3.3	3.0
都心に出にくい	2.1	0.0	0.0	1.9	0.8	3.5	3.3	2.0
公害が多い	1.2	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.8	4.0
特になし	13.1	15.6	▲ 7.7	8.1	13.3	8.8	10.7	16.8
その他	11.0	▲ 3.9	11.0	△ 20.0	12.5	▲ 5.3	6.6	6.9
無回答	4.0	6.5	6.6	4.4	1.7	0.0	7.4	5.0

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（女性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	女性 (%)						
		18~29歳 (n= 109)	30~39歳 (n= 159)	40~49歳 (n= 193)	50~59歳 (n= 147)	60~64歳 (n= 61)	65~74歳 (n= 153)	75歳以上 (n= 109)
治安が悪い	25.7	○ 36.7	24.5	△ 33.2	27.9	23.0	● 15.0	★ 4.6
道路事情が悪い	15.6	11.0	18.2	16.1	10.9	▲ 9.8	17.6	11.9
公共交通機関が充実していない	14.1	14.7	15.7	13.5	18.4	13.1	△ 21.6	▲ 8.3
医療サービスが不十分である	13.1	9.2	10.7	9.8	15.6	△ 19.7	○ 24.2	10.1
街並みがきたない	12.0	14.7	10.7	14.0	13.6	9.8	11.1	9.2
公園などの憩いの場が乏しい	12.0	▲ 6.4	9.4	11.9	9.5	11.5	△ 20.3	14.7
福祉サービスの水準が低い	9.8	▲ 3.7	▲ 4.4	▲ 4.7	8.8	11.5	△ 15.0	13.8
近隣の人々とのきずなが弱い	9.3	5.5	4.4	7.3	8.8	4.9	8.5	△ 14.7
娯楽施設が充実していない	8.2	12.8	△ 14.5	4.7	▲ 2.7	6.6	5.9	8.3
スポーツをする場が乏しい	7.6	4.6	5.7	△ 13.5	6.1	9.8	9.8	7.3
文化活動をする場が乏しい	6.2	1.8	2.5	3.6	7.5	8.2	10.5	△ 13.8
子どもの教育環境が整っていない	6.1	1.8	10.7	△ 15.0	6.1	6.6	2.0	▲ 0.0
自然環境が悪い	6.0	3.7	6.9	4.7	6.8	9.8	5.2	5.5
物価が高い	5.3	8.3	5.0	2.6	3.4	4.9	2.0	2.8
子育ての環境が整っていない	4.6	5.5	△ 11.9	7.3	2.7	3.3	2.6	0.9
買い物など日常生活が不便である	4.6	4.6	1.3	2.6	6.1	4.9	4.6	△ 11.0
住まいの環境が悪い	4.5	3.7	7.5	3.1	2.7	3.3	4.6	3.7
災害が多い	3.1	3.7	6.3	3.6	2.0	0.0	0.7	1.8
勤務先が遠くにある	3.0	△ 11.0	3.1	1.6	0.7	1.6	0.0	0.0
都心に出にくい	2.1	2.8	1.3	3.6	1.4	1.6	3.3	0.9
公害が多い	1.2	1.8	1.3	0.0	1.4	1.6	2.6	2.8
特になし	13.1	11.0	10.7	13.0	○ 23.1	14.8	11.8	16.5
その他	11.0	10.1	15.1	14.5	8.2	14.8	8.5	6.4
無回答	4.0	0.9	2.5	3.1	1.4	1.6	2.6	△ 12.8

(3) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（出生地別）

出生地別にみると、「治安が悪い」は、川口市以外の埼玉県内が 33.0%と 3割を超えて高くなっています。

「娯楽施設が充実していない」や「スポーツをする場が乏しい」は、国外で 1割を超えており、そのほかの出生地より高くなっています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（出生地別）】

	全体 (n=1,722)	川口市内 (n= 475)	川口市以外 の埼玉県内 (n= 185)	埼玉県外 (n= 954)	国外 (n= 45)
治安が悪い	25.7	23.4	△ 33.0	26.4	● 15.6
道路事情が悪い	15.6	15.8	16.8	15.4	▲ 6.7
公共交通機関が充実していない	14.1	14.5	15.1	13.4	11.1
医療サービスが不十分である	13.1	14.3	9.2	13.3	8.9
街並みがきたない	12.0	11.2	14.6	12.5	8.9
公園などの憩いの場が乏しい	12.0	14.1	9.7	11.3	13.3
福祉サービスの水準が低い	9.8	10.3	▲ 3.8	10.1	6.7
近隣の人々とのきずなが弱い	9.3	8.6	7.0	10.3	6.7
娯楽施設が充実していない	8.2	8.6	8.6	8.0	△ 13.3
スポーツをする場が乏しい	7.6	8.0	4.3	7.8	△ 15.6
文化活動をする場が乏しい	6.2	6.1	5.9	6.4	2.2
子どもの教育環境が整っていない	6.1	8.0	8.1	4.9	2.2
自然環境が悪い	6.0	5.5	9.2	5.9	4.4
物価が高い	5.3	5.3	5.9	5.0	8.9
子育ての環境が整っていない	4.6	5.7	5.9	4.0	4.4
買い物など日常生活が不便である	4.6	4.0	5.4	4.5	4.4
住まいの環境が悪い	4.5	5.1	4.9	4.1	2.2
災害が多い	3.1	2.3	4.3	3.2	4.4
勤務先が遠くにある	3.0	2.5	3.2	3.1	2.2
都心に出にくい	2.1	2.1	0.5	2.3	0.0
公害が多い	1.2	0.4	2.2	1.5	0.0
特になし	13.1	13.1	10.3	13.2	△ 20.0
その他	11.0	10.5	△ 17.3	10.0	13.3
無回答	4.0	3.6	2.7	4.2	8.9

(4) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（通勤・通学先別）

通勤・通学先別にみると、「治安が悪い」は、埼玉県内（川口市以外）で31.8%、東京都内で31.2%と3割を超えて高くなっています。

「福祉サービスの水準が低い」、「近隣の人々とのきずなが弱い」、「住まいの環境が悪い」、「勤務先が遠くにある」は、埼玉県、東京都以外の県が1割を超えて高く、そのほかの通勤・通学先は1割を切っています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（通勤・通学先別）】

	全体 (n=1,168)	川口市内 (n= 405)	埼玉県内 (川口市以外) (n= 192)	東京都内 (n= 478)	埼玉県、東京都 以外の県 (n= 43)
治安が悪い	25.7	28.4	△ 31.8	△ 31.2	25.6
道路事情が悪い	15.6	17.3	12.0	13.8	18.6
公共交通機関が充実していない	14.1	12.6	12.5	17.8	9.3
医療サービスが不十分である	13.1	13.3	14.6	10.0	△ 18.6
街並みがきたない	12.0	12.1	8.9	14.0	14.0
公園などの憩いの場が乏しい	12.0	14.1	▲ 6.3	9.6	9.3
福祉サービスの水準が低い	9.8	8.6	7.3	6.1	△ 16.3
近隣の人々とのきずなが弱い	9.3	9.6	7.3	7.9	△ 16.3
娯楽施設が充実していない	8.2	6.9	7.8	9.8	7.0
スポーツをする場が乏しい	7.6	8.4	6.8	7.5	7.0
文化活動をする場が乏しい	6.2	6.2	3.6	4.4	4.7
子どもの教育環境が整っていない	6.1	7.2	7.3	6.9	9.3
自然環境が悪い	6.0	4.7	4.7	6.9	7.0
物価が高い	5.3	7.2	5.2	5.4	7.0
子育ての環境が整っていない	4.6	5.9	5.7	4.6	4.7
買い物など日常生活が不便である	4.6	4.9	1.0	4.4	7.0
住まいの環境が悪い	4.5	3.2	1.0	5.2	△ 11.6
災害が多い	3.1	3.5	4.2	4.2	0.0
勤務先が遠くにある	3.0	0.5	3.1	5.9	○ 14.0
都心に出にくい	2.1	1.5	1.0	1.7	0.0
公害が多い	1.2	2.0	1.0	0.2	2.3
特になし	13.1	14.8	16.7	9.8	9.3
その他	11.0	9.6	14.6	13.0	▲ 4.7
無回答	4.0	3.2	3.1	2.5	2.3

(5) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（住居形態別）

住居形態別にみると、「治安が悪い」は住み込み、寮、寄宿舎などが 60%、社宅・公務員住宅など給与住宅が 40.9%、民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）が 31.6%と高くなっています。

「近隣の人々とのきずなが弱い」は、UR都市機構（旧公団）・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパートが 21.9%と 2割を超えて高くなっています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（住居形態別）】

	全体 (n=1,722)	持家 (一戸建) (n= 864)	持家（分譲 マンション など集合住 宅） (n= 396)	民間の借家 (賃貸マン ション・ア パート、一 戸建の借家 など) (n= 329)	UR都市機 構（旧公 団）・公 社・市営・ 県営の賃貸 住宅・ア パート (n= 32)	社宅・公務 員住宅など 給与住宅 (n= 22)	住み込み、 寮、寄宿舎 など (n= 5)	(%)
治安が悪い	25.7	22.7	27.8	△ 31.6	28.1	☆ 40.9	☆ 60.0	
道路事情が悪い	15.6	16.8	12.9	14.9	18.8	▲ 9.1	20.0	
公共交通機関が充実していない	14.1	15.6	12.4	9.7	18.8	13.6	△ 20.0	
医療サービスが不十分である	13.1	15.0	13.9	▲ 7.3	9.4	9.1	● 0.0	
街並みがきたない	12.0	10.3	16.7	12.8	9.4	9.1	● 0.0	
公園などの憩いの場が乏しい	12.0	15.5	9.8	▲ 6.4	▲ 3.1	9.1	△ 20.0	
福祉サービスの水準が低い	9.8	11.1	8.8	5.2	△ 18.8	▲ 4.5	▲ 0.0	
近隣の人々とのきずなが弱い	9.3	7.5	11.4	10.0	○ 21.9	9.1	▲ 0.0	
娯楽施設が充実していない	8.2	8.7	7.3	7.9	9.4	△ 18.2	☆ 40.0	
スポーツをする場が乏しい	7.6	8.3	7.1	7.3	3.1	4.5	▲ 0.0	
文化活動をする場が乏しい	6.2	6.5	7.1	4.6	6.3	4.5	▲ 0.0	
子どもの教育環境が整っていない	6.1	7.8	5.1	3.0	6.3	▲ 0.0	○ 20.0	
自然環境が悪い	6.0	5.4	7.3	6.1	3.1	4.5	☆ 40.0	
物価が高い	5.3	4.3	3.8	△ 10.6	▲ 0.0	4.5	▲ 0.0	
子育ての環境が整っていない	4.6	5.2	3.0	5.2	6.3	9.1	0.0	
買い物など日常生活が不便である	4.6	5.1	4.0	3.3	6.3	0.0	0.0	
住まいの環境が悪い	4.5	4.6	2.3	6.1	△ 12.5	0.0	0.0	
災害が多い	3.1	2.1	3.3	5.8	3.1	4.5	0.0	
勤務先が遠くにある	3.0	2.2	2.8	5.5	0.0	4.5	0.0	
都心に出にくい	2.1	2.1	1.0	3.0	0.0	4.5	0.0	
公害が多い	1.2	1.3	2.0	0.3	3.1	0.0	0.0	
特になし	13.1	13.2	13.4	12.8	9.4	9.1	● 0.0	
その他	11.0	8.6	14.1	13.7	9.4	13.6	△ 20.0	
無回答	4.0	4.3	3.3	4.9	0.0	0.0	0.0	

(6) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（居住地域別）

居住地域別にみると、「治安が悪い」は、横曽根地域が 36.4%、芝地域が 31.1%と 3割を超えて高くなっています。

「道路事情が悪い」は南平地域が 23.8%、新郷地域が 21.9%、安行地域が 20.6%と 2割を超えて高くなっています。

「公共交通機関が充実していない」は、安行地域が 33.0%と 3割を超えてそのほかの地域よりも突出して高くなっています。

「医療サービスが不十分である」は、安行地域が 20.6%、戸塚地域が 19.3%と 2割前後で高くなっています。

「街並みがきたない」は、横曽根地域が 21.0%と 2割を超えて高くなっています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（居住地域別）】

	全体 (n=1,722)	中央 地域 (n= 171)	横曽根 地域 (n= 162)	青木 地域 (n= 199)	南平 地域 (n= 168)	新郷 地域 (n= 96)	神根 地域 (n= 138)	芝 地域 (n= 206)	安行 地域 (n= 97)	戸塚 地域 (n= 207)	鳩ヶ谷 地域 (n= 206)	(%)
治安が悪い	25.7	25.7	○ 36.4	29.6	▲ 16.7	▲ 19.8	26.1	△ 31.1	▲ 19.6	23.7	25.2	
道路事情が悪い	15.6	16.4	▲ 9.9	13.6	△ 23.8	△ 21.9	18.8	▲ 9.2	20.6	13.5	16.5	
公共交通機関が充実していない	14.1	16.4	14.8	14.1	17.9	16.7	18.1	▲ 6.8	☆ 33.0	▲ 7.2	▲ 7.3	
医療サービスが不十分である	13.1	12.3	8.6	10.6	14.9	13.5	11.6	10.7	△ 20.6	△ 19.3	12.1	
街並みがきたない	12.0	14.0	△ 21.0	13.1	13.1	11.5	▲ 5.1	13.1	▲ 5.2	11.1	11.2	
公園などの憩いの場が乏しい	12.0	12.3	8.6	9.0	10.1	15.6	△ 18.1	9.7	16.5	▲ 5.8	△ 17.5	
福祉サービスの水準が低い	9.8	6.4	10.5	12.6	8.9	5.2	10.9	9.2	7.2	△ 15.0	6.8	
近隣の人々とのきずなが弱い	9.3	9.9	9.9	10.6	8.9	8.3	13.0	8.3	6.2	10.1	7.8	
娯楽施設が充実していない	8.2	5.3	9.3	4.5	8.9	8.3	4.3	7.8	10.3	10.6	△ 13.6	
スポーツをする場が乏しい	7.6	10.5	3.1	5.0	9.5	8.3	6.5	5.8	5.2	7.7	12.6	
文化活動をする場が乏しい	6.2	7.0	4.9	4.0	4.2	6.3	7.2	6.8	8.2	7.7	5.3	
子どもの教育環境が整っていない	6.1	3.5	3.7	5.0	6.5	3.1	8.0	6.3	△ 13.4	6.3	7.8	
自然環境が悪い	6.0	9.9	7.4	8.5	7.7	2.1	1.4	6.8	1.0	2.9	7.3	
物価が高い	5.3	4.1	7.4	5.5	6.0	3.1	4.3	5.3	6.2	4.3	5.8	
子育ての環境が整っていない	4.6	2.9	4.9	4.5	6.0	6.3	2.2	5.3	8.2	4.3	3.9	
買い物など日常生活が不便である	4.6	3.5	1.2	3.5	4.2	8.3	9.4	2.4	8.2	2.9	6.3	
住まいの環境が悪い	4.5	1.8	8.0	5.0	1.2	3.1	5.1	7.3	7.2	2.4	4.4	
災害が多い	3.1	4.1	1.9	2.0	3.6	1.0	2.2	2.4	2.1	6.3	3.4	
勤務先が遠くにある	3.0	3.5	2.5	1.0	4.2	2.1	3.6	1.5	3.1	5.3	2.9	
都心に出にくい	2.1	0.0	0.6	1.0	1.2	3.1	4.3	0.5	6.2	4.3	1.0	
公害が多い	1.2	1.2	1.2	2.0	1.2	5.2	1.4	1.5	0.0	0.0	0.0	
特になし	13.1	11.1	9.3	13.6	14.9	△ 20.8	14.5	17.0	▲ 6.2	12.1	11.7	
その他	11.0	15.8	△ 16.7	15.6	10.7	▲ 4.2	▲ 4.3	13.1	8.2	8.7	8.7	
無回答	4.0	3.5	4.3	4.0	1.2	6.3	4.3	5.3	2.1	3.9	4.9	

(7) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（居住意向別）

居住意向別にみると、住み続けたいと回答している人はいずれの項目も全体の割合とほぼ同じ割合になっています。一方、住み続けたくないと回答している人では、「治安が悪い」が32.2%と3割を超えて高くなっています。また、「自然環境が悪い」は住み続けたいと回答している人よりも10ポイント以上高くなっています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（居住意向別）】

(%)

	全体 (n=1,722)	住み続けたい (n= 1,463)	住み続けたくない (n= 146)
治安が悪い	25.7	25.5	△ 32.2
道路事情が悪い	15.6	15.9	16.4
公共交通機関が充実していない	14.1	14.6	11.6
医療サービスが不十分である	13.1	13.9	8.2
街並みがきたない	12.0	11.3	△ 17.8
公園などの憩いの場が乏しい	12.0	12.1	12.3
福祉サービスの水準が低い	9.8	9.5	13.0
近隣の人々とのきずなが弱い	9.3	9.8	6.8
娯楽施設が充実していない	8.2	9.0	5.5
スポーツをする場が乏しい	7.6	7.7	7.5
文化活動をする場が乏しい	6.2	6.4	3.4
子どもの教育環境が整っていない	6.1	5.9	△ 11.6
自然環境が悪い	6.0	5.1	△ 15.8
物価が高い	5.3	5.5	3.4
子育ての環境が整っていない	4.6	4.6	5.5
買い物など日常生活が不便である	4.6	3.9	7.5
住まいの環境が悪い	4.5	3.8	△ 11.0
災害が多い	3.1	3.2	2.7
勤務先が遠くにある	3.0	3.1	4.8
都心に出にくい	2.1	1.8	3.4
公害が多い	1.2	1.2	1.4
特になし	13.1	14.4	▲ 6.8
その他	11.0	10.5	△ 18.5
無回答	4.0	2.8	0.7

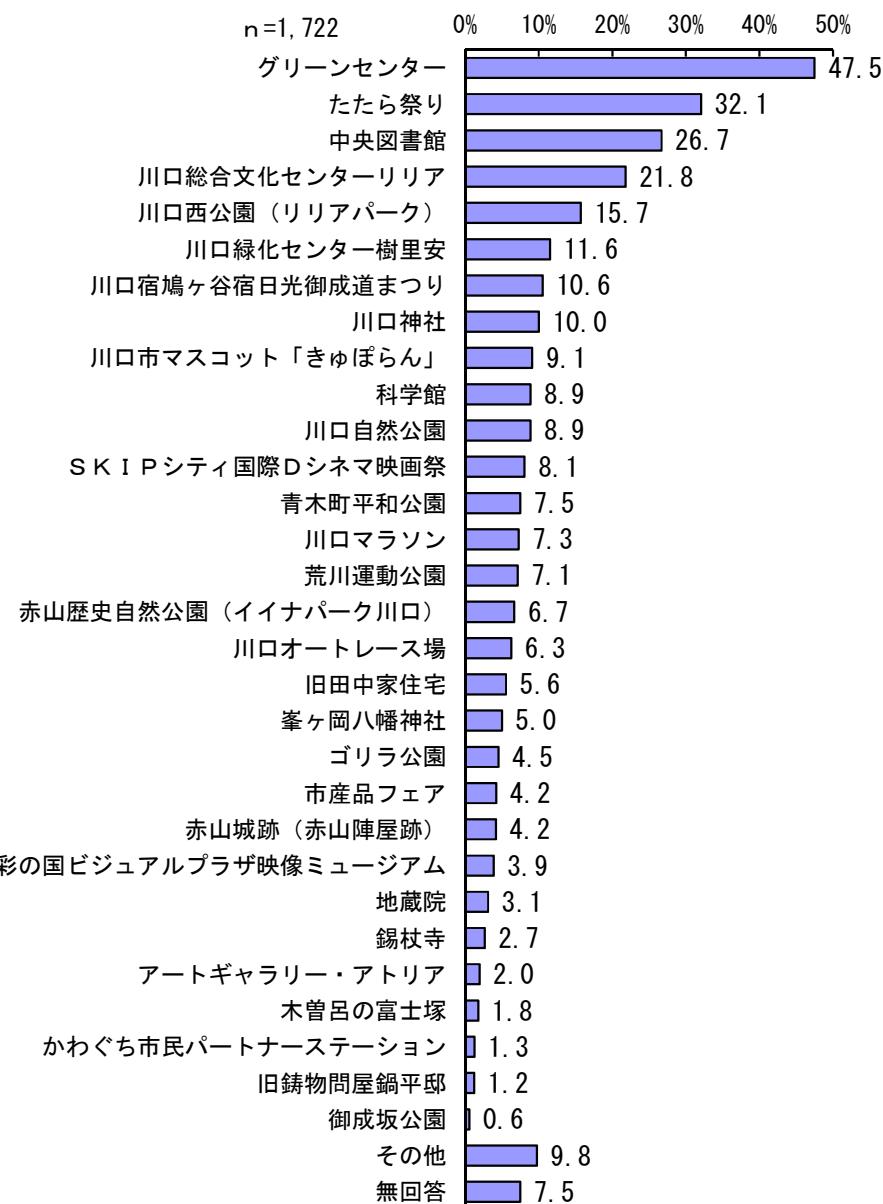
4. 川口市の好きな場所、もの、行事

(1) 川口市の好きな場所、もの、行事

問3 川口市の好きな場所、もの、行事は何ですか。（○はいくつでも）

川口市の好きな場所、もの、行事は、「グリーンセンター」が47.5%と4割半ばを超えて最も高く、次いで「たたら祭り」が32.1%、「中央図書館」が26.7%、「川口総合文化センターリリア」が21.8%と2割を超えて続いています。

【川口市の好きな場所、もの、行事（全体）】



(2) 川口市の好きな場所、もの、行事（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「グリーンセンター」は、65～74歳の女性が66.0%、75歳以上の男性が63.4%と6割を超えて高くなっています。

「たたら祭り」は、女性の30～39歳が41.5%、18～29歳が38.5%と4割前後で高く、男性の60～64歳が38.6%と最も高くなっています。

「中央図書館」は、59歳以下の女性で3割を超えています。男性は60～64歳が33.3%と3割を超えて最も高くなっています。

「川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり」や「赤山城跡（赤山陣屋跡）」は、男性の75歳以上がそのほかの年齢よりも高くなっています。

【川口市の好きな場所、もの、行事（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	男性 (%)						
		18～29歳 (n= 77)	30～39歳 (n= 91)	40～49歳 (n= 160)	50～59歳 (n= 120)	60～64歳 (n= 57)	65～74歳 (n= 121)	75歳以上 (n= 101)
グリーンセンター	47.5	★ 22.1	42.9	▲ 41.9	▲ 39.2	49.1	51.2	☆ 63.4
たたら祭り	32.1	▲ 24.7	33.0	33.1	31.7	△ 38.6	28.1	31.7
中央図書館	26.7	26.0	28.6	25.0	▲ 20.0	△ 33.3	▲ 17.4	▲ 16.8
川口総合文化センターリリア	21.8	● 9.1	★ 6.6	▲ 14.4	21.7	▲ 15.8	24.8	○ 32.7
川口西公園（リリアパーク）	15.7	● 5.2	17.6	▲ 6.3	11.7	14.0	13.2	13.9
川口緑化センター樹里安	11.6	▲ 6.5	▲ 3.3	▲ 5.6	9.2	△ 17.5	△ 17.4	○ 21.8
川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり	10.6	▲ 3.9	9.9	▲ 5.0	12.5	△ 19.3	12.4	☆ 25.7
川口神社	10.0	▲ 2.6	7.7	13.8	9.2	12.3	5.8	8.9
川口市マスコット「きゅぽらん」	9.1	11.7	9.9	10.0	6.7	7.0	4.1	5.9
科学館	8.9	6.5	12.1	11.9	8.3	8.8	6.6	5.0
川口自然公園	8.9	11.7	12.1	8.1	9.2	10.5	13.2	6.9
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	8.1	6.5	4.4	5.0	10.8	8.8	12.4	11.9
青木町平和公園	7.5	5.2	5.5	9.4	6.7	7.0	9.1	7.9
川口マラソン	7.3	▲ 1.3	6.6	7.5	5.8	△ 15.8	7.4	10.9
荒川運動公園	7.1	7.8	11.0	4.4	10.0	△ 12.3	△ 14.9	10.9
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	6.7	5.2	11.0	9.4	5.8	8.8	9.9	6.9
川口オートレース場	6.3	△ 13.0	9.9	△ 12.5	△ 12.5	▲ 0.0	10.7	△ 11.9
旧田中家住宅	5.6	2.6	3.3	2.5	5.8	3.5	7.4	2.0
峯ヶ岡八幡神社	5.0	6.5	5.5	5.6	5.0	8.8	8.3	8.9
ゴリラ公園	4.5	△ 11.7	△ 12.1	5.6	4.2	3.5	3.3	2.0
市産品フェア	4.2	2.6	4.4	4.4	3.3	0.0	7.4	△ 9.9
赤山城跡（赤山陣屋跡）	4.2	2.6	2.2	3.1	0.8	8.8	6.6	○ 16.8
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	3.9	3.9	3.3	2.5	4.2	3.5	1.7	4.0
地蔵院	3.1	0.0	1.1	1.3	0.8	3.5	2.5	△ 8.9
錫杖寺	2.7	1.3	1.1	3.1	4.2	7.0	0.8	1.0
アートギャラリー・アトリア	2.0	0.0	0.0	1.3	1.7	1.8	1.7	0.0
木曾呂の富士塚	1.8	3.9	2.2	2.5	0.8	1.8	2.5	3.0
かわぐち市民パートナーステーション	1.3	0.0	0.0	0.6	0.8	1.8	0.8	2.0
旧鎌物問屋鍋平邸	1.2	0.0	1.1	0.0	1.7	3.5	1.7	1.0
御成坂公園	0.6	0.0	1.1	0.6	0.0	0.0	0.8	3.0
その他	9.8	10.4	▲ 4.4	8.8	13.3	8.8	5.8	▲ 4.0
無回答	7.5	9.1	5.5	5.0	6.7	5.3	6.6	8.9

【川口市的好きな場所、もの、行事（女性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	女性 (%)						
		18~29歳 (n= 109)	30~39歳 (n= 159)	40~49歳 (n= 193)	50~59歳 (n= 147)	60~64歳 (n= 61)	65~74歳 (n= 153)	75歳以上 (n= 109)
グリーンセンター	47.5	★ 26.6	52.2	50.3	46.9	47.5	☆ 66.0	○ 57.8
たたら祭り	32.1	△ 38.5	△ 41.5	35.2	27.2	● 21.3	▲ 26.8	33.0
中央図書館	26.7	△ 32.1	△ 35.8	31.1	△ 32.7	29.5	26.1	▲ 20.2
川口総合文化センターリリア	21.8	▲ 14.7	▲ 16.4	18.7	△ 28.6	△ 31.1	○ 34.6	○ 35.8
川口西公園（リリアパーク）	15.7	▲ 10.1	18.2	13.5	△ 21.1	19.7	○ 26.1	△ 23.9
川口緑化センター樹里安	11.6	▲ 1.8	▲ 3.1	▲ 6.2	14.3	11.5	☆ 27.5	△ 19.3
川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり	10.6	▲ 3.7	▲ 4.4	7.8	8.2	11.5	△ 18.3	△ 16.5
川口神社	10.0	6.4	10.1	10.9	11.6	11.5	13.7	10.1
川口市マスコット「きゅうらん」	9.1	9.2	10.7	12.4	12.2	9.8	7.2	7.3
科学館	8.9	6.4	13.8	△ 17.1	8.2	9.8	4.6	▲ 0.9
川口自然公園	8.9	▲ 2.8	6.9	7.3	8.8	13.1	11.8	5.5
S K I P シティ国際Dシネマ映画祭	8.1	3.7	4.4	5.2	10.9	8.2	11.1	9.2
青木町平和公園	7.5	4.6	4.4	10.9	9.5	6.6	7.8	7.3
川口マラソン	7.3	2.8	2.5	6.7	6.8	11.5	9.8	11.0
荒川運動公園	7.1	2.8	6.9	4.7	5.4	6.6	5.9	4.6
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	6.7	3.7	8.2	6.7	2.7	▲ 1.6	6.5	8.3
川口オートレース場	6.3	▲ 0.9	3.8	4.1	1.4	1.6	2.6	2.8
旧田中家住宅	5.6	0.9	6.3	6.2	9.5	3.3	△ 11.8	8.3
峯ヶ岡八幡神社	5.0	1.8	1.9	1.6	8.2	1.6	4.6	6.4
ゴリラ公園	4.5	7.3	3.8	3.1	2.0	6.6	3.3	1.8
市産品フェア	4.2	2.8	3.1	4.1	5.4	1.6	3.9	5.5
赤山城跡（赤山陣屋跡）	4.2	0.0	1.9	0.5	2.7	0.0	6.5	△ 10.1
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	3.9	4.6	2.5	5.2	6.8	3.3	6.5	2.8
地蔵院	3.1	0.9	1.3	1.6	4.1	3.3	6.5	7.3
錫杖寺	2.7	0.0	0.6	0.5	4.8	4.9	6.5	3.7
アートギャラリー・アトリア	2.0	3.7	2.5	4.1	3.4	1.6	2.6	0.0
木曾呂の富士塚	1.8	0.0	0.0	1.0	2.7	3.3	1.3	2.8
かわぐち市民パートナーステーション	1.3	0.9	1.3	1.0	2.7	4.9	2.6	0.0
旧鎌物問屋鍋平邸	1.2	0.0	0.6	2.1	2.7	0.0	0.7	1.8
御成坂公園	0.6	0.0	1.3	0.5	0.0	1.6	0.0	0.0
その他	9.8	△ 18.3	△ 15.7	▲ 4.7	△ 15.6	9.8	7.2	8.3
無回答	7.5	9.2	6.3	10.4	4.1	8.2	3.3	△ 12.8

(3) 川口市的好きな場所、もの、行事（通勤・通学先別）

通勤・通学先別にみると、「グリーンセンター」は、川口市内で 53.8%と 5割を超えて高くなっています。

「たたら祭り」は、川口市内と埼玉県内（川口市以外）で 3割半ばを超えて高くなっています。

「川口オートレース場」は、埼玉県、東京都以外の県で 11.6%と 1割を超えて高くなっています。

【川口市的好きな場所、もの、行事（通勤・通学先別）】

	全体 (n=1,168)	川口市内 (n= 405)	埼玉県内 (川口市以外) (n= 192)	東京都内 (n= 478)	埼玉県、東京都 以外の県 (n= 43)	(%)
グリーンセンター	47.5	△ 53.8	44.3	● 36.6	▲ 39.5	
たたら祭り	32.1	35.6	35.9	27.8	27.9	
中央図書館	26.7	27.2	24.0	△ 32.2	25.6	
川口総合文化センターリリア	21.8	22.0	▲ 16.7	17.8	▲ 14.0	
川口西公園（リリアパーク）	15.7	14.1	▲ 7.8	16.3	▲ 9.3	
川口緑化センター樹里安	11.6	15.1	8.3	▲ 5.6	11.6	
川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり	10.6	12.3	▲ 5.2	7.3	7.0	
川口神社	10.0	10.6	6.3	10.3	▲ 2.3	
川口市マスコット「きゅばらん」	9.1	9.4	8.9	10.3	▲ 2.3	
科学館	8.9	13.6	10.4	8.6	4.7	
川口自然公園	8.9	11.4	9.9	5.6	4.7	
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	8.1	10.9	6.8	6.1	▲ 2.3	
青木町平和公園	7.5	9.1	6.3	7.9	4.7	
川口マラソン	7.3	9.4	6.8	3.8	4.7	
荒川運動公園	7.1	7.4	6.8	6.7	2.3	
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	6.7	9.4	5.2	6.5	7.0	
川口オートレース場	6.3	5.4	9.4	5.9	△ 11.6	
旧田中家住宅	5.6	7.7	3.6	4.8	2.3	
峯ヶ岡八幡神社	5.0	6.2	6.3	3.3	4.7	
ゴリラ公園	4.5	5.2	8.9	4.0	7.0	
市産品フェア	4.2	5.9	1.6	3.8	7.0	
赤山城跡（赤山陣屋跡）	4.2	4.7	4.2	1.7	2.3	
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	3.9	5.4	2.6	4.0	0.0	
地蔵院	3.1	4.2	2.1	1.3	0.0	
錫杖寺	2.7	3.5	3.1	1.7	0.0	
アートギャラリー・アトリア	2.0	3.0	1.6	1.9	0.0	
木曾呂の富士塚	1.8	3.0	2.6	0.8	0.0	
かわぐち市民パートナーステーション	1.3	1.7	1.0	0.8	0.0	
旧鋳物問屋鍋平邸	1.2	2.0	1.0	0.8	0.0	
御成坂公園	0.6	0.7	0.0	0.4	0.0	
その他	9.8	7.2	12.5	11.7	9.3	
無回答	7.5	5.9	8.3	7.1	7.0	

(4) 川口市の好きな場所、もの、行事（居住地域別）

居住地域別にみると、「グリーンセンター」は、神根地域が 60.1%と 6割に達し高くなっています。

「たたら祭り」は青木地域が 45.7%、南平地域が 42.9%と 4割を超えて高くなっています。

「中央図書館」は、中央地域が 53.2%と 5割を超えてそのほかの地域よりも突出して高くなっています。

「川口総合文化センターリリア」は、横曽根地域が 32.7と 3割を超えて高くなっています。

「川口西公園（リリアパーク）」は、横曽根地域が 45.1%、中央地域が 43.3%と 4割を超えて高くなっています。

「川口緑化センター樹里安」は、安行地域が 36.1%と 3割半ばを超えて高くなっています。

「川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり」は、鳩ヶ谷地域が 27.2%と 2割半ばを超えて高くなっています。

「川口神社」は、中央地域が 30.4%と 3割に達し高くなっています。

【川口市の好きな場所、もの、行事（居住地域別）】

	全体 (n=1,722)	中央 地域 (n= 171)	横曽根 地域 (n= 162)	青木 地域 (n= 199)	南平 地域 (n= 168)	新郷 地域 (n= 96)	神根 地域 (n= 138)	芝 地域 (n= 206)	安行 地域 (n= 97)	戸塚 地域 (n= 207)	鳩ヶ谷 地域 (n= 206)	(%)
グリーンセンター	47.5	★ 32.2	● 36.4	47.7	49.4	52.1	○ 60.1	47.1	△ 54.6	46.4	△ 54.9	
たたら祭り	32.1	● 21.6	27.2	○ 45.7	○ 42.9	△ 39.6	△ 37.7	▲ 25.7	▲ 26.8	● 17.4	△ 40.3	
中央図書館	26.7	☆ 53.2	△ 34.6	31.2	○ 41.7	● 14.6	▲ 16.7	24.3	★ 11.3	● 12.1	▲ 19.4	
川口総合文化センターリリア	21.8	25.1	○ 32.7	21.6	25.6	18.8	18.1	23.3	19.6	17.9	▲ 15.5	
川口西公園（リリアパーク）	15.7	☆ 43.3	☆ 45.1	18.1	20.2	▲ 7.3	● 2.2	▲ 6.8	● 5.2	● 3.4	● 3.4	
川口緑化センター樹里安	11.6	▲ 5.3	▲ 5.6	7.5	7.7	○ 22.9	12.3	8.3	☆ 36.1	15.0	9.7	
川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり	10.6	9.9	8.6	▲ 5.0	11.9	12.5	13.8	▲ 5.3	7.2	▲ 4.8	☆ 27.2	
川口神社	10.0	☆ 30.4	14.8	11.6	13.7	▲ 2.1	5.1	7.3	▲ 3.1	▲ 1.4	5.8	
川口市マスコット「きゅばらん」	9.1	9.9	12.3	10.6	11.9	9.4	6.5	9.2	7.2	7.7	7.8	
科学館	8.9	5.3	8.6	11.6	11.9	5.2	7.2	8.3	10.3	8.7	10.2	
川口自然公園	8.9	▲ 3.5	4.9	4.0	5.4	9.4	○ 23.9	9.2	6.2	△ 17.9	6.3	
S K I P シティ国際Dシネマ映画祭	8.1	5.3	5.6	8.5	8.3	12.5	12.3	8.7	6.2	5.8	8.3	
青木町平和公園	7.5	▲ 1.8	△ 13.0	☆ 24.1	6.0	▲ 2.1	3.6	8.3	▲ 2.1	3.4	5.3	
川口マラソン	7.3	4.7	6.8	9.0	7.1	4.2	○ 20.3	6.8	5.2	3.9	5.3	
荒川運動公園	7.1	△ 12.3	△ 16.0	6.0	8.9	7.3	5.1	7.3	5.2	2.9	2.4	
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	6.7	1.8	2.5	5.0	7.7	6.3	10.1	2.9	○ 17.5	7.7	11.2	
川口オートレース場	6.3	4.1	3.7	7.0	6.0	9.4	6.5	6.8	5.2	4.3	10.2	
旧田中家住宅	5.6	5.8	6.2	3.5	8.3	4.2	7.2	5.8	3.1	3.9	5.8	
峯ヶ岡八幡神社	5.0	3.5	0.6	1.0	3.6	☆ 29.2	1.4	1.0	○ 17.5	3.9	3.4	
ゴリラ公園	4.5	0.0	1.9	3.5	1.8	2.1	3.6	○ 18.0	9.3	3.9	0.5	
市産品フェア	4.2	1.2	4.3	8.0	3.0	6.3	1.4	2.4	4.1	2.4	8.3	
赤山城跡（赤山陣屋跡）	4.2	0.0	1.2	1.5	2.4	4.2	5.8	3.4	△ 12.4	5.3	8.3	
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	3.9	1.8	4.9	5.5	6.5	4.2	2.2	2.9	3.1	3.4	4.4	
地蔵院	3.1	2.3	1.2	2.5	1.8	△ 9.4	2.9	1.5	7.2	1.0	5.8	
錫杖寺	2.7	△ 11.1	3.7	2.0	1.8	1.0	0.7	1.9	1.0	1.0	1.9	
アートギャラリー・アトリア	2.0	1.2	3.7	3.0	3.0	1.0	0.7	1.9	2.1	1.9	1.5	
木曾呂の富士塚	1.8	0.0	0.6	1.5	1.8	3.1	6.5	1.0	2.1	1.4	1.5	
かわぐち市民パートナーステーション	1.3	1.8	4.3	1.5	1.2	0.0	0.7	1.0	0.0	0.0	1.5	
旧鎧物問屋鍋平邸	1.2	0.0	0.6	1.0	0.0	1.0	2.2	2.4	1.0	0.5	2.4	
御成坂公園	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	2.1	0.0	0.0	1.0	0.0	2.4	
その他	9.8	8.2	11.1	10.1	10.7	8.3	▲ 3.6	8.3	7.2	△ 15.0	11.7	
無回答	7.5	6.4	6.2	5.0	5.4	9.4	5.8	10.2	10.3	11.1	4.9	

(5) 川口市の好きな場所、もの、行事（居住意向別）

居住意向別にみると、住み続けたくない回答者では、「グリーンセンター」が 30.1%と 3割に達し最も高く、「たたら祭り」や「中央図書館」も 2割近くになっています。

【川口市の好きな場所、もの、行事（居住意向別）】

	全体 (n= 1,722)	住み続けたい (n= 1,463)	住み続けたくない (n= 146)	(%)
グリーンセンター	47.5	50.1	★ 30.1	
たたら祭り	32.1	34.0	● 19.2	
中央図書館	26.7	27.6	▲ 19.9	
川口総合文化センターリリア	21.8	23.3	▲ 12.3	
川口西公園（リリアパーク）	15.7	16.6	▲ 8.9	
川口緑化センター樹里安	11.6	11.8	8.2	
川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり	10.6	11.2	▲ 2.1	
川口神社	10.0	10.5	5.5	
川口市マスコット「きゅばらん」	9.1	9.4	7.5	
科学館	8.9	9.1	6.8	
川口自然公園	8.9	9.3	6.2	
SKIPシティ国際Dシネマ映画祭	8.1	8.2	4.1	
青木町平和公園	7.5	7.7	5.5	
川口マラソン	7.3	7.7	▲ 2.1	
荒川運動公園	7.1	7.6	3.4	
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	6.7	6.9	4.8	
川口オートレース場	6.3	6.4	4.1	
旧田中家住宅	5.6	5.5	4.8	
峯ヶ岡八幡神社	5.0	5.0	5.5	
ゴリラ公園	4.5	4.4	5.5	
市産品フェア	4.2	4.6	1.4	
赤山城跡（赤山陣屋跡）	4.2	4.2	5.5	
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	3.9	4.1	2.1	
地蔵院	3.1	3.3	1.4	
錫杖寺	2.7	2.8	0.7	
アートギャラリー・アトリア	2.0	2.1	0.7	
木曾呂の富士塚	1.8	1.7	2.7	
かわぐち市民パートナーステーション	1.3	1.4	0.7	
旧鎌物問屋鍋平邸	1.2	1.2	0.7	
御成坂公園	0.6	0.6	0.0	
その他	9.8	9.6	13.0	
無回答	7.5	5.7	△ 15.8	

5. 川口市自治基本条例の周知状況

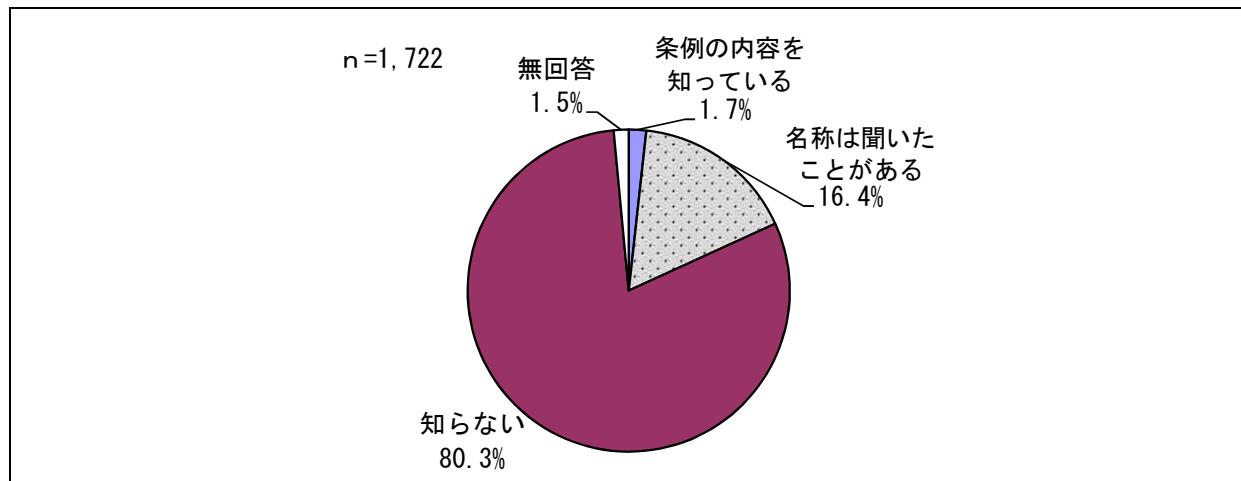
(1) 川口市自治基本条例の周知状況

問4 あなたは、「川口市自治基本条例」を知っていますか。 (○は1つ)

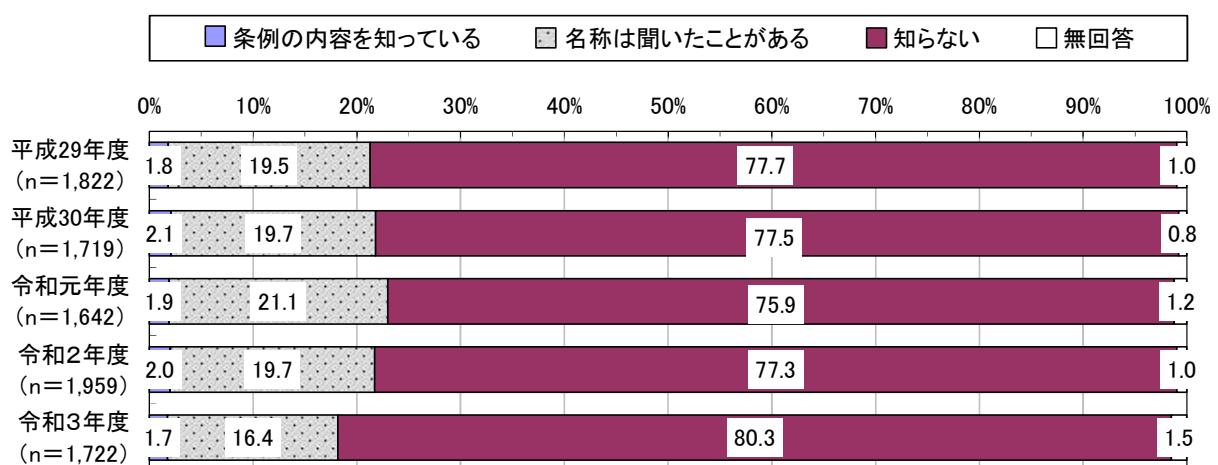
川口市自治基本条例について、「条例の内容を知っている」(1.7%)と「名称は聞いたことがある」(16.4%)を合わせた『知っている』は18.1%となっています。反対に「知らない」は80.3%と回答者の8割を占めています。

推移をみると、『知っている』は令和元年度から減少傾向にあり、令和3年度は過去5年間で最も低くなっています。反対に「知らない」は令和2年度より3ポイント上がっています。

【川口市自治基本条例の周知状況（全体）】



【周知状況の推移】



(2) 川口市自治基本条例の周知状況（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「名称を聞いたことがある」は、男性女性ともに 65 歳以上で 2 割を超えてます。

「知らない」は、男性の 59 歳以下、女性の 64 歳以下のいずれの年齢でも 8 割を超えて高く、特に男性の 18~29 歳が 92.2%、女性の 30~39 歳が 91.2% と 9 割を超えています。

【川口市自治基本条例の周知状況（性別、性・年齢別）】

	(人)	(%)			
	合計	条例の内容を 知っている	名称は聞いた ことがある	知らない	無回答
全体	1,722	1.7	16.4	80.3	1.5
男性	728	2.5	17.3	78.8	1.4
女性	932	1.1	15.7	82.0	1.3
男性	18~29歳	77	0.0	▲ 7.8	○ 92.2
	30~39歳	91	4.4	12.1	83.5
	40~49歳	160	2.5	15.6	80.6
	50~59歳	120	0.0	18.3	81.7
	60~64歳	57	△ 7.0	19.3	▲ 73.7
	65~74歳	121	2.5	△ 23.1	▲ 71.9
	75歳以上	101	3.0	△ 22.8	● 69.3
女性	18~29歳	109	0.9	13.8	85.3
	30~39歳	159	0.6	▲ 8.2	○ 91.2
	40~49歳	193	1.6	11.4	△ 86.5
	50~59歳	147	0.7	18.4	80.3
	60~64歳	61	0.0	13.1	△ 86.9
	65~74歳	153	2.0	△ 21.6	▲ 74.5
	75歳以上	109	0.9	△ 25.7	● 67.9

6. 川口市の状況や取り組みについての実感

(1) 川口市の状況や取り組みについての実感

問5 川口市の状況や取り組みについておたずねいたします。（それぞれに○は1つ）

川口市におけるまちづくりの基本的な方向性を示す23の状況や取り組みについて、報告書中では下記の表のように表記します。

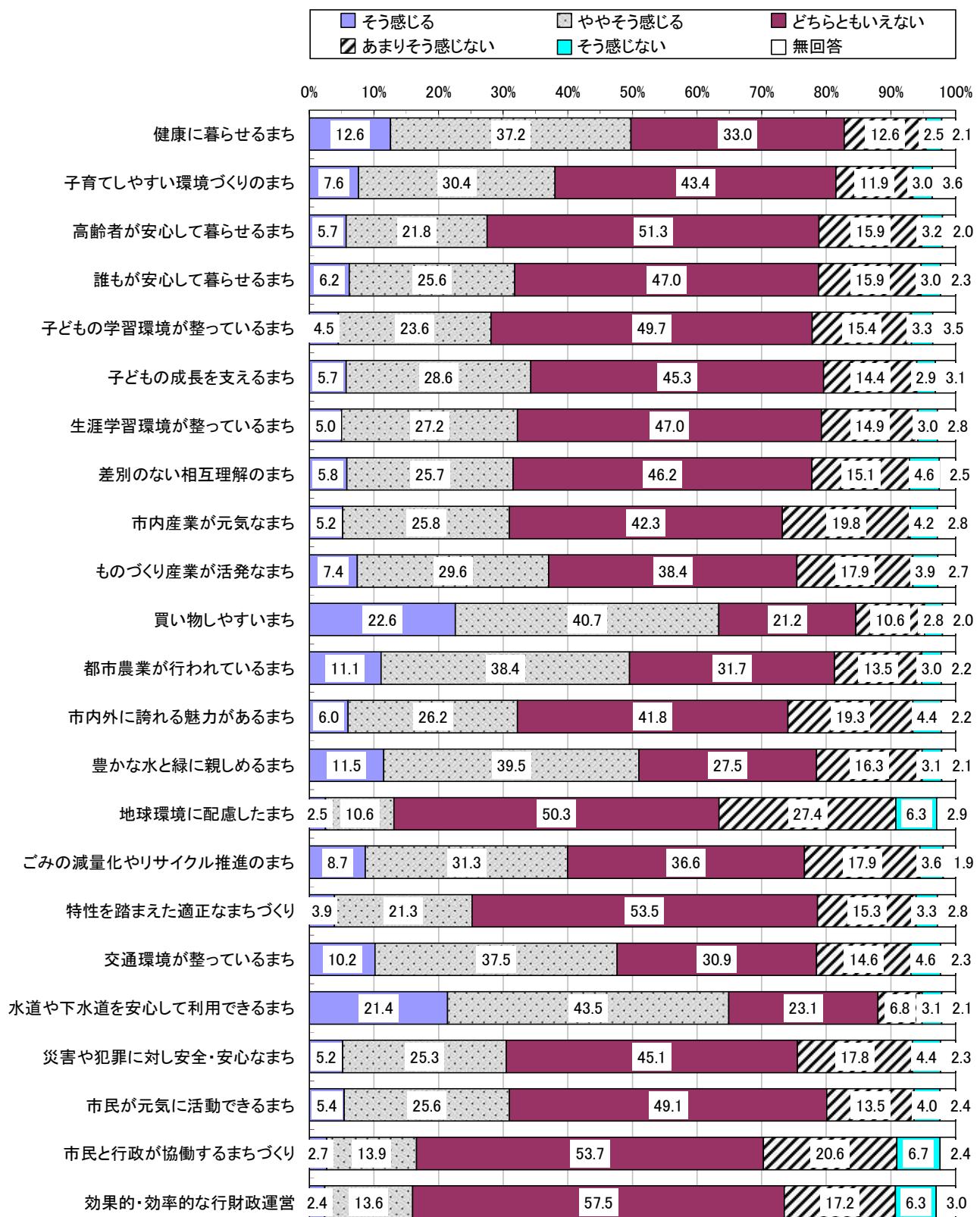
No.	まちづくりの基本的な方向性を示す状況や取り組み	報告書中の表記
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	健康に暮らせるまち
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	子育てしやすい環境づくりのまち
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	高齢者が安心して暮らせるまち
4	年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	誰もが安心して暮らせるまち
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	子どもの学習環境が整っているまち
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	子どもの成長を支えるまち
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	生涯学習環境が整っているまち
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	差別のない相互理解のまち
9	市内産業が元気なまち	市内産業が元気なまち
10	ものづくり産業が活発なまち	ものづくり産業が活発なまち
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	買い物しやすいまち
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	都市農業が行われているまち
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	市内外に誇れる魅力があるまち
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	豊かな水と緑に親しめるまち
15	温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	地球環境に配慮したまち
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	ごみの減量化やリサイクル推進のまち
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	特性を踏まえた適正なまちづくり
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	交通環境が整っているまち
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	水道や下水道を安心して利用できるまち
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	災害や犯罪に対し安全・安心なまち
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	市民が元気に活動できるまち
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	市民と行政が協働するまちづくり
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	効果的・効率的な行財政運営

川口市におけるまちづくりの基本的な方向性を示す 23 の状況や取り組みについて、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた『感じる』は、「水道や下水道を安心して利用できるまち」が 64.9%、「買い物しやすいまち」が 63.3%と 6 割を超えて高く、「豊かな水と緑に親しめるまち」も 51.0%と 5 割を超えて高くなっています。

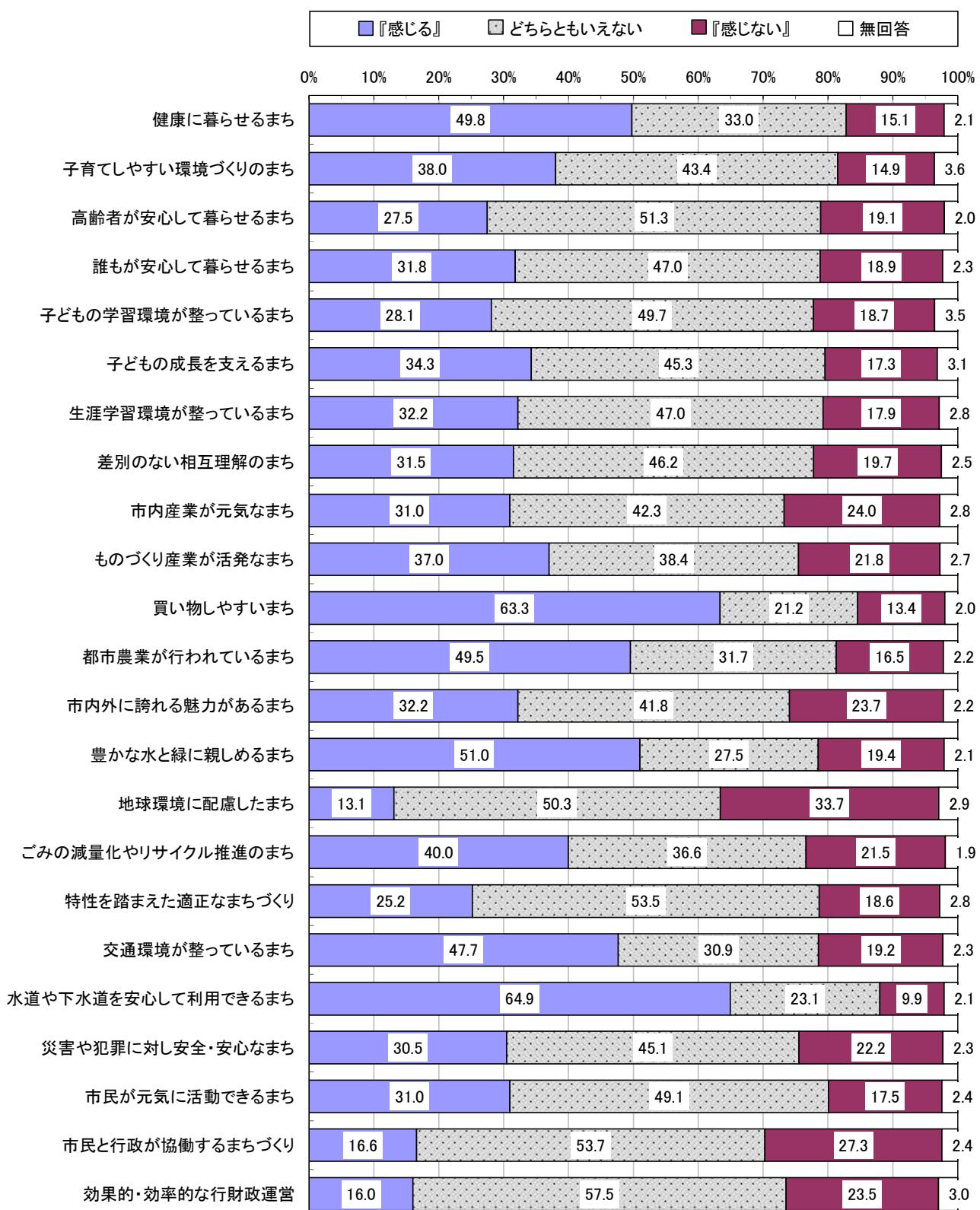
「あまりそう感じない」と「そう感じない」を合わせた『感じない』は、「地球環境に配慮したまち」が 33.7%と 3 割を超えて最も高く、次いで「市民と行政が協働するまちづくり」が 27.3%、「市内産業が元気なまち」が 24.0%と続いています。

No.	まちづくりの基本的な方向性を示す状況や取り組み	『感じる』	『感じない』
1	健康に暮らせるまち	49.8%	15.1%
2	子育てしやすい環境づくりのまち	38.0%	14.9%
3	高齢者が安心して暮らせるまち	27.5%	19.1%
4	誰もが安心して暮らせるまち	31.8%	18.9%
5	子どもの学習環境が整っているまち	28.1%	18.7%
6	子どもの成長を支えるまち	34.3%	17.3%
7	生涯学習環境が整っているまち	32.2%	17.9%
8	差別のない相互理解のまち	31.5%	19.7%
9	市内産業が元気なまち	31.0%	24.0%
10	ものづくり産業が活発なまち	37.0%	21.8%
11	買い物しやすいまち	63.3%	13.4%
12	都市農業が行われているまち	49.5%	16.5%
13	市内外に誇れる魅力があるまち	32.2%	23.7%
14	豊かな水と緑に親しめるまち	51.0%	19.4%
15	地球環境に配慮したまち	13.1%	33.7%
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	40.0%	21.5%
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	25.2%	18.6%
18	交通環境が整っているまち	47.7%	19.2%
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	64.9%	9.9%
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	30.5%	22.2%
21	市民が元気に活動できるまち	31.0%	17.5%
22	市民と行政が協働するまちづくり	16.6%	27.3%
23	効果的・効率的な行財政運営	16.0%	23.5%

【状況や取り組みについての実感（全体）】

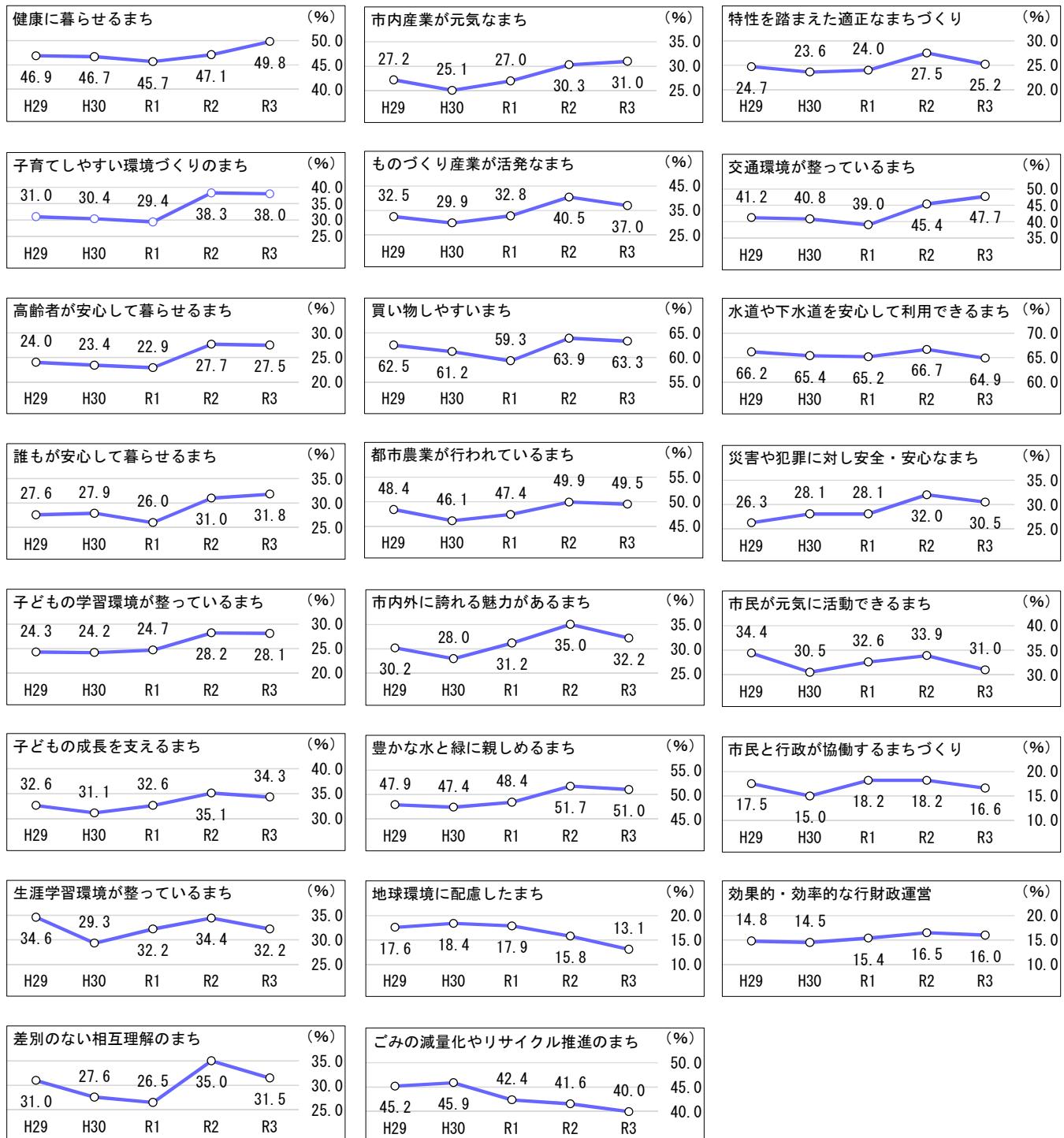


【状況や取り組みについての実感（全体・3区分）】



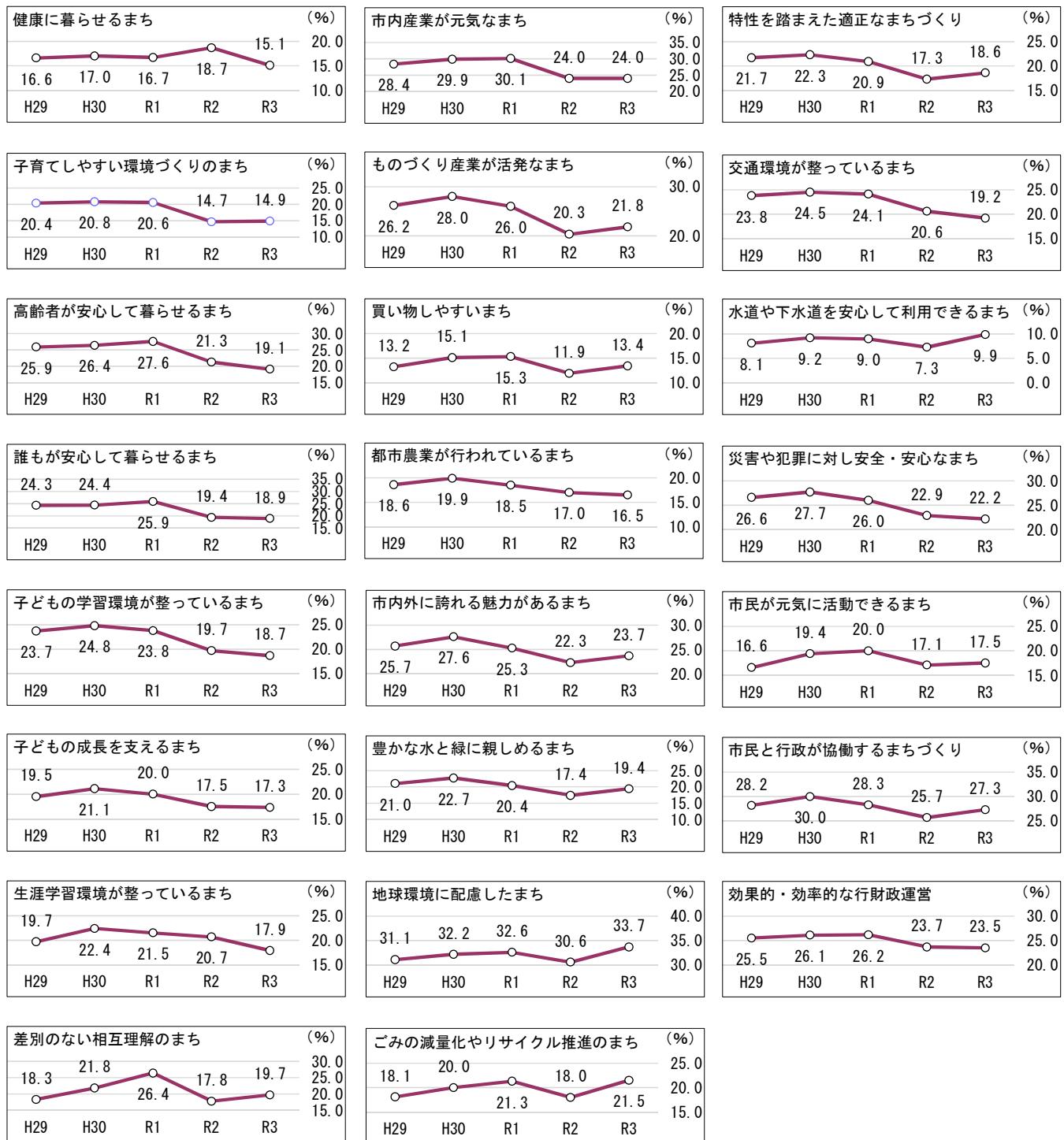
川口市におけるまちづくりの基本的な方向性を示す 23 の状況や取り組みについて、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた『感じる』の推移をみると、「健康に暮らせるまち」が 2.7 ポイント、「交通環境が整っているまち」が 2.3 ポイント上がっていますが、23 項目中 19 項目が令和 2 年度調査より下がっており、特に「差別のない相互理解のまち」と「ものづくり産業が活発なまち」はともに 3.5 ポイント、令和 2 年度調査より下がっています。

【状況や取り組みについての実感を『感じる』の推移】



川口市におけるまちづくりの基本的な方向性を示す 23 の状況や取り組みについて、「あまりそう感じない」と「そう感じない」を合わせた『感じない』の推移をみると、「健康に暮らせるまち」が 3.6 ポイント、「生涯学習環境が整っているまち」が 2.8 ポイント、「高齢者が安心して暮らせるまち」が 2.2 ポイント下がっていますが、23 項目中 12 項目が令和 2 年度調査より上がっており、特に「ごみの減量化やリサイクル推進のまち」が 3.5 ポイント、「地球環境に配慮したまち」が 3.1 ポイント、令和 2 年度調査より上がっています。

【状況や取り組みについての実感を『感じない』の推移】



(2) 状況や取り組みについての実感（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた『感じる』が 40% 以上である項目の数は、女性の 18~29 歳で 11 項目と最も多くなっています。

『感じる』の割合が 40% 以上の項目数			
男性 18~29 歳	9	女性 18~29 歳	11
男性 30~39 歳	7	女性 30~39 歳	7
男性 40~49 歳	8	女性 40~49 歳	7
男性 50~59 歳	5	女性 50~59 歳	8
男性 60~64 歳	7	女性 60~64 歳	7
男性 65~74 歳	7	女性 65~74 歳	6
男性 75 歳以上	9	女性 75 歳以上	9

「健康に暮らせるまち」は、男性の 65~74 歳が 56.2% と高くなっています。女性では 40~49 歳と 50~59 歳以外のいずれの年齢も 5 割を超えていました。

「子育てしやすい環境づくりのまち」は、男性の 30~39 歳 (48.4%) と 40~49 歳 (40.0%)、女性の 18~29 歳 (46.7%) と 30~39 歳 (47.8%) が 4 割以上を占め高くなっています。

「高齢者が安心して暮らせるまち」は、女性の 18~29 歳 (38.5%) と 75 歳以上 (36.7%)、男性の 75 歳以上 (34.7%) で 3 割を超えて高くなっています。

「誰もが安心して暮らせるまち」は、男性の 18~29 歳 (39.0%)、60~64 歳 (38.6%)、75 歳以上 (37.6%)、女性の 18~29 歳 (38.5%) が 4 割近くで高くなっています。

「子どもの学習環境が整っているまち」は、男性の 18~29 歳 (40.3%) と女性の 18~29 歳 (39.5%) が 4 割前後を占め高くなっています。

「子どもの成長を支えるまち」は、男性の 18~29 歳 (42.9%) が 4 割を超えて高く、男性の 60~64 歳 (38.6%) と 30~39 歳 (38.5%)、女性の 30~39 歳 (38.4%) も 4 割近くになっています。

「生涯学習環境が整っているまち」は、女性の 18~29 歳 (48.6%) と男性の 18~29 歳 (46.8%) が 4 割半ばを超えて高くなっています。

「差別のない相互理解のまち」は、女性の 18~29 歳 (49.6%) が約 5 割で高く、男性の 30~39 歳 (39.6%) と 18~29 歳 (39.0%) も 4 割近くを占めています。

「市内産業が元気なまち」は、男性の 30~39 歳 (37.4%)、女性の 18~29 歳 (36.7%) と 40~49 歳 (35.7%) が 3 割半ばを超えて高くなっています。

「ものづくり産業が活発なまち」は、男性の 60~64 歳 (45.7%) と女性の 50~59 歳 (44.9%) が 4 割半ば前後を占めて高く、男性の 18~29 歳 (41.6%) と 40~49 歳 (40.0%)、女性の 18~29 歳 (43.2%) と 40~49 歳 (40.9%) とも 4 割以上となっています。

「買い物しやすいまち」は、男性の 18~49 歳にかけて 7 割を超えており、特に 18~29 歳 (78.0%) では 8 割近くを占めています。また女性の 18~29 歳 (75.2%) と 30~39 歳 (70.5%) も 7 割を超えていました。

「都市農業が行われているまち」は、男性の 40～64 歳にかけてと、女性の 40 歳以上の年齢で 5 割を超えており、特に女性の 60～64 歳（59.0%）は 6 割近くを占めています。

「市内外に誇れる魅力があるまち」は、男性の 65～74 歳と女性の 50 歳以上の年齢で 3 割半ばを超えており、特に 75 歳以上（39.5%）では約 4 割を占めて高くなっています。

「豊かな水と緑に親しめるまち」は、男性の 18～39 歳と 65 歳以上、女性の 40～59 歳と 65 歳以上の年齢で 5 割を超えており、特に女性の 40～49 歳（57.0%）が最も高くなっています。

「地球環境に配慮したまち」は、男性の 75 歳以上（22.8%）以外いずれも 2 割を切っており、特に男性の 40～59 歳と女性の 50～59 歳では 1 割を切っています。

「ごみの減量化やリサイクル推進のまち」は、男性の 75 歳以上（55.4%）と女性の 75 歳以上（54.1%）が 5 割半ば前後を占めて高くなっています。

「特性を踏まえた適正なまちづくり」は、男性の 75 歳以上（34.7%）と 18～29 歳（32.5%）が 3 割を超えて高くなっています。

「交通環境が整っているまち」は、男性の 18～39 歳、女性の 18～29 歳と 50～59 歳で 5 割を超えており、特に男性の 18～29 歳（62.4%）が 6 割を超えて最も高くなっています。

「水道や下水道を安心して利用できるまち」は、男性女性ともにいずれの年代も 6 割を超えており、特に女性の 60～64 歳（77.1%）と男性の 65～74 歳（71.0%）は 7 割を超えて高くなっています。

「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」は、女性の 75 歳以上（46.8%）と男性の 75 歳以上（42.5%）が 4 割を超えて高くなっています。

「市民が元気に活動できるまち」は、男性の 75 歳以上（40.6%）と女性の 75 歳以上（40.4%）が 4 割を占めて高くなっています。

「市民と行政が協働するまちづくり」は、女性の 75 歳以上（28.4%）と男性の 75 歳以上（22.8%）が 2 割を超えており、それ以外のいずれの年齢も 2 割を切っており、特に男性の 40～49 歳（9.4%）は 1 割を切って低くなっています。

「効果的・効率的な行財政運営」は、男性の 75 歳以上（26.8%）と女性の 75 歳以上（21.1%）が 2 割を超えており、それ以外のいずれの年齢も 2 割を切っています。

【状況や取り組みについての実感（男性・年齢別）】

(%)

質問番号	質問内容	全体 (n=1,722)	男性						
			18~29歳 (n= 77)	30~39歳 (n= 91)	40~49歳 (n= 160)	50~59歳 (n= 120)	60~64歳 (n= 57)	65~74歳 (n= 121)	75歳以上 (n= 101)
1	健康に暮らせるまち	49.8	52.0	49.5	53.1	● 37.5	▲ 42.1	△ 56.2	48.6
2	子育てしやすい環境づくりのまち	38.0	36.4	○ 48.4	40.0	34.1	36.8	33.9	▲ 31.7
3	高齢者が安心して暮らせるまち	27.5	26.0	27.5	23.1	▲ 20.9	22.8	25.7	△ 34.7
4	誰もが安心して暮らせるまち	31.8	△ 39.0	31.9	33.1	30.0	△ 38.6	30.6	△ 37.6
5	子どもの学習環境が整っているまち	28.1	○ 40.3	△ 34.1	31.2	27.5	26.3	23.2	32.7
6	子どもの成長を支えるまち	34.3	△ 42.9	38.5	36.9	▲ 29.1	38.6	29.7	35.6
7	生涯学習環境が整っているまち	32.2	○ 46.8	△ 38.5	34.4	27.5	33.4	28.1	△ 38.6
8	差別のない相互理解のまち	31.5	△ 39.0	△ 39.6	33.7	31.7	▲ 26.4	● 19.9	29.7
9	市内産業が元気なまち	31.0	31.2	△ 37.4	33.1	29.2	31.6	27.3	29.8
10	ものづくり産業が活発なまち	37.0	41.6	38.5	40.0	36.7	△ 45.7	▲ 28.9	33.6
11	買い物しやすいまち	63.3	○ 78.0	△ 70.4	○ 75.7	59.1	59.7	● 51.2	★ 42.6
12	都市農業が行われているまち	49.5	● 37.7	▲ 42.9	54.4	53.4	△ 56.2	▲ 42.9	44.6
13	市内外に誇れる魅力があるまち	32.2	▲ 26.0	30.8	30.0	▲ 25.0	▲ 26.4	36.4	32.7
14	豊かな水と緑に親しめるまち	51.0	53.3	51.7	47.5	▲ 45.0	47.4	52.1	51.5
15	地球環境に配慮したまち	13.1	11.7	17.6	▲ 6.9	8.4	12.3	14.8	△ 22.8
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	40.0	● 29.9	● 26.4	● 27.5	37.5	38.6	△ 49.6	☆ 55.4
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	25.2	△ 32.5	24.2	21.3	▲ 20.0	▲ 19.3	28.9	△ 34.7
18	交通環境が整っているまち	47.7	○ 62.4	51.7	49.4	▲ 42.5	47.4	49.6	49.6
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	64.9	63.7	60.5	66.3	66.6	68.5	△ 71.0	67.3
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	30.5	33.8	● 19.8	▲ 22.5	▲ 24.2	28.1	25.6	○ 42.5
21	市民が元気に活動できるまち	31.0	31.2	34.1	▲ 23.8	▲ 24.2	28.1	29.7	△ 40.6
22	市民と行政が協働するまちづくり	16.6	19.5	18.7	▲ 9.4	18.3	12.3	17.3	△ 22.8
23	効果的・効率的な行財政運営	16.0	15.6	18.7	14.4	15.9	17.5	15.7	○ 26.8

【状況や取り組みについての実感（女性・年齢別）】

(%)

質問番号	質問内容	全体 (n=1,722)	女性						
			18~29歳 (n= 109)	30~39歳 (n= 159)	40~49歳 (n= 193)	50~59歳 (n= 147)	60~64歳 (n= 61)	65~74歳 (n= 153)	75歳以上 (n= 109)
1	健康に暮らせるまち	49.8	54.1	54.7	47.7	▲ 43.6	54.1	50.3	54.1
2	子育てしやすい環境づくりのまち	38.0	△ 46.7	△ 47.8	39.9	34.7	▲ 32.7	36.6	▲ 28.5
3	高齢者が安心して暮らせるまち	27.5	○ 38.5	29.5	27.4	23.2	26.2	26.8	△ 36.7
4	誰もが安心して暮らせるまち	31.8	△ 38.5	34.0	29.6	27.2	▲ 22.9	30.0	30.2
5	子どもの学習環境が整っているまち	28.1	○ 39.5	30.2	26.5	23.8	▲ 21.3	▲ 22.9	▲ 22.0
6	子どもの成長を支えるまち	34.3	35.8	38.4	34.7	30.6	▲ 26.2	35.3	35.8
7	生涯学習環境が整っているまち	32.2	☆ 48.6	34.6	27.5	27.8	27.8	▲ 26.8	28.4
8	差別のない相互理解のまち	31.5	☆ 49.6	35.8	31.6	▲ 25.8	▲ 23.0	29.5	30.2
9	市内産業が元気なまち	31.0	△ 36.7	33.4	35.7	34.0	26.3	▲ 22.9	▲ 25.7
10	ものづくり産業が活発なまち	37.0	△ 43.2	36.4	40.9	△ 44.9	37.7	▲ 29.4	▲ 27.5
11	買い物しやすいまち	63.3	○ 75.2	△ 70.5	△ 68.9	67.4	65.5	58.8	★ 45.9
12	都市農業が行われているまち	49.5	▲ 41.2	49.7	53.4	53.8	△ 59.0	52.9	50.5
13	市内外に誇れる魅力があるまち	32.2	28.4	30.9	30.0	36.7	△ 37.7	△ 37.9	△ 39.5
14	豊かな水と緑に親しめるまち	51.0	▲ 44.1	47.8	△ 57.0	55.8	49.2	53.6	55.1
15	地球環境に配慮したまち	13.1	13.8	10.6	12.9	8.1	18.0	17.0	14.7
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	40.0	40.4	37.1	▲ 32.6	42.1	△ 45.9	△ 49.7	○ 54.1
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	25.2	29.4	23.3	23.3	26.5	24.6	22.9	25.7
18	交通環境が整っているまち	47.7	△ 56.8	49.7	48.2	52.4	▲ 40.9	● 33.9	45.9
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	64.9	63.3	60.4	60.7	66.0	○ 77.1	64.0	66.0
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	30.5	33.1	27.0	27.5	31.3	△ 37.7	△ 36.6	☆ 46.8
21	市民が元気に活動できるまち	31.0	26.6	30.8	34.2	31.3	29.5	32.0	△ 40.4
22	市民と行政が協働するまちづくり	16.6	16.6	14.4	▲ 10.8	15.6	14.7	19.0	○ 28.4
23	効果的・効率的な行財政運営	16.0	15.6	12.0	14.0	16.3	14.7	14.4	△ 21.1

(3) 状況や取り組みについての実感（居住地域別）

居住地域別にみると、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた『感じる』が 40% 以上である項目の数は、南平地域と新郷地域で 10 項目と最も多くなっています。

『感じる』の割合が 40%以上の項目数			
中央 地 域	7	神 根 地 域	7
横曾根地域	6	芝 地 域	7
青 木 地 域	7	安 行 地 域	6
南 平 地 域	10	戸 塚 地 域	7
新 郷 地 域	10	鳩ヶ谷地域	8

「健康に暮らせるまち」は、神根地域 (54.4%)、鳩ヶ谷地域 (53.4%)、中央地域 (53.2%) が高くなっています。

「子育てしやすい環境づくりのまち」は、南平地域 (48.2%) が 5割近くを占めて高くなっています。

「高齢者が安心して暮らせるまち」は、神根地域 (32.6%)、横曾根地域 (31.4%)、新郷地域 (31.3%)、鳩ヶ谷地域 (30.1%) が 3割を超えて高くなっています。

「誰もが安心して暮らせるまち」は、新郷地域 (37.5%)、南平地域 (36.4%)、神根地域 (35.5%) が 3割半ばを超えて高くなっています。

「子どもの学習環境が整っているまち」は、中央地域 (33.4%)、南平地域 (32.2%)、横曾根地域 (31.5%)、新郷地域 (30.2%) が 3割を超えて高くなっています。

「子どもの成長を支えるまち」は、南平地域 (42.9%) が 4割を超えて高くなっています。

「生涯学習環境が整っているまち」は、横曾根地域 (38.2%) が 4割近くで高く、南平地域 (36.3%) も 3割半ばを超えています。

「差別のない相互理解のまち」は、南平地域 (38.0%)、神根地域 (37.7%)、中央地域 (35.7%) が 3割半ばを超えて高くなっています。

「市内産業が元気なまち」は、安行地域 (39.2%) が 4割近くで高く、南平地域 (37.5%)、新郷地域 (36.4%) も 3割半ばを超えています。

「ものづくり産業が活発なまち」は、南平地域 (48.2%) が 5割近くを占めて高くなっています。

「買い物しやすいまち」は、いずれの地域も 5割を越えており、特に青木地域 (68.8%) と鳩ヶ谷地域 (68.4%) が 7割近くを占めて高くなっています。

「都市農業が行われているまち」は、神根地域 (65.2%) は 6割半ばを占めて、そのほかの地域よりも高くなっています。

「市内外に誇れる魅力があるまち」は、安行地域 (44.3%) と新郷地域 (42.8%) が 4割を超えて高くなっています。

「豊かな水と緑に親しめるまち」は、安行地域（59.8%）と戸塚地域（58.0%）が6割近くで高く、新郷地域（56.3%）も5割半ばを超えています。

「地球環境に配慮したまち」は、いずれの地域も2割を切っており、特に戸塚地域（6.7%）は1割を切って最も低くなっています。

「ごみの減量化やリサイクル推進のまち」は、新郷地域（52.1%）が5割を超えて高くなっています。

「特性を踏まえた適正なまちづくり」は、南平地域（32.8%）と新郷地域（31.3%）が3割を超えて高くなっています。

「交通環境が整っているまち」は、戸塚地域（55.1%）が5割半ばを占めて最も高く、芝地域（51.4%）と横曽根地域（51.2%）も5割を超えています。反対に安行地域（28.9%）は3割を切って、そのほかの地域よりも低くなっています。

「水道や下水道を安心して利用できるまち」は、いずれの地域も5割半ばを越えており、特に南平地域（72.6%）が7割を超えて最も高くなっています。

「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」は、南平地域（34.6%）、新郷地域（34.4%）、青木地域（33.2%）が高くなっています。

「市民が元気に活動できるまち」は、南平地域（39.8%）が約4割を占めて高くなっています。

「市民と行政が協働するまちづくり」は、新郷地域（21.9%）と横曽根地域（20.3%）が2割を超えています。

「効果的・効率的な行財政運営」は、いずれの地域も2割を切っています。

【状況や取り組みについての実感（居住地域別）】

質問番号	質問内容	全体 (n=1,722)	(%)									
			中央地域 (n= 171)	横曽根地域 (n= 162)	青木地域 (n= 199)	南平地域 (n= 168)	新郷地域 (n= 96)	神根地域 (n= 138)	芝地域 (n= 206)	安行地域 (n= 97)	戸塚地域 (n= 207)	鳩ヶ谷地域 (n= 206)
1	健康に暮らせるまち	49.8	53.2	50.6	50.8	47.6	51.0	54.4	49.5	▲ 44.4	▲ 42.6	53.4
2	子育てしやすい環境づくりのまち	38.0	40.3	34.0	36.7	○ 48.2	41.7	36.2	▲ 32.0	33.0	42.5	36.0
3	高齢者が安心して暮らせるまち	27.5	24.6	31.4	22.6	27.4	31.3	△ 32.6	29.2	24.7	22.7	30.1
4	誰もが安心して暮らせるまち	31.8	33.3	34.6	29.6	36.4	△ 37.5	35.5	30.1	29.9	▲ 25.6	29.6
5	子どもの学習環境が整っているまち	28.1	△ 33.4	31.5	25.6	32.2	30.2	26.0	24.8	24.8	26.1	28.2
6	子どもの成長を支えるまち	34.3	31.0	33.3	33.1	△ 42.9	34.4	37.0	33.1	▲ 28.9	33.8	35.0
7	生涯学習環境が整っているまち	32.2	31.0	△ 38.2	35.1	36.3	29.2	30.5	31.0	27.8	31.9	29.6
8	差別のない相互理解のまち	31.5	35.7	32.1	27.1	△ 38.0	33.3	△ 37.7	33.9	▲ 25.7	28.5	▲ 26.3
9	市内産業が元気なまち	31.0	33.3	26.0	33.1	△ 37.5	△ 36.4	29.0	26.2	△ 39.2	▲ 21.2	34.5
10	ものづくり産業が活発なまち	37.0	37.4	▲ 31.5	37.1	○ 48.2	41.7	40.6	▲ 30.5	36.0	▲ 29.4	40.3
11	買い物しやすいまち	63.3	64.9	62.9	△ 68.8	60.1	▲ 55.2	64.5	62.6	● 51.6	66.7	△ 68.4
12	都市農業が行われているまち	49.5	46.8	▲ 40.1	▲ 41.2	47.6	51.1	☆ 65.2	▲ 43.2	△ 56.7	△ 57.0	54.3
13	市内外に誇れる魅力があるまち	32.2	31.5	▲ 25.9	▲ 25.1	33.4	○ 42.8	△ 39.8	28.7	○ 44.3	28.5	35.9
14	豊かな水と緑に親しめるまち	51.0	47.4	46.3	▲ 41.2	49.4	△ 56.3	○ 61.6	▲ 44.6	△ 59.8	△ 58.0	53.9
15	地球環境に配慮したまち	13.1	15.2	14.2	14.1	12.5	13.6	14.5	12.1	13.4	▲ 6.7	13.6
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	40.0	▲ 33.3	▲ 30.3	△ 45.7	42.8	○ 52.1	39.8	42.2	37.1	36.8	42.2
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	25.2	21.0	22.8	▲ 20.1	△ 32.8	△ 31.3	26.8	20.4	27.8	23.7	29.6
18	交通環境が整っているまち	47.7	44.4	51.2	46.7	45.8	45.8	46.4	51.4	★ 28.9	△ 55.1	49.5
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	64.9	65.5	64.2	66.8	△ 72.6	60.4	65.2	64.6	▲ 57.8	59.9	67.9
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	30.5	26.3	28.4	33.2	34.6	34.4	30.4	30.1	30.9	27.6	31.0
21	市民が元気に活動できるまち	31.0	▲ 24.0	33.9	34.6	△ 39.8	33.3	32.6	30.1	▲ 25.7	▲ 21.7	30.6
22	市民と行政が協働するまちづくり	16.6	12.3	20.3	19.6	18.5	△ 21.9	16.7	16.9	12.3	11.6	13.6
23	効果的・効率的な行財政運営	16.0	12.8	17.9	19.1	16.7	17.7	16.7	15.0	17.6	11.5	15.0

7. 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの

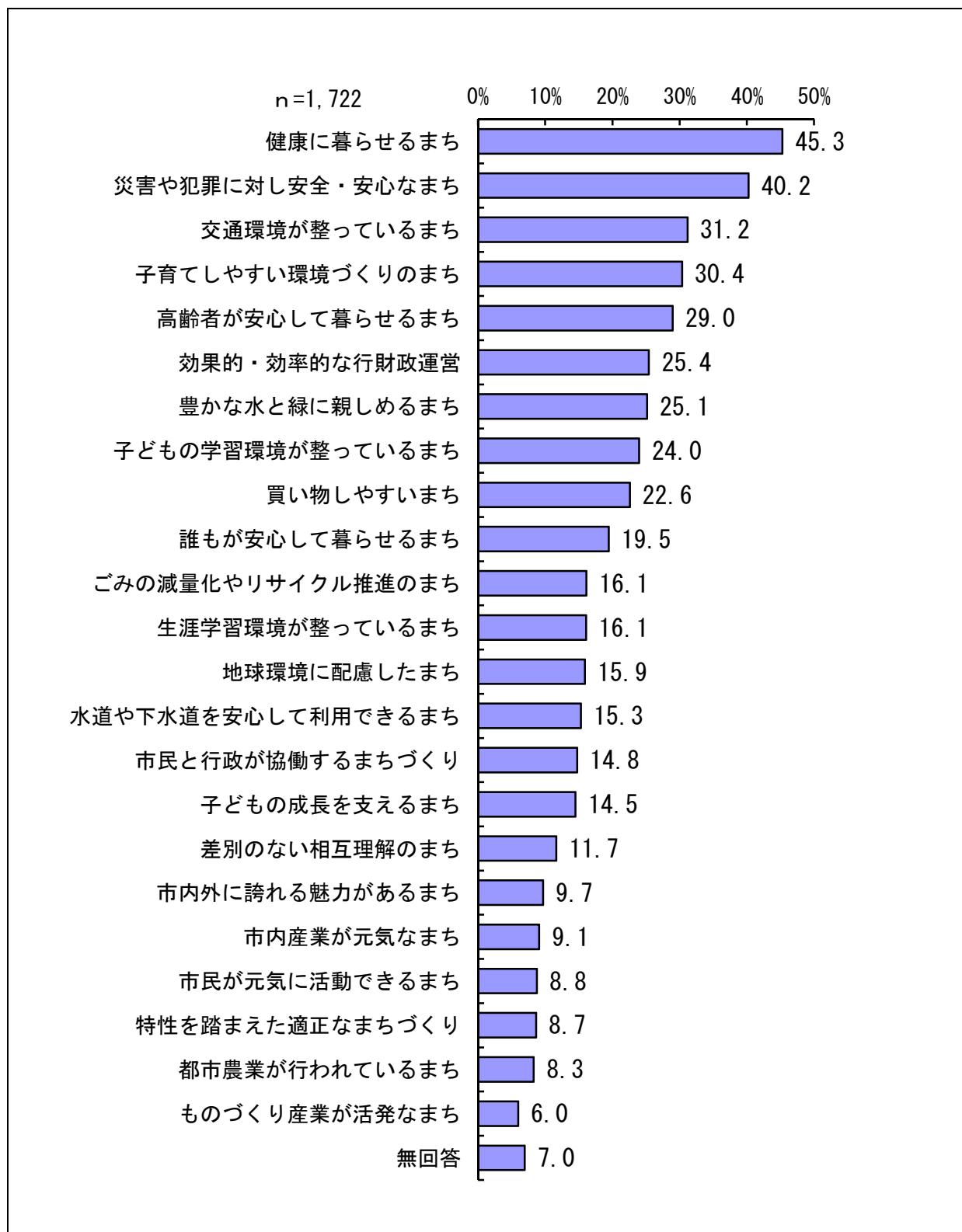
（1）今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの

問6 あなたが、川口市に今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいと感じるもの。
(○は5つ)

川口市におけるまちづくりの基本的な方向性を示す23の状況や取り組みのうち、今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいものは、「健康に暮らせるまち」(45.3%)、「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」(40.2%)、「交通環境が整っているまち」(31.2%)、「子育てしやすい環境づくりのまち」(30.4%)、「高齢者が安心して暮らせるまち」(29.0%)が上位5項目となっています。

No.	今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの	%
1	健康に暮らせるまち	45.3
2	子育てしやすい環境づくりのまち	30.4
3	高齢者が安心して暮らせるまち	29.0
4	誰もが安心して暮らせるまち	19.5
5	子どもの学習環境が整っているまち	24.0
6	子どもの成長を支えるまち	14.5
7	生涯学習環境が整っているまち	16.1
8	差別のない相互理解のまち	11.7
9	市内産業が元気なまち	9.1
10	ものづくり産業が活発なまち	6.0
11	買い物しやすいまち	22.6
12	都市農業が行われているまち	8.3
13	市内外に誇れる魅力があるまち	9.7
14	豊かな水と緑に親しめるまち	25.1
15	地球環境に配慮したまち	15.9
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	16.1
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	8.7
18	交通環境が整っているまち	31.2
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	15.3
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	40.2
21	市民が元気に活動できるまち	8.8
22	市民と行政が協働するまちづくり	14.8
23	効果的・効率的な行財政運営	25.4

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（全体）】



(2) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性別）

性別にみると、「子育てしやすい環境づくりのまち」は女性が男性を 6.7 ポイント、「健康に暮らせるまち」は 4.1 ポイント上回っています。

「市内産業が元気なまち」、「市内外に誇れる魅力があるまち」、「豊かな水と緑に親しめるまち」は、男性が女性を 4 ポイント以上上回っています。

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性別）】

質問番号	質問内容	全体 (n=1,722)	(%)	
			男性 (n= 728)	女性 (n= 932)
1	健康に暮らせるまち	45.3	43.4	47.5
2	子育てしやすい環境づくりのまち	30.4	27.1	33.8
3	高齢者が安心して暮らせるまち	29.0	28.4	29.1
4	誰もが安心して暮らせるまち	19.5	18.5	19.7
5	子どもの学習環境が整っているまち	24.0	22.3	25.8
6	子どもの成長を支えるまち	14.5	14.6	14.9
7	生涯学習環境が整っているまち	16.1	16.9	15.9
8	差別のない相互理解のまち	11.7	11.5	11.9
9	市内産業が元気なまち	9.1	11.5	7.2
10	ものづくり産業が活発なまち	6.0	7.7	4.8
11	買い物しやすいまち	22.6	20.6	24.2
12	都市農業が行われているまち	8.3	8.2	8.7
13	市内外に誇れる魅力があるまち	9.7	12.2	7.7
14	豊かな水と緑に親しめるまち	25.1	28.0	23.1
15	地球環境に配慮したまち	15.9	16.1	16.1
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	16.1	17.4	15.2
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	8.7	10.3	7.1
18	交通環境が整っているまち	31.2	29.3	32.3
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	15.3	13.5	16.6
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	40.2	41.8	39.7
21	市民が元気に活動できるまち	8.8	9.9	7.9
22	市民と行政が協働するまちづくり	14.8	15.7	14.1
23	効果的・効率的な行財政運営	25.4	26.0	24.9
	無回答	7.0	6.9	6.3

(3) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「健康に暮らせるまち」は、男性の 60～64 歳が 61.4%、女性の 60～64 歳が 59.0%と 6割前後で高くなっています。

「子育てしやすい環境づくりのまち」は、女性の 30～39 歳が 55.3%、男性の 30～39 歳が 47.3%と高くなっています。

「高齢者が安心して暮らせるまち」は、男性の 60～64 歳が 47.4%、女性の 75 歳以上が 45.0%と 4割半ば以上で高くなっています。

「子どもの学習環境が整っているまち」は、30～49 歳の女性で 4割を超えており、男性の 30～39 歳も 38.5%と高くなっています。

「子どもの成長を支えるまち」は、男性の 30～39 歳が 26.4%、女性の 30～39 歳が 25.2%と 2割半ばを超えて高くなっています。

「生涯学習環境が整っているまち」は、男性の 18～29 歳が 27.3%と 2割半ばを超えて最も高くなっています。

「交通環境が整っているまち」は、男性の 18～29 歳が 45.5%と 4割半ばを超えて最も高くなっています。

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（男性・年齢別）】

質問番号	質問内容	全体 (n=1,722)	男性 (%)						
			18～29歳 (n= 77)	30～39歳 (n= 91)	40～49歳 (n= 160)	50～59歳 (n= 120)	60～64歳 (n= 57)	65～74歳 (n= 121)	75歳以上 (n= 101)
1	健康に暮らせるまち	45.3	● 31.2	● 33.0	45.0	△ 53.3	☆ 61.4	▲ 38.8	42.6
2	子育てしやすい環境づくりのまち	30.4	32.5	☆ 47.3	31.3	27.5	▲ 24.6	● 19.0	★ 7.9
3	高齢者が安心して暮らせるまち	29.0	● 16.9	★ 7.7	▲ 22.5	32.5	☆ 47.4	○ 43.0	31.7
4	誰もが安心して暮らせるまち	19.5	23.4	▲ 14.3	19.4	17.5	15.8	19.8	17.8
5	子どもの学習環境が整っているまち	24.0	20.8	○ 38.5	△ 31.3	20.8	● 10.5	▲ 17.4	★ 8.9
6	子どもの成長を支えるまち	14.5	15.6	○ 26.4	15.6	10.8	10.5	11.6	11.9
7	生涯学習環境が整っているまち	16.1	○ 27.3	18.7	13.8	17.5	15.8	18.2	▲ 10.9
8	差別のない相互理解のまち	11.7	△ 18.2	△ 17.6	14.4	7.5	10.5	7.4	6.9
9	市内産業が元気なまち	9.1	13.0	5.5	13.1	△ 15.8	12.3	11.6	7.9
10	ものづくり産業が活発なまち	6.0	5.2	5.5	8.8	7.5	7.0	△ 13.2	4.0
11	買い物しやすいまち	22.6	△ 31.2	24.2	19.4	19.2	△ 28.1	▲ 13.2	17.8
12	都市農業が行われているまち	8.3	5.2	9.9	5.0	9.2	7.0	9.1	12.9
13	市内外に誇れる魅力があるまち	9.7	14.3	11.0	10.6	11.7	△ 15.8	10.7	△ 14.9
14	豊かな水と緑に親しめるまち	25.1	27.3	△ 33.0	△ 33.1	26.7	28.1	22.3	24.8
15	地球環境に配慮したまち	15.9	19.5	▲ 7.7	13.1	13.3	15.8	△ 25.6	17.8
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	16.1	15.6	13.2	△ 21.3	20.0	15.8	19.0	11.9
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	8.7	6.5	7.7	3.8	11.7	△ 15.8	△ 17.4	12.9
18	交通環境が整っているまち	31.2	○ 45.5	31.9	27.5	△ 39.2	28.1	▲ 21.5	★ 15.8
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	15.3	11.7	12.1	△ 20.6	▲ 9.2	▲ 8.8	14.9	10.9
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	40.2	41.6	40.7	△ 47.5	△ 46.7	△ 45.6	40.5	● 27.7
21	市民が元気に活動できるまち	8.8	13.0	8.8	3.8	7.5	△ 14.0	△ 14.0	△ 13.9
22	市民と行政が協働するまちづくり	14.8	15.6	13.2	13.1	14.2	14.0	19.8	19.8
23	効果的・効率的な行財政運営	25.4	▲ 18.2	△ 33.0	△ 31.3	23.3	24.6	28.9	▲ 17.8
	無回答	7.0	3.9	3.3	5.0	4.2	▲ 1.8	6.6	○ 21.8

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（女性・年齢別）】

質問番号	質問内容	全体 (n=1,722)	女性 (%)						
			18～29歳 (n= 109)	30～39歳 (n= 159)	40～49歳 (n= 193)	50～59歳 (n= 147)	60～64歳 (n= 61)	65～74歳 (n= 153)	75歳以上 (n= 109)
1	健康に暮らせるまち	45.3	45.0	41.5	48.2	△ 55.1	○ 59.0	48.4	▲ 39.4
2	子育てしやすい環境づくりのまち	30.4	○ 45.0	☆ 55.3	△ 39.9	▲ 22.4	31.1	▲ 21.6	★ 14.7
3	高齢者が安心して暮らせるまち	29.0	★ 12.8	★ 13.8	▲ 23.8	32.7	☆ 44.3	○ 42.5	☆ 45.0
4	誰もが安心して暮らせるまち	19.5	22.0	17.0	19.2	23.1	14.8	22.2	17.4
5	子どもの学習環境が整っているまち	24.0	28.4	☆ 40.3	☆ 40.9	▲ 17.0	★ 8.2	● 13.7	● 12.8
6	子どもの成長を支えるまち	14.5	13.8	○ 25.2	△ 20.7	▲ 8.2	9.8	10.5	▲ 9.2
7	生涯学習環境が整っているまち	16.1	18.3	14.5	17.1	20.4	14.8	14.4	▲ 10.1
8	差別のない相互理解のまち	11.7	△ 20.2	11.9	10.9	13.6	11.5	▲ 6.5	11.0
9	市内産業が元気なまち	9.1	6.4	6.3	7.8	10.2	8.2	5.2	5.5
10	ものづくり産業が活発なまち	6.0	6.4	5.7	3.1	5.4	3.3	4.6	5.5
11	買い物しやすいまち	22.6	△ 31.2	27.0	26.4	△ 29.9	21.3	▲ 14.4	▲ 17.4
12	都市農業が行われているまち	8.3	7.3	11.3	6.7	8.8	11.5	5.2	12.8
13	市内外に誇れる魅力があるまち	9.7	7.3	5.7	5.2	7.5	△ 14.8	11.8	5.5
14	豊かな水と緑に親しめるまち	25.1	26.6	28.3	24.4	28.6	▲ 19.7	● 14.4	▲ 16.5
15	地球環境に配慮したまち	15.9	15.6	▲ 9.4	10.9	16.3	△ 21.3	△ 25.5	19.3
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	16.1	18.3	▲ 10.7	13.5	16.3	14.8	16.3	19.3
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	8.7	▲ 2.8	8.8	5.7	6.8	6.6	9.2	9.2
18	交通環境が整っているまち	31.2	33.0	34.6	31.1	△ 38.8	△ 37.7	32.0	● 19.3
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	15.3	15.6	17.0	17.6	15.6	14.8	△ 20.9	11.9
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	40.2	36.7	44.0	△ 46.6	44.9	△ 49.2	▲ 32.0	★ 22.9
21	市民が元気に活動できるまち	8.8	7.3	4.4	5.2	6.8	4.9	△ 14.4	12.8
22	市民と行政が協働するまちづくり	14.8	15.6	12.6	11.9	10.2	△ 24.6	17.6	12.8
23	効果的・効率的な行財政運営	25.4	23.9	23.3	△ 32.1	25.9	23.0	23.5	▲ 16.5
	無回答	7.0	3.7	3.1	2.6	3.4	4.9	11.1	○ 18.3

(4) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（居住地域別）

居住地域別にみると、そのほかの地域に比べ、中央地域は、「買い物しやすいまち」が 35.7%、「豊かな水と緑に親しめるまち」が 30.4%、「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」が 50.3%と高くなっています。

横曽根地域は、「誰もが安心して暮らせるまち」が 26.5%、「地球環境に配慮したまち」が 21.6%と高くなっています。

青木地域は、「子育てしやすい環境づくりのまち」が 36.7%、「高齢者が安心して暮らせるまち」が 36.2%、「子どもの成長を支えるまち」が 19.6%と高くなっています。

南平地域は、「買い物しやすいまち」が 33.9%、「交通環境が整っているまち」が 40.5%と高くなっています。

新郷地域は、「高齢者が安心して暮らせるまち」が 33.3%と高くなっています。

神根地域は、「交通環境が整っているまち」が 37.7%、「市内産業が元気なまち」が 15.2%と高くなっています。

芝地域では、「子どもの成長を支えるまち」が 18.9%、「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」が 45.6%とやや高くなっています。

安行地域は、「健康に暮らせるまち」が 53.6%、「子どもの学習環境が整っているまち」が 32.0%、「交通環境が整っているまち」が 42.3%、「水道や下水道を安心して利用できるまち」が 27.8%、「効果的・効率的な行財政運営」が 33.0%と高くなっています。

戸塚地域は、「効果的・効率的な行財政運営」が 37.2%と高くなっています。

鳩ヶ谷地域は、「特性を踏まえた適正なまちづくり」が 12.1%とやや高くなっています。

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（居住地域別）】

質問番号	質問内容	全体 (n=1,722)	(%)									
			中央地域 (n= 171)	横曾根 地域 (n= 162)	青木 地域 (n= 199)	南平 地域 (n= 168)	新郷 地域 (n= 96)	神根 地域 (n= 138)	芝 地域 (n= 206)	安行 地域 (n= 97)	戸塚 地域 (n= 207)	鳩ヶ谷 地域 (n= 206)
1	健康に暮らせるまち	45.3	44.4	45.1	46.7	45.8	42.7	46.4	45.6	△ 53.6	44.9	43.2
2	子育てしやすい環境づくりのまち	30.4	27.5	▲ 24.7	△ 36.7	30.4	29.2	26.1	33.0	30.9	32.9	32.0
3	高齢者が安心して暮らせるまち	29.0	▲ 23.4	30.9	△ 36.2	28.0	33.3	30.4	▲ 22.8	30.9	25.6	31.1
4	誰もが安心して暮らせるまち	19.5	18.1	△ 26.5	16.1	17.3	19.8	22.5	21.8	19.6	17.4	18.4
5	子どもの学習環境が整っているまち	24.0	▲ 18.7	24.1	24.6	28.0	20.8	19.6	24.8	△ 32.0	27.1	23.3
6	子どもの成長を支えるまち	14.5	12.3	13.0	△ 19.6	9.5	13.5	13.0	18.9	16.5	16.4	12.6
7	生涯学習環境が整っているまち	16.1	15.8	14.8	15.1	15.5	16.7	18.1	13.1	14.4	19.8	16.0
8	差別のない相互理解のまち	11.7	10.5	10.5	12.6	13.7	11.5	13.0	11.7	7.2	13.0	11.2
9	市内産業が元気なまち	9.1	7.6	11.1	7.5	6.5	8.3	△ 15.2	9.7	5.2	9.7	9.7
10	ものづくり産業が活発なまち	6.0	5.3	4.3	6.5	4.8	7.3	6.5	4.4	3.1	8.2	7.8
11	買い物しやすいまち	22.6	○ 35.7	▲ 17.3	20.6	○ 33.9	21.9	▲ 15.9	20.9	18.6	18.4	20.9
12	都市農業が行われているまち	8.3	10.5	9.3	5.5	10.7	▲ 3.1	6.5	9.2	9.3	7.7	9.2
13	市内外に誇れる魅力があるまち	9.7	10.5	6.2	10.1	8.9	9.4	14.5	9.2	7.2	9.2	11.2
14	豊かな水と緑に親しめるまち	25.1	△ 30.4	24.7	23.6	28.0	20.8	▲ 18.1	28.2	26.8	21.3	28.2
15	地球環境に配慮したまち	15.9	16.4	△ 21.6	16.1	13.7	12.5	19.6	14.6	▲ 9.3	15.5	18.9
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	16.1	11.7	16.0	14.6	17.9	11.5	21.0	15.5	▲ 8.2	19.3	18.0
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	8.7	8.2	4.9	8.5	9.5	10.4	12.3	5.3	5.2	10.1	12.1
18	交通環境が整っているまち	31.2	33.3	29.6	28.1	△ 40.5	34.4	△ 37.7	● 20.4	○ 42.3	▲ 25.1	30.1
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	15.3	14.0	13.6	17.6	13.1	16.7	14.5	15.0	○ 27.8	15.5	12.6
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	40.2	○ 50.3	38.3	44.2	▲ 35.1	35.4	37.7	△ 45.6	▲ 34.0	38.2	41.7
21	市民が元気に活動できるまち	8.8	5.8	10.5	7.5	10.1	5.2	10.1	4.9	11.3	10.1	10.7
22	市民と行政が協働するまちづくり	14.8	12.9	17.9	12.1	13.7	13.5	15.2	16.0	16.5	18.4	10.2
23	効果的・効率的な行政運営	25.4	28.1	20.4	22.6	25.0	▲ 17.7	23.2	24.3	△ 33.0	○ 37.2	22.8
	無回答	7.0	5.3	9.9	5.5	2.4	△ 13.5	6.5	9.7	5.2	4.3	6.3

8. 川口市の都市整備に対する満足度

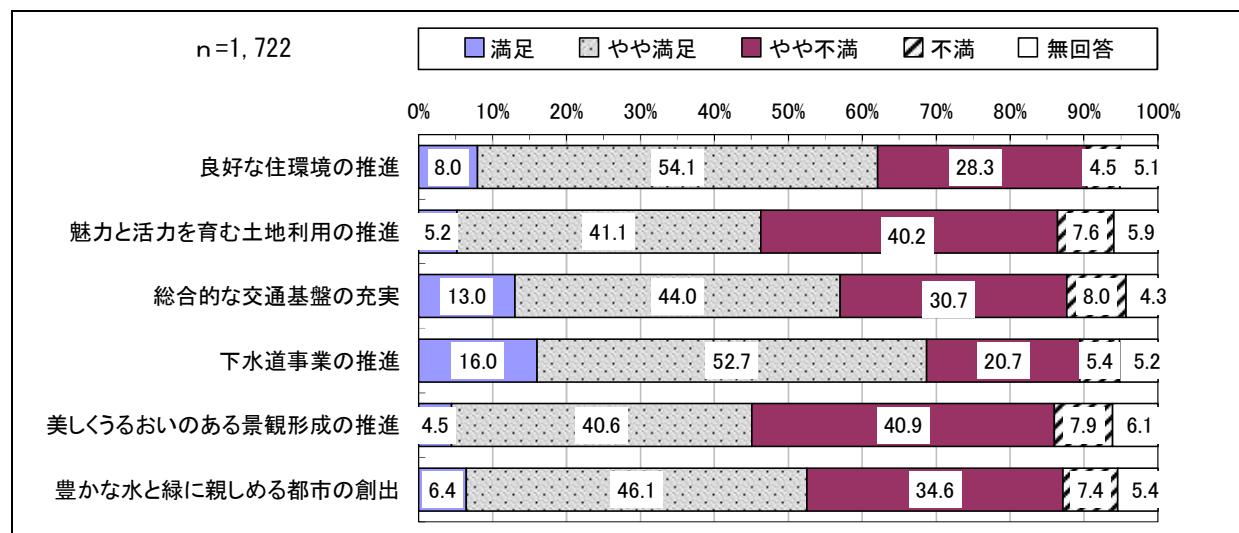
(1) 川口市の都市整備に対する満足度

問7 川口市の都市整備に対する「満足度」について、おたずねいたします。
(それぞれ○は1つ)

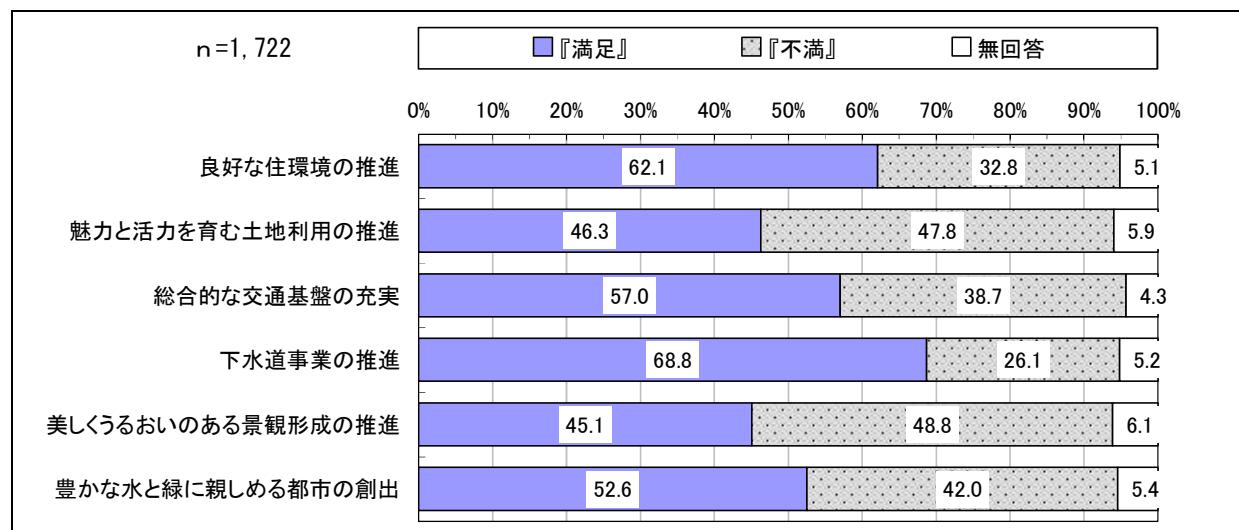
川口市の都市整備6施策に対する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「下水道事業の推進」が68.8%、「良好な住環境の推進」が62.1%と6割を超えて高く、「総合的な交通基盤の充実」(57.0%)も5割を超えています。

「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は、「美しくうるおいのある景観形成の推進」(48.8%)と「魅力と活力を育む土地利用の推進」(47.8%)が5割近くを占めて、『満足』を上回り高くなっています。

【都市整備に対する満足度（全体）】



【都市整備に対する満足度（全体・2区分）】



(2) 都市整備に対する満足度（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「良好な住環境の推進」では、男性の18～29歳が77.9%、30～39歳が72.5%と7割を超えて高くなっています。

「魅力と活力を育む土地利用の推進」では、女性の18～29歳が64.2%、男性の18～29歳が61.1%と6割を超えて高くなっています。

「総合的な交通基盤の充実」では、男性の18～29歳が76.6%と7割半ばを超えて最も高くなっています。

「下水道事業の推進」では、男性の50～59歳が79.2%と8割近くで高く、女性の18～39歳の年齢でも7割半ばを占めています。

「美しくうるおいのある景観形成の推進」では、男性女性ともに18～39歳の年齢で5割を超えて高く、特に女性の30～39歳が56.0%と5割半ばを超えています。

「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」は、男性の18～29歳が61.1%と6割を超えて最も高くなっています。

【『満足』の割合（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	男性 (%)						
		18～29歳 (n= 77)	30～39歳 (n= 91)	40～49歳 (n= 160)	50～59歳 (n= 120)	60～64歳 (n= 57)	65～74歳 (n= 121)	75歳以上 (n= 101)
良好な住環境の推進	62.1	☆ 77.9	○ 72.5	66.3	62.5	59.6	60.4	● 47.6
魅力と活力を育む土地利用の推進	46.3	○ 61.1	○ 58.2	51.3	46.6	42.1	▲ 38.9	★ 30.7
総合的な交通基盤の充実	57.0	☆ 76.6	△ 63.8	△ 64.4	57.5	57.9	57.0	● 43.6
下水道事業の推進	68.8	72.7	73.6	72.5	○ 79.2	73.7	▲ 63.6	▲ 62.4
美しくうるおいのある景観形成の推進	45.1	△ 52.0	△ 53.8	43.2	41.6	▲ 35.1	▲ 38.9	▲ 39.6
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	52.6	△ 61.1	△ 58.2	53.8	52.5	50.9	49.6	53.5

【『満足』の割合（女性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	女性 (%)						
		18～29歳 (n= 109)	30～39歳 (n= 159)	40～49歳 (n= 193)	50～59歳 (n= 147)	60～64歳 (n= 61)	65～74歳 (n= 153)	75歳以上 (n= 109)
良好な住環境の推進	62.1	△ 69.7	△ 68.6	62.2	62.6	△ 68.9	▲ 52.3	● 50.5
魅力と活力を育む土地利用の推進	46.3	☆ 64.2	△ 54.7	47.7	41.5	● 34.4	▲ 37.2	▲ 40.4
総合的な交通基盤の充実	57.0	△ 66.1	○ 67.3	58.5	53.8	54.1	★ 41.8	● 46.8
下水道事業の推進	68.8	△ 74.3	△ 74.9	68.4	72.8	68.8	▲ 58.8	▲ 60.6
美しくうるおいのある景観形成の推進	45.1	△ 53.2	○ 56.0	46.1	40.8	40.9	45.1	▲ 38.5
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	52.6	56.0	56.6	56.0	49.0	49.1	50.3	▲ 43.1

(3) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（居住地域別）

居住地域別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「良好な住環境の推進」では、南平地域が 69.0%と 7割近くで最も高くなっています。

「魅力と活力を育む土地利用の推進」では、横曾根地域が 51.9%、芝地域が 51.0%、青木地域が 50.2%と 5割を超えて高くなっています。

「総合的な交通基盤の充実」では、青木地域が 65.3%、芝地域が 65.0%と 6割半ばを占めて高くなっていますが、安行地域が 38.2%と 4割を切って低くなっています。

「下水道事業の推進」では、南平地域が 76.8%と 7割を超えて最も高くなっていますが、安行地域が 44.3%と 5割を切って低くなっています。

「美しくうるおいのある景観形成の推進」では、中央地域が 50.3%、新郷地域が 50.0%と 5割を占めて高くなっています。

「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」は、青木地域（47.2%）と南平地域（48.9%）以外のいずれの地域も 5割を越えています。

【『満足』の割合（居住地域別）】

	全体 (n=1,722)	中央 地域 (n= 171)	横曾根 地域 (n= 162)	青木 地域 (n= 199)	南平 地域 (n= 168)	新郷 地域 (n= 96)	神根 地域 (n= 138)	芝 地域 (n= 206)	安行 地域 (n= 97)	戸塚 地域 (n= 207)	鳩ヶ谷 地域 (n= 206)
良好な住環境の推進	62.1	64.3	63.6	62.8	△ 69.0	▲ 55.2	58.7	57.8	● 47.4	66.2	66.0
魅力と活力を育む土地利用の推進	46.3	49.7	△ 51.9	50.2	42.3	44.8	44.9	51.0	44.4	▲ 40.1	44.6
総合的な交通基盤の充実	57.0	59.1	58.0	△ 65.3	▲ 50.6	▲ 47.9	▲ 48.5	△ 65.0	★ 38.2	61.9	61.2
下水道事業の推進	68.8	73.7	72.8	72.4	△ 76.8	▲ 61.5	▲ 59.5	71.4	★ 44.3	68.1	73.7
美しくうるおいのある景観形成の推進	45.1	△ 50.3	48.2	44.2	40.5	50.0	46.4	44.2	44.3	45.4	42.8
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	52.6	53.8	56.8	▲ 47.2	48.9	55.2	54.3	51.4	53.6	54.6	52.4

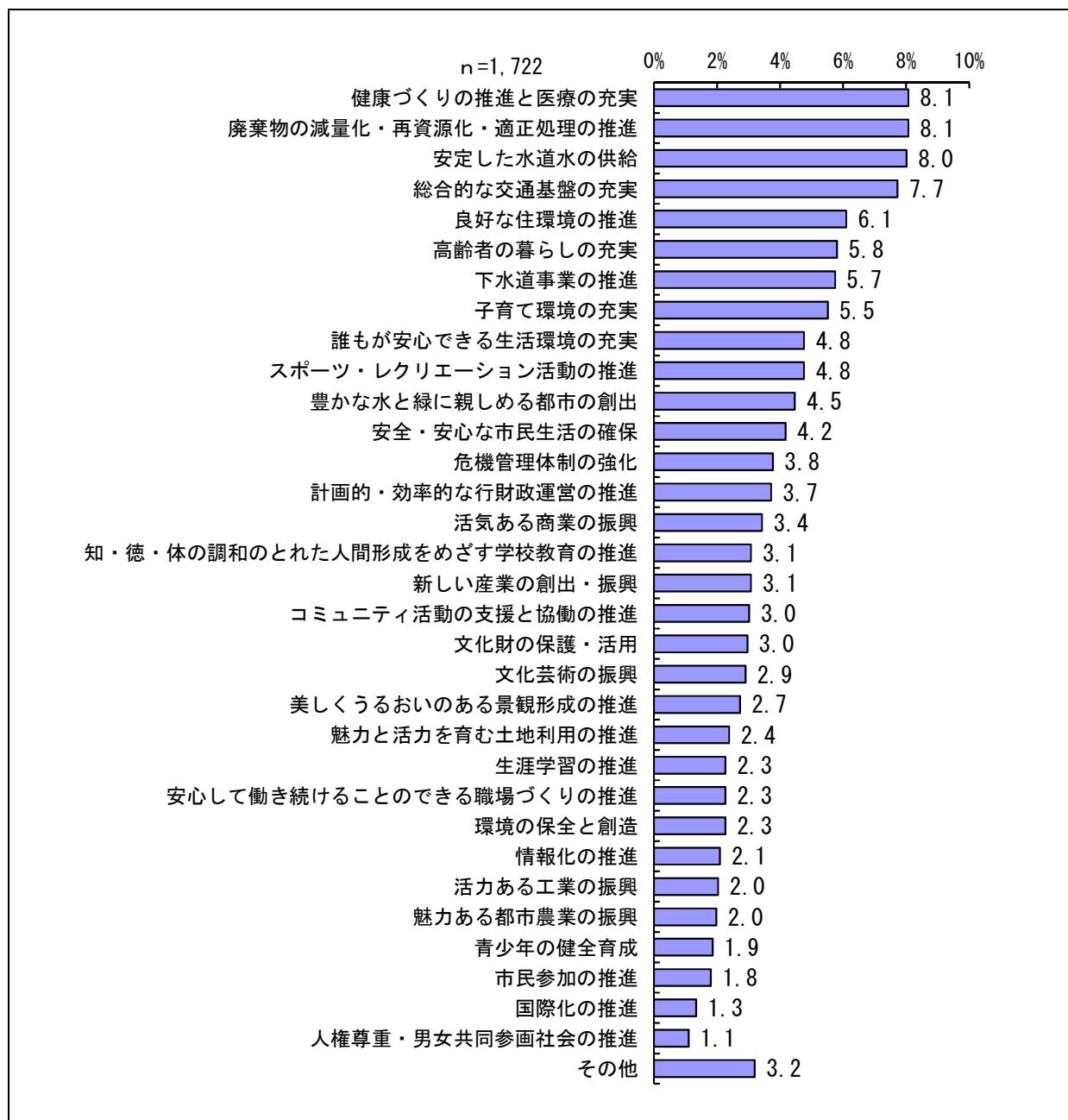
9. 合併によって良くなつたこと

(1) 合併によって良くなつたと感じること

問8 (1) 合併によって良くなつたと感じることは何ですか。 (○はいくつでも)

合併によって良くなつたと感じることは、「健康づくりの推進と医療の充実」と「廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進」(ともに8.1%)、「安定した水道水の供給」(8.0%)、「総合的な交通基盤の充実」(7.7%) の順に高くなっています。一方「わからない」は48.3%と半数近くを占めています。

【合併によって良くなつたと感じること（全体・「わからない」「無回答」除く）】



(2) 合併によって良くなつたと感じること（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「健康づくりの推進と医療の充実」は、男性の75歳以上が19.8%と2割近くで最も高くなっています。

「廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進」は、男性の75歳以上が25.7%と2割半ばを超えて最も高くなっています。

「安定した水道水の供給」は、女性の75歳以上が25.7%、男性の75歳以上が20.8%と2割を超えて高くなっています。

「高齢者の暮らしの充実」は、女性の75歳以上が18.3%と2割近くで最も高くなっています。

【合併によって良くなつたと感じること（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	男性 (%)						
		18~29歳 (n= 77)	30~39歳 (n= 91)	40~49歳 (n= 160)	50~59歳 (n= 120)	60~64歳 (n= 57)	65~74歳 (n= 121)	75歳以上 (n= 101)
健康づくりの推進と医療の充実	8.1	6.5	8.8	4.4	5.0	7.0	△ 13.2	○ 19.8
廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進	8.1	▲ 1.3	▲ 1.1	7.5	9.2	8.8	△ 17.4	☆ 25.7
安定した水道水の供給	8.0	3.9	3.3	4.4	6.7	▲ 1.8	△ 15.7	○ 20.8
総合的な交通基盤の充実	7.7	6.5	4.4	10.0	7.5	△ 14.0	△ 13.2	10.9
良好な住環境の推進	6.1	7.8	9.9	5.0	8.3	5.3	5.0	6.9
高齢者の暮らしの充実	5.8	3.9	3.3	▲ 0.6	4.2	3.5	9.1	△ 14.9
下水道事業の推進	5.7	3.9	3.3	5.0	5.8	7.0	△ 11.6	△ 12.9
子育て環境の充実	5.5	6.5	7.7	4.4	3.3	1.8	6.6	4.0
誰もが安心できる生活環境の充実	4.8	9.1	3.3	4.4	3.3	5.3	5.0	8.9
スポーツ・レクリエーション活動の推進	4.8	△ 10.4	4.4	2.5	6.7	8.8	△ 10.7	8.9
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	4.5	6.5	3.3	2.5	3.3	5.3	4.1	△ 10.9
安全・安心な市民生活の確保	4.2	2.6	3.3	1.9	5.8	1.8	3.3	△ 9.9
危機管理体制の強化	3.8	2.6	3.3	4.4	5.8	5.3	7.4	△ 9.9
計画的・効率的な行財政運営の推進	3.7	2.6	5.5	4.4	4.2	7.0	△ 9.1	7.9
活気ある商業の振興	3.4	5.2	5.5	2.5	3.3	7.0	0.0	5.9
知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざす学校教育の推進	3.1	2.6	3.3	0.6	4.2	3.5	1.7	4.0
新しい産業の創出・振興	3.1	2.6	4.4	4.4	2.5	3.5	0.8	7.9
コミュニティ活動の支援と協働の推進	3.0	3.9	3.3	0.6	2.5	1.8	4.1	5.9
文化財の保護・活用	3.0	2.6	2.2	1.9	0.8	7.0	2.5	6.9
文化芸術の振興	2.9	5.2	2.2	0.6	0.0	3.5	5.8	5.9
美しくうるおいのある景観形成の推進	2.7	2.6	2.2	1.3	2.5	5.3	1.7	4.0
魅力と活力を育む土地利用の推進	2.4	3.9	1.1	3.1	1.7	5.3	3.3	5.0
生涯学習の推進	2.3	1.3	0.0	0.6	0.8	0.0	5.0	5.9
安心して働き続けることのできる職場づくりの推進	2.3	2.6	2.2	0.0	3.3	7.0	0.0	4.0
環境の保全と創造	2.3	1.3	2.2	1.9	3.3	0.0	6.6	4.0
情報化の推進	2.1	6.5	2.2	1.3	2.5	3.5	1.7	4.0
活力ある工業の振興	2.0	3.9	3.3	1.3	1.7	5.3	1.7	5.0
魅力ある都市農業の振興	2.0	△ 7.8	2.2	2.5	0.8	3.5	1.7	2.0
青少年の健全育成	1.9	1.3	0.0	0.0	2.5	0.0	2.5	△ 7.9
市民参加の推進	1.8	1.3	1.1	0.0	0.8	5.3	2.5	5.0
国際化の推進	1.3	3.9	3.3	0.6	1.7	1.8	0.0	2.0
人権尊重・男女共同参画社会の推進	1.1	3.9	2.2	0.0	0.8	0.0	1.7	2.0
その他	3.2	3.9	4.4	2.5	4.2	△ 8.8	4.1	4.0
わからない	48.3	○ 58.4	52.7	50.6	51.7	▲ 40.4	● 34.7	★ 21.8
無回答	10.6	9.1	9.9	8.8	▲ 5.0	8.8	10.7	△ 19.8

【合併によって良くなつたと感じること（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,722)	女性						
		18~29歳 (n= 109)	30~39歳 (n= 159)	40~49歳 (n= 193)	50~59歳 (n= 147)	60~64歳 (n= 61)	65~74歳 (n= 153)	75歳以上 (n= 109)
健康づくりの推進と医療の充実	8.1	7.3	6.9	6.2	4.8	6.6	7.2	12.8
廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進	8.1	▲ 0.0	▲ 1.9	4.1	4.1	9.8	10.5	△ 17.4
安定した水道水の供給	8.0	3.7	▲ 2.5	▲ 1.6	▲ 1.4	6.6	△ 17.0	☆ 25.7
総合的な交通基盤の充実	7.7	7.3	6.3	3.6	6.1	8.2	6.5	9.2
良好な住環境の推進	6.1	11.0	4.4	5.7	4.8	8.2	5.2	4.6
高齢者の暮らしの充実	5.8	8.3	3.1	3.1	3.4	1.6	5.2	○ 18.3
下水道事業の推進	5.7	2.8	1.9	2.6	2.7	3.3	10.5	10.1
子育て環境の充実	5.5	5.5	△ 10.7	8.8	4.8	4.9	2.0	1.8
誰もが安心できる生活環境の充実	4.8	4.6	4.4	3.1	4.1	1.6	4.6	9.2
スポーツ・レクリエーション活動の推進	4.8	2.8	2.5	2.1	2.7	1.6	3.3	6.4
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	4.5	3.7	1.9	0.5	3.4	1.6	5.9	△ 13.8
安全・安心な市民生活の確保	4.2	5.5	4.4	3.6	2.7	4.9	2.0	9.2
危機管理体制の強化	3.8	1.8	0.6	2.1	0.7	3.3	5.2	2.8
計画的・効率的な行財政運営の推進	3.7	5.5	0.0	1.0	4.1	1.6	2.0	2.8
活気ある商業の振興	3.4	3.7	5.0	4.7	1.4	4.9	1.3	1.8
知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざす学校教育の推進	3.1	2.8	1.9	3.1	2.7	4.9	3.9	6.4
新しい産業の創出・振興	3.1	1.8	3.8	1.0	2.7	△ 9.8	2.6	1.8
コミュニティ活動の支援と協働の推進	3.0	3.7	3.8	3.6	3.4	1.6	3.3	1.8
文化財の保護・活用	3.0	1.8	1.3	2.6	4.8	3.3	4.6	2.8
文化芸術の振興	2.9	2.8	1.9	1.0	3.4	3.3	3.3	3.7
美しくうるおいのある景観形成の推進	2.7	2.8	1.3	4.7	1.4	4.9	3.9	1.8
魅力と活力を育む土地利用の推進	2.4	3.7	2.5	1.0	0.7	3.3	2.0	0.9
生涯学習の推進	2.3	0.9	1.3	1.0	2.0	1.6	5.2	4.6
安心して働き続けることのできる職場づくりの推進	2.3	1.8	0.6	1.0	2.0	6.6	1.3	2.8
環境の保全と創造	2.3	0.9	1.9	0.5	0.7	4.9	2.6	1.8
情報化の推進	2.1	0.9	0.6	2.6	0.7	1.6	2.6	2.8
活力ある工業の振興	2.0	0.9	2.5	2.6	0.0	1.6	1.3	1.8
魅力ある都市農業の振興	2.0	0.9	1.9	1.6	0.7	1.6	2.0	2.8
青少年の健全育成	1.9	0.9	0.0	2.1	0.7	1.6	3.3	3.7
市民参加の推進	1.8	3.7	0.0	2.1	0.7	1.6	2.0	1.8
国際化の推進	1.3	1.8	1.9	1.0	1.4	0.0	0.0	1.8
人権尊重・男女共同参画社会の推進	1.1	0.9	1.9	0.5	0.0	0.0	1.3	1.8
その他	3.2	0.9	3.1	1.6	7.5	8.2	0.0	0.0
わからない	48.3	52.3	○ 62.3	○ 59.1	△ 53.7	45.9	48.4	★ 29.4
無回答	10.6	9.2	6.3	7.3	▲ 4.8	9.8	13.1	○ 22.0

(3) 合併によって良くなつたと感じること（居住地域別）

居住地域別にみると、「健康づくりの推進と医療の充実」は、鳩ヶ谷地域が 18.9%と 2割近くで最も高くなっています。

「廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進」は、新郷地域が 16.7%と 1割半ばを超えて最も高くなっています。

「高齢者の暮らしの充実」は、鳩ヶ谷地域が 11.2%と 1割を超えて最も高くなっています。

「子育て環境の充実」は、新郷地域が 10.4%と 1割を超えて最も高くなっています。

【合併によって良くなつたと感じること（居住地域別）】

	全体 (n=1,722)	中央 地域 (n= 171)	横曽根 地域 (n= 162)	青木 地域 (n= 199)	南平 地域 (n= 168)	新郷 地域 (n= 96)	神根 地域 (n= 138)	芝 地域 (n= 206)	安行 地域 (n= 97)	戸塚 地域 (n= 207)	鳩ヶ谷 地域 (n= 206)	(%)
健康づくりの推進と医療の充実	8.1	4.7	9.9	6.0	6.5	9.4	7.2	4.9	9.3	4.3	○ 18.9	
廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進	8.1	4.7	11.7	8.0	8.3	△ 16.7	6.5	4.4	10.3	▲ 2.9	△ 13.6	
安定した水道水の供給	8.0	5.3	9.9	8.0	9.5	10.4	7.2	7.8	6.2	5.3	10.7	
総合的な交通基盤の充実	7.7	5.3	7.4	8.0	7.1	6.3	8.7	9.7	7.2	7.2	9.7	
良好な住環境の推進	6.1	7.0	5.6	6.5	4.8	8.3	2.9	6.8	5.2	6.8	7.3	
高齢者の暮らしの充実	5.8	4.7	4.9	4.5	4.8	6.3	5.8	4.9	4.1	6.3	△ 11.2	
下水道事業の推進	5.7	4.1	6.2	5.5	6.0	8.3	4.3	4.9	5.2	4.8	8.3	
子育て環境の充実	5.5	5.3	4.9	6.0	4.8	10.4	5.1	2.4	2.1	5.8	7.3	
誰もが安心できる生活環境の充実	4.8	5.3	8.0	8.0	3.0	7.3	6.5	1.9	3.1	1.0	4.9	
スポーツ・レクリエーション活動の推進	4.8	2.9	4.9	3.0	3.6	7.3	8.7	4.9	3.1	2.4	6.8	
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	4.5	4.7	4.3	6.0	1.8	5.2	6.5	3.9	5.2	2.4	6.3	
安全・安心な市民生活の確保	4.2	1.8	6.8	3.5	2.4	4.2	4.3	4.4	4.1	5.3	5.8	
危機管理体制の強化	3.8	2.3	2.5	2.5	1.8	5.2	3.6	4.4	5.2	2.9	8.3	
計画的・効率的な行財政運営の推進	3.7	2.9	6.2	2.5	1.8	6.3	5.8	2.9	2.1	4.3	3.4	
活気ある商業の振興	3.4	4.1	2.5	2.0	6.0	7.3	3.6	1.9	3.1	1.9	4.4	
知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざす学校教育の推進	3.1	0.6	1.9	3.5	4.2	5.2	4.3	1.0	5.2	1.4	5.3	
新しい産業の創出・振興	3.1	2.9	1.2	2.5	4.8	3.1	5.1	2.4	4.1	1.4	3.9	
コミュニティ活動の支援と協働の推進	3.0	2.3	4.9	1.5	4.8	4.2	4.3	3.4	0.0	1.0	4.9	
文化財の保護・活用	3.0	1.8	3.1	3.0	4.2	4.2	3.6	3.9	2.1	2.9	1.5	
文化芸術の振興	2.9	4.1	1.2	3.0	3.6	2.1	2.9	1.9	7.2	1.4	2.9	
美しくうるおいのある景観形成の推進	2.7	2.9	1.9	2.0	2.4	4.2	4.3	2.9	4.1	3.4	1.9	
魅力と活力を育む土地利用の推進	2.4	2.3	1.9	2.0	3.0	△ 8.3	1.4	1.9	2.1	1.9	2.4	
生涯学習の推進	2.3	1.2	3.7	3.5	0.6	0.0	2.9	1.9	1.0	1.0	5.3	
安心して働き続けることのできる職場づくりの推進	2.3	1.2	1.2	2.0	3.0	4.2	3.6	3.4	3.1	0.5	1.9	
環境の保全と創造	2.3	2.9	2.5	1.0	1.8	2.1	2.9	3.4	3.1	0.5	2.4	
情報化の推進	2.1	0.6	1.2	2.0	3.0	0.0	2.2	0.0	1.0	1.4	△ 7.3	
活力ある工業の振興	2.0	1.8	2.5	0.5	3.0	4.2	1.4	1.5	2.1	1.4	2.4	
魅力ある都市農業の振興	2.0	2.9	3.7	1.0	2.4	2.1	1.4	2.9	1.0	0.5	1.5	
青少年の健全育成	1.9	0.0	1.2	3.0	3.0	4.2	1.4	1.9	2.1	0.5	1.9	
市民参加の推進	1.8	0.6	3.7	0.5	1.8	4.2	2.9	1.0	0.0	2.4	1.9	
国際化的推進	1.3	2.3	2.5	0.0	2.4	0.0	0.0	1.9	1.0	1.0	1.0	
人権尊重・男女共同参画社会の推進	1.1	1.8	2.5	1.0	0.6	4.2	0.7	1.0	1.0	0.0	0.5	
その他	3.2	2.3	4.3	2.0	4.8	3.1	3.6	1.9	6.2	3.4	2.9	
わからない	48.3	△ 57.3	50.0	50.8	47.6	▲ 41.7	49.3	52.9	44.3	△ 53.6	▲ 38.3	
無回答	10.6	10.5	12.3	7.5	8.9	13.5	8.0	10.2	12.4	11.1	8.7	

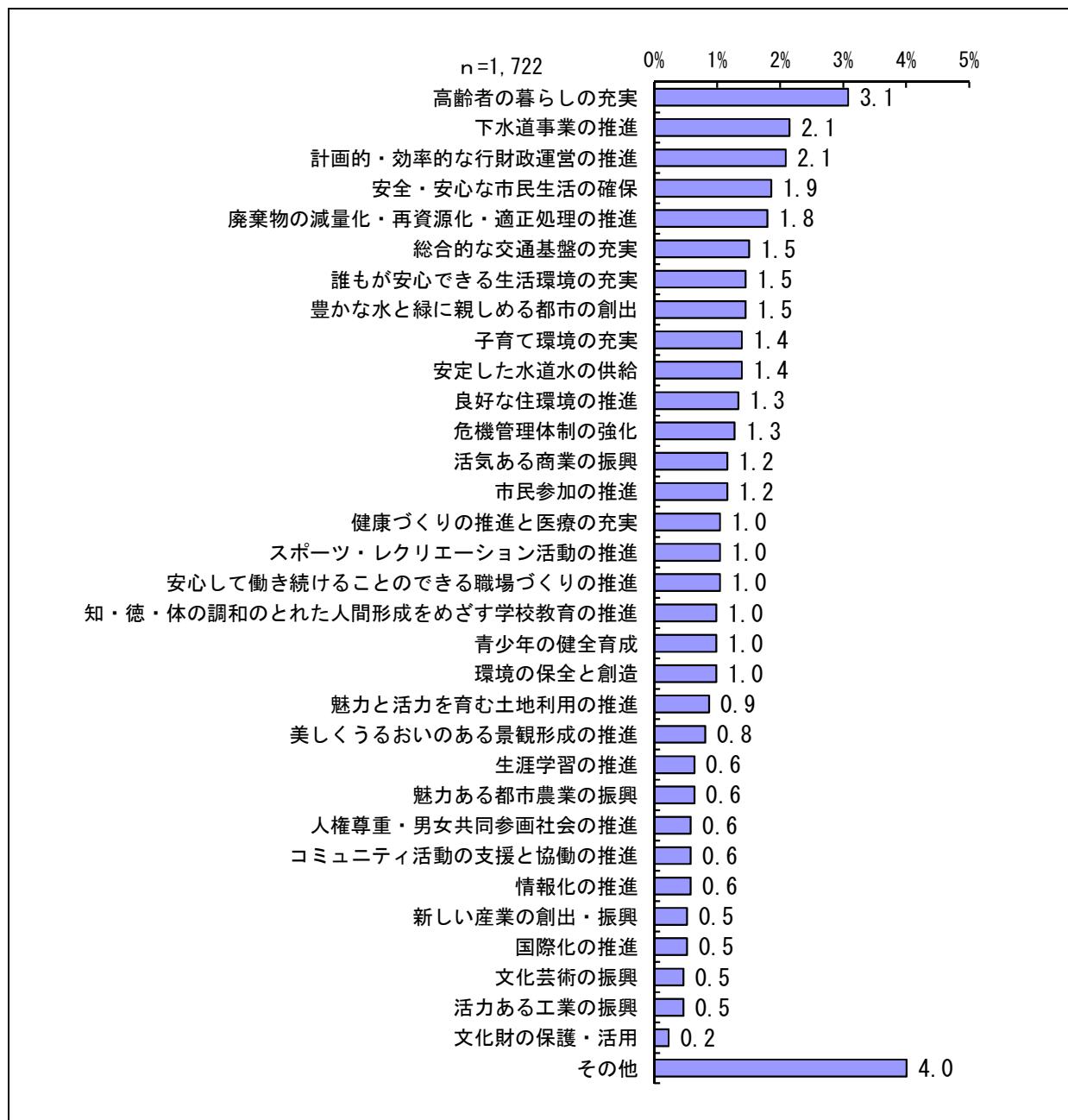
10. 合併によって悪くなったこと

(1) 合併によって悪くなったと感じること

問8 (2) 合併によって悪くなったと感じることは何ですか。 (○はいくつでも)

合併によって悪くなったと感じることは、「その他」が4.0%と最も高く、次いで「高齢者の暮らしの充実」(3.1%)、「下水道事業の推進」と「計画的・効率的な行財政運営の推進」(ともに2.1%)と続いていますが、いずれの項目も1割を切っています。一方「わからない」は69.1%と7割近くを占めています。

【合併によって悪になったと感じること（全体・「わからない」「無回答」除く）】



(2) 合併によって悪くなつたと感じること（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「高齢者の暮らしの充実」は、男性の65～74歳が11.6%、75歳以上が6.9%、女性の65～74歳が5.9%、75歳以上が4.6%と高くなっています。

「計画的・効率的な行財政運営の推進」は、男性の40～49歳が4.4%とそのほかの年代よりもやや高くなっています。

「総合的な交通基盤の充実」は、女性の65～74歳が4.6%とやや高くなっています。

「安全・安心な市民生活の確保」は、男性の75歳以上が5.9%とそのほかの年代よりもやや高くなっています。

【合併によって悪くなつたと感じること（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	男性 (%)						
		18～29歳 (n= 77)	30～39歳 (n= 91)	40～49歳 (n= 160)	50～59歳 (n= 120)	60～64歳 (n= 57)	65～74歳 (n= 121)	75歳以上 (n= 101)
高齢者の暮らしの充実	3.1	2.6	1.1	1.3	1.7	1.8	△ 11.6	6.9
下水道事業の推進	2.1	3.9	1.1	1.3	1.7	0.0	5.0	2.0
計画的・効率的な行財政運営の推進	2.1	2.6	1.1	4.4	2.5	3.5	3.3	3.0
安全・安心な市民生活の確保	1.9	2.6	2.2	2.5	1.7	0.0	1.7	5.9
廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進	1.8	2.6	3.3	1.9	0.8	1.8	0.8	2.0
総合的な交通基盤の充実	1.5	0.0	3.3	1.3	0.0	1.8	2.5	2.0
誰もが安心できる生活環境の充実	1.5	2.6	1.1	1.3	0.8	0.0	1.7	3.0
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	1.5	2.6	1.1	0.6	0.0	1.8	0.8	4.0
子育て環境の充実	1.4	1.3	2.2	1.3	0.8	3.5	0.8	2.0
安定した水道水の供給	1.4	1.3	0.0	1.9	0.8	3.5	3.3	3.0
良好な住環境の推進	1.3	1.3	1.1	2.5	0.8	0.0	1.7	3.0
危機管理体制の強化	1.3	0.0	1.1	2.5	3.3	1.8	0.8	4.0
活気ある商業の振興	1.2	1.3	0.0	1.3	2.5	3.5	0.8	3.0
市民参加の推進	1.2	1.3	0.0	0.6	0.8	5.3	0.8	4.0
健康づくりの推進と医療の充実	1.0	0.0	0.0	0.6	0.0	3.5	1.7	3.0
スポーツ・レクリエーション活動の推進	1.0	0.0	2.2	1.3	1.7	1.8	0.8	3.0
安心して働き続けることのできる職場づくりの推進	1.0	1.3	1.1	0.6	0.0	1.8	2.5	3.0
知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざす学校教育の推進	1.0	1.3	2.2	0.6	0.8	3.5	0.0	1.0
青少年の健全育成	1.0	0.0	1.1	1.3	0.8	5.3	0.8	2.0
環境の保全と創造	1.0	0.0	0.0	0.6	0.0	3.5	0.8	2.0
魅力と活力を育む土地利用の推進	0.9	2.6	0.0	3.1	0.0	0.0	1.7	3.0
美しくうるおいのある景観形成の推進	0.8	0.0	1.1	1.9	0.0	0.0	0.8	4.0
生涯学習の推進	0.6	2.6	0.0	0.6	0.8	1.8	0.0	1.0
魅力ある都市農業の振興	0.6	0.0	1.1	0.6	0.8	0.0	1.7	2.0
人権尊重・男女共同参画社会の推進	0.6	1.3	1.1	1.3	0.0	3.5	0.0	2.0
コミュニティ活動の支援と協働の推進	0.6	1.3	0.0	0.6	0.8	1.8	0.8	1.0
情報化の推進	0.6	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	0.8	1.0
新しい産業の創出・振興	0.5	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	3.0
国際化の推進	0.5	0.0	1.1	1.3	0.0	3.5	0.8	0.0
文化芸術の振興	0.5	2.6	0.0	0.6	0.8	0.0	0.0	1.0
活力ある工業の振興	0.5	1.3	0.0	1.3	0.8	0.0	0.8	2.0
文化財の保護・活用	0.2	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	1.0
その他	4.0	5.2	3.3	3.8	3.3	7.0	6.6	4.0
わからない	69.1	△ 77.9	69.2	69.4	△ 77.5	66.7	● 56.2	★ 44.6
無回答	14.1	9.1	13.2	12.5	▲ 7.5	▲ 8.8	17.4	○ 26.7

【合併によって悪くなったと感じること（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,722)	女性						
		18~29歳 (n= 109)	30~39歳 (n= 159)	40~49歳 (n= 193)	50~59歳 (n= 147)	60~64歳 (n= 61)	65~74歳 (n= 153)	75歳以上 (n= 109)
高齢者の暮らしの充実	3.1	0.9	0.6	1.0	2.0	1.6	5.9	4.6
下水道事業の推進	2.1	0.0	1.3	0.5	2.0	3.3	2.0	5.5
計画的・効率的な行財政運営の推進	2.1	0.0	0.6	1.0	1.4	1.6	2.0	1.8
安全・安心な市民生活の確保	1.9	0.9	0.6	1.6	1.4	1.6	1.3	1.8
廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進	1.8	1.8	0.6	1.6	2.0	1.6	2.6	2.8
総合的な交通基盤の充実	1.5	0.9	0.6	1.6	0.0	1.6	4.6	0.9
誰もが安心できる生活環境の充実	1.5	0.9	0.0	1.0	1.4	0.0	2.6	2.8
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	1.5	0.0	1.3	1.0	1.4	0.0	2.0	3.7
子育て環境の充実	1.4	0.0	1.9	1.6	1.4	0.0	1.3	0.9
安定した水道水の供給	1.4	0.0	0.0	0.5	1.4	1.6	2.0	1.8
良好な住環境の推進	1.3	0.0	0.0	1.6	0.7	1.6	2.0	0.9
危機管理体制の強化	1.3	0.0	0.0	1.6	0.0	1.6	1.3	0.9
活気ある商業の振興	1.2	0.0	0.6	0.5	0.7	0.0	2.0	0.9
市民参加の推進	1.2	0.9	0.0	1.0	0.7	1.6	2.0	0.9
健康づくりの推進と医療の充実	1.0	0.0	0.6	1.0	0.7	0.0	2.6	0.9
スポーツ・レクリエーション活動の推進	1.0	0.0	0.0	1.0	0.7	0.0	0.7	2.8
安心して働き続けることのできる職場づくりの推進	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.8
知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざす学校教育の推進	1.0	0.9	0.0	1.6	0.7	1.6	0.7	1.8
青少年の健全育成	1.0	0.0	0.0	1.0	0.7	1.6	0.7	0.9
環境の保全と創造	1.0	0.0	1.3	1.0	1.4	1.6	1.3	0.0
魅力と活力を育む土地利用の推進	0.9	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.7	0.0
美しくうるおいのある景観形成の推進	0.8	0.0	0.0	0.5	0.7	1.6	0.7	0.9
生涯学習の推進	0.6	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	2.0	0.0
魅力ある都市農業の振興	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.8
人権尊重・男女共同参画社会の推進	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0
コミュニティ活動の支援と協働の推進	0.6	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.3	0.9
情報化の推進	0.6	0.0	0.0	0.5	1.4	0.0	1.3	0.0
新しい産業の創出・振興	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.8
国際化の推進	0.5	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
文化芸術の振興	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.7	0.9
活力ある工業の振興	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
文化財の保護・活用	0.2	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
その他	4.0	2.8	3.8	1.6	6.1	6.6	3.9	3.7
わからない	69.1	○ 80.7	○ 81.1	○ 80.8	△ 76.9	72.1	▲ 61.4	★ 52.3
無回答	14.1	10.1	9.4	9.8	▲ 6.8	▲ 8.2	19.0	○ 26.6

(3) 合併によって悪くなつたと感じること（居住地域別）

居住地域別にみると、「高齢者の暮らしの充実」は、新郷地域が 6.3%とそのほかの地域よりもやや高くなっています。

「下水道事業の推進」は、新郷地域と南平地域が 4.2%とそのほかの地域よりもやや高くなっています。

「計画的・効率的な行財政運営の推進」は、新郷地域が 4.2%とそのほかの地域よりもやや高くなっています。

「安全・安心な市民生活の確保」は、鳩ヶ谷地域が 4.4%とそのほかの地域よりもやや高くなっています。

【合併によって悪くなつたと感じること（居住地域別）】

	全体 (n=1,722)	中央 地域 (n= 171)	横曽根 地域 (n= 162)	青木 地域 (n= 199)	南平 地域 (n= 168)	新郷 地域 (n= 96)	神根 地域 (n= 138)	芝 地域 (n= 206)	安行 地域 (n= 97)	戸塚 地域 (n= 207)	鳩ヶ谷 地域 (n= 206)	(%)
高齢者の暮らしの充実	3.1	0.0	2.5	2.0	2.4	6.3	2.2	2.4	2.1	3.9	5.8	
下水道事業の推進	2.1	1.2	0.6	1.0	4.2	4.2	0.7	1.9	1.0	1.9	3.9	
計画的・効率的な行財政運営の推進	2.1	1.8	2.5	0.5	1.8	4.2	2.2	1.5	3.1	2.4	2.4	
安全・安心な市民生活の確保	1.9	0.0	3.1	1.5	1.8	3.1	0.0	1.0	3.1	0.5	4.4	
廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進	1.8	1.2	2.5	2.0	1.8	2.1	1.4	1.0	2.1	2.4	1.0	
総合的な交通基盤の充実	1.5	1.2	1.9	1.0	3.0	2.1	0.7	0.5	1.0	1.4	1.0	
誰もが安心できる生活環境の充実	1.5	1.2	0.6	0.5	1.2	1.0	0.7	1.9	0.0	1.9	2.4	
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	1.5	0.6	2.5	0.5	2.4	2.1	1.4	1.0	1.0	1.0	1.9	
子育て環境の充実	1.4	0.6	0.6	1.0	2.4	3.1	0.7	0.5	0.0	1.0	1.9	
安定した水道水の供給	1.4	1.8	1.9	0.5	1.8	1.0	1.4	0.5	1.0	0.5	1.9	
良好な住環境の推進	1.3	0.0	0.6	0.5	3.6	3.1	2.2	0.5	0.0	1.4	1.0	
危機管理体制の強化	1.3	1.2	1.9	1.5	1.8	2.1	0.7	1.0	1.0	0.5	1.9	
活気ある商業の振興	1.2	1.2	0.0	1.5	2.4	1.0	0.7	1.5	1.0	1.4	1.0	
市民参加の推進	1.2	0.6	0.6	0.5	1.2	4.2	2.9	0.5	0.0	0.0	2.4	
健康づくりの推進と医療の充実	1.0	0.6	0.6	0.5	1.2	4.2	0.7	1.0	0.0	1.4	0.0	
スポーツ・レクリエーション活動の推進	1.0	0.6	0.6	0.5	1.8	1.0	1.4	1.5	1.0	0.5	1.5	
安心して働き続けることのできる職場づくりの推進	1.0	0.0	0.0	1.0	1.2	4.2	1.4	1.5	1.0	0.0	1.5	
知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざす学校教育の推進	1.0	0.6	1.2	1.0	1.8	2.1	0.7	0.0	1.0	0.0	2.4	
青少年の健全育成	1.0	0.0	0.6	1.0	1.8	3.1	2.2	0.0	1.0	0.0	1.5	
環境の保全と創造	1.0	0.6	1.2	0.5	1.8	1.0	2.9	0.0	0.0	1.0	0.5	
魅力と活力を育む土地利用の推進	0.9	0.0	0.0	1.0	1.8	1.0	0.7	1.5	1.0	0.5	1.0	
美しくうるおいのある景観形成の推進	0.8	0.0	0.0	0.5	1.8	1.0	1.4	0.5	0.0	0.0	2.4	
生涯学習の推進	0.6	0.6	0.0	0.0	1.8	0.0	0.7	0.5	1.0	0.0	1.5	
魅力ある都市農業の振興	0.6	0.0	0.0	1.0	1.2	0.0	0.7	1.0	0.0	0.5	1.5	
人権尊重・男女共同参画社会の推進	0.6	0.0	0.6	0.0	1.8	2.1	0.7	0.5	1.0	0.0	0.0	
コミュニティ活動の支援と協働の推進	0.6	0.0	0.0	1.0	1.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	
情報化の推進	0.6	0.0	0.0	0.0	1.8	1.0	0.7	1.0	1.0	0.5	0.0	
新しい産業の創出・振興	0.5	0.0	0.0	0.5	1.2	2.1	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	
国際化の推進	0.5	0.0	1.2	1.0	0.6	1.0	0.7	0.0	0.0	0.0	1.0	
文化芸術の振興	0.5	1.2	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	
活力ある工業の振興	0.5	0.0	0.6	0.5	1.2	0.0	0.7	0.5	1.0	0.0	0.5	
文化財の保護・活用	0.2	0.0	0.6	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	
その他	4.0	2.3	4.3	1.5	4.8	0.0	5.1	2.4	6.2	3.9	7.8	
わからない	69.1	72.5	65.4	○ 79.4	72.0	▲ 63.5	71.0	72.3	67.0	72.5	● 58.7	
無回答	14.1	17.0	14.8	10.1	13.1	17.7	10.9	14.6	15.5	14.0	13.1	

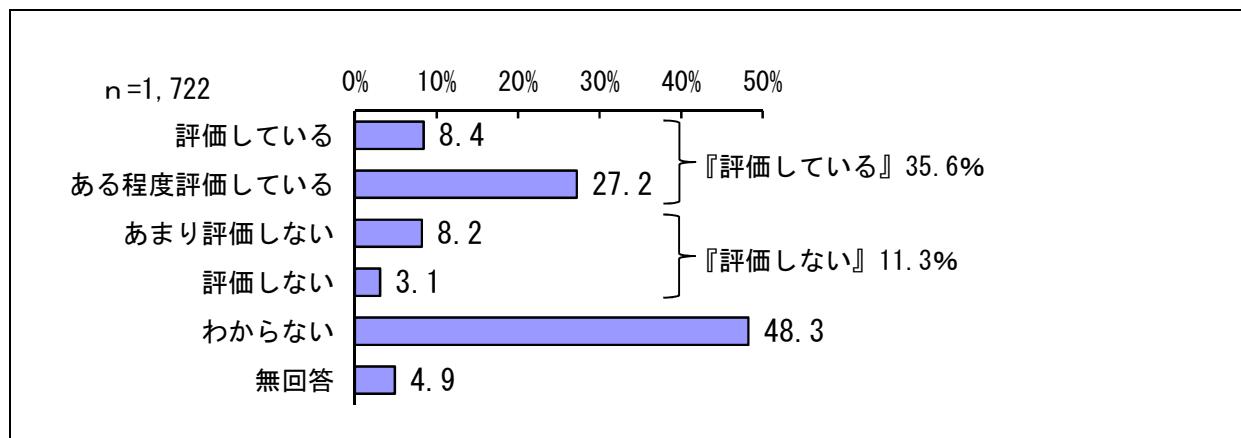
11. 市町村合併の評価

(1) 市町村合併の全体的な評価

問9 市町村合併の全体的な評価について、あなたの考えに一番近いものは。(○は1つ)

市町村合併の全体的な評価について、「評価している」と「ある程度評価している」を合わせた『評価している』は 35.6%と3割半ばを超えており、「あまり評価していない」と「評価しない」を合わせた『評価しない』(11.3%)を 24.3 ポイント大きく上回っています。一方、「わからない」は48.3%と半数近くを占めています。

【市町村合併の全体的な評価（全体）】



(2) 市町村合併の全体的な評価（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「評価している」と「ある程度評価している」を合わせた『評価している』は、男性の50～59歳が53.3%と5割を超えて最も高く、男性の60歳以上と女性の50～64歳の年齢でも4割を超えています。

「あまり評価していない」と「評価しない」を合わせた『評価しない』は、男性の60～64歳が17.5%、女性の75歳以上が16.5%と1割半ばを超えていました。

【市町村合併の全体的な評価（性・年齢別）】

		(人)	『評価している』	『評価しない』	わからない	(%)
		合計				
	全体	1,722	35.6	11.3	48.3	4.9
	男性	728	△ 41.1	12.0	▲ 42.9	4.1
	女性	932	32.3	10.1	52.9	4.7
男性	18～29歳	77	▲ 26.0	7.8	☆ 64.9	1.3
	30～39歳	91	▲ 26.4	8.8	○ 61.5	3.3
	40～49歳	160	38.8	13.1	43.8	4.4
	50～59歳	120	☆ 53.3	9.2	● 36.7	0.8
	60～64歳	57	○ 49.1	△ 17.5	★ 31.6	1.8
	65～74歳	121	△ 44.6	13.2	● 38.0	4.1
	75歳以上	101	△ 45.5	14.9	★ 27.7	△ 11.9
女性	18～29歳	109	● 24.8	▲ 5.5	☆ 67.0	2.8
	30～39歳	159	● 23.9	6.3	☆ 66.7	3.1
	40～49歳	193	31.6	9.3	△ 57.0	2.1
	50～59歳	147	△ 44.2	11.6	▲ 39.5	4.8
	60～64歳	61	△ 41.0	9.8	47.5	1.6
	65～74歳	153	32.7	12.4	47.7	7.2
	75歳以上	109	31.2	△ 16.5	▲ 40.4	△ 11.9

(3) 市町村合併の全体的な評価（居住地域別）

居住地域別にみると、「評価している」と「ある程度評価している」を合わせた『評価している』は、鳩ヶ谷地域が 51.9%と 5割を超えて最も高く、新郷地域も 45.9%と 4割半ばを超えていました。

「あまり評価していない」と「評価しない」を合わせた『評価しない』は、神根地域が 15.9%、鳩ヶ谷地域が 15.1%と 1割半ばを超えて高くなっています。

【市町村合併の全体的な評価（居住地域別）】

	(人)				(%)
	合計	『評価している』	『評価しない』	わからない	無回答
全体	1,722	35.6	11.3	48.3	4.9
中央地域	171	▲ 27.4	11.7	51.5	9.4
横曽根地域	162	▲ 29.7	13.5	49.4	7.4
青木地域	199	33.6	7.5	△ 54.3	4.5
南平地域	168	38.1	10.7	48.2	3.0
新郷地域	96	○ 45.9	9.4	▲ 39.6	5.2
神根地域	138	36.9	15.9	44.2	2.9
芝地域	206	31.1	8.2	△ 55.8	4.9
安行地域	97	34.0	10.3	50.5	5.2
戸塚地域	207	▲ 29.0	10.1	△ 58.0	2.9
鳩ヶ谷地域	206	☆ 51.9	15.1	★ 31.1	1.9

12. 災害時の備え

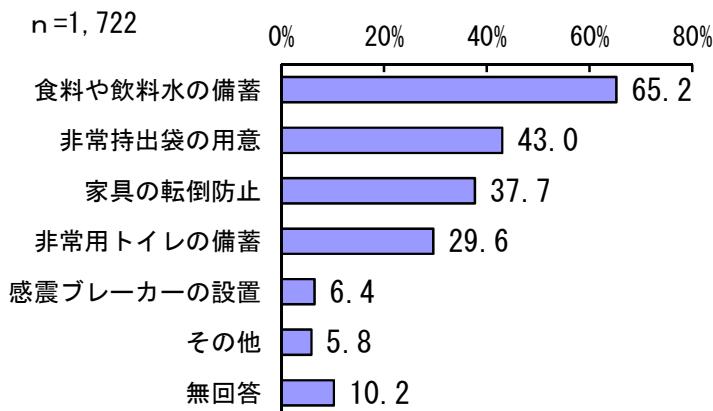
(1) 災害時の備え

問10 災害時の備えとして、どのようなことを行っていますか。（○はいくつでも）

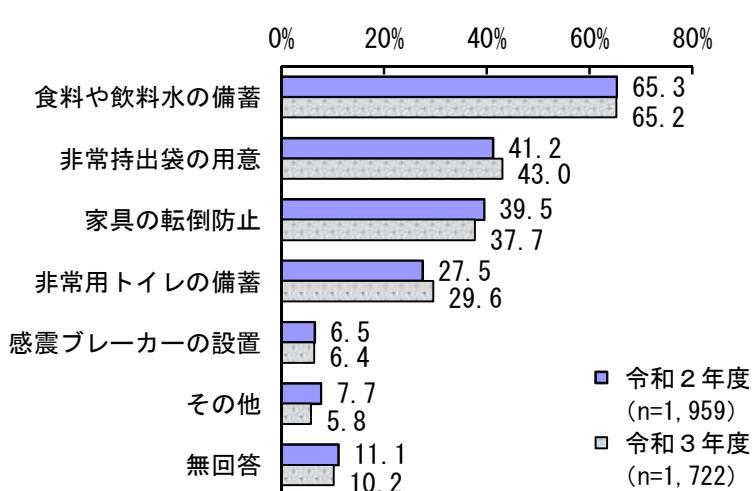
災害時の備えについて、「食料や飲料水の備蓄」が 65.2%と6割半ばに達し最も高く、次いで「非常持出袋の用意」が 43.0%、「家具の転倒防止」が 37.7%、「非常用トイレの備蓄」が 29.6%と続いています。

災害時の備えの推移をみると、全体的な傾向はあまり変化ありません。「非常持出袋の用意」と「非常用トイレの備蓄」が令和2年度調査より2ポイント前後上がっており、反対に「家具の転倒防止」が1.8ポイント下がっています。

【災害時の備え（全体）】



【災害時の備えの推移】



(2) 災害時の備え（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「食料や飲料水の備蓄」は、女性の60～64歳が75.4%、65～74歳が71.2%、男性の40～49歳が71.9%、50～59歳が70.0%と7割以上で高くなっています。

「非常持出袋の用意」は、女性の60～64歳が54.1%と最も高く、男性では75歳以上が51.5%と5割を超えています。

「家具の転倒防止」は、女性の50～59歳が44.9%、60～64歳が44.3%と4割近くで高くなっています。

「非常用トイレの備蓄」は、女性の40～49歳が40.9%と4割を超えて最も高く、女性の60～64歳、65～74歳でもそれぞれ4割近くになっています。

「感電ブレーカーの設置」は、男性の65～74歳が11.6%と1割を超えてやや高くなっています。

【災害時の備え（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	男性 (%)						
		18～29歳 (n= 77)	30～39歳 (n= 91)	40～49歳 (n= 160)	50～59歳 (n= 120)	60～64歳 (n= 57)	65～74歳 (n= 121)	75歳以上 (n= 101)
食料や飲料水の備蓄	65.2	▲ 55.8	▲ 58.2	△ 71.9	70.0	63.2	65.3	62.4
非常持出袋の用意	43.0	★ 23.4	● 29.7	▲ 37.5	● 32.5	38.6	44.6	△ 51.5
家具の転倒防止	37.7	▲ 32.5	▲ 28.6	36.9	36.7	42.1	33.9	37.6
非常用トイレの備蓄	29.6	● 19.5	● 18.7	31.3	▲ 23.3	● 19.3	28.1	▲ 19.8
感電ブレーカーの設置	6.4	7.8	5.5	3.8	7.5	3.5	△ 11.6	7.9
その他	5.8	5.2	5.5	6.9	7.5	5.3	6.6	1.0
無回答	10.2	11.7	△ 16.5	6.3	6.7	8.8	10.7	△ 16.8

【災害時の備え（女性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	女性 (%)						
		18～29歳 (n= 109)	30～39歳 (n= 159)	40～49歳 (n= 193)	50～59歳 (n= 147)	60～64歳 (n= 61)	65～74歳 (n= 153)	75歳以上 (n= 109)
食料や飲料水の備蓄	65.2	▲ 59.6	67.3	67.4	67.3	○ 75.4	△ 71.2	▲ 56.9
非常持出袋の用意	43.0	41.3	45.9	△ 51.3	43.5	○ 54.1	△ 51.6	△ 49.5
家具の転倒防止	37.7	△ 43.1	35.2	42.0	△ 44.9	△ 44.3	37.9	▲ 30.3
非常用トイレの備蓄	29.6	26.6	32.7	○ 40.9	27.9	△ 39.3	○ 39.9	28.4
感電ブレーカーの設置	6.4	2.8	3.1	4.1	4.8	6.6	7.8	9.2
その他	5.8	9.2	7.5	6.2	4.1	1.6	5.2	5.5
無回答	10.2	5.5	8.2	7.3	9.5	11.5	5.9	△ 18.3

(3) 災害時の備え（居住地域別）

居住地域別にみると、「食料や飲料水の備蓄」は、新郷地域（55.2%）以外の地域はいずれも6割を越えています。

「非常持出袋の用意」は、青木地域（36.7%）と新郷地域（38.5%）以外の地域はいずれも4割を越えています。

「家具の転倒防止」は、戸塚地域が45.4%と4割半ばを超えて最も高くなっています。

「非常用トイレの備蓄」は、戸塚地域が33.8%、南平地域が32.7%と高くなっています。

【災害時の備え（居住地域別）】

	全体 (n=1,722)	中央 地域 (n= 171)	横曽根 地域 (n= 162)	青木 地域 (n= 199)	南平 地域 (n= 168)	新郷 地域 (n= 96)	神根 地域 (n= 138)	芝 地域 (n= 206)	安行 地域 (n= 97)	戸塚 地域 (n= 207)	鳩ヶ谷 地域 (n= 206)	(%)
食料や飲料水の備蓄	65.2	65.5	67.3	63.3	69.6	▲ 55.2	64.5	68.0	67.0	61.8	68.0	
非常持出袋の用意	43.0	40.9	44.4	▲ 36.7	46.4	38.5	42.0	45.6	46.4	44.4	45.1	
家具の転倒防止	37.7	40.4	39.5	33.7	△ 42.9	▲ 28.1	34.8	34.0	△ 43.3	△ 45.4	35.9	
非常用トイレの備蓄	29.6	31.0	29.6	30.7	32.7	▲ 21.9	27.5	28.2	28.9	33.8	26.7	
感震ブレーカーの設置	6.4	5.3	6.2	7.5	7.7	6.3	7.2	5.8	7.2	4.8	6.3	
その他	5.8	7.0	6.2	8.0	3.6	4.2	6.5	6.3	3.1	4.8	5.8	
無回答	10.2	12.3	13.6	9.5	▲ 4.2	△ 16.7	5.8	10.2	9.3	13.5	6.8	

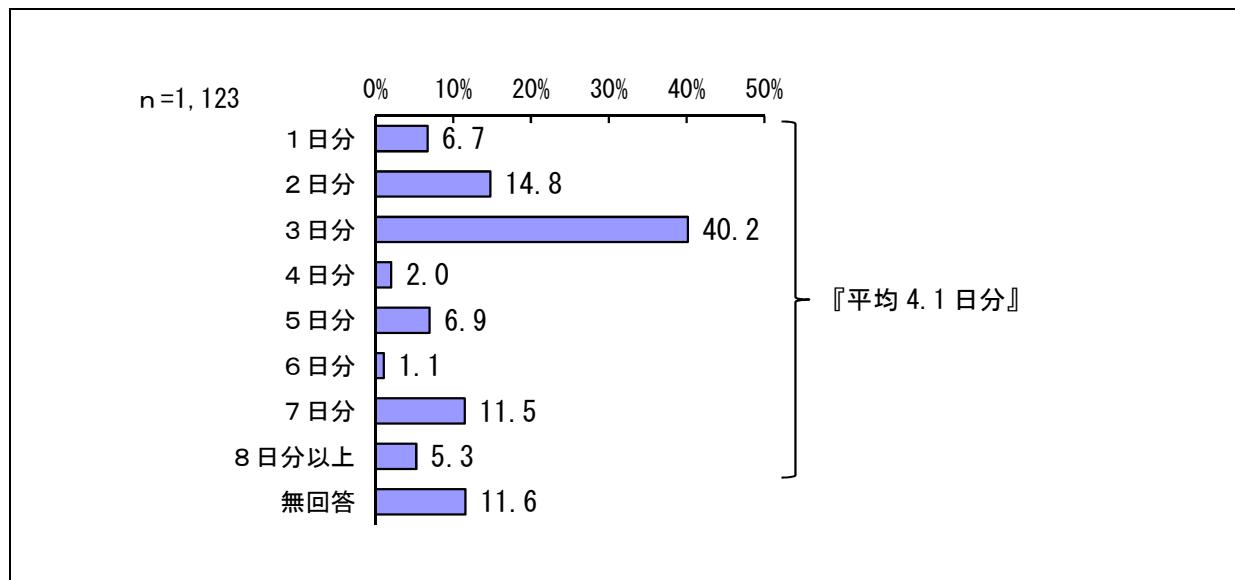
13. 食料や飲料水の備蓄数

(1) 食料や飲料水の備蓄数

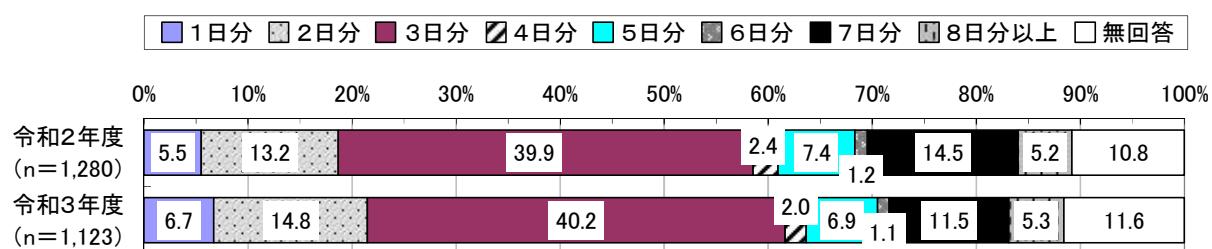
災害時の備えで「食料や飲料水の備蓄」と回答した 1,123 人の食料や飲料水の備蓄数について、「3 日分」が 40.2% と 4 割を占めて最も高く、次いで「2 日分」が 14.8%、「7 日分」が 11.5% と 1 割台で続いています。また、平均は 4.1 日分となっています。

食料や飲料水の備蓄数の推移をみると、令和 2 年度調査より、「7 日分」が 3.0 ポイント下がっており、「2 日分」が 1.6 ポイント、「1 日分」が 1.2 ポイント上がっています。

【食料や飲料水の備蓄数（全体）】



【食料や飲料水の備蓄数の推移】



(2) 食料や飲料水の備蓄数（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「1日分」は、女性の18～29歳が15.4%、男性の30～39歳が15.1%と1割半ばを超えて高くなっています。

「2日分」は、男性の40～49歳が22.6%、50～59歳が20.2%と2割を超えて高くなっています。

「3日分」は、男性の65～74歳が51.9%と5割を超えて最も高くなっています。

「7日分」は、男性の18～29歳が27.9%と2割半ばを超えて最も高くなっています。

【食料や飲料水の備蓄数（性・年齢別）】

		(人)	合計	1日分	2日分	3日分	4日分	5日分	6日分	7日分	8日分以上	(%)	無回答
全体		1,123	6.7	14.8	40.2	2.0	6.9	1.1	11.5	5.3	11.6		
男性		474	7.0	14.1	40.1	2.5	6.1	1.1	13.3	5.1	10.8		
女性		619	6.8	15.7	40.9	1.8	7.3	1.1	9.7	4.7	12.1		
男性	18～29歳	43	7.0	▲ 9.3	▲ 34.9	0.0	4.7	0.0	☆ 27.9	2.3	14.0		
	30～39歳	53	△ 15.1	15.1	35.8	1.9	3.8	1.9	▲ 5.7	9.4	11.3		
	40～49歳	115	6.1	△ 22.6	37.4	1.7	7.8	1.7	13.0	3.5	▲ 6.1		
	50～59歳	84	9.5	△ 20.2	▲ 34.5	1.2	8.3	0.0	10.7	6.0	9.5		
	60～64歳	36	11.1	▲ 8.3	44.4	5.6	8.3	0.0	11.1	▲ 0.0	11.1		
	65～74歳	79	▲ 1.3	▲ 6.3	○ 51.9	6.3	2.5	0.0	11.4	7.6	12.7		
	75歳以上	63	3.2	▲ 4.8	42.9	1.6	6.3	3.2	△ 17.5	4.8	15.9		
女性	18～29歳	65	△ 15.4	15.4	36.9	1.5	9.2	0.0	▲ 4.6	4.6	12.3		
	30～39歳	107	4.7	19.6	43.0	3.7	4.7	1.9	8.4	7.5	▲ 6.5		
	40～49歳	130	8.5	15.4	43.1	0.8	10.0	1.5	9.2	▲ 0.0	11.5		
	50～59歳	99	6.1	19.2	42.4	1.0	6.1	1.0	9.1	2.0	13.1		
	60～64歳	46	8.7	10.9	▲ 34.8	2.2	8.7	0.0	10.9	8.7	15.2		
	65～74歳	109	2.8	12.8	44.0	1.8	6.4	0.9	11.9	9.2	10.1		
	75歳以上	62	4.8	11.3	▲ 33.9	1.6	6.5	1.6	14.5	3.2	○ 22.6		

(3) 食料や飲料水の備蓄数（居住地域別）

居住地域別にみると、「3日分」は、新郷地域（28.3%）が3割を切って最も低く、それ以外の地域はいずれも3割半ばを超えています。

「5日分」は、戸塚地域が10.2%とやや高くなっています。

「7日分」は、横曽根地域が15.6%と1割半ばを超えて高くなっています。

【食料や飲料水の備蓄数（居住地域別）】

	(人)	合計	1日分	2日分	3日分	4日分	5日分	6日分	7日分	8日分以上	(%)
全体	1,123	6.7	14.8	40.2	2.0	6.9	1.1	11.5	5.3	11.6	
中央地域	112	10.7	15.2	42.0	0.9	2.7	1.8	10.7	7.1	8.9	
横曽根地域	109	3.7	10.1	42.2	2.8	7.3	2.8	15.6	4.6	11.0	
青木地域	126	7.9	13.5	41.3	2.4	7.1	0.0	11.1	3.2	13.5	
南平地域	117	5.1	17.9	44.4	0.9	6.0	0.0	10.3	6.0	9.4	
新郷地域	53	11.3	18.9	● 28.3	1.9	9.4	1.9	9.4	3.8	15.1	
神根地域	89	9.0	14.6	42.7	1.1	7.9	0.0	12.4	2.2	10.1	
芝地域	140	5.0	17.1	39.3	4.3	5.7	1.4	12.1	5.0	10.0	
安行地域	65	9.2	13.8	38.5	1.5	4.6	0.0	9.2	6.2	△ 16.9	
戸塚地域	128	7.0	14.8	43.8	3.1	10.2	1.6	9.4	4.7	▲ 5.5	
鳩ヶ谷地域	140	4.3	15.0	36.4	0.7	8.6	1.4	9.3	7.1	△ 17.1	

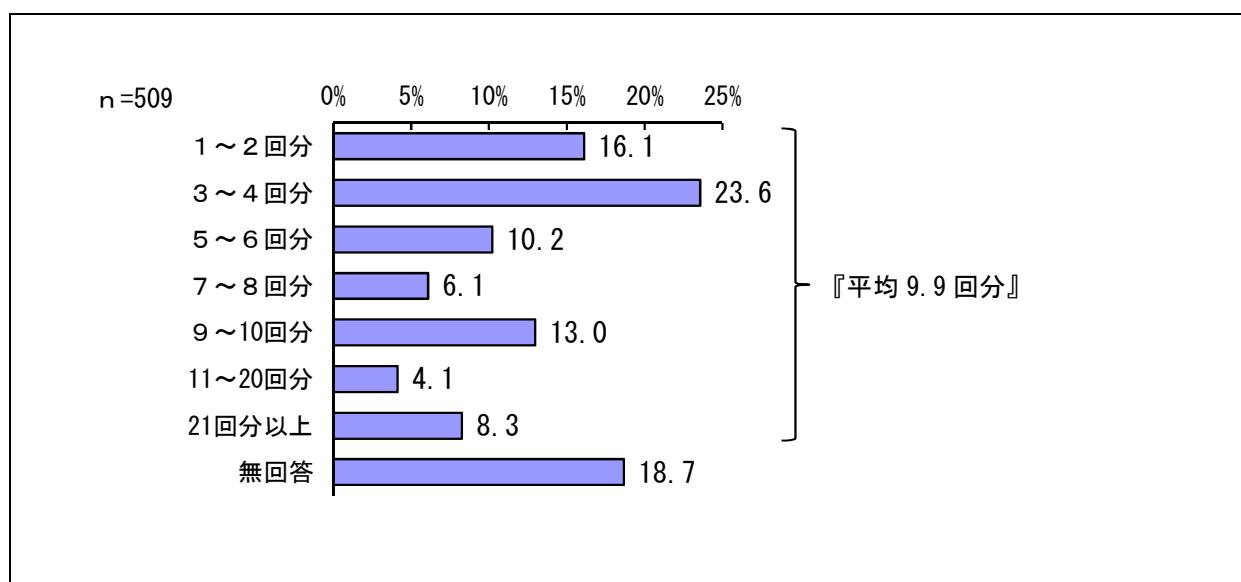
14. 非常用トイレの備蓄数

(1) 非常用トイレの備蓄数

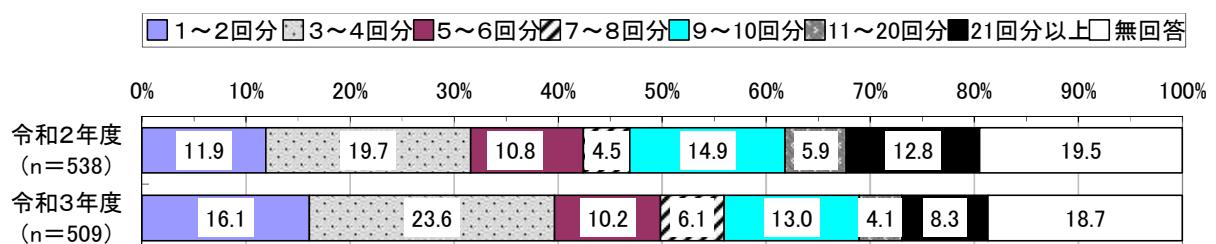
災害時の備えで「非常用トイレの備蓄」と回答した 509 人の非常用トイレの備蓄数について、「3～4回分」が 23.6% と 2割を超えて最も高く、次いで「1～2回分」が 16.1%、「9～10回分」が 13.0%、「5～6回分」が 10.2% と 1割台で続いています。また、平均は 9.9 回分となっています。

非常用トイレの備蓄数の推移をみると、令和2年度調査より、「1～2回分」が 4.2 ポイント、「3～4回分」が 3.9 ポイント上がっていますが、「21回分以上」が 4.5 ポイント下がっています。

【非常用トイレの備蓄数（全体）】



【非常用トイレの備蓄数の推移】



(2) 非常用トイレの備蓄数 (性・年齢別)

性・年齢別にみると、「1～2回分」は、女性の18～29歳が34.5%と3割半ば近くで最も高くなっています。

「5～6回分」は、男性の60～64歳が27.3%と2割半ばを超えて最も高くなっています。

「7～8回分」は、男性の18～29歳が20.0%と2割を占めて最も高くなっています。

「20回以上」は、女性の60～64歳が20.8%と2割を超えて最も高くなっています。

【非常用トイレの備蓄数 (性・年齢別)】

		(人)	(%)								
		合計	1～2回分	3～4回分	5～6回分	7～8回分	9～10回分	11～20回分	20回分以上	無回答	
全体	509	16.1	23.6	10.2	6.1	13.0	4.1	8.3	18.7		
男性	176	20.5	22.7	11.9	6.8	13.6	2.8	8.0	▲ 13.6		
女性	317	14.5	24.6	8.8	5.0	12.3	4.4	8.8	21.5		
男性	18～29歳	15	13.3	20.0	● 0.0	○ 20.0	△ 20.0	△ 13.3	▲ 0.0	▲ 13.3	
	30～39歳	17	17.6	23.5	△ 17.6	△ 11.8	▲ 5.9	0.0	11.8	▲ 11.8	
	40～49歳	50	20.0	△ 32.0	12.0	2.0	12.0	2.0	10.0	▲ 10.0	
	50～59歳	28	△ 25.0	28.6	7.1	7.1	10.7	0.0	10.7	▲ 10.7	
	60～64歳	11	18.2	▲ 18.2	☆ 27.3	9.1	△ 18.2	0.0	▲ 0.0	▲ 9.1	
	65～74歳	34	17.6	▲ 14.7	11.8	5.9	17.6	2.9	11.8	17.6	
	75歳以上	20	△ 25.0	● 10.0	15.0	5.0	15.0	5.0	▲ 0.0	△ 25.0	
女性	18～29歳	29	☆ 34.5	▲ 17.2	6.9	6.9	13.8	0.0	▲ 0.0	20.7	
	30～39歳	52	11.5	△ 32.7	9.6	3.8	11.5	1.9	5.8	23.1	
	40～49歳	79	13.9	△ 29.1	12.7	3.8	11.4	3.8	12.7	▲ 12.7	
	50～59歳	41	▲ 9.8	22.0	▲ 4.9	4.9	14.6	△ 9.8	7.3	△ 26.8	
	60～64歳	24	● 4.2	★ 8.3	8.3	△ 12.5	△ 20.8	8.3	○ 20.8	16.7	
	65～74歳	61	11.5	21.3	9.8	3.3	11.5	6.6	9.8	△ 26.2	
	75歳以上	31	△ 22.6	△ 29.0	▲ 3.2	6.5	▲ 6.5	0.0	▲ 3.2	○ 29.0	

(3) 非常用トイレの備蓄数（居住地域別）

居住地域別にみると、「1～2回分」は、新郷地域が28.6%と3割近くで最も高くなっています。

「3～4回分」は、青木地域が29.5%、神根地域が28.9%と3割近くで高くなっています。

「7～8回分」は、中央地域が13.2%と1割を超えて最も高くなっています。

「9～10回分」は、戸塚地域が21.4%と2割を超えて最も高くなっています。

【非常用トイレの備蓄数（居住地域別）】

	合計	(人)	1～2回分	3～4回分	5～6回分	7～8回分	9～10回分	11～20回分	20回分以上	(%)
全体	509		16.1	23.6	10.2	6.1	13.0	4.1	8.3	18.7
中央地域	53		11.3	22.6	9.4	△ 13.2	13.2	5.7	5.7	18.9
横曾根地域	48		14.6	25.0	8.3	4.2	10.4	6.3	12.5	18.8
青木地域	61		14.8	△ 29.5	9.8	4.9	16.4	4.9	3.3	16.4
南平地域	55		● 5.5	21.8	10.9	5.5	16.4	5.5	12.7	21.8
新郷地域	21		○ 28.6	19.0	14.3	4.8	9.5	0.0	▲ 0.0	△ 23.8
神根地域	38		15.8	△ 28.9	7.9	2.6	10.5	7.9	▲ 2.6	23.7
芝地域	58		△ 22.4	20.7	6.9	5.2	12.1	3.4	10.3	19.0
安行地域	28		△ 25.0	▲ 17.9	10.7	▲ 0.0	14.3	0.0	7.1	△ 25.0
戸塚地域	70		17.1	24.3	8.6	5.7	△ 21.4	1.4	11.4	▲ 10.0
鳩ヶ谷地域	55		△ 21.8	23.6	△ 16.4	5.5	▲ 3.6	1.8	9.1	18.2

15. 防災訓練への参加

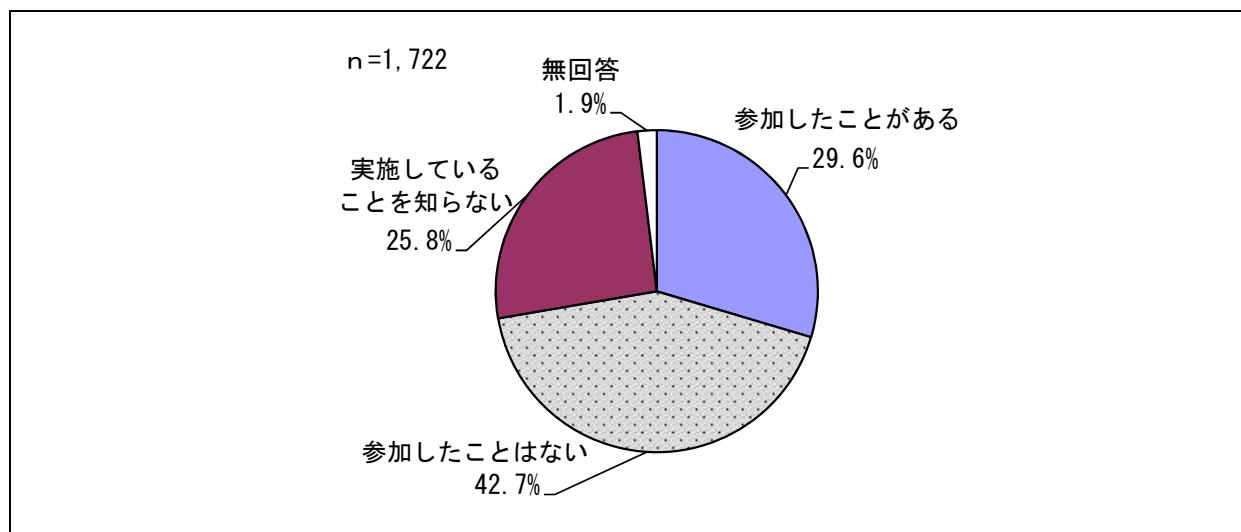
(1) 防災訓練への参加

問11 川口市や町会・自治会などで実施している防災訓練に参加したことはありますか。
(○は1つ)

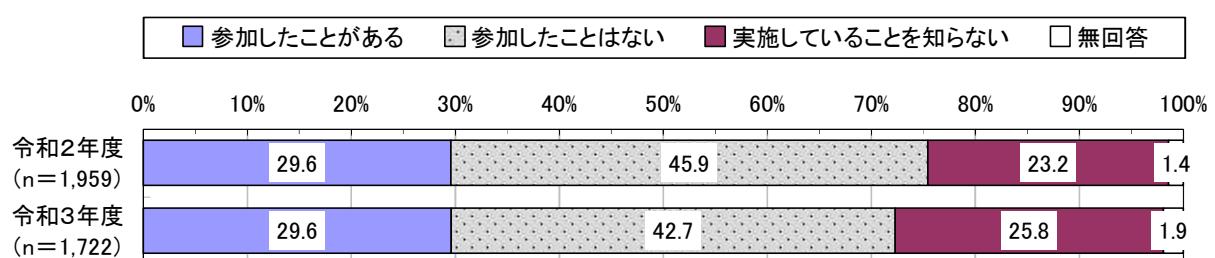
防災訓練への参加について、「参加したことがある」が29.6%と約3割を占めていますが、「参加したことない」が42.7%、「実施していることを知らない」が25.8%と、7割近くが防災訓練に参加していません。

防災訓練への参加の推移をみると、「参加したことがある」は令和2年度から約3割で変化ありません。「実施していることを知らない」が令和2年度より2.6ポイント上がっています。

【防災訓練への参加（全体）】



【防災訓練への参加の推移】



(2) 防災訓練への参加（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「参加したことがある」は、男性の75歳以上が51.5%、女性の65～74歳が50.3%と5割を超えて高く、男性女性ともに60歳以上の年齢では4割を超えています。

「参加したことない」は、男性の40～49歳が53.1%と5割を超えて最も高く、女性の50～59歳も49.0%と5割近くを占めています。

「実施していることを知らない」は、男性女性ともに39歳以下の年齢で4割を超えており、特に女性の30～39歳では48.4%と5割近くになっています。

【防災訓練への参加（性・年齢別）】

		(人)		(%)	
	合計	参加した ことがある	参加した ことない	実施して いること を知らない	無回答
全体	1,722	29.6	42.7	25.8	1.9
男性	728	29.4	44.0	25.0	1.6
女性	932	30.2	41.3	26.9	1.6
男性	18～29歳	77 ★ 11.7	44.2	☆ 44.2	0.0
	30～39歳	91 ★ 14.3	42.9	☆ 41.8	1.1
	40～49歳	160 ● 19.4	○ 53.1	26.9	0.6
	50～59歳	120 26.7	45.0	26.7	1.7
	60～64歳	57 ☆ 47.4	40.4	● 12.3	0.0
	65～74歳	121 ○ 41.3	43.8	● 13.2	1.7
	75歳以上	101 ☆ 51.5	● 30.7	● 11.9	5.9
女性	18～29歳	109 ★ 11.9	41.3	☆ 45.9	0.9
	30～39歳	159 ★ 10.1	40.9	☆ 48.4	0.6
	40～49歳	193 ▲ 24.4	45.1	29.5	1.0
	50～59歳	147 32.0	△ 49.0	▲ 17.7	1.4
	60～64歳	61 ☆ 47.5	● 29.5	21.3	1.6
	65～74歳	153 ☆ 50.3	▲ 35.3	● 11.1	3.3
	75歳以上	109 ☆ 47.7	39.4	★ 10.1	2.8

(3) 防災訓練への参加（居住地域別）

居住地域別にみると、「参加したことがある」は、神根地域が34.1%、安行地域が34.0%と高くなっています。

「参加したことない」は、新郷地域（37.5%）以外のいずれの地域も4割を越えています。

「実施していることを知らない」は、中央地域が33.3%、戸塚地域が32.4%と3割を超えて高くなっています。

【防災訓練への参加（居住地域別）】

	(人)		(%)		
	合計	参加した ことがある	参加した ことない	実施して いること を知らない	無回答
全体	1,722	29.6	42.7	25.8	1.9
中央地域	171	25.7	40.9	△ 33.3	0.0
横曾根地域	162	30.2	42.0	24.7	3.1
青木地域	199	27.6	47.7	21.6	3.0
南平地域	168	33.3	46.4	▲ 20.2	0.0
新郷地域	96	27.1	▲ 37.5	29.2	6.3
神根地域	138	34.1	44.2	▲ 19.6	2.2
芝地域	206	26.7	44.2	27.7	1.5
安行地域	97	34.0	42.3	22.7	1.0
戸塚地域	207	26.1	40.1	△ 32.4	1.4
鳩ヶ谷地域	206	31.1	40.8	27.2	1.0

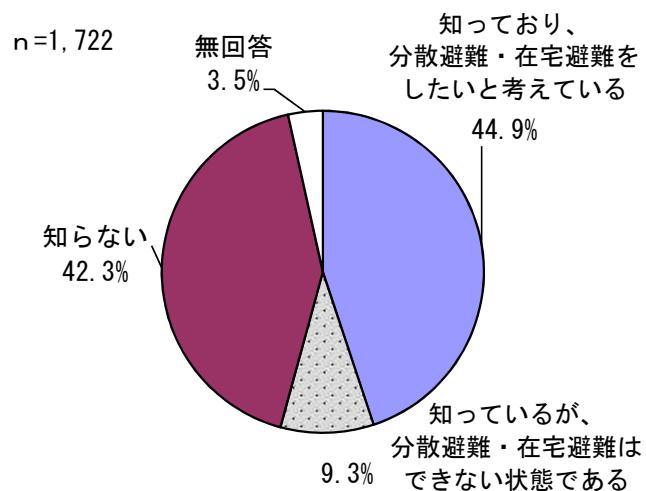
16. 分散避難・在宅避難の認知度

(1) 分散避難・在宅避難の認知度

問12 分散避難・在宅避難についてご存知ですか。あてはまる番号に○をつけてください。
(○は1つ)

分散避難・在宅避難について、「知っており、分散避難・在宅避難をしたいと考えている」が44.9%と4割半ば、「知っているが、分散避難・在宅避難はできない状態である」は9.3%と約1割を占めており、『分散避難・在宅避難』を知っている割合は5割を超えていました。一方、分散避難・在宅避難を「知らない」は42.3%と4割を超えています。

【分散避難・在宅避難（全体）】



(2) 分散避難・在宅避難の認知度（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「知っており、分散避難・在宅避難をしたいと考えている」は、男性の60歳以上、女性の50歳以上で5割前後になっており、特に女性の60～64歳が57.4%、65～74歳が56.9%と5割半ばを超えて高くなっています。

「知っているが、分散避難・在宅避難はできない状態である」は、男性の60～64歳が17.5%、女性の65～74歳が15.0%と1割半ば以上で高くなっています。

「知らない」は、男性の59歳以下、女性の39歳以下の年齢で5割を超えており、特に男性の30～39歳が68.1%、18～29歳が58.4%、女子の18～29歳が57.8%と高くなっています。

【分散避難・在宅避難の認知度（性・年齢別）】

	合計	知っており、分散避難・在宅避難をしたいと考えている	知っているが、分散避難・在宅避難はできない状態である	知らない	無回答
全体	1,722	44.9	9.3	42.3	3.5
男性	728	42.3	9.6	45.1	3.0
女性	932	47.7	9.0	40.2	3.0
男性	18～29歳	77	▲ 39.0	▲ 2.6	☆ 58.4
	30～39歳	91	★ 25.3	5.5	☆ 68.1
	40～49歳	160	40.0	8.1	△ 50.6
	50～59歳	120	▲ 37.5	9.2	○ 53.3
	60～64歳	57	△ 52.6	△ 17.5	● 29.8
	65～74歳	121	△ 52.1	13.2	● 29.8
	75歳以上	101	△ 51.5	12.9	★ 22.8
女性	18～29歳	109	● 33.9	6.4	☆ 57.8
	30～39歳	159	42.8	4.4	△ 51.6
	40～49歳	193	45.6	6.7	46.6
	50～59歳	147	△ 51.7	8.8	37.4
	60～64歳	61	○ 57.4	9.8	● 29.5
	65～74歳	153	○ 56.9	△ 15.0	★ 24.2
	75歳以上	109	49.5	13.8	● 27.5

(3) 分散避難・在宅避難の認知度（居住地域別）

居住地域別にみると、「知っており、分散避難・在宅避難をしたいと考えている」は、鳩ヶ谷地域が 53.4%、横曾根地域が 52.5%と 5割を超えて高くなっています。

「知っているが、分散避難・在宅避難はできない状態である」は、芝地域が 13.6%、神根地域が 12.3%、南平地域が 11.3%と 1割を超えて高くなっています。

「知らない」は、青木地域が 49.2%、戸塚地域が 48.3%と 5割近くを占めて高くなっています。

【分散避難・在宅避難の認知度（居住地域別）】

	(人)	(%)			
	合計	知っており、 在宅避難を したいと 考えている	知っている が、在宅避難 はできな い状態である	知らない	無回答
全体	1,722	44.9	9.3	42.3	3.5
中央地域	171	45.6	8.2	45.0	1.2
横曾根地域	162	△ 52.5	6.8	▲ 35.8	4.9
青木地域	199	▲ 39.2	9.0	△ 49.2	2.5
南平地域	168	48.2	11.3	39.9	0.6
新郷地域	96	43.8	9.4	38.5	8.3
神根地域	138	45.7	12.3	38.4	3.6
芝地域	206	▲ 36.9	13.6	44.7	4.9
安行地域	97	44.3	6.2	42.3	7.2
戸塚地域	207	42.5	7.2	△ 48.3	1.9
鳩ヶ谷地域	206	△ 53.4	7.3	37.4	1.9

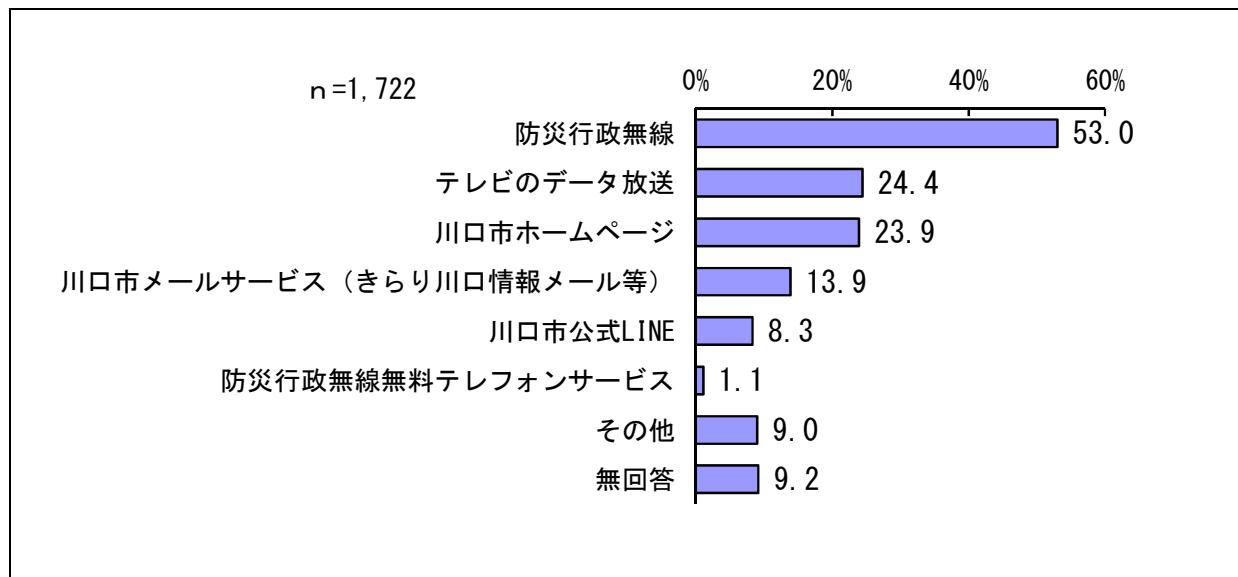
17. 市から発信する防災・災害情報の入手手段

(1) 市から発信する防災・災害情報の入手手段

問13 市から発信する防災・災害情報をどのように手段で入手していますか。
(○はいくつでも)

市から発信する防災・災害情報の入手手段について、「防災行政無線」が 53.0%と 5割を超えて最も高く、次いで「テレビのデータ放送」が 24.4%、「川口市のホームページ」が 23.9%、「川口市メールサービス（きらり川口情報メール等）」が 13.9%と続いています。

【市から発信する防災・災害情報の入手手段（全体）】



(2) 市から発信する防災・災害情報の入手手段（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「防災行政無線」は、女性の65～74歳が64.1%、50～59歳が61.9%、男性の50～59歳が61.7%、65～74歳が61.2%と6割を超えて高くなっています。

「テレビのデータ放送」は、男性の75歳以上が40.6%と4割に達し最も高く、女性の65～74歳も35.9%と3割半ばを超えています。

「川口市ホームページ」は、男性の60～64歳が40.4%と4割に達し最も高くなっています。

「川口市メールサービス（きらり川口情報メール等）」は、女性の40～49歳が30.6%と3割に達し最も高くなっています。

【市から発信する防災・災害情報の入手手段（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	男性 (%)						
		18～29歳 (n= 77)	30～39歳 (n= 91)	40～49歳 (n= 160)	50～59歳 (n= 120)	60～64歳 (n= 57)	65～74歳 (n= 121)	75歳以上 (n= 101)
防災行政無線	53.0	▲ 44.2	▲ 47.3	50.6	△ 61.7	54.4	△ 61.2	▲ 45.5
テレビのデータ放送	24.4	19.5	▲ 17.6	22.5	▲ 16.7	24.6	27.3	☆ 40.6
川口市ホームページ	23.9	20.8	△ 30.8	26.3	25.8	☆ 40.4	25.6	▲ 15.8
川口市メールサービス (きらり川口情報メール等)	13.9	▲ 5.2	9.9	16.3	13.3	△ 19.3	▲ 8.3	8.9
川口市公式LINE	8.3	5.2	8.8	6.9	11.7	5.3	5.8	6.9
防災行政無線無料電話 サービス（0800-800-4344）	1.1	1.3	1.1	0.0	2.5	0.0	2.5	4.0
その他	9.0	11.7	8.8	13.1	8.3	▲ 1.8	9.1	11.9
無回答	9.2	△ 14.3	11.0	6.9	▲ 2.5	5.3	6.6	△ 15.8

【市から発信する防災・災害情報の入手手段（女性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	女性 (%)						
		18～29歳 (n= 109)	30～39歳 (n= 159)	40～49歳 (n= 193)	50～59歳 (n= 147)	60～64歳 (n= 61)	65～74歳 (n= 153)	75歳以上 (n= 109)
防災行政無線	53.0	51.4	● 42.8	51.8	△ 61.9	57.4	○ 64.1	53.2
テレビのデータ放送	24.4	24.8	20.8	19.7	▲ 18.4	△ 32.8	○ 35.9	28.4
川口市ホームページ	23.9	△ 30.3	25.8	△ 30.1	23.1	23.0	▲ 14.4	● 9.2
川口市メールサービス (きらり川口情報メール等)	13.9	▲ 6.4	14.5	☆ 30.6	17.7	13.1	9.2	9.2
川口市公式LINE	8.3	5.5	8.2	△ 15.5	9.5	△ 14.8	8.5	▲ 1.8
防災行政無線無料電話 サービス（0800-800-4344）	1.1	0.0	1.3	0.0	0.0	3.3	0.7	0.9
その他	9.0	8.3	10.1	6.2	9.5	6.6	8.5	9.2
無回答	9.2	11.9	11.9	▲ 4.1	4.8	8.2	5.9	△ 17.4

(3) 市から発信する防災・災害情報の入手手段（居住地域別）

居住地域別にみると、「防災行政無線」は、神根地域が 65.9%と 6割半ばを超えて最も高くなっています。

「テレビのデータ放送」は、安行地域が 3割を超えて最も高くなっています。

「川口市ホームページ」は、横曽根地域が 31.5%と 3割を超えて最も高くなっています。

【市から発信する防災・災害情報の入手手段（居住地域別）】

	全体 (n=1,722)	中央 地域 (n= 171)	横曽根 地域 (n= 162)	青木 地域 (n= 199)	南平 地域 (n= 168)	新郷 地域 (n= 96)	神根 地域 (n= 138)	芝 地域 (n= 206)	安行 地域 (n= 97)	戸塚 地域 (n= 207)	鳩ヶ谷 地域 (n= 206)
防災行政無線	53.0	▲ 45.6	▲ 45.1	51.8	56.0	57.3	○ 65.9	54.4	49.5	50.7	57.3
テレビのデータ放送	24.4	28.1	21.6	22.1	29.2	19.8	22.5	25.7	△ 30.9	19.8	26.2
川口市ホームページ	23.9	28.1	△ 31.5	▲ 18.6	28.6	22.9	▲ 16.7	25.7	20.6	21.3	24.3
川口市メールサービス (きらり川口情報メール等)	13.9	11.1	16.0	15.6	13.1	11.5	15.9	11.2	17.5	18.8	10.7
川口市公式LINE	8.3	8.8	8.6	11.1	8.3	11.5	8.0	8.7	10.3	5.3	7.8
防災行政無線無料テレfon サービス (0800-800-4344)	1.1	0.0	2.5	0.0	1.8	1.0	0.0	1.0	2.1	0.5	2.4
その他	9.0	9.9	8.0	10.1	5.4	11.5	9.4	7.8	6.2	12.6	9.2
無回答	9.2	7.6	11.1	10.1	▲ 2.4	△ 14.6	8.7	10.2	11.3	9.2	7.8

18. 喫煙の有無

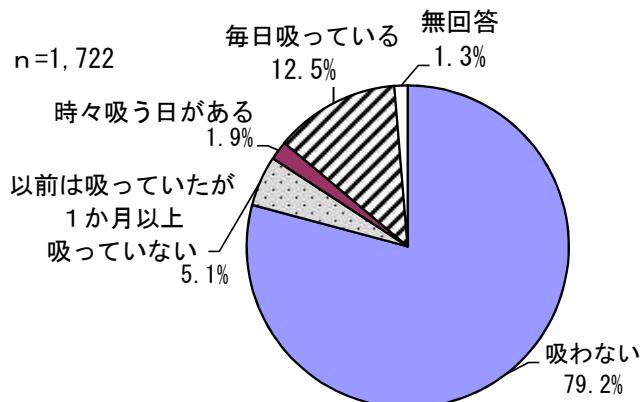
(1) 喫煙の有無

問14 あなたはたばこを吸いますか。 (○は1つ)

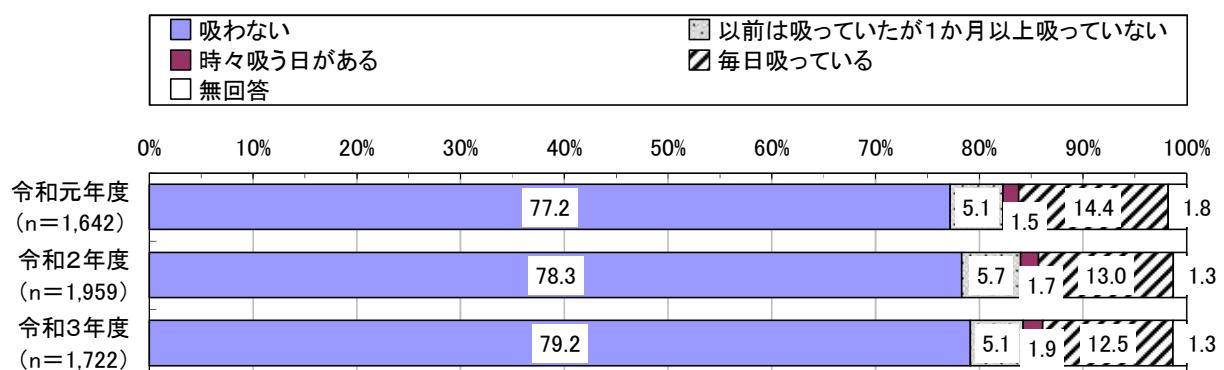
喫煙の有無について、「吸わない」が 79.2%と約8割を占めています。「毎日吸っている」は 12.5%と1割を超えており、「以前は吸っていたが1か月以上吸っていない」は 5.1%、「時々吸う日がある」は 1.9%となっています。

喫煙の有無の推移をみると、「吸わない」は令和元年度から1ポイント程度ずつ上がっています。反対に「毎日吸う」は減少傾向にあります、依然として1割台を占めています。

【喫煙の有無（全体）】



【喫煙の有無の推移】



(2) 喫煙の有無（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「吸わない」は、いずれの年齢の女性も8割を超えており、特に女性の75歳以上が93.6%、30~39歳が89.3%、18~29歳が89.0%と9割前後を占めています。

「毎日吸っている」は、男性の30~64歳の年齢で2割を超えています。

【喫煙の有無（性・年齢別）】

		(人)					(%)
		合計	吸わない	以前は吸っていたが1か月以上吸っていない	時々吸う日がある	毎日吸っている	無回答
全体	1,722	79.2	5.1	1.9	12.5	1.3	
男性	728	▲ 69.6	6.9	2.7	△ 19.1	1.6	
女性	932	△ 87.1	3.8	1.4	▲ 7.3	0.4	
男性	18~29歳	77	76.6	3.9	2.6	15.6	1.3
	30~39歳	91	● 67.0	5.5	2.2	○ 24.2	1.1
	40~49歳	160	● 66.3	9.4	2.5	△ 20.6	1.3
	50~59歳	120	● 66.7	5.8	3.3	○ 24.2	0.0
	60~64歳	57	★ 63.2	7.0	3.5	○ 26.3	0.0
	65~74歳	121	● 67.8	7.4	4.1	△ 19.0	1.7
	75歳以上	101	81.2	6.9	1.0	▲ 5.0	5.9
女性	18~29歳	109	△ 89.0	2.8	1.8	▲ 6.4	0.0
	30~39歳	159	○ 89.3	5.0	0.6	▲ 5.0	0.0
	40~49歳	193	△ 85.5	6.2	1.6	▲ 6.7	0.0
	50~59歳	147	82.3	4.1	0.0	13.6	0.0
	60~64歳	61	△ 85.2	1.6	3.3	9.8	0.0
	65~74歳	153	△ 86.3	3.3	1.3	8.5	0.7
	75歳以上	109	○ 93.6	▲ 0.0	2.8	● 0.9	2.8

(3) 喫煙の有無（居住地域別）

居住地域別にみると、「毎日吸っている」は、青木地域が 16.6%、南平地域が 16.1%、神根地域が 15.9%と 1割半ばを超えてやや高くなっています。

【喫煙の有無（居住地域別）】

	(人)	合計	吸わない	以前は吸っていたが1か月以上吸っていない	時々吸う日がある	毎日吸っている	(%)
全体	1,722	79.2	5.1	1.9	12.5	1.3	
中央地域	171	80.7	4.7	4.7	9.4	0.6	
横曾根地域	162	83.3	3.7	1.9	9.3	1.9	
青木地域	199	75.9	3.5	2.5	16.6	1.5	
南平地域	168	76.2	6.5	1.2	16.1	0.0	
新郷地域	96	81.3	3.1	0.0	12.5	3.1	
神根地域	138	77.5	5.8	0.7	15.9	0.0	
芝地域	206	78.6	7.8	1.5	11.2	1.0	
安行地域	97	83.5	6.2	1.0	▲ 7.2	2.1	
戸塚地域	207	77.8	6.8	1.9	12.6	1.0	
鳩ヶ谷地域	206	82.5	3.4	1.9	10.2	1.9	

19. 受動喫煙の認知度

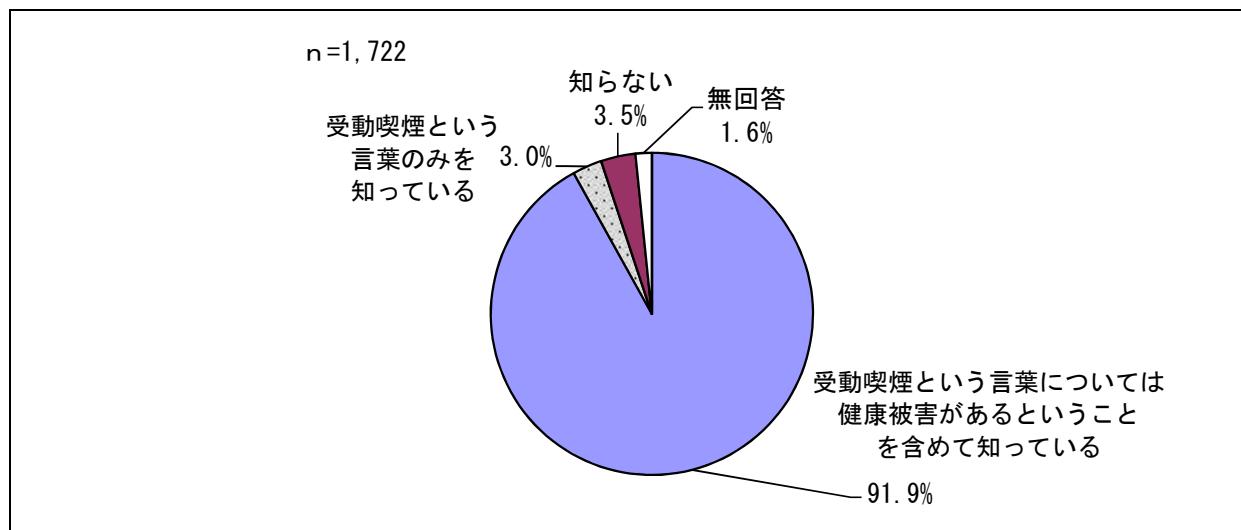
(1) 受動喫煙の認知度

問15 あなたは受動喫煙という言葉を知っていますか。 (○は1つ)

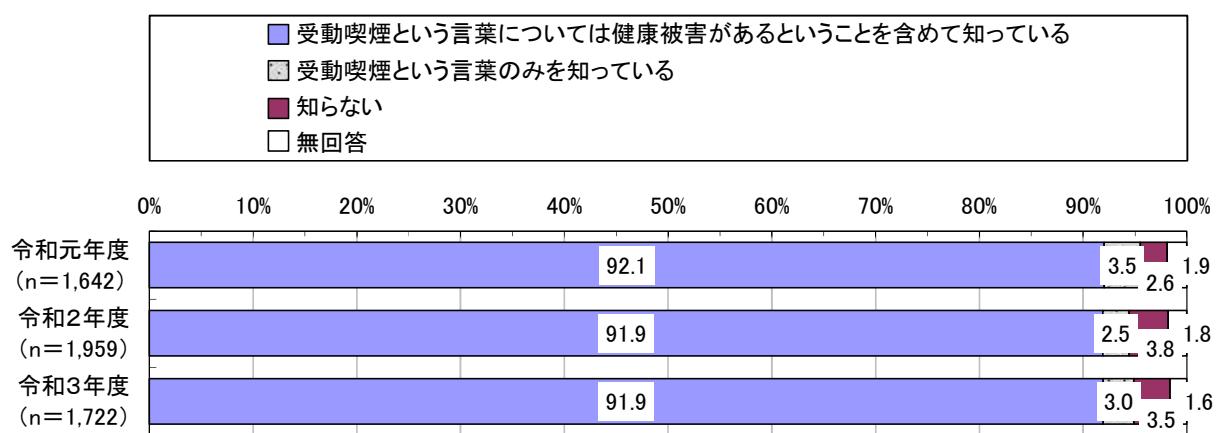
受動喫煙の認知度について、「受動喫煙という言葉については健康被害があるということを含めて知っている」が91.9%と9割を超えており、「受動喫煙という言葉のみを知っている」(3.0%)を合わせた『受動喫煙という言葉を知っている』は94.9%と9割半ばを占めています。一方、「知らない」は3.5%となっています。

受動喫煙の認知度の推移をみると、令和元年度からあまり変化ありません。

【受動喫煙の認知度（全体）】



【受動喫煙の認知度の推移】



(2) 受動喫煙の認知度（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「受動喫煙という言葉については健康被害があるということを含めて知っている」は、男性の75歳以上が78.2%、女性の75歳以上が78.0%と8割を切って低く、そのほかの年齢はいずれも9割を超えています。

【受動喫煙の認知度（性・年齢別）】

		(人)	(%)			
		合計	受動喫煙という言葉については健康被害があるということを含めて知っている	受動喫煙といふ言葉のみを知っている	知らない	無回答
全体		1,722	91.9	3.0	3.5	1.6
男性		728	91.8	3.6	3.0	1.6
女性		932	93.1	2.5	3.4	1.0
男性	18～29歳	77	90.9	2.6	5.2	1.3
	30～39歳	91	94.5	1.1	3.3	1.1
	40～49歳	160	96.3	0.6	1.9	1.3
	50～59歳	120	94.2	2.5	3.3	0.0
	60～64歳	57	91.2	7.0	1.8	0.0
	65～74歳	121	93.4	4.1	0.8	1.7
	75歳以上	101	● 78.2	△ 9.9	5.9	5.9
女性	18～29歳	109	96.3	0.9	2.8	0.0
	30～39歳	159	96.9	0.6	2.5	0.0
	40～49歳	193	94.8	2.6	1.6	1.0
	50～59歳	147	94.6	2.0	2.7	0.7
	60～64歳	61	91.8	3.3	4.9	0.0
	65～74歳	153	94.8	1.3	2.6	1.3
	75歳以上	109	● 78.0	△ 8.3	△ 10.1	3.7

(3) 受動喫煙の認知度（居住地域別）

居住地域別にみると、「受動喫煙という言葉については健康被害があるということを含めて知っている」は、新郷地域が 85.4%、戸塚地域が 88.8%と 9割を切って、そのほかの地域よりも低くなっています。

【受動喫煙の認知度（居住地域別）】

	合計	(人)	受動喫煙という言葉については健康被害があるということを含めて知っている	受動喫煙という言葉のみを知っている	(%)	知らない	無回答
全体	1,722	91.9	3.0	3.5	1.6		
中央地域	171	95.3	1.8	2.3	0.6		
横曽根地域	162	94.4	1.2	2.5	1.9		
青木地域	199	94.0	2.5	2.0	1.5		
南平地域	168	94.6	2.4	3.0	0.0		
新郷地域	96	▲ 85.4	3.1	5.2	6.3		
神根地域	138	91.3	2.9	5.1	0.7		
芝地域	206	93.2	1.9	3.9	1.0		
安行地域	97	92.8	1.0	3.1	3.1		
戸塚地域	207	92.3	4.3	2.4	1.0		
鳩ヶ谷地域	206	88.8	5.3	4.4	1.5		

20. 国の受動喫煙対策の認知度

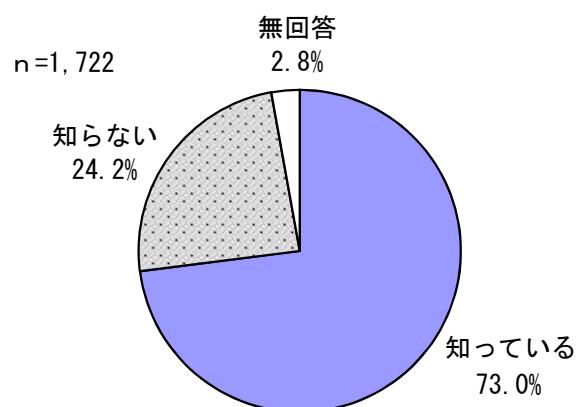
(1) 国の受動喫煙対策の認知度

問16 国では、健康増進法を改正し、受動喫煙対策を強化しています。あなたはこのような国の動きを知っていますか。（○は1つ）

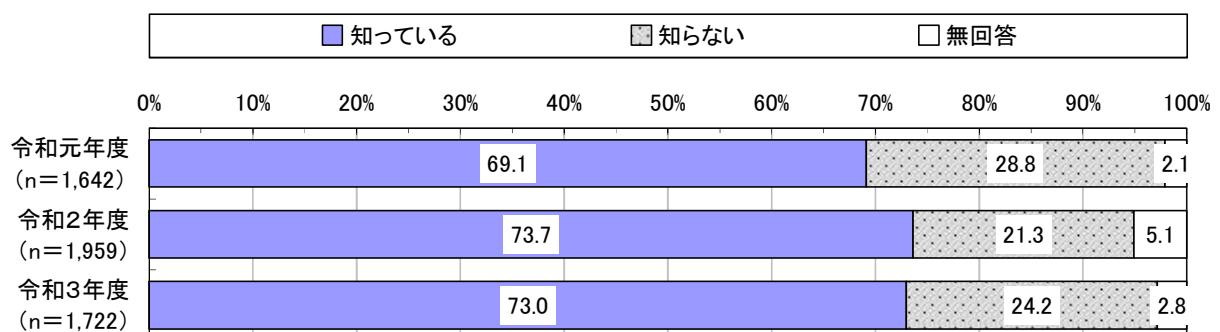
国の受動喫煙対策の認知度について、「知っている」は73.0%と7割を超えており、反対に「知らない」は24.2%と回答者の4分の1近くを占めています。

国の受動喫煙対策の認知度の推移をみると、「知らない」は令和2年度からより2.9ポイント上がっています。

【国の受動喫煙対策の認知度（全体）】



【国の受動喫煙対策の認知度の推移】



(2) 国の受動喫煙対策の認知度（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「知っている」は、男性の40～49歳が82.5%、60～64歳が80.7%と8割を超えて高く、女性の30～39歳も79.2%と8割近くを占めています。

【国の受動喫煙対策の認知度（性・年齢別）】

		(人)	(%)		
		合計	知っている	知らない	無回答
全体		1,722	73.0	24.2	2.8
男性		728	75.0	22.3	2.7
女性		932	73.0	25.0	2.0
男性	18～29歳	77	74.0	23.4	2.6
	30～39歳	91	74.7	24.2	1.1
	40～49歳	160	△ 82.5	▲ 15.6	1.9
	50～59歳	120	77.5	20.8	1.7
	60～64歳	57	△ 80.7	19.3	0.0
	65～74歳	121	72.7	24.0	3.3
	75歳以上	101	● 61.4	△ 30.7	△ 7.9
女性	18～29歳	109	76.1	23.9	0.0
	30～39歳	159	△ 79.2	20.8	0.0
	40～49歳	193	72.5	26.4	1.0
	50～59歳	147	72.1	26.5	1.4
	60～64歳	61	73.8	24.6	1.6
	65～74歳	153	72.5	24.2	3.3
	75歳以上	109	▲ 63.3	△ 29.4	7.3

(3) 国の受動喫煙対策の認知度（居住地域別）

居住地域別にみると、「知っている」は、中央地域が 81.3%、戸塚地域が 80.2%と 8割を超えて高くなっています。

【国の受動喫煙対策の認知度（居住地域別）】

	(人)	(%)		
	合計	知っている	知らない	無回答
全体	1,722	73.0	24.2	2.8
中央地域	171	△ 81.3	▲ 16.4	2.3
横曽根地域	162	75.3	21.0	3.7
青木地域	199	71.4	26.6	2.0
南平地域	168	71.4	26.8	1.8
新郷地域	96	▲ 63.5	△ 31.3	5.2
神根地域	138	▲ 66.7	△ 32.6	0.7
芝地域	206	75.2	22.3	2.4
安行地域	97	● 62.9	△ 32.0	5.2
戸塚地域	207	△ 80.2	▲ 18.4	1.4
鳩ヶ谷地域	206	72.8	23.8	3.4

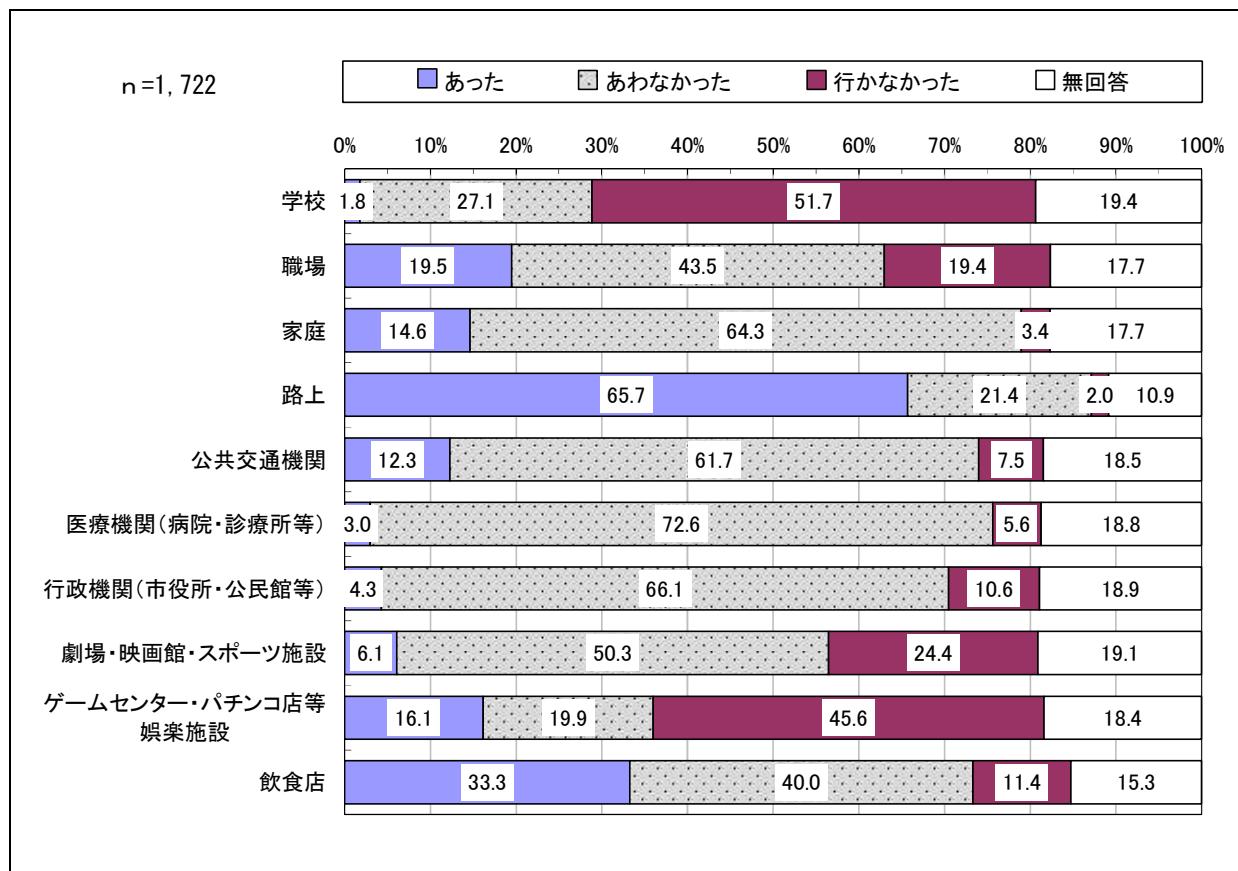
21. 1年間に受動喫煙にあった施設

(1) 1年間に受動喫煙にあった施設

問17 あなたはおよそ1年の間に次のような施設(敷地内の屋外、屋内を含む)などで受動喫煙にあいましたか。(それぞれ○は1つ)

1年間に受動喫煙にあった施設について、「路上」が65.7%と6割半ばを占めて最も高く、次いで「飲食店」が33.3%、「職場」が19.5%、「ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設」が16.1%、「家庭」が14.6%、「公共交通機関」が12.3%と1割を超えて続いています。

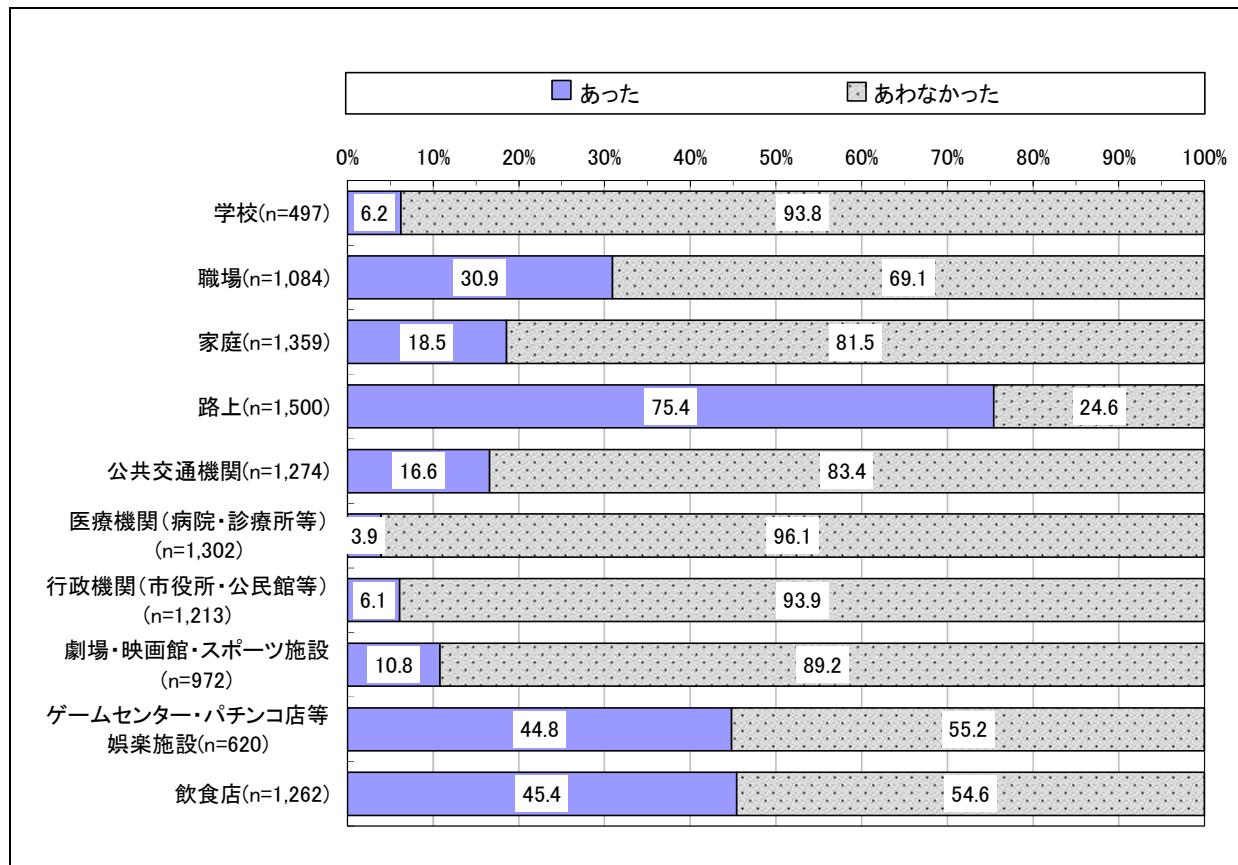
【1年間に受動喫煙にあった施設(全体)】



(2) 1年間に受動喫煙にあった施設（「行かなかった」「無回答」除く）

「行かなかった」「無回答」除くと、「路上」が75.4%と7割半ばを超えており、「飲食店」(45.4%)と「ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設」(44.8)がともに4割前後、「職場」(30.9%)が3割を占めています。

【1年間に受動喫煙にあった施設・場所（全体・「行かなかった」「無回答」除く）】



(3) 1年間に受動喫煙にあった施設（性・年齢別）

性・年齢別にみると、1年間に受動喫煙に「あった」と回答された施設は、「職場」では、男性の40～49歳が40.0%、30～39歳が37.4%と高くなっています。

「家庭」では、女性の18～29歳が24.8%と約2割半ばで高くなっています。

「路上」では、女性の30～39歳が88.1%、18～29歳が86.2%と8割を超えて高くなっています。女性の40～49歳が78.8%、男性の40～49歳が76.9%と7割半ばを超えています。

「公共交通機関」では、女性の18～29歳が20.2%と2割に達しています。

「ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設」では、男性の18～29歳が40.3%と4割に達して最も高くなっています。

「飲食店」では、男性の30～64歳、女性の18～39歳の年齢で4割を超えており、特に男性の40～49歳で50.6%が5割に達し最も高くなっています。

【1年間に受動喫煙にあった施設（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	男性 (%)						
		18～29歳 (n= 77)	30～39歳 (n= 91)	40～49歳 (n= 160)	50～59歳 (n= 120)	60～64歳 (n= 57)	65～74歳 (n= 121)	75歳以上 (n= 101)
学校	1.8	5.2	0.0	1.9	2.5	1.8	0.0	1.0
職場	19.5	23.4	☆ 37.4	☆ 40.0	19.2	△ 28.1	▲ 10.7	★ 4.0
家庭	14.6	15.6	13.2	16.3	10.0	14.0	▲ 8.3	▲ 8.9
路上	65.7	△ 74.0	70.3	○ 76.9	70.0	● 52.6	● 54.5	★ 41.6
公共交通機関	12.3	13.0	12.1	△ 18.1	10.8	12.3	7.4	▲ 5.9
医療機関（病院・診療所等）	3.0	2.6	5.5	1.9	2.5	5.3	4.1	3.0
行政機関（市役所・公民館等）	4.3	7.8	△ 9.9	2.5	3.3	7.0	4.1	1.0
劇場・映画館・スポーツ施設	6.1	9.1	6.6	△ 11.3	5.8	△ 15.8	5.0	4.0
ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設	16.1	☆ 40.3	20.9	△ 23.8	14.2	14.0	▲ 10.7	11.9
飲食店	33.3	33.8	○ 45.1	☆ 50.6	△ 40.8	○ 43.9	● 22.3	▲ 24.8

【1年間に受動喫煙にあった施設（女性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	女性 (%)						
		18～29歳 (n= 109)	30～39歳 (n= 159)	40～49歳 (n= 193)	50～59歳 (n= 147)	60～64歳 (n= 61)	65～74歳 (n= 153)	75歳以上 (n= 109)
学校	1.8	△ 7.3	1.9	2.1	0.7	1.6	0.0	0.0
職場	19.5	△ 26.6	24.5	19.7	15.6	▲ 11.5	● 7.8	★ 2.8
家庭	14.6	○ 24.8	19.5	△ 20.2	17.7	14.8	12.4	▲ 7.3
路上	65.7	☆ 86.2	☆ 88.1	○ 78.8	62.6	▲ 59.0	▲ 58.2	★ 33.9
公共交通機関	12.3	△ 20.2	13.2	14.5	12.2	▲ 4.9	8.5	9.2
医療機関（病院・診療所等）	3.0	0.9	1.9	5.2	3.4	1.6	1.3	2.8
行政機関（市役所・公民館等）	4.3	3.7	4.4	5.2	4.1	0.0	3.3	4.6
劇場・映画館・スポーツ施設	6.1	8.3	6.3	6.2	4.1	1.6	2.0	▲ 0.9
ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設	16.1	○ 29.4	△ 25.2	13.5	12.9	▲ 8.2	● 2.6	★ 0.9
飲食店	33.3	○ 46.8	○ 45.9	33.2	34.7	★ 16.4	★ 16.3	★ 10.1

(4) 1年間に受動喫煙にあった施設（居住地域別）

居住地域別にみると、1年間に受動喫煙に「あった」と回答された施設は、「職場」では、南平地域が25.6%、安行地域が24.7%、戸塚地域が24.2%と2割半ば前後で高くなっています。

「路上」では、中央地域が76.6%、横曽根地域が71.0%と7割を超えて高くなっています。

「劇場・映画館・スポーツ施設」では、安行地域が11.3%と1割を超えてやや高くなっています。

「飲食店」では、横曽根地域が41.4%、中央地域が39.8%と4割前後で高くなっています。

【1年間に受動喫煙にあった施設（居住地域別）】

	全体 (n=1,722)	中央 地域 (n= 171)	横曽根 地域 (n= 162)	青木 地域 (n= 199)	南平 地域 (n= 168)	新郷 地域 (n= 96)	神根 地域 (n= 138)	芝 地域 (n= 206)	安行 地域 (n= 97)	戸塚 地域 (n= 207)	鳩ヶ谷 地域 (n= 206)
学校	1.8	0.0	1.2	0.5	4.2	4.2	2.2	1.9	4.1	0.5	1.9
職場	19.5	▲ 14.0	▲ 13.0	19.6	△ 25.6	21.9	19.6	19.9	△ 24.7	24.2	16.0
家庭	14.6	12.9	14.2	16.6	17.3	16.7	13.0	14.6	14.4	14.0	16.0
路上	65.7	○ 76.6	△ 71.0	67.3	69.0	● 51.0	★ 49.3	66.5	67.0	68.6	65.0
公共交通機関	12.3	8.2	12.3	12.6	10.7	15.6	12.3	10.2	15.5	15.5	9.2
医療機関（病院・診療所等）	3.0	2.3	3.1	2.5	1.8	△ 8.3	0.7	4.4	3.1	2.4	1.9
行政機関（市役所・公民館等）	4.3	2.3	4.3	3.0	4.2	4.2	2.9	5.8	7.2	3.9	4.4
劇場・映画館・スポーツ施設	6.1	4.1	6.8	4.0	4.8	6.3	5.8	5.8	△ 11.3	6.3	7.3
ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設	16.1	17.0	18.5	11.6	16.1	17.7	▲ 10.9	17.5	20.6	17.9	17.0
飲食店	33.3	△ 39.8	△ 41.4	33.7	35.1	▲ 25.0	▲ 26.1	33.5	33.0	35.7	▲ 27.2

22. 児童虐待への関心

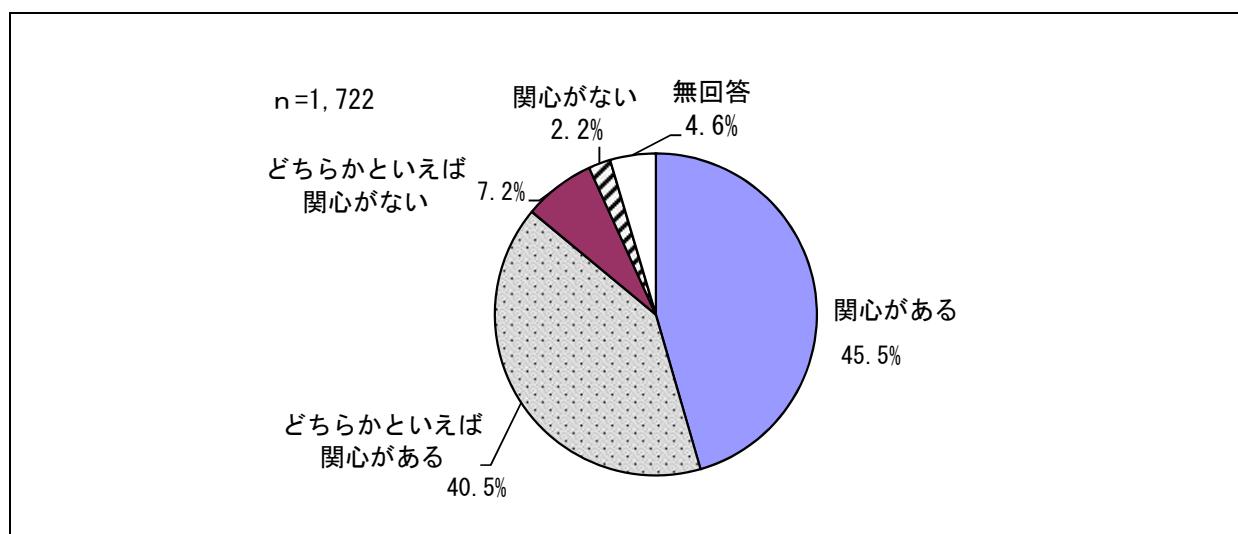
(1) 児童虐待への関心

問18 あなたは児童虐待についてどの程度関心をお持ちですか。 (○は1つ)

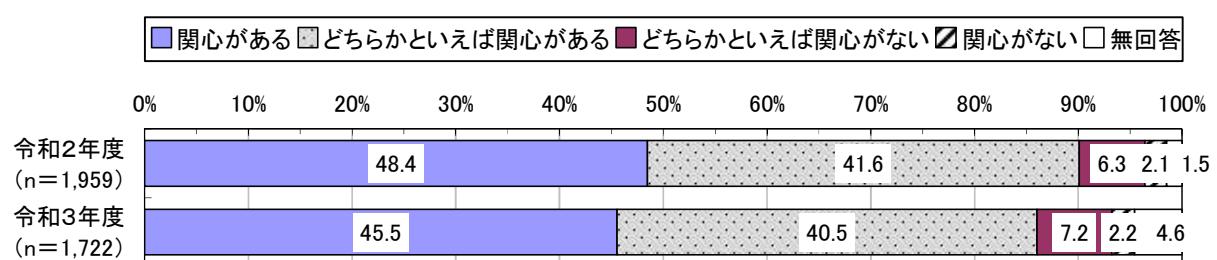
児童虐待への関心について、「関心がある」が45.5%、「どちらかといえば関心がある」が40.5%と4割を超えており、二つ合わせた『関心がある』は86.0%と8割半ばを超えています。一方、「どちらかといえば関心がない」(7.2%)と「関心がない」(2.2%)を合わせた『関心がない』は9.4%と1割近くを占めています。

児童虐待への関心の推移をみると、「関心がある」「どちらかといえば関心がある」とともに令和2年度より減少しており、合わせた『関心がある』は約4ポイント下がっています。

【児童虐待への関心（全体）】



【児童虐待への関心の推移】



(2) 児童虐待への関心（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「関心がある」は、男性の75歳以上が59.4%と6割近くを占めて最も高く、女性の75歳以上が54.1%、40～49歳が51.3%、60～64歳が50.8%と5割を超えてています。

「どちらかといえば関心がない」が、男性の60～64歳で21.1%、18～29歳で20.8%と2割を超えて高くなっています。

【児童虐待への関心（性・年齢別）】

		(人)	(%)				
		合計	関心がある	どちらか といえば 関心がある	どちらか といえば 関心がない	関心がない	無回答
全体	1,722	45.5	40.5	7.2	2.2	4.6	
男性	728	43.1	39.1	10.4	2.9	4.4	
女性	932	47.9	42.2	5.0	1.5	3.4	
男性	18～29歳	77	★ 28.6	40.3	○ 20.8	6.5	3.9
	30～39歳	91	44.0	41.8	7.7	4.4	2.2
	40～49歳	160	46.9	42.5	3.8	3.1	3.8
	50～59歳	120	45.0	▲ 33.3	△ 14.2	4.2	3.3
	60～64歳	57	★ 22.8	☆ 56.1	○ 21.1	0.0	0.0
	65～74歳	121	41.3	44.6	9.9	0.0	4.1
	75歳以上	101	○ 59.4	★ 21.8	5.9	2.0	△ 10.9
女性	18～29歳	109	44.0	△ 46.8	3.7	2.8	2.8
	30～39歳	159	46.5	42.8	5.0	3.1	2.5
	40～49歳	193	△ 51.3	42.0	5.2	1.0	0.5
	50～59歳	147	▲ 40.1	△ 47.6	8.8	0.7	2.7
	60～64歳	61	△ 50.8	44.3	▲ 1.6	0.0	3.3
	65～74歳	153	49.0	40.5	3.9	1.3	5.2
	75歳以上	109	△ 54.1	▲ 31.2	4.6	0.9	9.2

(3) 児童虐待への関心（居住地域別）

居住地域別にみると、「関心がある」は、南平地域が 54.2%と 5割を超えて高くなっています。

【児童虐待への関心（居住地域別）】

	(人)	(%)				
	合計	関心がある	どちらか といえば 関心がある	どちらか といえば 関心がない	関心がない	無回答
全体	1,722	45.5	40.5	7.2	2.2	4.6
中央地域	171	▲ 39.2	43.3	8.2	2.9	6.4
横曽根地域	162	44.4	40.7	6.2	2.5	6.2
青木地域	199	48.2	37.7	8.0	3.0	3.0
南平地域	168	△ 54.2	39.9	3.6	0.6	1.8
新郷地域	96	45.8	38.5	7.3	1.0	7.3
神根地域	138	48.6	37.7	7.2	3.6	2.9
芝地域	206	45.1	40.8	8.7	1.0	4.4
安行地域	97	44.3	△ 47.4	3.1	1.0	4.1
戸塚地域	207	41.5	44.9	9.2	1.9	2.4
鳩ヶ谷地域	206	45.6	38.8	7.8	2.4	5.3

23. 児童虐待にあたる行動

(1) 児童虐待にあたる行動

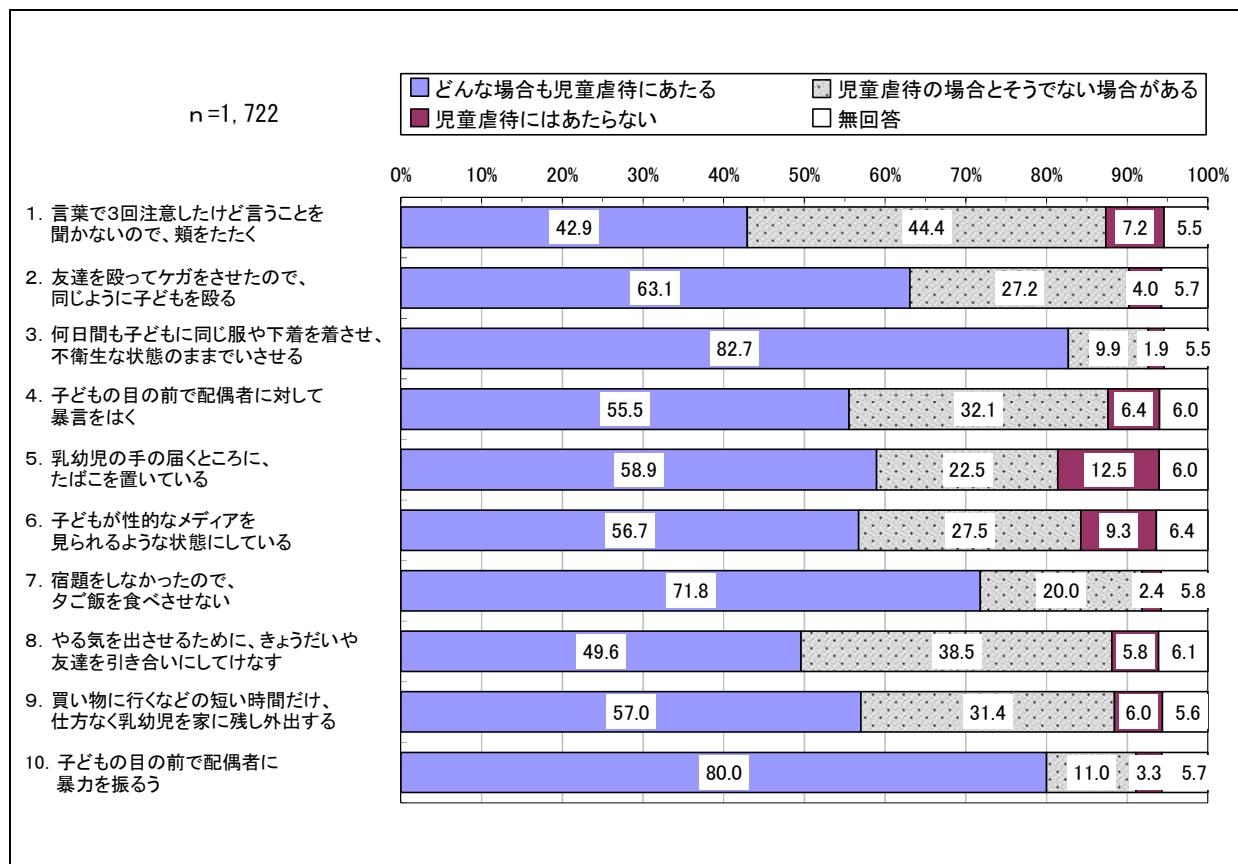
問19 下記の行動は、「児童虐待」にあたると思いますか。（それぞれ○は1つ）

児童虐待にあたる行動について、「どんな場合も児童虐待にあたる」は【何日間も子どもに同じ服や下着を着させ、不衛生な状態のままでいさせる】(82.7%)と【子どもの目の前で配偶者に暴力を振るう】(80.0%)が8割以上を占めて高く、次いで【宿題をしなかったので、夕ご飯を食べさせない】(71.8%)、【友達を殴ってケガをさせたので、同じように子どもを殴る】(63.1%)が続いています。

児童虐待の場合とそうでない場合がある行動について、【言葉で3回注意したけど言うことを聞かないので、頬をたたく】(44.4%)が4割半ば近くで最も高く、【やる気を出させるために、きょうだいや友達を引き合いにしてけなす】(38.5%)、【子どもの目の前で配偶者に対して暴言をはく】(32.1%)、【買い物に行くなどの短い時間だけ、仕方なく乳幼児を家に残し外出する】(31.4%)も3割を超えて高くなっています。

一方、児童虐待にあたらぬと思う行動について、【乳幼児の手の届くところに、たばこを置いている】(12.5%)と【子どもが性的なメディアを見られるような状態にしている】(9.3%)が1割前後を占めています。

【児童虐待にあたる行動（全体）】



(2) 児童虐待の場合とそうでない場合があると思う行動（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「児童虐待の場合とそうでない場合がある」と思う行動は、「言葉で3回注意したけど言うことを聞かないでの、顎をたたく」では、女性の40～49歳が58.5%、男性の18～29歳が57.1%と5割半ばを超えて高くなっています。

「友達を殴ってケガをさせたので、同じように子どもを殴る」では、男性の18～29歳が36.4%、40～49歳が35.6%と3割半ばを超えて高くなっています。

「何日間も子どもに同じ服や下着を着させ、不衛生な状態のままでいさせる」では、男性の18～29歳が19.5%と2割近くで最も高くなっています。

「子どもの目の前で配偶者に対して暴言をはく」では、女性の40～49歳が39.9%、男性の65～74歳が38.8%と4割近くで高くなっています。

「乳幼児の手の届くところに、たばこを置いている」では、男性の18～29歳が32.5%と3割を超えて最も高くなっています。

「子どもが性的なメディアを見られるような状態にしている」では、男性の18～29歳で42.9%と4割を超えて最も高く、女性の18～29歳も35.8%と3割半ばを超えています。

「宿題をしなかったので、夕ご飯を食べさせない」では、女性の40～49歳が26.4%と2割半ばを超えて最も高くなっています。

「やる気を出させるために、きょうだいや友達を引き合いにしてけなす」では、女性の40～49歳が48.7%、男性の18～29歳が48.1%と5割近くで高くなっています。

「買い物に行くなどの短い時間だけ、仕方なく乳幼児を家に残し外出する」では、女性の50～59歳が42.2%、40～49歳が42.0%、男性の18～29歳が41.6%と4割を超えて高くなっています。

【児童虐待の場合とそうでない場合があると思う行動（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	男性 (%)						
		18~29歳 (n= 77)	30~39歳 (n= 91)	40~49歳 (n= 160)	50~59歳 (n= 120)	60~64歳 (n= 57)	65~74歳 (n= 121)	75歳以上 (n= 101)
言葉で3回注意したけど言うことを聞かないでの、頬をたたく	44.4	○ 57.1	42.9	43.1	46.7	▲ 36.8	▲ 36.4	▲ 34.7
友達を殴ってケガをさせたので、同じように子どもを殴る	27.2	△ 36.4	28.6	△ 35.6	25.0	24.6	▲ 19.8	▲ 20.8
何日間も子どもに同じ服や下着を着させ、不衛生な状態のまままでいさせる	9.9	△ 19.5	7.7	7.5	10.0	△ 17.5	14.9	△ 16.8
子どもの目の前で配偶者に対して暴言をはく	32.1	36.4	28.6	33.8	34.2	29.8	△ 38.8	29.7
乳幼児の手の届くところに、たばこを置いている	22.5	△ 32.5	17.6	22.5	21.7	26.3	23.1	20.8
子どもが性的なメディアを見られるような状態にしている	27.5	☆ 42.9	26.4	27.5	31.7	26.3	28.1	27.7
宿題をしなかったので、夕ご飯を食べさせない	20.0	22.1	24.2	23.8	17.5	▲ 14.0	16.5	▲ 13.9
やる気を出させるために、きょうだいや友達を引き合いにしてけなす	38.5	△ 48.1	37.4	40.6	39.2	36.8	38.0	36.6
買い物に行くなどの短い時間だけ、仕方なく乳幼児を家に残し外出する	31.4	○ 41.6	27.5	▲ 23.1	30.0	▲ 22.8	▲ 24.0	▲ 21.8
子どもの目の前で配偶者に暴力を振るう	11.0	13.0	7.7	11.3	13.3	14.0	13.2	14.9

【児童虐待の場合とそうでない場合があると思う行動（女性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	女性 (%)						
		18~29歳 (n= 109)	30~39歳 (n= 159)	40~49歳 (n= 193)	50~59歳 (n= 147)	60~64歳 (n= 61)	65~74歳 (n= 153)	75歳以上 (n= 109)
言葉で3回注意したけど言うことを聞かないでの、頬をたたく	44.4	45.9	△ 49.7	○ 58.5	41.5	42.6	41.8	43.1
友達を殴ってケガをさせたので、同じように子どもを殴る	27.2	29.4	△ 32.7	△ 33.7	▲ 20.4	▲ 21.3	▲ 20.9	31.2
何日間も子どもに同じ服や下着を着させ、不衛生な状態のまままでいさせる	9.9	8.3	7.5	6.2	7.5	9.8	9.2	10.1
子どもの目の前で配偶者に対して暴言をはく	32.1	33.9	28.9	△ 39.9	28.6	▲ 26.2	29.4	27.5
乳幼児の手の届くところに、たばこを置いている	22.5	20.2	▲ 17.0	22.8	26.5	23.0	24.2	21.1
子どもが性的なメディアを見られるような状態にしている	27.5	△ 35.8	30.2	30.6	23.1	● 14.8	22.9	● 16.5
宿題をしなかったので、夕ご飯を食べさせない	20.0	17.4	22.0	△ 26.4	21.1	24.6	19.0	17.4
やる気を出させるために、きょうだいや友達を引き合いにしてけなす	38.5	39.4	37.7	○ 48.7	▲ 32.0	▲ 29.5	35.9	36.7
買い物に行くなどの短い時間だけ、仕方なく乳幼児を家に残し外出する	31.4	32.1	35.8	○ 42.0	○ 42.2	32.8	32.0	29.4
子どもの目の前で配偶者に暴力を振るう	11.0	6.4	8.2	9.8	10.2	11.5	13.7	10.1

(3) 児童虐待の場合とそうでない場合があると思う行動(居住地域別)

居住地域別にみると、「児童虐待の場合とそうでない場合がある」と思う行動は、「言葉で3回注意したけど言うことを聞かないので、頬をたたく」では、安行地域で53.6%、戸塚地域で50.7%と5割を超えて高くなっています。

「友達を殴ってケガをさせたので、同じように子どもを殴る」では、安行地域で39.2%と4割近くで最も高くなっています。

「子どもが性的なメディアを見られるような状態にしている」では、新郷地域で33.3%、安行地域で33.0%、横曽根地域で32.7%と3割を超えて高くなっています。

【児童虐待の場合とそうでない場合があると思う行動(居住地域別)】

	全体 (n=1,722)	中央 地域 (n= 171)	横曽根 地域 (n= 162)	青木 地域 (n= 199)	南平 地域 (n= 168)	新郷 地域 (n= 96)	神根 地域 (n= 138)	芝 地域 (n= 206)	安行 地域 (n= 97)	戸塚 地域 (n= 207)	鳩ヶ谷 地域 (n= 206)
言葉で3回注意したけど言うことを聞かないので、頬をたたく	44.4	45.0	42.6	44.7	45.2	▲ 38.5	▲ 39.1	45.6	△ 53.6	△ 50.7	42.7
友達を殴ってケガをさせたので、同じように子どもを殴る	27.2	29.2	27.8	24.1	25.0	▲ 19.8	29.0	29.6	○ 39.2	27.1	26.2
何日間も子どもに同じ服や下着を着させ、不衛生な状態のままいさせる	9.9	12.3	11.7	8.5	11.9	11.5	9.4	10.7	10.3	6.8	9.7
子どもの目の前で配偶者に対して暴言をはく	32.1	33.9	33.3	30.2	30.4	35.4	30.4	32.5	34.0	32.9	31.6
乳幼児の手の届くところに、たばこを置いている	22.5	20.5	26.5	20.6	23.2	20.8	21.0	22.8	21.6	21.7	23.3
子どもが性的なメディアを見られるような状態にしている	27.5	25.1	△ 32.7	24.1	29.2	△ 33.3	26.1	29.6	△ 33.0	25.6	25.7
宿題をしなかったので、夕ご飯を食べさせない	20.0	19.3	24.1	22.1	20.2	19.8	17.4	19.4	20.6	20.8	18.4
やる気を出させるために、きょうだいや友達を引き合いにしてけなす	38.5	38.0	39.5	42.2	39.3	34.4	38.4	37.9	40.2	40.1	38.3
買い物に行くなどの短い時間だけ、仕方なく乳幼児を家に残し外出する	31.4	35.7	35.2	31.7	32.1	▲ 26.0	32.6	31.1	28.9	30.9	32.5
子どもの目の前で配偶者に暴力を振るう	11.0	12.9	13.0	12.6	11.3	13.5	10.9	10.2	7.2	▲ 5.8	12.6

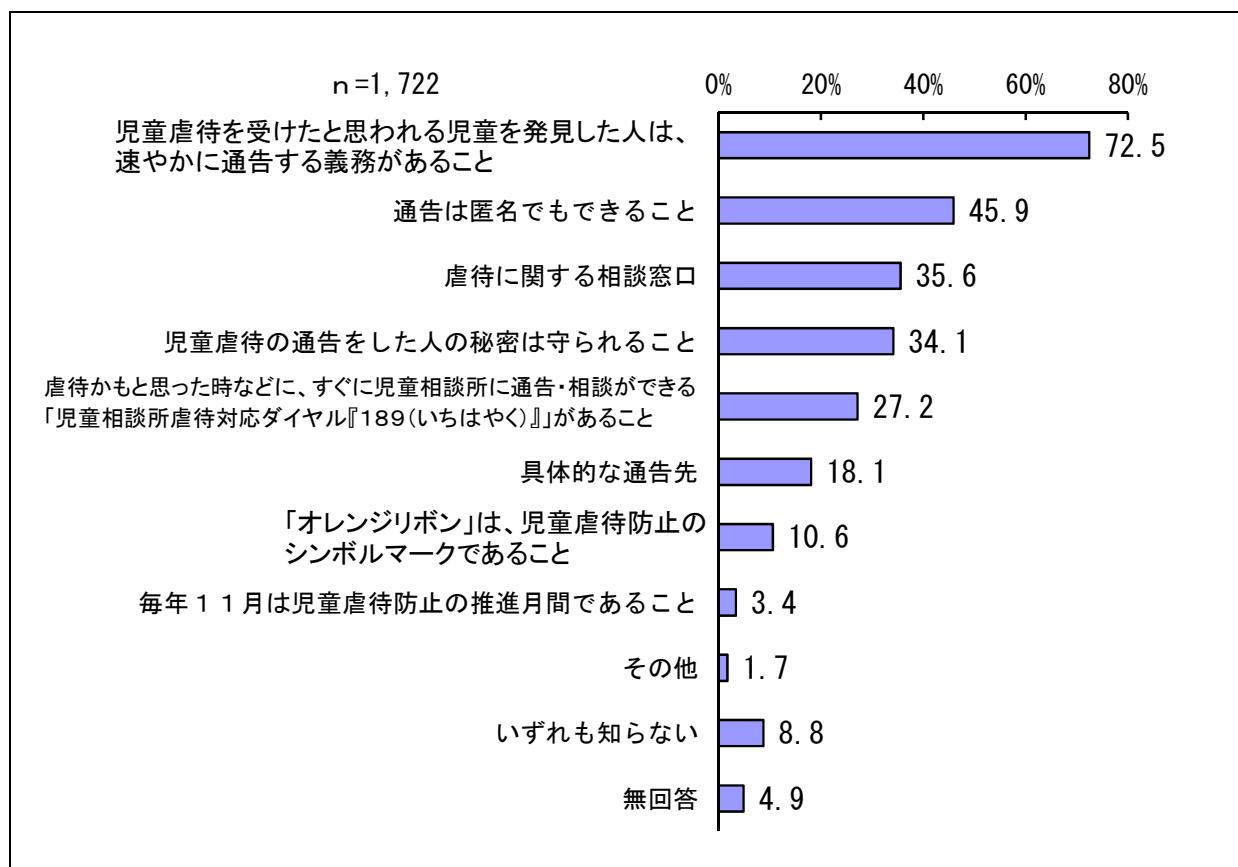
24. 児童虐待について知っていること

(1) 児童虐待について知っていること

問20 あなたが、児童虐待について知っていることはなんですか。（○はいくつでも）

児童虐待について知っていることについて、「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること」が72.5%と7割を超えて最も高く、次いで「通告は匿名でもできること」が45.9%、「虐待に関する相談窓口」が35.6%、「児童虐待の通告をした人の秘密は守られること」が34.1%と3割を超えて続いています。

【児童虐待について知っていること（全体）】



(2) 児童虐待について知っていること（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること」は、女性の 40～74 歳の年齢で 8 割を超えており、特に女性の 50～59 歳が 87.1%、60～64 歳が 85.2% と 8 割半ばを超えています。

「通告は匿名でもできること」は、女性の 18～49 歳の年齢で 5 割半ばを超えて高くなっています。

「虐待に関する相談窓口」は、女性の 60～64 歳が 57.4% と 5 割半ばを超えて最も高くなっています。

「児童虐待の通告をした人の秘密は守られること」は、女性の 18～29 歳が 45.0% と 4 割半ばで最も高くなっています。

「虐待かもと思った時などに、すぐに児童相談所に通告・相談ができる「児童相談所虐待対応ダイヤル『189（いちはやく）』」があること」は、女性の 60～74 歳が 3 割半ばを超えて最も高くなっています。

「具体的な通告先」では、女性の 60～64 歳が 34.4% と 3 割半ば近くで最も高くなっています。

「いずれも知らない」は、男性の 60～64 歳以上が 19.3%、40～49 歳が 17.5%、18～29 歳が 15.6% と 1 割半ばを超えて高くなっています。

【児童虐待について知っていること（男性・年齢別）】

	全体 (n= 1,722)	男性 (%)						
		18～29歳 (n= 77)	30～39歳 (n= 91)	40～49歳 (n= 160)	50～59歳 (n= 120)	60～64歳 (n= 57)	65～74歳 (n= 121)	75歳以上 (n= 101)
児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること	72.5	▲ 66.2	▲ 63.7	70.6	74.2	▲ 63.2	71.9	★ 51.5
通告は匿名でもできること	45.9	49.4	49.5	45.6	▲ 38.3	▲ 40.4	41.3	▲ 37.6
虐待に関する相談窓口	35.6	33.8	30.8	30.6	35.0	33.3	▲ 28.9	▲ 29.7
児童虐待の通告をした人の秘密は守られるうこと	34.1	35.1	29.7	29.4	▲ 26.7	▲ 28.1	△ 42.1	36.6
虐待かもと思った時などに、すぐに児童相談所に通告・相談ができる「児童相談所虐待対応ダイヤル『189（いちはやく）』」があること	27.2	26.0	▲ 18.7	▲ 20.0	▲ 20.0	△ 33.3	28.1	29.7
具体的な通告先	18.1	▲ 11.7	18.7	17.5	16.7	19.3	15.7	16.8
「オレンジリボン」は、児童虐待防止のシンボルマークであること	10.6	9.1	7.7	9.4	10.0	8.8	▲ 4.1	7.9
毎年11月は児童虐待防止の推進月間であり、オレンジリボンキャンペーンを実施していること	3.4	5.2	4.4	1.3	2.5	7.0	1.7	3.0
その他	1.7	0.0	1.1	2.5	0.8	1.8	1.7	4.0
いずれも知らない	8.8	△ 15.6	11.0	△ 17.5	10.8	○ 19.3	9.1	5.9
無回答	4.9	2.6	2.2	3.8	2.5	0.0	5.8	○ 18.8

【児童虐待について知っていること（女性・年齢別）】

	全体 (n= 1,722)	女性 (%)						
		18～29歳 (n= 109)	30～39歳 (n= 159)	40～49歳 (n= 193)	50～59歳 (n= 147)	60～64歳 (n= 61)	65～74歳 (n= 153)	75歳以上 (n= 109)
児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること	72.5	△ 78.9	75.5	△ 81.9	○ 87.1	○ 85.2	△ 80.4	★ 56.9
通告は匿名でもできること	45.9	○ 58.7	○ 57.2	○ 57.0	49.0	50.8	▲ 39.2	★ 23.9
虐待に関する相談窓口	35.6	△ 42.2	△ 40.9	△ 43.5	36.1	☆ 57.4	40.5	★ 20.2
児童虐待の通告をした人の秘密は守られるうこと	34.1	○ 45.0	35.2	35.8	33.3	△ 42.6	36.6	▲ 28.4
虐待かもと思った時などに、すぐに児童相談所に通告・相談ができる「児童相談所虐待対応ダイヤル『189（いちはやく）』」があること	27.2	32.1	26.4	31.1	24.5	○ 37.7	△ 35.9	23.9
具体的な通告先	18.1	21.1	18.9	20.7	17.7	☆ 34.4	16.3	13.8
「オレンジリボン」は、児童虐待防止のシンボルマークであること	10.6	12.8	6.3	△ 17.1	12.2	9.8	13.1	11.9
毎年11月は児童虐待防止の推進月間であり、オレンジリボンキャンペーンを実施していること	3.4	3.7	0.6	4.7	5.4	4.9	4.6	1.8
その他	1.7	0.9	0.0	1.0	2.0	3.3	2.6	4.6
いずれも知らない	8.8	8.3	8.2	▲ 2.6	4.8	▲ 0.0	6.5	8.3
無回答	4.9	0.9	0.6	2.1	0.0	1.6	2.6	○ 17.4

(3) 児童虐待について知っていること（居住地域別）

居住地域別にみると、「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること」は、南平地域が 79.8%、芝地域が 77.7%と 7割半ばを超えて高くなっています。

「通告は匿名でもできること」は、芝地域が 51.9%で 5割を超えて高くなっています。

「虐待に関する相談窓口」は、芝地域が 44.7%と 4割半ば近くで高くなっています。

「児童虐待の通告をした人の秘密は守られること」は、戸塚地域が 41.1%、横曽根地域が 39.5%、芝地域が 38.3%と 4割前後で高くなっています。

「具体的な通告先」では、芝地域が 24.3%と 2割半ば近くで最も高くなっています。

【児童虐待について知っていること（居住地域別）】

	全体 (n=1,722)	中央 地域 (n= 171)	横曽根 地域 (n= 162)	青木 地域 (n= 199)	南平 地域 (n= 168)	新郷 地域 (n= 96)	神根 地域 (n= 138)	芝 地域 (n= 206)	安行 地域 (n= 97)	戸塚 地域 (n= 207)	鳩ヶ谷 地域 (n= 206)
児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること	72.5	69.6	▲ 67.3	68.3	△ 79.8	74.0	70.3	△ 77.7	71.1	74.4	73.3
通告は匿名でもできること	45.9	42.1	49.4	47.2	48.2	▲ 38.5	41.3	△ 51.9	47.4	46.4	45.1
虐待に関する相談窓口	35.6	▲ 29.2	35.8	36.2	38.7	33.3	40.6	△ 44.7	35.1	32.4	30.6
児童虐待の通告をした人の秘密は守られる	34.1	32.7	△ 39.5	▲ 27.6	33.9	31.3	37.0	38.3	32.0	△ 41.1	31.1
虐待かもと思った時などに、すぐに児童相談所に通告・相談ができる「児童相談所虐待対応ダイヤル『189（いちはやく）』」があること	27.2	▲ 21.6	25.9	26.6	26.8	△ 32.3	31.9	31.6	23.7	25.1	27.7
具体的な通告先	18.1	14.6	19.1	17.1	18.5	14.6	15.9	△ 24.3	15.5	20.3	17.5
「オレンジリボン」は、児童虐待防止のシンボルマークであること	10.6	9.4	13.0	11.6	8.9	6.3	14.5	10.2	10.3	12.1	8.7
毎年11月は児童虐待防止の推進月間であり、オレンジリボンキャンペーンを実施していること	3.4	2.3	5.6	4.0	1.8	3.1	3.6	3.4	3.1	3.4	3.4
その他	1.7	2.3	1.9	2.0	1.2	2.1	2.9	0.5	0.0	1.9	1.0
いざれも知らない	8.8	12.9	7.4	12.1	6.5	7.3	8.7	5.8	10.3	9.7	8.3
無回答	4.9	4.1	5.6	4.0	1.8	8.3	5.8	4.9	6.2	2.4	4.9

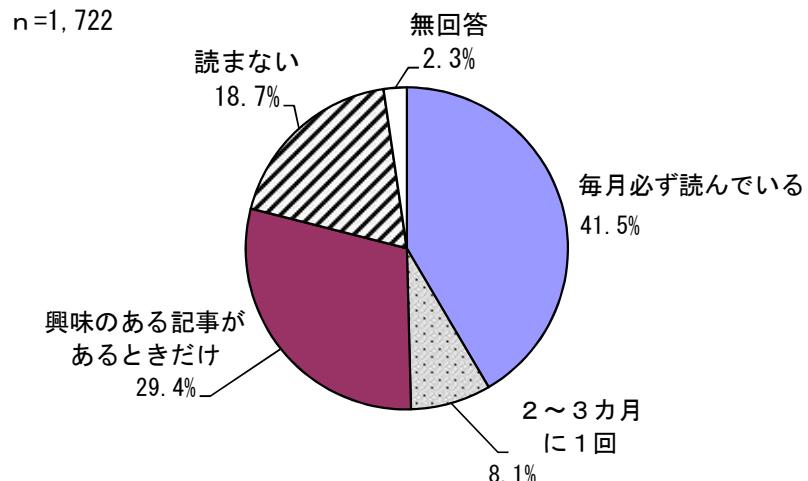
25. 広報かわぐちの閲読状況

(1) 広報かわぐちの閲読状況

問21 広報かわぐちを読んでいますか。 (○は1つ)

広報かわぐちの閲読状況について、「毎月必ず読んでいる」が41.5%と4割を超えて最も高く、「興味のある記事があるときだけ」が29.4%、「2~3カ月に1回」が8.1%と、広報かわぐちを『読む』は79.0%で8割近くを占めています。一方、「読まない」は18.7%となっています。

【広報かわぐちの閲読状況（全体）】



(2) 広報かわぐちの閲読状況（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「毎月必ず読んでいる」は、女性の65～74歳が75.8%、75歳以上が70.6%と7割を超えて高くなっています。また、男性の75歳以上も57.4%と5割半ばを超えてています。

「読まない」は、男性の18～29歳で59.7%と約6割を占めて最も高くなっています。また、女性の18～29歳が47.7%、男性の30～39歳が40.7%と4割を超えて高くなっています。

【広報かわぐちの閲読状況（性・年齢別）】

		(人)	(%)				
		合計	毎月必ず読 んでいる	2～3カ月 に1回	興味のある 記事がある ときだけ	読まない	無回答
全体	1,722	41.5	8.1	29.4	18.7	2.3	
男性	728	▲ 34.1	8.4	32.4	22.4	2.7	
女性	932	△ 47.4	7.6	27.9	16.1	1.0	
男性	18～29歳	77	★ 10.4	▲ 2.6	27.3	☆ 59.7	0.0
	30～39歳	91	★ 16.5	6.6	△ 35.2	☆ 40.7	1.1
	40～49歳	160	● 28.1	11.9	33.8	23.1	3.1
	50～59歳	120	▲ 35.0	8.3	△ 38.3	16.7	1.7
	60～64歳	57	△ 50.9	12.3	29.8	● 7.0	0.0
	65～74歳	121	42.1	8.3	△ 35.5	▲ 10.7	3.3
	75歳以上	101	☆ 57.4	5.9	▲ 22.8	● 5.9	△ 7.9
女性	18～29歳	109	★ 12.8	5.5	33.9	☆ 47.7	0.0
	30～39歳	159	● 27.0	7.5	△ 35.8	△ 28.3	1.3
	40～49歳	193	43.5	12.4	32.6	▲ 10.9	0.5
	50～59歳	147	○ 51.7	6.8	29.3	▲ 11.6	0.7
	60～64歳	61	△ 50.8	4.9	34.4	● 8.2	1.6
	65～74歳	153	☆ 75.8	4.6	● 16.3	★ 3.3	0.0
	75歳以上	109	☆ 70.6	8.3	★ 12.8	● 4.6	3.7

(3) 広報かわぐちの閲読状況（居住地域別）

居住地域別にみると、「毎月必ず読んでいる」は、鳩ヶ谷地域が 53.9%と 5割を超えて最も高くなっています。

「読まない」は、戸塚地域が 23.7%、中央地域が 22.8%、安行地域が 20.6%と 2割を超えてています。

【広報かわぐちの閲読状況（居住地域別）】

	(人)	(%)				
	合計	毎月必ず読 んでいる	2～3カ月 に1回	興味のある 記事がある ときだけ	読まない	無回答
全体	1,722	41.5	8.1	29.4	18.7	2.3
中央地域	171	▲ 36.3	7.0	31.6	22.8	2.3
横曽根地域	162	44.4	9.9	26.5	16.0	3.1
青木地域	199	△ 47.7	8.0	24.6	18.6	1.0
南平地域	168	43.5	9.5	29.2	17.9	0.0
新郷地域	96	▲ 33.3	10.4	31.3	18.8	6.3
神根地域	138	43.5	5.1	31.2	17.4	2.9
芝地域	206	37.4	6.8	△ 36.9	17.5	1.5
安行地域	97	45.4	5.2	24.7	20.6	4.1
戸塚地域	207	▲ 32.4	10.6	31.9	23.7	1.4
鳩ヶ谷地域	206	○ 53.9	5.8	26.2	▲ 13.1	1.0

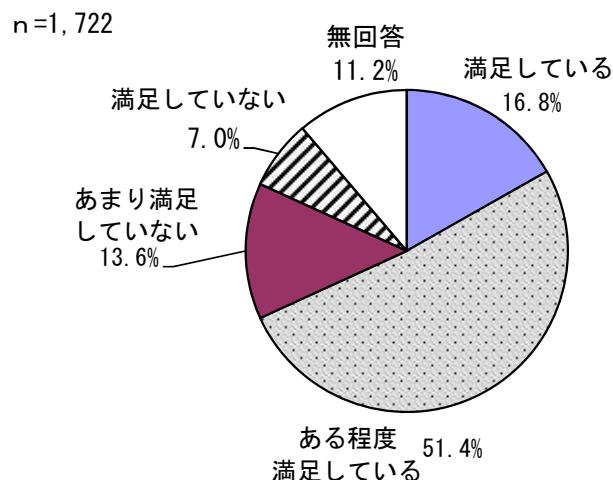
26. 広報かわぐちの満足度

(1) 広報かわぐちの満足度

問22 広報かわぐちに満足していますか。 (○は1つ)

広報かわぐちの満足度について、「満足している」が 16.8%、「ある程度満足している」が 51.4%で、二つ合わせた『満足』は 68.2%と 7割近くを占めています。一方、「あまり満足していない」(13.6%) と「満足していない」(7.0%) を合わせた『不満』は 20.6%と 2割を占めています。

【広報かわぐちの満足度（全体）】



(2) 広報かわぐちの満足度（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「満足している」は、男性の75歳以上と女性の50歳以上で2割を超えてています。

「ある程度満足している」は、女性の40～49歳が62.2%、65～74歳が62.1%と6割を超えて高くなっています。

「満足していない」は、男性の18～29歳が24.7%と2割半ば近くで最も高くなっています。

【広報かわぐちの満足度（性・年齢別）】

		(人)					(%)
	合計	満足 している	ある程度 満足 している	あまり 満足 していない	満足 していない	無回答	
全体	1,722	16.8	51.4	13.6	7.0	11.2	
男性	728	13.9	48.1	15.9	9.5	12.6	
女性	932	19.2	54.7	11.6	5.4	9.1	
男性	18～29歳	77	▲ 9.1	★ 28.6	15.6	☆ 24.7	○ 22.1
	30～39歳	91	12.1	● 37.4	△ 18.7	○ 17.6	14.3
	40～49歳	160	▲ 9.4	52.5	15.6	6.3	△ 16.3
	50～59歳	120	▲ 10.0	53.3	15.8	10.8	10.0
	60～64歳	57	19.3	△ 59.6	15.8	3.5	▲ 1.8
	65～74歳	121	16.5	52.1	18.2	3.3	9.9
	75歳以上	101	△ 23.8	48.5	11.9	5.0	10.9
女性	18～29歳	109	13.8	● 40.4	11.9	11.0	○ 22.9
	30～39歳	159	15.1	46.5	11.9	5.7	△ 20.8
	40～49歳	193	17.1	○ 62.2	9.8	7.3	▲ 3.6
	50～59歳	147	△ 22.4	53.1	15.0	4.1	▲ 5.4
	60～64歳	61	△ 24.6	54.1	14.8	▲ 0.0	6.6
	65～74歳	153	△ 22.2	○ 62.1	9.8	5.2	● 0.7
	75歳以上	109	△ 22.9	△ 59.6	10.1	▲ 0.9	6.4

(3) 広報かわぐちの満足度（居住地域別）

居住地域別にみると、「満足している」は、安行地域が 22.7%と 2割を超えて最も高くなっています。

【広報かわぐちの満足度（居住地域別）】

	合計 (人)	満足 している	ある程度 満足 している	あまり 満足 していない	満足 していない	無回答 (%)
全体	1,722	16.8	51.4	13.6	7.0	11.2
中央地域	171	12.3	49.7	14.6	9.4	14.0
横曽根地域	162	19.1	51.9	14.2	5.6	9.3
青木地域	199	14.6	55.8	12.1	8.5	9.0
南平地域	168	19.6	53.0	14.3	4.8	8.3
新郷地域	96	17.7	49.0	13.5	5.2	14.6
神根地域	138	16.7	55.8	11.6	4.3	11.6
芝地域	206	19.9	51.0	10.7	7.3	11.2
安行地域	97	△ 22.7	▲ 42.3	18.6	9.3	7.2
戸塚地域	207	▲ 11.6	46.4	16.9	9.2	15.9
鳩ヶ谷地域	206	19.4	54.4	13.1	4.9	8.3

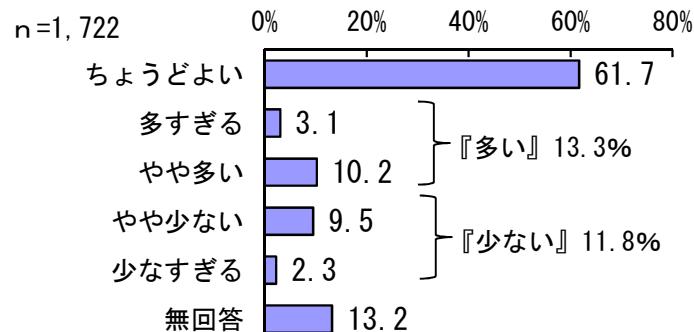
27. 広報かわぐちの情報量

(1) 広報かわぐちの情報量

問23 情報の量についてお伺いします。(○は1つ)

広報かわぐちの情報量について、「ちょうどよい」が61.7%と6割を超えて最も高くなっています。「多すぎる」(3.1%)と「やや多い」(10.2%)を合わせた『多い』は13.3%、「やや少ない」(9.5%)と「少なすぎる」(2.3%)を合わせた『少ない』は11.8%と、広報かわぐちの情報量が『多い』と思う割合と『少ない』と思う割合はほぼ同じになっています。

【広報かわぐちの情報量（全体）】



(2) 広報かわぐちの情報量 (性・年齢別)

性・年齢別にみると、「ちょうどよい」は、女性の60歳以上で7割半ばと高く、女性の40～49歳でも72.5%と7割を超えてています。

「やや多い」は、男性の60～64歳で22.8%と2割を超えて高くなっています。

「やや少ない」も、男性の60～64歳で21.1%と2割を超えて高くなっています。

【広報かわぐちの情報量 (性・年齢別)】

	(人)							(%)
	合計	ちょうどよい	多すぎる	やや多い	やや少ない	少なすぎる	無回答	
全体	1,722	61.7	3.1	10.2	9.5	2.3	13.2	
男性	728	▲ 54.4	4.1	13.3	10.9	2.7	14.6	
女性	932	△ 68.1	2.0	8.3	8.4	1.8	11.4	
男性	18～29歳	77	★ 42.9	2.6	13.0	10.4	1.3	☆ 29.9
	30～39歳	91	● 47.3	4.4	△ 16.5	9.9	5.5	16.5
	40～49歳	160	56.9	3.1	11.9	8.8	2.5	16.9
	50～59歳	120	60.8	2.5	10.0	11.7	3.3	11.7
	60～64歳	57	● 50.9	3.5	○ 22.8	○ 21.1	1.8	● 0.0
	65～74歳	121	57.0	5.8	10.7	13.2	1.7	11.6
	75歳以上	101	▲ 56.4	6.9	14.9	5.9	3.0	12.9
女性	18～29歳	109	▲ 56.0	0.9	7.3	4.6	1.8	☆ 29.4
	30～39歳	159	58.5	2.5	6.9	8.8	3.1	△ 20.1
	40～49歳	193	○ 72.5	1.6	8.8	10.4	0.5	▲ 6.2
	50～59歳	147	66.7	2.0	12.2	8.2	2.7	8.2
	60～64歳	61	○ 75.4	3.3	6.6	8.2	1.6	▲ 4.9
	65～74歳	153	○ 75.2	2.6	7.2	9.8	2.6	● 2.6
	75歳以上	109	○ 75.2	1.8	7.3	6.4	0.0	9.2

(3) 広報かわぐちの情報量（居住地域別）

居住地域別にみると、「ちょうどよい」は、鳩ヶ谷地域が 68.4%と 7割近くで最も高くなっています。

【広報かわぐちの情報量（居住地域別）】

	(人)	全体	中央地域	横曽根地域	青木地域	南平地域	新郷地域	神根地域	芝地域	安行地域	戸塚地域	鳩ヶ谷地域	(%)
	合計	61.7	▲ 55.6	65.4	60.3	61.3	58.3	63.8	65.5	66.0	▲ 56.5	△ 68.4	1,722
全体	1,722	61.7	▲ 55.6	65.4	60.3	61.3	58.3	63.8	65.5	66.0	▲ 56.5	△ 68.4	13.2
中央地域	171	▲ 55.6	4.1	11.1	12.3	2.9	14.0						
横曽根地域	162	65.4	3.7	10.5	▲ 4.3	2.5	13.6						
青木地域	199	60.3	6.5	8.0	12.6	2.0	10.6						
南平地域	168	61.3	2.4	10.7	11.9	3.0	10.7						
新郷地域	96	58.3	1.0	13.5	9.4	2.1	15.6						
神根地域	138	63.8	0.7	12.3	8.7	1.4	13.0						
芝地域	206	65.5	1.5	12.1	6.3	1.9	12.6						
安行地域	97	66.0	7.2	6.2	8.2	2.1	10.3						
戸塚地域	207	▲ 56.5	1.9	8.2	12.1	2.9	18.4						
鳩ヶ谷地域	206	△ 68.4	1.9	9.7	7.8	1.9	10.2						

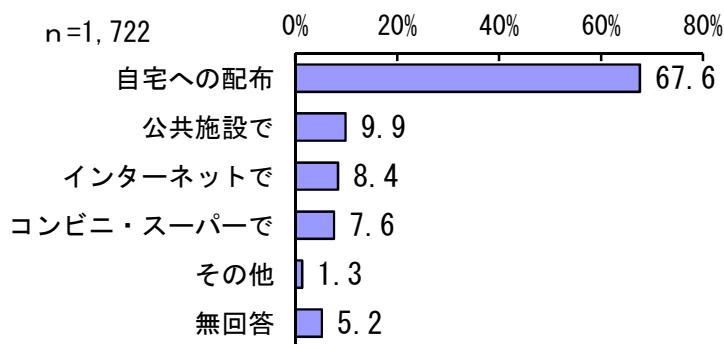
28. 希望する広報かわぐちの入手方法

(1) 希望する広報かわぐちの入手方法

問24 希望する広報かわぐちの入手方法はありますか。 (○は1つ)

希望する広報かわぐちの入手方法について、「自宅への配布」が 67.6%と6割半ばを超えて最も高く、続く「公共施設で」(9.9%)、「インターネットで」(8.4%)、「コンビニ・スーパーで」(7.6%) はいずれも1割を切っています。

【希望する広報かわぐちの入手方法（全体）】



(2) 希望する広報かわぐちの入手方法（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「自宅への配布」は、男性女性ともに60歳以上で7割を超えており、特に女性の65～74歳が83.7%、男性の75歳以上が82.2%、65～74歳が80.2%と8割を超えています。

「インターネットで」は、女性の18～29歳が21.1%、男性の18～29歳が20.8%と2割を超え高くなっています。

【希望する広報かわぐちの入手方法（性・年齢別）】

		(人)	(%)					
		合計	自宅への配布	公共施設で	コンビニ・スーパーで	インターネットで	その他	無回答
全	体	1,722	67.6	9.9	7.6	8.4	1.3	5.2
男	性	728	67.4	9.5	6.3	9.6	1.5	5.6
女	性	932	68.1	10.2	9.0	7.2	1.1	4.4
男 性	18～29歳	77	★ 44.2	11.7	11.7	○ 20.8	2.6	9.1
	30～39歳	91	★ 45.1	△ 17.6	6.6	△ 17.6	5.5	7.7
	40～49歳	160	68.8	10.0	6.9	6.9	0.6	6.9
	50～59歳	120	68.3	6.7	7.5	△ 14.2	0.0	3.3
	60～64歳	57	△ 77.2	7.0	8.8	5.3	1.8	▲ 0.0
	65～74歳	121	○ 80.2	6.6	▲ 2.5	5.0	0.8	5.0
	75歳以上	101	○ 82.2	6.9	3.0	▲ 1.0	1.0	5.9
女 性	18～29歳	109	★ 45.0	11.9	10.1	○ 21.1	3.7	8.3
	30～39歳	159	▲ 61.0	13.2	8.2	11.3	1.3	5.0
	40～49歳	193	68.4	10.4	10.9	8.3	0.5	1.6
	50～59歳	147	68.0	8.8	△ 14.3	5.4	0.7	2.7
	60～64歳	61	△ 77.0	6.6	11.5	▲ 1.6	0.0	3.3
	65～74歳	153	☆ 83.7	6.5	5.2	▲ 0.7	1.3	2.6
	75歳以上	109	△ 74.3	12.8	2.8	▲ 0.0	0.0	10.1

(3) 希望する広報かわぐちの入手方法（居住地域別）

居住地域別にみると、「自宅への配布」は、鳩ヶ谷地域が 76.7%と7割半ばを超えて最も高くなっています。

「公共施設で」は、戸塚地域が 19.8%と約2割で高くなっています。

【希望する広報かわぐちの入手方法（居住地域別）】

	合計 (人)	自宅への配布 (%)	公共施設で (%)	コンビニ・スーパーで (%)	インターネットで (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体	1,722	67.6	9.9	7.6	8.4	1.3	5.2
中央地域	171	71.3	9.4	4.1	8.8	1.2	5.3
横曽根地域	162	67.9	9.3	6.8	10.5	0.6	4.9
青木地域	199	72.4	6.5	9.0	5.5	1.5	5.0
南平地域	168	69.6	5.4	8.9	11.3	1.2	3.6
新郷地域	96	65.6	12.5	12.5	4.2	2.1	3.1
神根地域	138	68.8	8.0	8.0	7.2	1.4	6.5
芝地域	206	70.4	10.2	6.3	8.3	0.5	4.4
安行地域	97	63.9	13.4	9.3	6.2	1.0	6.2
戸塚地域	207	★ 49.3	△ 19.8	12.1	11.6	0.5	6.8
鳩ヶ谷地域	206	△ 76.7	5.8	3.9	6.3	1.9	5.3

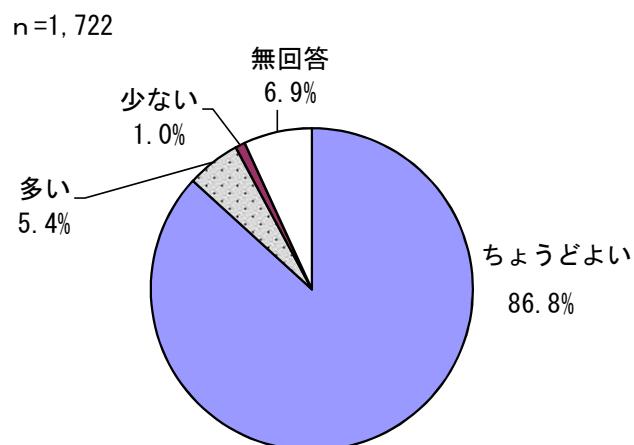
29. 広報かわぐちの発行頻度

(1) 広報かわぐちの発行頻度

問25 発行頻度(月1回)についてお伺いします。(○は1つ)

広報かわぐちの発行頻度について、「ちょうどよい」が86.8%と8割半ばを超えて回答者の大部分を占めており、「多い」が5.4%、「少ない」は1.0%となっています。

【広報かわぐちの発行頻度(全体)】



(2) 広報かわぐちの発行頻度（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「ちょうどよい」は、男性の18～29歳（77.9%）以外で8割を超えています。

「多い」は、女性の60～64歳で11.5%と1割を超えてやや高くなっています。

【広報かわぐちの発行頻度（性・年齢別）】

		(人)	(%)			
		合計	ちょうどよい	多い	少ない	無回答
全体	1,722	86.8	5.4	1.0	6.9	
男性	728	85.7	5.2	1.6	7.4	
女性	932	88.0	5.9	0.5	5.6	
男性	18～29歳	77	▲ 77.9	6.5	△ 6.5	9.1
	30～39歳	91	84.6	3.3	0.0	△ 12.1
	40～49歳	160	86.3	3.8	1.3	8.8
	50～59歳	120	85.0	8.3	0.8	5.8
	60～64歳	57	△ 93.0	3.5	3.5	▲ 0.0
	65～74歳	121	85.1	7.4	0.8	6.6
	75歳以上	101	89.1	3.0	1.0	6.9
女性	18～29歳	109	▲ 81.7	6.4	0.0	11.9
	30～39歳	159	84.3	5.7	0.0	10.1
	40～49歳	193	91.2	4.7	0.5	3.6
	50～59歳	147	86.4	8.8	0.7	4.1
	60～64歳	61	83.6	△ 11.5	1.6	3.3
	65～74歳	153	△ 92.8	4.6	0.7	2.0
	75歳以上	109	91.7	2.8	0.9	4.6

(3) 広報かわぐちの発行頻度（居住地域別）

居住地域別にみると、「ちょうどよい」は、新郷地域が 92.7%と9割を超えて最も高くなっています。

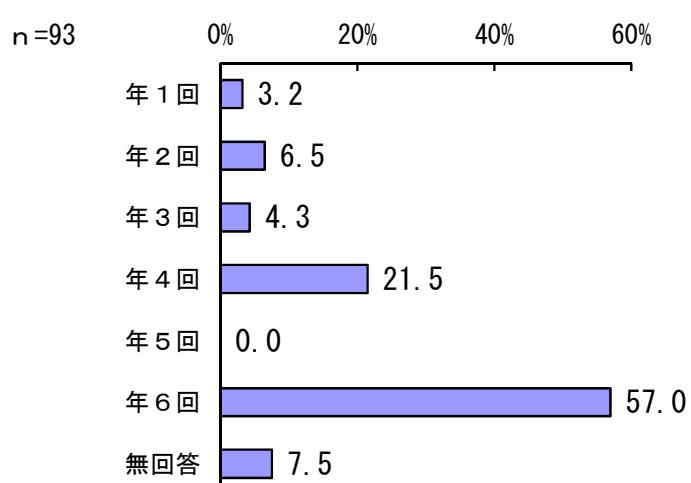
【広報かわぐちの発行頻度（居住地域別）】

	(人)				(%)
	合計	ちょうどよい	多い	少ない	無回答
全体	1,722	86.8	5.4	1.0	6.9
中央地域	171	85.4	6.4	1.8	6.4
横曽根地域	162	84.6	5.6	3.1	6.8
青木地域	199	87.4	5.5	0.0	7.0
南平地域	168	86.3	7.1	0.6	6.0
新郷地域	96	△ 92.7	▲ 0.0	1.0	6.3
神根地域	138	89.1	2.9	1.4	6.5
芝地域	206	87.4	7.3	0.5	4.9
安行地域	97	88.7	4.1	0.0	7.2
戸塚地域	207	83.6	6.8	1.4	8.2
鳩ヶ谷地域	206	87.9	5.3	0.0	6.8

(4) ちょうどよい発行頻度（発行頻度が「多い」回答者）

広報かわぐちの発行頻度が「多い」と回答した者のちょうどよい発行頻度について、「年6回」が57.0%と5割半ばを超えて最も高く、次いで「年4回」が21.5%と2割を超えて続いています。「年2回」(6.5%)、「年3回」(4.3%)、「年1回」(3.2%)はいずれも1割を切っています。

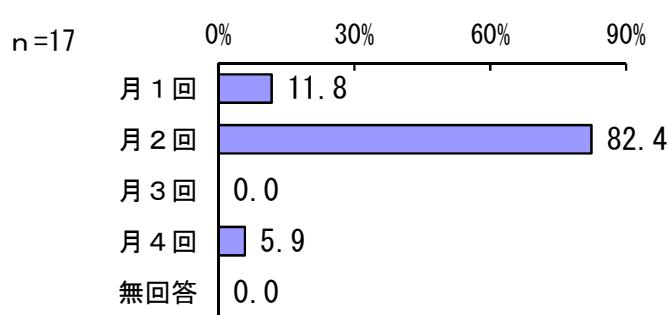
【ちょうどよい発行頻度（発行頻度が「多い」回答者）（全体）】



(5) ちょうどよい発行頻度（発行頻度が「少ない」回答者）

広報かわぐちの発行頻度が「少ない」と回答した者のちょうどよい発行頻度について、「月2回」が82.4%と8割を超えて最も高く、次いで「月1回」が11.8%、「月4回」が5.9%と続いています。

【ちょうどよい発行頻度（発行頻度が「少ない」回答者）（全体）】



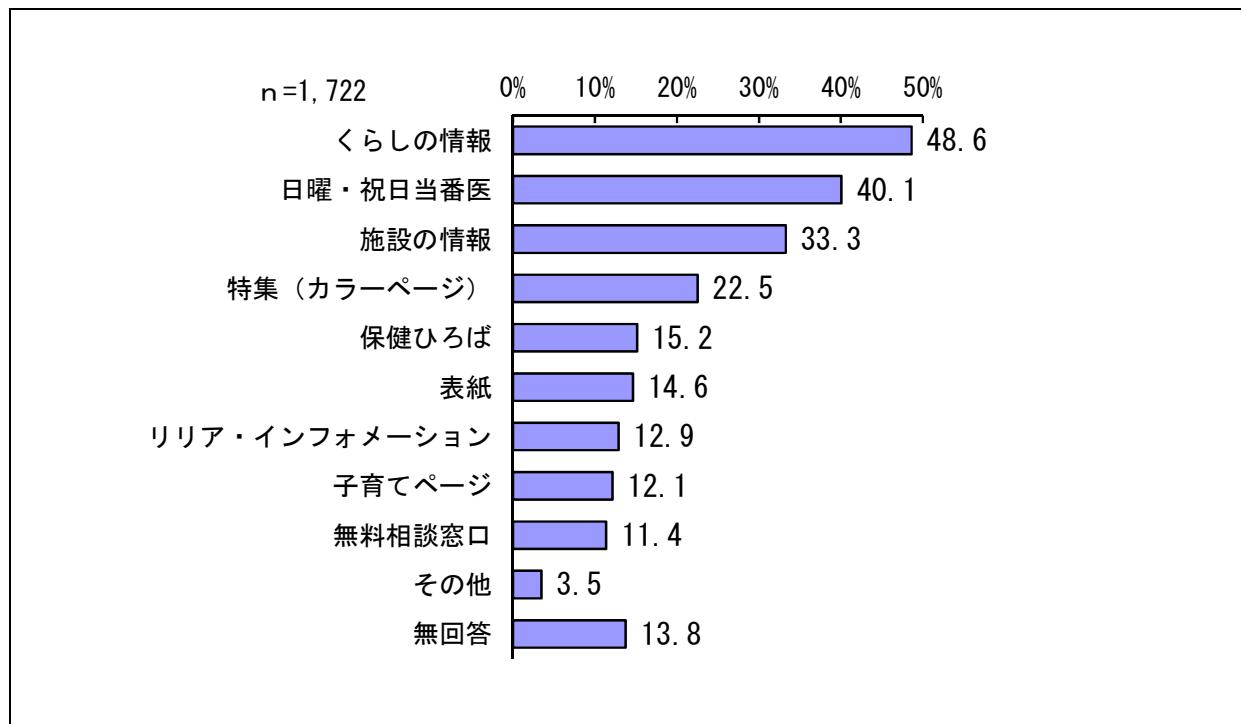
30. 広報かわぐちの好きなページ

(1) 広報かわぐちの好きなページ

問26 好きなページについてお伺いします。（○はいくつでも）

広報かわぐちの好きなページについて、「暮らしの情報」が48.6%と4割半ばを超えて最も高く、次いで「日曜・祝日当番医」が40.1%、「施設の情報」が33.3%、「特集（カラーページ）」が22.5%と続いています。

【広報かわぐちの好きなページ（全体）】



(2) 広報かわぐちの好きなページ（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「くらしの情報」は、女性の60～74歳の年齢で7割を超えて高く、男性の60～64歳も68.4%と7割近くになっています。

「日曜・祝日当番医」は、男性の60～64歳が57.9%、女性の65～74歳が55.6%と5割半ばを超えて高くなっています。

「施設の情報」は、女性の60～64歳が44.3%と最も高くなっています。

「特集（カラーページ）」は、男性の60～64歳が36.8%と3割半ばを超えて最も高くなっています。

「保健ひろば」は、男性の75歳以上が31.7%と3割を超えて最も高く、女性の75歳以上も29.4%と3割近くになっています。

「子育てページ」は、女性の30～39歳が40.9%と4割を超えて最も高く、男性の30～39歳が23.1%、女性の40～49歳が21.2%と2割を超えています。

【広報かわぐちの好きなページ（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	男性 (%)						
		18～29歳 (n= 77)	30～39歳 (n= 91)	40～49歳 (n= 160)	50～59歳 (n= 120)	60～64歳 (n= 57)	65～74歳 (n= 121)	75歳以上 (n= 101)
くらしの情報	48.6	★ 20.8	★ 24.2	43.8	▲ 43.3	☆ 68.4	○ 58.7	53.5
日曜・祝日当番医	40.1	★ 13.0	● 29.7	37.5	43.3	☆ 57.9	38.8	41.6
施設の情報	33.3	★ 11.7	▲ 26.4	△ 39.4	35.0	△ 40.4	△ 38.8	△ 40.6
特集（カラーページ）	22.5	24.7	25.3	22.5	25.0	○ 36.8	24.8	18.8
保健ひろば	15.2	▲ 7.8	▲ 6.6	▲ 8.8	▲ 7.5	12.3	14.9	☆ 31.7
表紙	14.6	16.9	11.0	11.3	12.5	10.5	9.9	13.9
リリア・インフォメーション	12.9	● 2.6	▲ 7.7	8.1	11.7	12.3	12.4	▲ 5.9
子育てページ	12.1	▲ 6.5	○ 23.1	10.6	▲ 5.8	● 1.8	▲ 3.3	▲ 5.0
無料相談窓口	11.4	▲ 3.9	9.9	8.1	15.8	△ 17.5	△ 17.4	14.9
その他	3.5	△ 11.7	5.5	2.5	2.5	5.3	3.3	3.0
無回答	13.8	☆ 29.9	△ 20.9	18.8	15.8	● 0.0	11.6	11.9

【広報かわぐちの好きなページ（女性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	女性 (%)						
		18～29歳 (n= 109)	30～39歳 (n= 159)	40～49歳 (n= 193)	50～59歳 (n= 147)	60～64歳 (n= 61)	65～74歳 (n= 153)	75歳以上 (n= 109)
くらしの情報	48.6	★ 27.5	★ 28.9	51.8	○ 61.2	☆ 70.5	☆ 73.9	△ 57.8
日曜・祝日当番医	40.1	★ 12.8	39.0	△ 46.6	△ 46.9	△ 49.2	☆ 55.6	42.2
施設の情報	33.3	★ 15.6	▲ 24.5	36.3	32.7	○ 44.3	△ 43.1	34.9
特集（カラーページ）	22.5	22.9	▲ 16.4	22.8	19.7	24.6	△ 29.4	▲ 17.4
保健ひろば	15.2	● 4.6	11.3	11.4	16.3	○ 27.9	○ 26.1	○ 29.4
表紙	14.6	15.6	11.3	16.6	18.4	14.8	△ 20.9	19.3
リリア・インフォメーション	12.9	9.2	11.3	13.0	△ 19.7	16.4	☆ 30.7	11.0
子育てページ	12.1	△ 17.4	☆ 40.9	△ 21.2	▲ 5.4	▲ 3.3	▲ 3.9	● 1.8
無料相談窓口	11.4	7.3	8.8	7.8	△ 18.4	14.8	11.1	9.2
その他	3.5	6.4	2.5	3.6	1.4	0.0	1.3	2.8
無回答	13.8	△ 22.9	△ 19.5	8.8	8.8	▲ 6.6	● 1.3	11.0

(3) 広報かわぐちの好きなページ（居住地域別）

居住地域別にみると、「暮らしの情報」は、横曽根地域が 53.7%と最も高くなっています。

「施設の情報」は、安行地域が 44.3%と最も高くなっています。

「保健ひろば」は、新郷地域が 25.0%、横曽根地域が 20.4%と 2割を超えて高くなっています。

「リリア・インフォメーション」は、中央地域が 18.1%と最も高くなっています。

「無料相談窓口」は、芝地域が 17.5%と 1割半ばを超えて最も高くなっています。

【広報かわぐちの好きなページ（居住地域別）】

	全体 (n=1,722)	中央 地域 (n= 171)	横曽根 地域 (n= 162)	青木 地域 (n= 199)	南平 地域 (n= 168)	新郷 地域 (n= 96)	神根 地域 (n= 138)	芝 地域 (n= 206)	安行 地域 (n= 97)	戸塚 地域 (n= 207)	鳩ヶ谷 地域 (n= 206)	(%)
暮らしの情報	48.6	51.5	△ 53.7	▲ 42.7	50.6	51.0	44.9	46.1	46.4	49.3	52.4	
日曜・祝日当番医	40.1	38.0	▲ 34.6	44.2	42.3	▲ 34.4	39.1	45.1	44.3	▲ 34.3	43.2	
施設の情報	33.3	28.7	32.1	34.7	33.9	36.5	32.6	31.6	○ 44.3	▲ 28.0	36.4	
特集（カラーページ）	22.5	25.7	24.1	20.1	22.0	24.0	21.0	21.8	20.6	25.1	25.2	
保健ひろば	15.2	13.5	△ 20.4	13.6	▲ 9.5	△ 25.0	16.7	16.0	19.6	▲ 10.1	16.5	
表紙	14.6	17.0	16.0	12.1	11.9	16.7	13.0	16.0	17.5	13.5	15.0	
リリア・インフォメーション	12.9	△ 18.1	13.0	15.6	10.1	14.6	13.0	14.6	10.3	9.7	10.7	
子育てページ	12.1	9.9	11.1	12.1	13.1	12.5	7.2	13.1	15.5	16.4	11.7	
無料相談窓口	11.4	8.2	14.2	8.0	▲ 6.0	12.5	14.5	△ 17.5	12.4	11.6	10.7	
その他	3.5	2.9	3.1	3.0	2.4	2.1	5.1	3.9	4.1	5.3	1.9	
無回答	13.8	15.2	14.2	13.6	11.3	15.6	15.2	11.7	12.4	15.9	11.7	

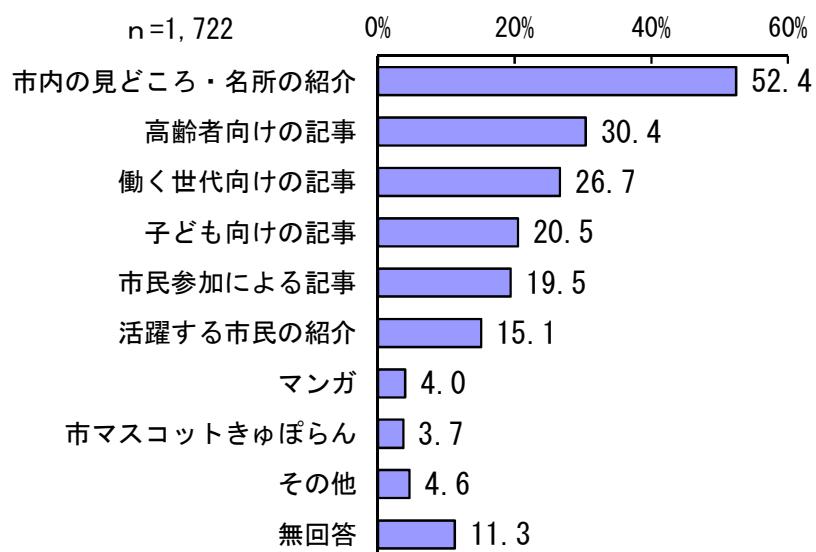
31. 広報かわぐちに載せて欲しい記事

(1) 広報かわぐちに載せて欲しい記事

問27 今後どのような記事を載せて欲しいですか。 (○はいくつでも)

広報かわぐちに今後載せて欲しい記事について、「市内の見どころ・名所の紹介」が 52.4% と 5割を超えて最も高く、次いで「高齢者向けの記事」が 30.4%、「働く世代向けの記事」が 26.7%、「子ども向けの記事」が 20.5% と 2割を超えて続いています。

【広報かわぐちに載せて欲しい記事（全体）】



(2) 広報かわぐちに載せて欲しい記事（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「市内の見どころ・名所の紹介」は、女性の65～74歳が69.3%と7割近くで最も高くなっています。また、女性の60～64歳が65.6%、男性の60～64歳が64.9%で6割半ばとなっています。

「高齢者向けの記事」は、男性女性ともに60歳以上で4割を超えており、特に女性の75歳以上で74.3%、男性の75歳以上で69.3%と高くなっています。

「働く世代向けの記事」は、女性の18～29歳が43.1%、40～49歳が42.0%と4割を超えています。

「子ども向けの記事」は、女性の18～49歳の年齢で3割を超えており、女性の30～39歳で47.2%と最も高くなっています。

「市民参加による記事」は、男性の60～74歳の年齢で3割を超えて高くなっています。

【広報かわぐちに載せて欲しい記事（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	男性							(%)
		18～29歳 (n= 77)	30～39歳 (n= 91)	40～49歳 (n= 160)	50～59歳 (n= 120)	60～64歳 (n= 57)	65～74歳 (n= 121)	75歳以上 (n= 101)	
市内の見どころ・名所の紹介	52.4	▲ 45.5	▲ 42.9	53.8	△ 57.5	○ 64.9	51.2	57.4	
高齢者向けの記事	30.4	★ 1.3	★ 6.6	★ 13.1	▲ 23.3	☆ 49.1	☆ 58.7	☆ 69.3	
働く世代向けの記事	26.7	28.6	30.8	△ 35.6	△ 35.0	28.1	★ 10.7	★ 8.9	
子ども向けの記事	20.5	16.9	☆ 36.3	△ 25.6	▲ 14.2	▲ 14.0	● 6.6	★ 5.0	
市民参加による記事	19.5	▲ 10.4	▲ 11.0	20.0	24.2	○ 31.6	○ 31.4	△ 27.7	
活躍する市民の紹介	15.1	11.7	11.0	17.5	△ 20.8	19.3	17.4	△ 21.8	
マンガ	4.0	7.8	2.2	7.5	2.5	3.5	0.8	0.0	
市マスコットきゅうぽらん	3.7	5.2	2.2	3.8	4.2	1.8	1.7	3.0	
その他	4.6	9.1	6.6	4.4	4.2	3.5	5.0	4.0	
無回答	11.3	△ 18.2	15.4	10.6	8.3	▲ 1.8	9.1	9.9	

【広報かわぐちに載せて欲しい記事（女性・年齢別）】

	全体 (n=1,722)	女性							(%)
		18～29歳 (n= 109)	30～39歳 (n= 159)	40～49歳 (n= 193)	50～59歳 (n= 147)	60～64歳 (n= 61)	65～74歳 (n= 153)	75歳以上 (n= 109)	
市内の見どころ・名所の紹介	52.4	● 37.6	▲ 45.9	52.3	△ 57.8	○ 65.6	☆ 69.3	▲ 45.9	
高齢者向けの記事	30.4	★ 5.5	★ 3.1	★ 14.0	28.6	○ 42.6	☆ 61.4	☆ 74.3	
働く世代向けの記事	26.7	☆ 43.1	○ 39.0	☆ 42.0	28.6	● 13.1	★ 10.5	★ 5.5	
子ども向けの記事	20.5	△ 30.3	☆ 47.2	☆ 37.3	● 6.1	▲ 11.5	▲ 11.8	★ 4.6	
市民参加による記事	19.5	▲ 11.9	▲ 11.9	18.7	17.7	△ 24.6	21.6	18.3	
活躍する市民の紹介	15.1	18.3	▲ 7.5	12.4	12.2	19.7	△ 20.9	11.0	
マンガ	4.0	△ 11.0	6.3	4.7	2.7	0.0	2.6	0.9	
市マスコットきゅうぽらん	3.7	6.4	5.0	4.7	4.1	3.3	2.0	2.8	
その他	4.6	5.5	3.8	3.6	6.8	1.6	3.9	1.8	
無回答	11.3	12.8	13.8	7.3	11.6	13.1	▲ 5.9	11.0	

(3) 広報かわぐちに載せて欲しい記事（居住地域別）

居住地域別にみると、「市内の見どころ・名所の紹介」は、新郷地域で 58.3%、鳩ヶ谷地域で 57.8%、戸塚地域で 56.5%と 5割半ばを超えて高くなっています。

「子ども向けの記事」は、戸塚地域で 26.6%、安行地域で 25.8%と 2割半ばを超えて高くなっています。

【広報かわぐちに載せて欲しい記事（居住地域別）】

	全体 (n=1,722)	中央 地域 (n= 171)	横曽根 地域 (n= 162)	青木 地域 (n= 199)	南平 地域 (n= 168)	新郷 地域 (n= 96)	神根 地域 (n= 138)	芝 地域 (n= 206)	安行 地域 (n= 97)	戸塚 地域 (n= 207)	鳩ヶ谷 地域 (n= 206)	(%)
市内の見どころ・名所の紹介	52.4	51.5	51.9	48.2	53.6	△ 58.3	48.6	50.0	53.6	56.5	△ 57.8	
高齢者向けの記事	30.4	31.0	27.2	33.2	▲ 23.2	29.2	34.8	32.0	34.0	25.6	35.4	
働く世代向けの記事	26.7	30.4	23.5	29.1	26.8	30.2	26.8	28.2	24.7	26.1	25.7	
子ども向けの記事	20.5	17.0	17.3	24.1	21.4	16.7	▲ 15.2	20.4	△ 25.8	△ 26.6	19.9	
市民参加による記事	19.5	21.1	21.0	▲ 10.6	19.6	20.8	21.7	19.9	20.6	18.4	24.3	
活躍する市民の紹介	15.1	17.0	17.9	14.6	17.3	16.7	10.9	13.1	15.5	16.9	14.6	
マンガ	4.0	1.8	4.9	5.5	2.4	3.1	5.8	2.9	6.2	3.4	3.9	
市マスコットきゅばらん	3.7	2.9	8.6	3.5	4.8	3.1	2.9	3.9	2.1	1.9	3.4	
その他	4.6	4.7	4.3	5.0	4.2	3.1	5.8	3.9	2.1	5.3	4.4	
無回答	11.3	12.9	10.5	12.1	8.9	11.5	10.1	11.7	10.3	11.1	9.7	

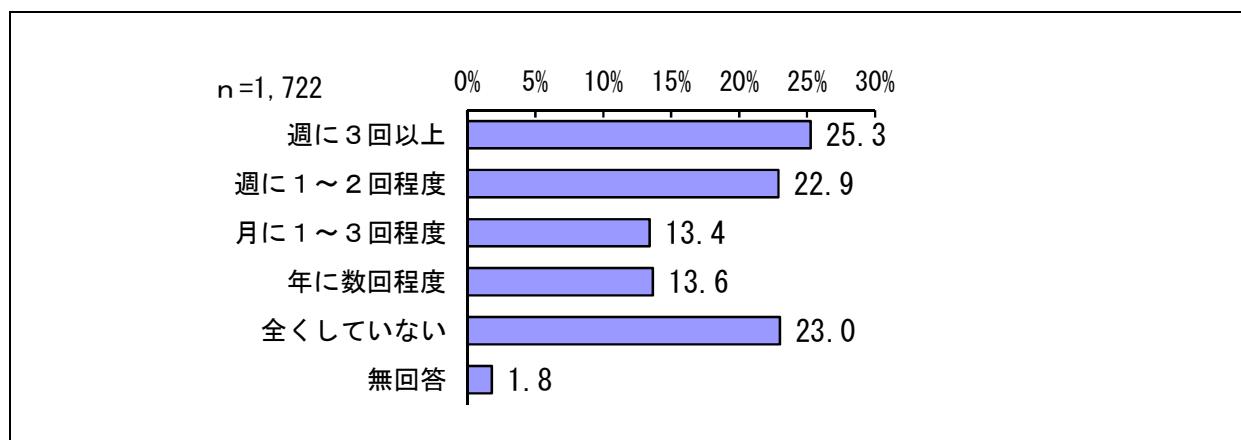
32. スポーツ等の頻度

(1) スポーツ等の頻度

問28 過去1年間に運動やスポーツ・レクリエーション活動をする機会がどの程度ありましたか。 (○は1つ)

過去1年間のスポーツ等の頻度について、「週に3回以上」が25.3%と全体の4分の1を占めて最も高く、次いで「週に1～2回程度」(22.9%)、「年に数回程度」(13.6%)、「月に1～3回程度」(13.4%)と続いています、一方、「全くしていない」は23.0%と2割を超えています。

【スポーツ等の頻度（全体）】



(2) スポーツ等の頻度（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「週に3回以上」は、男性女性ともに65歳以上で3割を超えており、特に男性の75歳以上が49.5%と5割近くで最も高くなっています。

「週に1～2回程度」は、男性の40～49歳で3割を占めて高くなっています。

【スポーツ等の頻度（性・年齢別）】

	(人)						(%)
	合計	週に3回以上	週に1～2回程度	月に1～3回程度	年に数回程度	全くしていない	無回答
全体	1,722	25.3	22.9	13.4	13.6	23.0	1.8
男性	728	26.4	23.8	13.2	15.4	19.5	1.8
男性	女性	932	24.8	23.1	13.6	12.4	25.1
	18～29歳	77	22.1	23.4	15.6	15.6	23.4
	30～39歳	91	▲ 18.7	22.0	14.3	17.6	26.4
	40～49歳	160	▲ 20.0	△ 30.0	13.1	△ 19.4	▲ 16.3
	50～59歳	120	▲ 17.5	25.8	15.8	△ 19.2	20.8
	60～64歳	57	24.6	26.3	17.5	14.0	▲ 17.5
	65～74歳	121	△ 33.9	19.8	13.2	10.7	19.8
女性	75歳以上	101	☆ 49.5	▲ 16.8	▲ 5.0	▲ 7.9	▲ 14.9
	18～29歳	109	24.8	27.5	18.3	11.0	18.3
	30～39歳	159	▲ 17.6	18.9	△ 20.8	15.7	27.0
	40～49歳	193	▲ 16.1	23.8	15.5	△ 19.2	24.4
	50～59歳	147	23.8	27.9	▲ 8.2	12.9	27.2
	60～64歳	61	27.9	21.3	14.8	9.8	26.2
	65～74歳	153	○ 37.9	20.9	10.5	▲ 7.2	23.5
	75歳以上	109	△ 32.1	21.1	▲ 6.4	▲ 5.5	△ 29.4
							5.5

(3) スポーツ等の頻度（居住地域別）

居住地域別にみると、「週に3回以上」は、横曽根地域で30.2%、鳩ヶ谷地域で29.1%と3割前後で高くなっています。

「週に1～2回程度」は、南平地域で29.2%と3割近くで最も高くなっています。

「全くしていない」は、新郷地域で28.1%と3割近くで最も高くなっています。

【スポーツ等の頻度（居住地域別）】

	(人)	週に 3回以上	週に1～ 2回程度	月に1～ 3回程度	年に数回 程度	全く していない	(%)
	合計						
全体	1,722	25.3	22.9	13.4	13.6	23.0	1.8
中央地域	171	26.3	25.7	14.6	11.7	19.9	1.8
横曽根地域	162	30.2	25.3	13.0	9.3	21.0	1.2
青木地域	199	27.1	21.1	10.1	14.6	25.1	2.0
南平地域	168	22.6	△ 29.2	14.3	11.9	20.8	1.2
新郷地域	96	24.0	▲ 17.7	11.5	15.6	△ 28.1	3.1
神根地域	138	▲ 19.6	23.2	15.9	15.9	23.9	1.4
芝地域	206	27.7	25.7	9.2	12.1	23.3	1.9
安行地域	97	24.7	22.7	13.4	15.5	19.6	4.1
戸塚地域	207	24.2	20.3	16.4	14.0	24.6	0.5
鳩ヶ谷地域	206	29.1	▲ 16.5	15.5	18.0	19.9	1.0

33. スポーツ等の目的

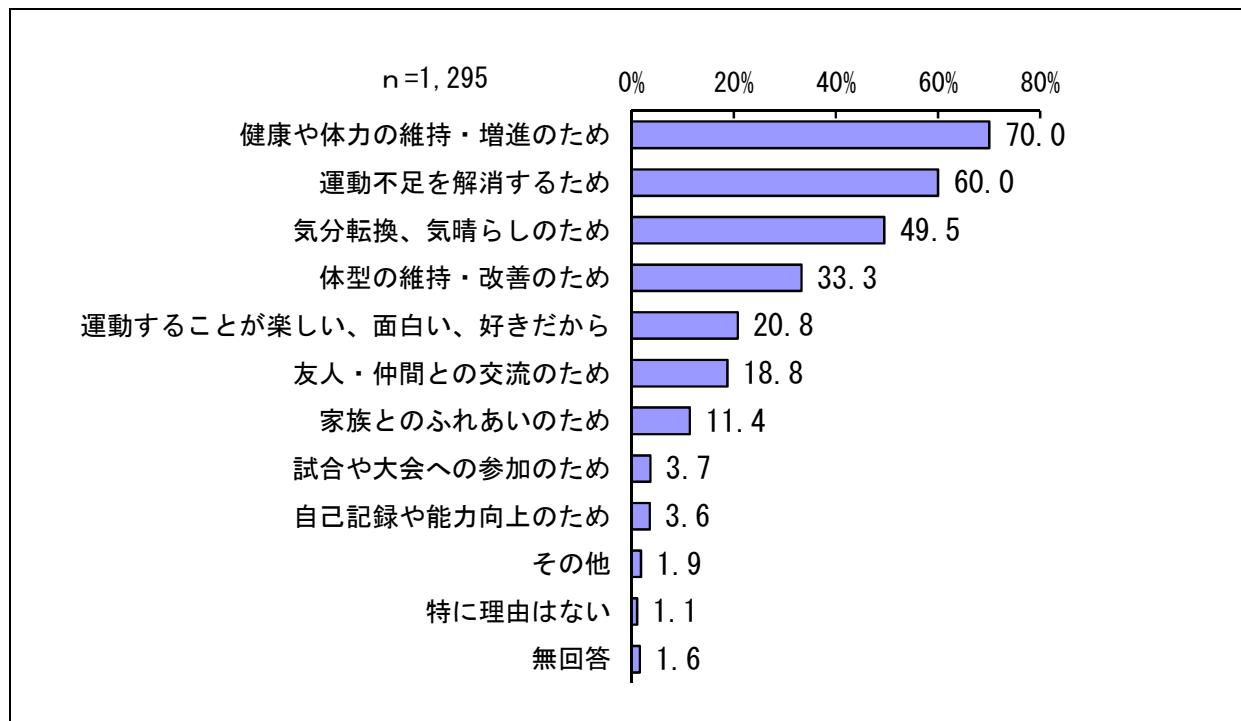
(1) スポーツ等の目的

問28でスポーツをする機会があつた方

問29 運動やスポーツをする目的は何ですか。(○はいくつでも)

運動やスポーツ等を行う目的について、「健康や体力の維持・増進のため」が70.0%と7割に達し最も高く、次いで「運動不足を解消するため」が60.0%、「気分転換、気晴らしのため」が49.5%、「体型の維持・改善のため」が33.3%と続いています。

【スポーツ等の目的（全体）】



(2) スポーツ等の目的（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「健康や体力の維持・増進のため」は、女性の 50～59 歳が 82.2%、男性の 75 歳以上が 81.3%と 8割を超えて高くなっています。

「運動不足を解消するため」は、女性の 60～64 歳が 71.1%と 7割を超えて最も高くなっています。

「気分転換、気晴らしのため」は、女性の 30～39 歳が 59.5%と 6割近くで最も高くなっています。

「体型の維持・改善のため」は、女性の 18～29 歳が 52.8%と 5割を超えて最も高く、女性の 30～39 歳が 45.7%、男性の 30～39 歳が 43.9%と 4割を超えています。

「運動することが楽しい、面白い、好きだから」は、男性の 18～29 歳が 32.2%と 3割を超えて最も高くなっています。

「友人・仲間との交流のため」は、女性の 75 歳以上が 31.0%と 3割を超えて最も高くなっています。

「家族とのふれあいのため」は、女性の 30～49 歳で 2割を超えて高くなっています。

「試合や大会への参加のため」は、男性の 18～29 歳で 15.3%と 1割半ばで最も高くなっています。

【スポーツ等の目的（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,295)	男性 (%)						
		18～29歳 (n= 59)	30～39歳 (n= 66)	40～49歳 (n= 132)	50～59歳 (n= 94)	60～64歳 (n= 47)	65～74歳 (n= 94)	75歳以上 (n= 80)
健康や体力の維持・増進のため	70.0	▲ 64.4	△ 75.8	72.0	68.1	72.3	70.2	○ 81.3
運動不足を解消するため	60.0	● 47.5	△ 65.2	58.3	▲ 53.2	59.6	59.6	61.3
気分転換、気晴らしのため	49.5	45.8	△ 57.6	51.5	46.8	△ 57.4	▲ 40.4	▲ 41.3
体型の維持・改善のため	33.3	37.3	○ 43.9	34.8	29.8	34.0	● 20.2	★ 17.5
運動することが楽しい、面白い、好きだから	20.8	○ 32.2	25.8	22.7	20.2	21.3	21.3	▲ 13.8
友人・仲間との交流のため	18.8	20.3	18.2	14.4	23.4	23.4	22.3	23.8
家族とのふれあいのため	11.4	▲ 3.4	15.2	12.9	11.7	6.4	12.8	▲ 2.5
試合や大会への参加のため	3.7	○ 15.3	1.5	8.3	3.2	4.3	4.3	5.0
自己記録や能力向上のため	3.6	△ 10.2	4.5	2.3	5.3	6.4	4.3	1.3
その他	1.9	1.7	0.0	0.8	3.2	0.0	1.1	3.8
特に理由はない	1.1	3.4	0.0	0.8	0.0	4.3	1.1	1.3
無回答	1.6	0.0	0.0	0.8	1.1	2.1	0.0	2.5

【スポーツ等の目的（女性・年齢別）】

	全体 (n=1,295)	女性 (%)						
		18～29歳 (n= 89)	30～39歳 (n= 116)	40～49歳 (n= 144)	50～59歳 (n= 107)	60～64歳 (n= 45)	65～74歳 (n= 117)	75歳以上 (n= 71)
健康や体力の維持・増進のため	70.0	★ 53.9	66.4	● 59.7	○ 82.2	68.9	△ 79.5	71.8
運動不足を解消するため	60.0	62.9	57.8	61.1	63.6	○ 71.1	59.8	64.8
気分転換、気晴らしのため	49.5	50.6	△ 59.5	△ 57.6	54.2	46.7	47.0	★ 33.8
体型の維持・改善のため	33.3	☆ 52.8	○ 45.7	35.4	36.4	37.8	▲ 25.6	★ 15.5
運動することが楽しい、面白い、好きだから	20.8	22.5	▲ 15.5	▲ 14.6	22.4	20.0	22.2	△ 28.2
友人・仲間との交流のため	18.8	▲ 11.2	13.8	▲ 9.0	20.6	15.6	△ 27.4	○ 31.0
家族とのふれあいのため	11.4	7.9	○ 25.0	○ 23.6	8.4	8.9	▲ 4.3	▲ 2.8
試合や大会への参加のため	3.7	2.2	1.7	2.1	1.9	4.4	1.7	0.0
自己記録や能力向上のため	3.6	4.5	5.2	2.1	1.9	2.2	3.4	0.0
その他	1.9	4.5	3.4	2.1	0.9	0.0	2.6	0.0
特に理由はない	1.1	4.5	1.7	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0
無回答	1.6	1.1	0.0	2.1	0.9	4.4	0.9	△ 7.0

（3）スポーツ等の目的（居住地域別）

居住地域別にみると、「健康や体力の維持・増進のため」は、鳩ヶ谷地域が 76.7%と 7割半ばを超えて最も高くなっています。

「運動不足を解消するため」は、安行地域が 67.6%、中央地域が 65.7%と 6割半ばを超えて高くなっています。

「運動することが楽しい、面白い、好きだから」は、安行地域が 32.4%と 3割を超えて最も高くなっています。

「友人・仲間との交流のため」は、新郷地域が 28.8%と 3割近くで最も高くなっています。

「家族とのふれあいのため」は、戸塚地域で 18.7%と 2割近くで最も高くなっています。

【スポーツ等の目的（居住地域別）】

	全体 (n=1,295)	中央 地域 (n= 134)	横曽根 地域 (n= 126)	青木 地域 (n= 145)	南平 地域 (n= 131)	新郷 地域 (n= 66)	神根 地域 (n= 103)	芝 地域 (n= 154)	安行 地域 (n= 74)	戸塚 地域 (n= 155)	鳩ヶ谷 地域 (n= 163)
健康や体力の維持・増進のため	70.0	73.1	74.6	▲ 64.8	66.4	▲ 63.6	65.0	68.8	68.9	72.3	△ 76.7
運動不足を解消するため	60.0	△ 65.7	61.1	60.0	● 49.6	57.6	59.2	61.7	△ 67.6	60.6	58.9
気分転換、気晴らしのため	49.5	53.7	49.2	▲ 41.4	51.1	45.5	▲ 43.7	49.4	52.7	△ 57.4	47.9
体型の維持・改善のため	33.3	35.1	34.9	29.0	32.8	33.3	36.9	35.1	32.4	31.6	31.9
運動することが楽しい、面白い、好きだから	20.8	21.6	19.8	17.9	19.1	19.7	▲ 13.6	23.4	○ 32.4	23.9	20.9
友人・仲間との交流のため	18.8	20.1	21.4	18.6	18.3	△ 28.8	14.6	16.2	△ 24.3	▲ 12.3	20.9
家族とのふれあいのため	11.4	11.2	11.9	11.7	12.2	12.1	7.8	11.7	6.8	△ 18.7	9.2
試合や大会への参加のため	3.7	1.5	3.2	2.8	4.6	3.0	2.9	4.5	6.8	3.9	4.3
自己記録や能力向上のため	3.6	6.0	4.0	4.1	4.6	3.0	1.0	3.2	1.4	4.5	2.5
その他	1.9	0.7	0.8	2.8	1.5	4.5	3.9	1.3	1.4	1.9	1.8
特に理由はない	1.1	0.7	0.8	3.4	2.3	3.0	1.0	0.0	1.4	0.0	0.0
無回答	1.6	0.0	0.0	1.4	1.5	1.5	1.9	3.2	1.4	1.3	3.1

34. スポーツ等をした場所・施設

(1) スポーツ等をした場所・施設

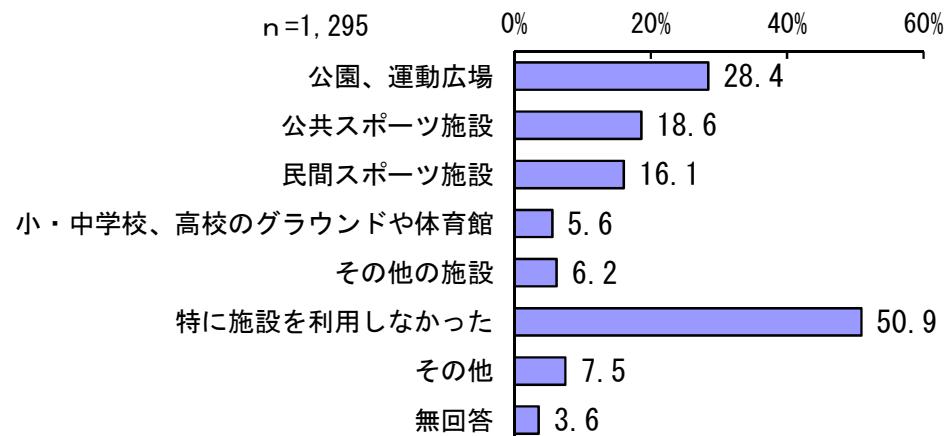
問28でスポーツをする機会があつた方

問30 過去1年間にどのような場所や施設で運動やスポーツを行いましたか。

(○はいくつでも)

過去1年間に運動やスポーツ等を行った場所・施設について、「特に施設を利用しなかつた」が50.9%と5割に達し最も高く、次いで「公園、運動広場」が28.4%、「公共スポーツ施設」が18.6%、「民間スポーツ施設」が16.1%と続いています。

【スポーツ等をした場所・施設（全体）】



※公共スポーツ施設：運動場、体育館、スポーツセンターなど

民間スポーツ施設：スポーツクラブ、スポーツジムなど

その他の施設：公民館等コミュニティ施設

特に施設を利用しなかつた：自宅での運動や一般道路など

(2) スポーツ等をした場所・施設（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「公園、運動広場」は、男性の18～39歳で4割を超えており、特に18～29歳は45.8%と4割半ばを超えています。

「公共スポーツ施設（運動場、体育館、スポーツセンターなど）」は、男性の18～29歳が32.2%と3割を超えて最も高くなっています。

「小・中学校、高校のグラウンドや体育館」は、男性の18～29歳が18.6%と2割近くで最も高くなっています。

「その他の施設（公民館等コミュニティ施設）」は、女性の75歳以上が21.1%と2割を超えて最も高くなっています。

「特に施設を利用しなかった（自宅での運動や一般道路など）」は、女性の18～29歳で60.7%と6割に達し最も高くなっています。

【スポーツ等をした場所・施設（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,295)	男性							(%)
		18～29歳 (n= 59)	30～39歳 (n= 66)	40～49歳 (n= 132)	50～59歳 (n= 94)	60～64歳 (n= 47)	65～74歳 (n= 94)	75歳以上 (n= 80)	
公園、運動広場	28.4	☆ 45.8	○ 40.9	33.3	25.5	27.7	△ 34.0	28.8	
公共スポーツ施設（運動場、体育館、スポーツセンターなど）	18.6	○ 32.2	22.7	20.5	21.3	14.9	13.8	17.5	
民間スポーツ施設（スポーツクラブ、スポーツジムなど）	16.1	▲ 10.2	13.6	20.5	17.0	17.0	14.9	▲ 10.0	
小・中学校、高校のグラウンドや体育館	5.6	○ 18.6	4.5	9.1	5.3	6.4	4.3	2.5	
その他の施設（公民館等コミュニティ施設）	6.2	3.4	1.5	▲ 0.8	5.3	4.3	5.3	8.8	
特に施設を利用しなかった（自宅での運動や一般道路など）	50.9	● 40.7	48.5	46.2	51.1	46.8	52.1	46.3	
その他	7.5	▲ 1.7	▲ 1.5	8.3	11.7	8.5	△ 13.8	△ 13.8	
無回答	3.6	0.0	1.5	1.5	3.2	2.1	2.1	△ 8.8	

【スポーツ等をした場所・施設（女性・年齢別）】

	全体 (n=1,295)	女性							(%)
		18～29歳 (n= 89)	30～39歳 (n= 116)	40～49歳 (n= 144)	50～59歳 (n= 107)	60～64歳 (n= 45)	65～74歳 (n= 117)	75歳以上 (n= 71)	
公園、運動広場	28.4	▲ 22.5	31.9	△ 36.8	● 14.0	24.4	▲ 18.8	● 18.3	
公共スポーツ施設（運動場、体育館、スポーツセンターなど）	18.6	15.7	21.6	16.0	▲ 13.1	15.6	15.4	△ 23.9	
民間スポーツ施設（スポーツクラブ、スポーツジムなど）	16.1	16.9	15.5	16.0	△ 24.3	20.0	17.9	11.3	
小・中学校、高校のグラウンドや体育館	5.6	7.9	4.3	6.3	4.7	4.4	1.7	▲ 0.0	
その他の施設（公民館等コミュニティ施設）	6.2	4.5	1.7	3.5	6.5	△ 13.3	△ 15.4	○ 21.1	
特に施設を利用しなかった（自宅での運動や一般道路など）	50.9	△ 60.7	△ 58.6	55.6	△ 57.0	53.3	52.1	★ 26.8	
その他	7.5	6.7	2.6	7.6	6.5	8.9	6.0	8.5	
無回答	3.6	1.1	0.9	2.1	3.7	△ 8.9	2.6	△ 12.7	

(3) スポーツ等をした場所・施設（居住地域別）

居住地域別にみると、「公園、運動広場」は、戸塚地域が 36.1%と3割半ばを超えて最も高くなっています。

「公共スポーツ施設（運動場、体育館、スポーツセンターなど）」は、安行地域が 35.1%と3割半ばで最も高くなっています。

「民間スポーツ施設（スポーツクラブ、スポーツジムなど）」は、中央地域が 24.6%と2割半ば近くで最も高くなっています。

「小・中学校、高校のグラウンドや体育館」は、安行地域が 13.5%と1割を超えて高くなっています。

「特に施設を利用しなかった（自宅での運動や一般道路など）」は、中央地域が 56.7%、神根地域が 55.3%と5割半ばを超えて高くなっています。

【スポーツ等をした場所・施設（居住地域別）】

	全体 (n=1,295)	中央 地域 (n= 134)	横曽根 地域 (n= 126)	青木 地域 (n= 145)	南平 地域 (n= 131)	新郷 地域 (n= 66)	神根 地域 (n= 103)	芝 地域 (n= 154)	安行 地域 (n= 74)	戸塚 地域 (n= 155)	鳩ヶ谷 地域 (n= 163)
公園、運動広場	28.4	24.6	33.3	33.1	23.7	31.8	● 13.6	30.5	27.0	△ 36.1	28.2
公共スポーツ施設（運動場、体育館、スポーツセンターなど）	18.6	▲ 13.4	19.8	16.6	▲ 13.0	22.7	15.5	20.1	☆ 35.1	21.9	16.6
民間スポーツ施設（スポーツクラブ、スポーツジムなど）	16.1	△ 24.6	18.3	14.5	17.6	▲ 10.6	16.5	16.2	12.2	▲ 10.3	17.2
小・中学校、高校のグラウンドや体育館	5.6	3.7	3.2	6.2	4.6	6.1	6.8	6.5	△ 13.5	4.5	4.3
その他の施設（公民館等コミュニティ施設）	6.2	6.7	7.1	7.6	4.6	7.6	8.7	6.5	9.5	3.2	4.3
特に施設を利用しなかった（自宅での運動や一般道路など）	50.9	△ 56.7	50.8	49.7	49.6	▲ 45.5	55.3	49.4	52.7	54.8	47.2
その他	7.5	7.5	11.1	6.2	8.4	7.6	6.8	4.5	5.4	4.5	10.4
無回答	3.6	3.0	1.6	2.8	3.1	6.1	2.9	3.9	5.4	3.2	4.9

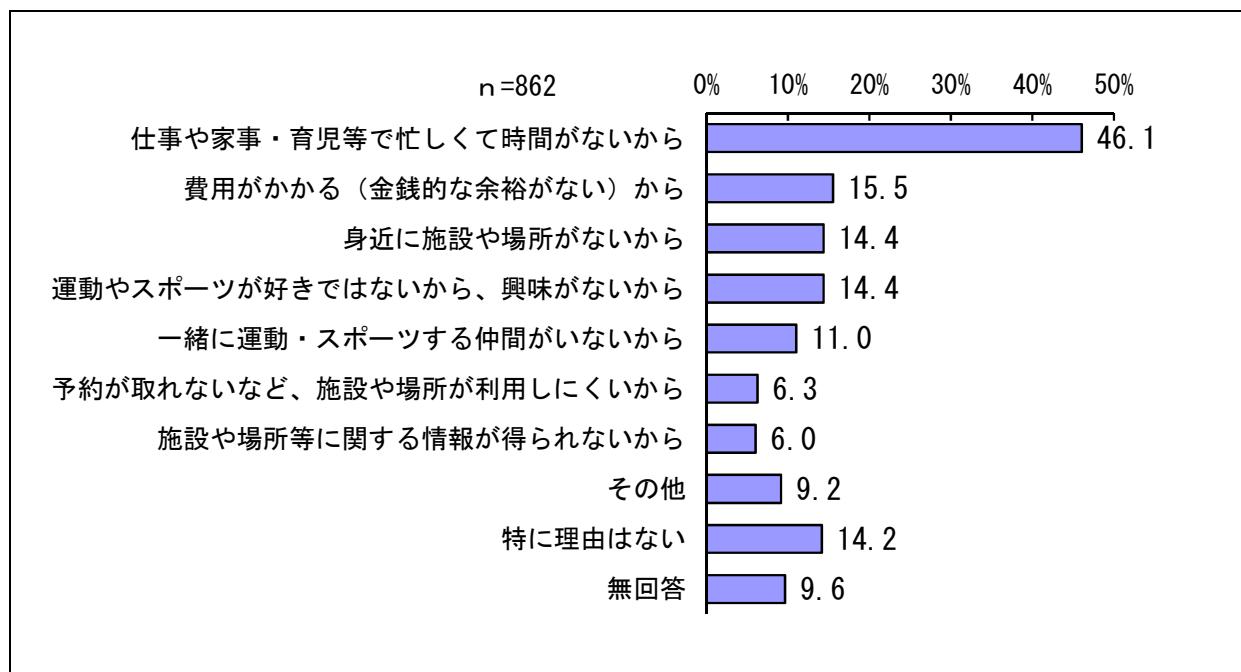
35. スポーツ等をしない理由

(1) スポーツ等をしない理由

問28で「月に1～3回」「年に数回程度」「全くしていない」のいずれかにあった方
問31 運動やスポーツをしなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

運動やスポーツ等をしない理由について、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が46.1%と4割半ばを超えて突出して高く、次いで「費用がかかる（金銭的な余裕がない）から」(15.5%)、「身近に施設や場所がないから」と「運動やスポーツが好きではないから、興味がないから」(ともに14.4%)、「一緒に運動・スポーツする仲間がいないから」(11.0%)と1割台で続いています。一方、「特に理由はない」は14.2%となっています。

【スポーツ等をしない理由（全体）】



(2) スポーツ等をしない理由（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は、女性の30～39歳が71.3%、40～49歳が64.0%と6割を超えて高く、男性の40～49歳も59.0%と6割近くになっています。

「身近に施設や場所がないから」は、女性の60～64歳が25.8%と2割半ばを超えて最も高くなっています。

「運動やスポーツが好きではないから、興味がないから」は、女性の50～59歳が31.0%と3割を超えて最も高くなっています。

「特に理由はない」は、男性の75歳以上が39.3%、18～29歳が31.0%と3割を超えて高くなっています。

【スポーツ等をしない理由（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=862)	男性						
		18～29歳 (n= 42)	30～39歳 (n= 53)	40～49歳 (n= 78)	50～59歳 (n= 67)	60～64歳 (n= 28)	65～74歳 (n= 53)	75歳以上 (n= 28)
仕事や家事・育児等で忙しくて時間が ないから	46.1	▲ 38.1	45.3	○ 59.0	50.7	● 32.1	★ 24.5	★ 10.7
費用がかかる（金銭的な余裕がない）から	15.5	▲ 7.1	▲ 9.4	15.4	△ 20.9	△ 21.4	13.2	10.7
身近に施設や場所がないから	14.4	16.7	▲ 7.5	10.3	▲ 6.0	△ 21.4	15.1	10.7
運動やスポーツが好きではないから、 興味がないから	14.4	14.3	▲ 5.7	14.1	▲ 4.5	10.7	▲ 7.5	● 3.6
一緒に運動・スポーツする仲間がいないから	11.0	14.3	7.5	7.7	9.0	14.3	15.1	▲ 3.6
予約が取れないなど、施設や場所が 利用しにくいから	6.3	2.4	1.9	10.3	10.4	10.7	3.8	7.1
施設や場所等に関する情報が得られないから	6.0	2.4	1.9	7.7	3.0	7.1	7.5	▲ 0.0
その他	9.2	▲ 0.0	9.4	▲ 3.8	▲ 3.0	△ 14.3	7.5	△ 14.3
特に理由はない	14.2	☆ 31.0	11.3	15.4	△ 23.9	10.7	○ 28.3	☆ 39.3
無回答	9.6	9.5	○ 24.5	▲ 2.6	7.5	7.1	7.5	○ 21.4

【スポーツ等をしない理由（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=862)	女性						
		18～29歳 (n= 52)	30～39歳 (n= 101)	40～49歳 (n= 114)	50～59歳 (n= 71)	60～64歳 (n= 31)	65～74歳 (n= 63)	75歳以上 (n= 45)
仕事や家事・育児等で忙しくて時間が ないから	46.1	○ 57.7	☆ 71.3	☆ 64.0	○ 56.3	45.2	★ 22.2	★ 0.0
費用がかかる（金銭的な余裕がない）から	15.5	13.5	△ 20.8	14.0	△ 21.1	16.1	14.3	11.1
身近に施設や場所がないから	14.4	15.4	11.9	△ 21.1	11.3	○ 25.8	17.5	17.8
運動やスポーツが好きではないから、 興味がないから	14.4	△ 21.2	11.9	△ 22.8	☆ 31.0	9.7	△ 20.6	▲ 6.7
一緒に運動・スポーツする仲間がいないから	11.0	▲ 5.8	11.9	13.2	△ 18.3	▲ 3.2	11.1	13.3
予約が取れないなど、施設や場所が 利用しにくいから	6.3	3.8	4.0	△ 11.4	8.5	9.7	1.6	▲ 0.0
施設や場所等に関する情報が得られないから	6.0	▲ 0.0	2.0	10.5	△ 12.7	9.7	6.3	6.7
その他	9.2	▲ 3.8	9.9	9.6	8.5	12.9	△ 14.3	☆ 24.4
特に理由はない	14.2	11.5	▲ 6.9	● 3.5	▲ 5.6	9.7	14.3	15.6
無回答	9.6	9.6	6.9	5.3	▲ 0.0	12.9	12.7	○ 22.2

(3) スポーツ等をしない理由（居住地域別）

居住地域別にみると、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は、戸塚地域で62.3%と6割を超えて最も高く、安行地域も51.1%と5割を超えています。

「費用がかかる（金銭的な余裕がない）から」は、神根地域が24.7%、新郷地域が20.8%と2割を超えて高くなっています。

「身近に施設や場所がないから」は、鳩ヶ谷地域が20.9%と2割を超えて最も高くなっています。

「一緒に運動・スポーツする仲間がいないから」は、南平地域が17.7%と1割半ばを超えて高くなっています。

【スポーツ等をしない理由（居住地域別）】

	全体 (n=862)	中央 地域 (n= 79)	横曽根 地域 (n= 70)	青木 地域 (n= 99)	南平 地域 (n= 79)	新郷 地域 (n= 53)	神根 地域 (n= 77)	芝 地域 (n= 92)	安行 地域 (n= 47)	戸塚 地域 (n= 114)	鳩ヶ谷 地域 (n= 110)	(%)
仕事や家事・育児等で忙しくて時間が ないから	46.1	44.3	▲ 40.0	43.4	41.8	43.4	44.2	▲ 40.2	51.1	☆ 62.3	47.3	
費用がかかる（金銭的な余裕がない）から	15.5	17.7	17.1	19.2	● 5.1	△ 20.8	△ 24.7	14.1	14.9	13.2	11.8	
身近に施設や場所がないから	14.4	17.7	▲ 7.1	17.2	11.4	13.2	16.9	12.0	10.6	12.3	△ 20.9	
運動やスポーツが好きではないから、 興味がないから	14.4	16.5	10.0	15.2	17.7	11.3	▲ 5.2	17.4	14.9	14.9	19.1	
一緒に運動・スポーツする仲間がいないから	11.0	7.6	8.6	12.1	△ 17.7	▲ 5.7	13.0	13.0	12.8	8.8	8.2	
予約が取れないなど、施設や場所が 利用しにくいから	6.3	8.9	7.1	5.1	10.1	5.7	6.5	4.3	4.3	6.1	7.3	
施設や場所等に関する情報が得られないから	6.0	8.9	7.1	7.1	5.1	5.7	6.5	5.4	4.3	6.1	2.7	
その他	9.2	11.4	7.1	7.1	11.4	△ 15.1	7.8	8.7	△ 17.0	7.9	6.4	
特に理由はない	14.2	12.7	17.1	18.2	12.7	13.2	13.0	18.5	10.6	10.5	12.7	
無回答	9.6	7.6	10.0	9.1	7.6	11.3	11.7	8.7	8.5	9.6	10.9	

36. 過去1年間に行ったスポーツ等

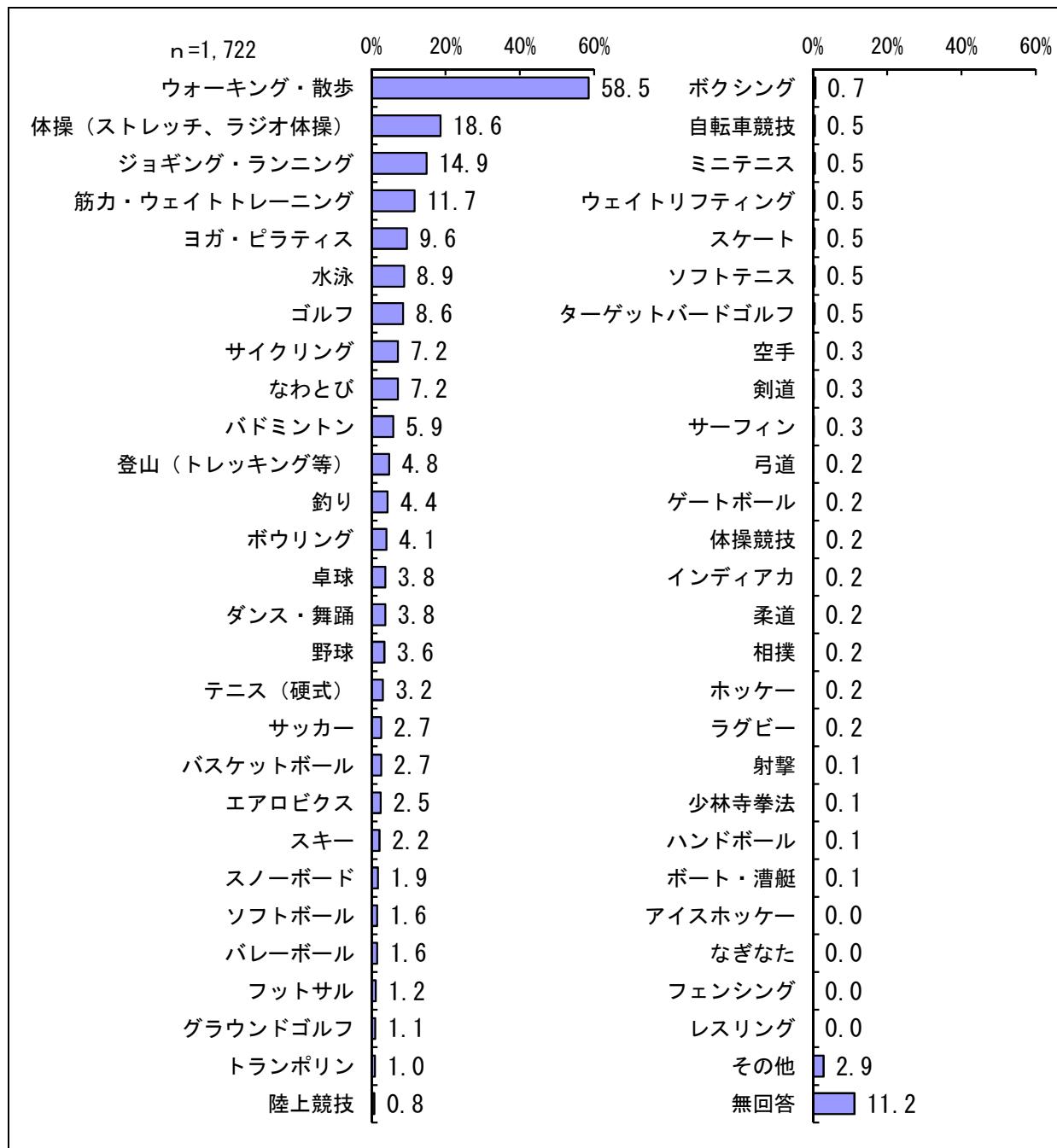
(1) 過去1年間に行ったスポーツ等

問28 過去1年間でスポーツをする機会があつた方

問32 過去1年間に行った運動やスポーツの種目は何ですか。（○はいくつでも）

過去1年間に行った運動やスポーツ等について、「ウォーキング・散歩」が58.5%と6割近くで突出して高く、次いで「体操（ストレッチ、ラジオ体操）」が18.6%、「ジョギング・ランニング」が14.9%、「筋力・ウェイトトレーニング」が11.7%と1割台で続いています。

【過去1年間に行ったスポーツ等（全体）】



(2) 過去1年間に行ったスポーツ等（性・年齢別）

性・年齢別にみると、回答数が10件以上の過去1年間に行った運動やスポーツ等では、「ウォーキング・散歩」は、男性の65～74歳が69.1%、女性の65～74歳が68.4%と7割近くで高くなっています。

「体操（ストレッチ、ラジオ体操）」は、女性の75歳以上が36.6%、40～49歳が30.6%と3割を超えて高くなっています。

「ジョギング・ランニング」は、男性の30～39歳が33.3%と3割を超えて最も高く、女性の18～29歳も28.1%と3割近くになっています。

「ヨガ・ピラティス」は、女性の30～39歳が22.4%、60～64歳が20.0%と2割以上で高くなっています。

「ゴルフ」は、男性の65～74歳が23.4%と2割を超えて高くなっています。

「なわとび」は、女性の40～49歳が19.4%、18～29歳が18.0%と2割近くで高くなっています。

「バドミントン」は、女性の40～49歳が18.1%と2割近くで高くなっています。

「登山（トレッキング等）」は、男性の60～64歳が14.9%と1割半ばで高くなっています。

「ボウリング」、「野球」、「サッカー」、「バスケットボール」といった球技は、男性の18～29歳が1割半ばを超えて高くなっています。

【過去1年間に行ったスポーツ等（男性・年齢別・回答数10件以上）】

	全体 (n=1,722)	男性 (%)						
		18~29歳 (n= 77)	30~39歳 (n= 91)	40~49歳 (n= 160)	50~59歳 (n= 120)	60~64歳 (n= 57)	65~74歳 (n= 121)	75歳以上 (n= 101)
ウォーキング・散歩	58.5	★ 37.3	★ 39.4	▲ 49.2	56.4	▲ 53.2	○ 69.1	△ 65.0
体操（ストレッチ、ラジオ体操）	18.6	★ 3.4	● 4.5	▲ 10.6	14.9	▲ 10.6	● 7.4	13.8
ジョギング・ランニング	14.9	16.9	☆ 33.3	○ 25.0	○ 25.5	17.0	▲ 9.6	● 3.8
筋力・ウェイトトレーニング	11.7	△ 16.9	△ 19.7	15.2	13.8	△ 17.0	▲ 6.4	▲ 6.3
ヨガ・ピラティス	9.6	▲ 1.7	▲ 3.0	▲ 1.5	▲ 4.3	▲ 0.0	▲ 2.1	▲ 2.5
水泳	8.9	11.9	13.6	△ 15.9	4.3	10.6	▲ 2.1	6.3
ゴルフ	8.6	▲ 3.4	7.6	12.9	△ 16.0	△ 14.9	○ 23.4	△ 16.3
サイクリング	7.2	6.8	12.1	11.4	11.7	△ 14.9	8.5	2.5
なわとび	7.2	5.1	6.1	9.1	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 1.1	2.5
バドミントン	5.9	△ 13.6	7.6	6.1	3.2	▲ 0.0	1.1	2.5
登山（トレッキング等）	4.8	1.7	4.5	6.1	8.5	○ 14.9	5.3	2.5
釣り	4.4	5.1	3.0	8.3	△ 9.6	4.3	△ 9.6	6.3
ボウリング	4.1	○ 15.3	6.1	3.8	3.2	8.5	3.2	3.8
卓球	3.8	8.5	1.5	2.3	5.3	6.4	4.3	3.8
ダンス・舞踊	3.8	1.7	0.0	0.8	1.1	0.0	1.1	2.5
野球	3.6	☆ 18.6	△ 9.1	7.6	6.4	4.3	1.1	1.3
テニス（硬式）	3.2	3.4	6.1	6.1	5.3	0.0	2.1	0.0
サッカー	2.7	☆ 18.6	△ 9.1	6.1	3.2	0.0	0.0	1.3
バスケットボール	2.7	○ 15.3	△ 9.1	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0
エアロビクス	2.5	0.0	0.0	0.8	1.1	2.1	0.0	0.0
スキー	2.2	3.4	4.5	3.0	6.4	6.4	1.1	1.3
スノーボード	1.9	△ 8.5	1.5	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ソフトボール	1.6	△ 6.8	1.5	0.8	1.1	△ 8.5	1.1	2.5
バレーボール	1.6	△ 10.2	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
フットサル	1.2	5.1	4.5	3.8	1.1	0.0	0.0	0.0
グラウンドゴルフ	1.1	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	2.1	2.5
トランポリン	1.0	0.0	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
陸上競技	0.8	△ 6.8	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0

【過去1年間に行ったスポーツ等（女性・年齢別・回答数10件以上）】

	全体 (n=1,722)	女性 (%)						
		18~29歳 (n= 109)	30~39歳 (n= 159)	40~49歳 (n= 193)	50~59歳 (n= 147)	60~64歳 (n= 61)	65~74歳 (n= 153)	75歳以上 (n= 109)
ウォーキング・散歩	58.5	62.9	62.9	△ 63.9	△ 66.4	57.8	△ 68.4	▲ 52.1
体操（ストレッチ、ラジオ体操）	18.6	21.3	19.0	○ 30.6	22.4	○ 28.9	○ 29.1	☆ 36.6
ジョギング・ランニング	14.9	○ 28.1	17.2	13.9	▲ 7.5	● 2.2	● 3.4	▲ 5.6
筋力・ウェイトトレーニング	11.7	△ 16.9	15.5	8.3	15.9	▲ 4.4	8.5	● 1.4
ヨガ・ピラティス	9.6	△ 18.0	○ 22.4	△ 18.1	△ 17.8	○ 20.0	6.8	7.0
水泳	8.9	6.7	10.3	10.4	7.5	8.9	6.0	11.3
ゴルフ	8.6	▲ 2.2	▲ 0.9	6.3	▲ 2.8	11.1	▲ 2.6	7.0
サイクリング	7.2	5.6	4.3	9.0	6.5	6.7	▲ 0.9	2.8
なわとび	7.2	○ 18.0	7.8	○ 19.4	6.5	4.4	3.4	▲ 1.4
バドミントン	5.9	5.6	7.8	○ 18.1	2.8	4.4	1.7	2.8
登山（トレッキング等）	4.8	3.4	6.0	3.5	3.7	6.7	4.3	0.0
釣り	4.4	1.1	3.4	4.9	0.9	4.4	0.0	0.0
ボウリング	4.1	3.4	2.6	4.9	2.8	0.0	3.4	1.4
卓球	3.8	7.9	1.7	4.2	1.9	6.7	3.4	1.4
ダンス・舞踊	3.8	△ 13.5	6.9	4.9	4.7	4.4	5.1	4.2
野球	3.6	3.4	1.7	1.4	0.9	0.0	0.0	0.0
テニス（硬式）	3.2	1.1	2.6	2.8	5.6	2.2	4.3	0.0
サッカー	2.7	2.2	1.7	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
バスケットボール	2.7	6.7	1.7	5.6	0.9	0.0	0.0	0.0
エアロビクス	2.5	4.5	3.4	1.4	△ 9.3	6.7	4.3	1.4
スキー	2.2	0.0	0.9	2.8	1.9	2.2	0.9	0.0
スノーボード	1.9	6.7	2.6	1.4	0.9	0.0	0.9	0.0
ソフトボール	1.6	4.5	0.0	0.0	0.9	2.2	0.9	0.0
バレーボール	1.6	4.5	2.6	2.1	1.9	0.0	0.0	1.4
フットサル	1.2	2.2	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
グラウンドゴルフ	1.1	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	2.6	4.2
トランポリン	1.0	2.2	4.3	1.4	0.0	2.2	0.0	0.0
陸上競技	0.8	0.0	1.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0

(3) 過去1年間に行ったスポーツ等（居住地域別）

居住地域別にみると、回答数が10件以上の過去1年間に行った運動やスポーツ等では、「ウォーキング・散歩」は、青木地域が64.8%、戸塚地域が64.5%、中央地域が64.2%、横曽根地域が63.5%と6割を超えて高くなっています。

「体操（ストレッチ、ラジオ体操）」は、安行地域が25.7%、青木地域が24.1%と2割半ば前後で高くなっています。

「ゴルフ」は、新郷地域が15.2%と1割半ばを超えてやや高くなっています。

「釣り」は、新郷地域が10.6%と1割を超えてやや高くなっています。

「サッカー」は、安行地域が8.1%とそのほかの地域よりやや高くなっています。

【過去1年間に行ったスポーツ等（居住地域別・回答数10件以上）】

	全体 (n=1,722)	中央 地域 (n= 171)	横曽根 地域 (n= 162)	青木 地域 (n= 199)	南平 地域 (n= 168)	新郷 地域 (n= 96)	神根 地域 (n= 138)	芝 地域 (n= 206)	安行 地域 (n= 97)	戸塚 地域 (n= 207)	鳩ヶ谷 地域 (n= 206)	(%)
ウォーキング・散歩	58.5	△ 64.2	63.5	△ 64.8	55.7	▲ 53.0	▲ 52.4	▲ 51.9	54.1	△ 64.5	57.1	
体操（ストレッチ、ラジオ体操）	18.6	21.6	17.5	△ 24.1	20.6	▲ 12.1	19.4	16.2	△ 25.7	14.2	17.2	
ジョギング・ランニング	14.9	14.2	15.1	15.2	15.3	10.6	11.7	15.6	18.9	18.7	14.7	
筋力・ウェイトトレーニング	11.7	14.2	11.9	11.7	7.6	9.1	11.7	14.9	8.1	13.5	12.3	
ヨガ・ピラティス	9.6	14.2	13.5	6.9	9.2	6.1	10.7	9.7	10.8	7.7	8.0	
水泳	8.9	11.9	10.3	4.8	9.9	6.1	9.7	8.4	12.2	9.0	8.0	
ゴルフ	8.6	8.2	9.5	6.9	7.6	△ 15.2	3.9	12.3	5.4	10.3	8.6	
サイクリング	7.2	4.5	8.7	7.6	5.3	7.6	5.8	8.4	9.5	5.2	9.8	
なわとび	7.2	7.5	3.2	6.9	7.6	12.1	9.7	6.5	6.8	8.4	7.4	
バドミントン	5.9	4.5	8.7	4.8	7.6	7.6	6.8	2.6	9.5	6.5	5.5	
登山（トレッキング等）	4.8	9.0	5.6	4.8	3.1	6.1	1.0	7.1	4.1	4.5	3.1	
釣り	4.4	1.5	5.6	2.1	5.3	△ 10.6	3.9	3.9	8.1	4.5	4.3	
ボウリング	4.1	5.2	6.3	3.4	7.6	6.1	1.9	0.6	1.4	3.2	4.9	
卓球	3.8	2.2	7.1	3.4	1.5	4.5	2.9	3.2	6.8	4.5	3.1	
ダンス・舞踊	3.8	4.5	4.0	6.9	3.1	1.5	2.9	6.5	1.4	1.3	3.1	
野球	3.6	1.5	3.2	4.1	4.6	1.5	2.9	2.6	6.8	5.2	2.5	
テニス（硬式）	3.2	3.7	4.0	2.8	2.3	1.5	1.9	4.5	2.7	3.9	2.5	
サッカー	2.7	0.7	2.4	3.4	3.1	1.5	1.9	1.9	△ 8.1	1.9	3.7	
バスケットボール	2.7	2.2	3.2	0.7	3.1	4.5	3.9	1.3	2.7	3.2	2.5	
エアロビクス	2.5	4.5	1.6	2.1	1.5	1.5	1.0	3.9	2.7	1.9	2.5	
スキー	2.2	4.5	1.6	0.7	2.3	1.5	1.9	1.3	1.4	3.2	3.7	
スノーボード	1.9	1.5	2.4	0.0	0.8	3.0	1.9	1.3	4.1	1.3	3.1	
ソフトボール	1.6	0.0	1.6	0.7	0.8	1.5	4.9	0.6	1.4	1.9	3.1	
バレーボール	1.6	3.0	0.8	1.4	0.8	3.0	3.9	1.3	4.1	0.0	1.2	
フットサル	1.2	0.0	0.0	2.1	2.3	0.0	1.0	0.6	5.4	0.0	1.8	
グラウンドゴルフ	1.1	0.0	0.0	0.0	1.5	3.0	0.0	1.9	4.1	0.6	0.6	
トランポリン	1.0	0.0	2.4	2.8	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.6	
陸上競技	0.8	0.0	0.8	0.0	1.5	1.5	0.0	1.3	4.1	1.3	0.0	

第3章 調査結果の分析

1. 川口市の特徴

本市への居住意向について、「住み続けたい」との回答は8割半ばを占めており、平成30年度以降増加傾向にあります。本市の良いところ・好きなところは、「都心に出やすい」が約6割、「買い物など日常生活が便利である」が5割半ばと生活の利便性に関するものが高くなっていますが、本市に「住み続けたい」と回答した人と「住み続けたくない」と回答した人では、「自然環境が豊かである」や「住まいの環境が良好である」に大きく差が出ており、住環境の良さが「住み続けたい」要因となっています。

本市の好きな場所、もの、行事について、「グリーンセンター」が4割半ば、「たたら祭り」が3割、「中央図書館」と、「川口総合文化センターリリア」が2割を超えており、上記に加え「川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり」や「川口西公園（リリアパーク）」が、本市に「住み続けたい」と回答した人と「住み続けたくない」と回答した人で差が出ており、市民が集える憩いの場や伝統のあるお祭り、文化芸術施設などに、郷土愛を感じている傾向にあります。

「川口市自治基本条例の周知状況」について、「条例の内容を知っている」と「名称は聞いたことがある」を合わせた『知っている』は2割を切っており、令和元年度以降減少傾向にあることから、依然として周知と啓発が課題となっています。

本市の状況や取り組みについての実感について、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた『感じる』は、「水道や下水道を安心して利用できるまち」が6割半ば、「買い物しやすいまち」が6割、「豊かな水と緑に親しめるまち」も5割を超えて高く、さらに「健康に暮らせるまち」、「都市農業が行われているまち」がともに5割近くとなるなど、インフラが整備され、商業や農業といった都市と自然環境が調和した、健康に暮らせるまちづくりへの取り組みが、市民のなかに実感としてあらわれています。

本市の都市整備施策に対する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「下水道事業の推進」が7割弱、「良好な住環境の推進」が6割を超えて高く、「総合的な交通基盤の充実」、「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」も5割を超えています。

合併について、「評価している」と「ある程度評価している」を合わせた『評価している』は3割半ばを超えており、合併によって良くなつたと感じることは、「健康づくりの推進と医療の充実」、「廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進」、「安定した水道水の供給」、「総合的な交通基盤の充実」が高くなっていますが、鳩ヶ谷市との合併から約10年経過したこともあり、「わからない」が5割近くを占めています。

防災について、災害時の備えは、「食料や飲料水の備蓄」が6割半、「非常持出袋の用意」が4割を超えており、前回調査からあまり変化ありませんが、食料や飲料水の備蓄数や非常用トイレの備蓄数などは、前回調査より短い日数・回数分の割合が高くなっています。防災訓練への参加は、「参加したことがある」は前回調査と同じ約3割で変化ありませんが、「実施していることを知らない」が2.6ポイント上がっており、防災訓練実施の周知が求められています。分散避難・在宅避難の認知度は、「知っており、分散避難・在宅避難をしたいと考えている」と「知っているが、分散避難・在宅避難はできない状態である」を合わせた『分散避難・在宅避難』を知っているが5割を超えていますが、「知らない」は4割を超えており、一層の周知・啓発の必要があります。市から発信する防災・災害情報の入手手段は、「防災行政無線」が5割を超えて最も高く、「テレビのデータ放送」、「川口市ホームページ」が2割を超えています。

受動喫煙防止対策について、たばこを「吸わない」との回答は約8割を占めており、令和元年度以降増加傾向にありますが、「毎日吸っている」は依然として1割台を占めています。受動喫煙の認知度は、「受動喫煙という言葉については健康被害があるということを含めて知っている」が9割を超えており、国の受動喫煙対策の認知度は、「知っている」が7割を超えています。1年間に受動喫煙にあった施設（「行かなかった」「無回答」除く）は、「路上」が7割半ば、「飲食店」と「ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設」が4割、「職場」が3割を超えています。

児童虐待防止について、児童虐待への関心は、「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた『関心がある』は8割半ばを超えていますが、前回調査より4ポイント下がっています。「どんな場合も児童虐待にあたる」行動としては、「何日間も子どもに同じ服や下着を着させ、不衛生な状態のままでいさせる」と「子どもの目の前で配偶者に暴力を振るう」が8割、「宿題をしなかったので、夕ご飯を食べさせない」が7割、「友達を殴ってケガをさせたので、同じように子どもを殴る」が6割をそれぞれ超えて高くなっています。児童虐待について知っていることは、「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること」が7割を超えて最も高く、「通告は匿名でもできること」が4割、「虐待に関する相談窓口」、「児童虐待の通告をした人の秘密は守られること」が3割を超えています。

広報かわぐちについて、広報かわぐちを「毎月必ず読んでいる」は4割を超えており、「興味のある記事があるときだけ」、「2～3カ月に1回」を合わせた広報かわぐちを『読む』は8割近くを占めています。広報かわぐちの満足度は、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた『満足』は7割近くを占めており、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた『不満』は約2割となっています。広報かわぐちの情報量は、「ちょうどよい」が6割を超えています。また、広報かわぐちの情報量が『多い』（「多すぎる」と「やや多い」）割合と『少ない』（「やや少ない」と「少なすぎる」）割合はほぼ同じになっています。

スポーツに対する意識・実態について、過去1年間のスポーツ等の頻度は、「週に3回以上」と「週に1～2回程度」が2割、「年に数回程度」、「月に1～3回程度」が1割をそれぞれ超えており、過去1年間にスポーツ等で体を動かした回答者は7割半ばを占めています。運動やスポーツ等を行う目的は、「健康や体力の維持・増進のため」が7割、次いで「運動不足を解消するため」が6割、「気分転換、気晴らしのため」が5割近くと高くなっています。スポーツ等を行った場所・施設は、「特に施設を利用しなかった」が5割を占めており、コロナ禍で施設があまり使えない現状がうかがえます。運動やスポーツ等をしない理由は、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が4割半ばと高く、特に女性の30～39歳は7割を超えていました。過去1年間に行った運動やスポーツ等は、「ウォーキング・散歩」が6割近くで突出して高く、「体操（ストレッチ、ラジオ体操）」、「ジョギング・ランニング」、「筋力・ウェイトトレーニング」が1割台で続いている、一人で場所を選ばずにできる運動やスポーツが行われています。

2. 川口市の課題

① 保健・医療体制の充実、子育て・高齢者世帯への支援

今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいものとして、「健康に暮らせるまち（保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち）」が4割半ばに達し、本市の状況や取り組みの23項目中で最も高くなっています。また、「子育てしやすい環境づくりのまち（子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち）」（23項目中4位）と「高齢者が安心して暮らせるまち（高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち）」（23項目中5位）が3割前後と、子どもから高齢者にかけて、『全ての人にやさしい“生涯安心なまち”』の実現を強く求められています。

② 安全・安心な市民生活の確保

今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいものとして、「災害や犯罪に対し安全・安心なまち（さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち）」が4割と、本市の状況や取り組みの23項目中で2番目に高く、「誰もが安心して暮らせるまち（年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち）」（23項目中10位）も約2割となっています。本市の良くないところ・嫌いなところで「治安が悪い」が2割半ばと最も高くなっていることもあり、快適な市民生活を送る上で、自然災害や新型感染症対策のみならず、身の回りの“安全・安心”的取り組みに対する要望が依然として強くあります。

③ 交通環境の整備

今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいものとして、「交通環境が整っているまち（安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち）」が3割を超えて、本市の状況や取り組みの23項目中で3番目に高くなっています。また、本市の良くないところ・嫌いなところで「道路事情が悪い」が2番目、「公共交通機関が充実していない」が3番目に高くなっていることから、道路交通といった“移動”に関わる取り組みは、今後さらに重要なテーマとなっていました。

まとめ

今年度の調査結果から、本市に「住み続けたい」との回答は15年連続して8割を超えており、いまなお上がり続けています。

「住み続けたい」割合を高く維持している要因として、「都心に出やすい」、「買い物など日常生活が便利である」、「公共交通機関が充実している」といった日常生活をする上で快適さや利便性が高く評価されています。一方で、「治安が悪い」、「道路事情が悪い」、「公共交通機関が充実していない」、「医療サービスが不十分である」といった項目がここ数年の課題として、地域格差も含め検討していく必要があります。

参考資料（調査票・単純集計結果）

総合計画(まちづくり)のための
川口市民意識調査
～市民のみなさまの声をお聞かせください～

市民のみなさまには、日ごろから市政推進にご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

川口市では、「川口市総合計画」に基づき、様々な施策を実施しておりますが、この計画を進行管理し、より良いものとしていくために、本市のまちづくりに対する市民のみなさまの評価やご意見を伺う「市民意識調査」を毎年実施しております。

この調査は、本市にお住まいの満18歳以上の方から、無作為に5,000人を抽出し、調査票を送らせていただいております。

この調査票に記入していただきました内容は、本市において厳重に管理し、統計的な処理を行うこと以外に使用することは一切ありません。

川口市を一層、住んで良かった、これからも住み続けたいと実感できるより良いまちとするために、ぜひともこの調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年6月 川口市長 奥ノ木 信夫

【回答の方法】

- ① 調査対象者本人（封筒のあて名の方）が、ご回答をお願いします。
- ② 回答済みの本調査票を三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて封をし、
6月21日（月）までに郵便ポストへ投函をお願いします。
（切手は必要ありません）

【回答にあたってのお願い】

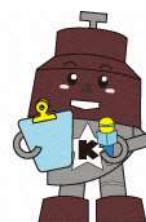
- ① 回答は無記名です。調査票、封筒ともに氏名・住所の記入は必要ありません。
- ② 回答は、問の番号順に進んでお答えください。回答内容によって、一部の方にお答えいただく設問がありますが、記載のとおり該当する設問に進んでください。

【お問合せ先】

川口市役所 企画財政部 企画経営課 企画係

電話 048（259）7627

FAX 048（258）1203



川口市マスコット「きゅぱらん」

◆ 川口市での暮らしやまち全体の印象についておたずねいたします。

問1 今後とも、川口市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

85.0 住み続けたい

8.5 住み続けたくない

6.6 無回答

問2 あなたが思う川口市のことについておたずねいたします。あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 川口市の良いところ、好きなところは何ですか。(○は3つまで)

- 26.9 公共交通機関が充実している
7.7 道路事情が良い
55.3 買い物など日常生活が便利である
11.8 勤務先が近くにある
59.1 都心に出やすい
5.1 医療サービスが充実している
0.8 福祉サービスの水準が高い
3.7 子育ての環境が充実している
1.3 子どもの教育環境が充実している
10.6 公園などの憩いの場が豊富である
1.2 文化活動をする場が豊富である
3.3 スポーツをする場が豊富である

- 12.8 自然環境が豊かである
0.9 街並みが美しい
6.0 治安が良い
0.8 娯楽施設が充実している
11.2 住まいの環境が良好である
3.1 近隣の人々とのきずなが強い
21.1 災害が少ない
2.9 公害が少ない
8.8 物価が安い
1.9 特になし
1.7 その他
1.8 無回答

{ 自由記入 }

(2) 川口市の良くないところ、嫌いなところは何ですか。(○は3つまで)

- 14.1 公共交通機関が充実していない
15.6 道路事情が悪い
4.6 買い物など日常生活が不便である
3.0 勤務先が遠くにある
2.1 都心に出にくい
13.1 医療サービスが不十分である
9.8 福祉サービスの水準が低い
4.6 子育ての環境が整っていない
6.1 子どもの教育環境が整っていない
12.0 公園などの憩いの場が乏しい
6.2 文化活動をする場が乏しい
7.6 スポーツをする場が乏しい

- 6.0 自然環境が悪い
12.0 街並みがきたない
25.7 治安が悪い
8.2 娯楽施設が充実していない
4.5 住まいの環境が悪い
9.3 近隣の人々とのきずなが弱い
3.1 災害が多い
1.2 公害が多い
5.3 物価が高い
13.1 特になし
11.0 その他
4.0 無回答

{ 自由記入 }

問3 川口市の好きな場所、もの、行事は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 9.1 川口市マスコット「きゅぽらん」 | 1.2 旧鎌物問屋鍋平邸 |
| 10.6 川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり | 10.0 川口神社 |
| 7.3 川口マラソン | 2.7 錫杖寺 |
| 8.1 S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭 | 5.0 峯ヶ岡八幡神社 |
| 32.1 たら祭り | 3.1 地蔵院 |
| 4.2 市産品フェア | 4.2 赤山城跡（赤山陣屋跡） |
| 3.9 彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム | 1.8 木曽呂の富士塚 |
| 8.9 科学館 | 6.7 赤山歴史自然公園（イイナパーク川口） |
| 21.8 川口総合文化センターリリア | 7.5 青木町平和公園 |
| 26.7 中央図書館 | 15.7 川口西公園（リリアパーク） |
| 1.3 かわぐち市民パートナーステーション | 7.1 荒川運動公園 |
| 2.0 アートギャラリー・アトリア | 8.9 川口自然公園 |
| 47.5 グリーンセンター | 4.5 ゴリラ公園 |
| 11.6 川口緑化センター樹里安 | 0.6 御成坂公園 |
| 6.3 川口オートレース場 | 9.8 その他 |
| 5.6 旧田中家住宅 | 7.5 無回答 |

自由記入
[]

◆ 川口市が取り組む施策等に対する評価についておたずねいたします。

問4 あなたは、「川口市自治基本条例」を知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

- | | | |
|-----------------|------------------|-----------|
| 1.7 条例の内容を知っている | 16.4 名称は聞いたことがある | 80.3 知らない |
| 1.5 無回答 | | |

※川口市では、自治体の憲法と言われる「川口市自治基本条例」を平成21年4月1日に施行いたしました。この条例は、市民が市民として幸せに暮らせる地域社会を実現するための基本的なルールを定めたものです。

問5 川口市の状況や取り組みについておたずねいたします。

以下のそれぞれの質問に対してあてはまる番号に○をつけてください。
(○は1つ)

質問番号	質問項目	5 そう感じ る	4 ややそ う感じ る	3 どちら ともい えない	2 あまり そう感 じない	1 そう感 じない	無回答
1	川口市は保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまちだと感じますか。	12.6	37.2	33.0	12.6	2.5	2.1
2	川口市は子育てしやすい環境づくりに力を入れているまちだと感じますか。	7.6	30.4	43.4	11.9	3.0	3.6
3	川口市は高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまちだと感じますか。	5.7	21.8	51.3	15.9	3.2	2.0
4	川口市は、年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまちだと感じますか。	6.2	25.6	47.0	15.9	3.0	2.3
5	川口市は子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまちだと感じますか。	4.5	23.6	49.7	15.4	3.3	3.5
6	川口市は学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまちだと感じますか。	5.7	28.6	45.3	14.4	2.9	3.1
7	川口市は文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまちだと感じますか。	5.0	27.2	47.0	14.9	3.0	2.8
8	川口市は性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまちだと感じますか。	5.8	25.7	46.2	15.1	4.6	2.5
9	川口市は市内産業が元気なまちだと感じますか。	5.2	25.8	42.8	19.8	4.2	2.8
10	川口市はものづくり産業が活発なまちだと感じますか。	7.4	29.6	38.4	17.9	3.9	2.7
11	川口市は大型店から商店街まで買い物がしやすいまちだと感じますか。	22.6	40.7	21.2	10.6	2.8	2.0
12	川口市は植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまちだと感じますか。	11.1	38.4	31.7	13.5	3.0	2.2
13	川口市は自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまちだと感じますか。	6.0	26.2	41.8	19.3	4.4	2.2

質問番号	質問項目	5 そう感じ る	4 ややそ う感じ る	3 どちら ともい えない	2 あまり そう感 じない	1 そう感 じない	無回答
14	川口市は豊かな水と緑に親しめる場所があるまちだと感じますか。	11.5	39.5	27.5	16.3	3.1	2.1
15	川口市は温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行ってているまちだと感じますか。	2.5	10.6	50.3	27.4	6.3	2.9
16	川口市はごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまちだと感じますか。	8.7	31.3	36.6	17.9	3.6	1.9
17	川口市は、住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されていると感じますか。	3.9	21.3	53.5	15.3	3.3	2.8
18	川口市は安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまちだと感じますか。	10.2	37.5	30.9	14.6	4.6	2.3
19	川口市はいつでも安心して水道や下水道を利用できるまちだと感じますか。	21.4	43.5	23.1	6.8	3.1	2.1
20	川口市はさまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われていると感じますか。	5.2	25.3	45.1	17.8	4.4	2.3
21	川口市はボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまちだと感じますか。	5.4	25.6	49.1	13.5	4.0	2.4
22	川口市は、市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っていると感じますか。	2.7	13.9	53.7	20.6	6.7	2.4
23	川口市は効果的かつ効率的な行財政運営がなされていると感じますか。	2.4	13.6	57.5	17.2	6.3	3.0

問6 問5の23の質問項目のうち、あなたが、川口市に今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいと感じるものについて、問5の表の質問番号（1～23）から上位5つを選び、その番号を下の枠の中に記入してください。

- 45.3 保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち
- 40.2 さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち
- 31.2 安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち
- 30.4 子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち
- 29.0 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち

問7 川口市の都市整備に対する「満足度」について、おたずねいたします。
以下の質問に対してあてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

番号	施策	回答欄(満足度)				
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
1	「良好な住環境の推進」はされていると感じますか。 (良好な住宅や住宅環境の整備)	8.0	54.1	28.3	4.5	5.1
2	「魅力と活力を育む土地利用の推進」はされていると感じますか。(計画的な土地利用、市街地や駅周辺の整備等)	5.2	41.1	40.2	7.6	5.9
3	「総合的な交通基盤の充実」はされていると感じますか。 (道路・交通環境整備、バスなどの公共交通機能充実等)	13.0	44.0	30.7	8.0	4.3
4	「下水道事業の推進」はされていると感じますか。 (下水道の普及や機能の向上等)	16.0	52.7	20.7	5.4	5.2
5	「美しくうるおいのある景観形成の推進」はされていると感じますか。(美しくうるおいのある景観形成の推進等)	4.5	40.6	40.9	7.9	6.1
6	「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」はされていると感じますか。(緑地や河川環境の整備、治水対策等)	6.4	46.1	34.6	7.4	5.4

◆ 川口市は平成23年10月に鳩ヶ谷市と合併し、10年が経ちました。合併についておたずねいたします。

問8 合併についておたずねいたします。あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 合併によって良くなつたと感じることは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|
| 8.1 健康づくりの推進と医療の充実 | 3.1 新しい産業の創出・振興 |
| 5.5 子育て環境の充実 | 2.3 安心して働き続けることのできる職場
づくりの推進 |
| 4.8 誰もが安心できる生活環境の充実 | 2.7 美しくうるおいのある景観形成の推進 |
| 5.8 高齢者の暮らしの充実 | 4.5 豊かな水と緑に親しめる都市の創出 |
| 3.1 知・徳・体の調和のとれた人間形成を
めざす学校教育の推進 | 2.3 環境の保全と創造 |
| 1.9 青少年の健全育成 | 8.1 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理
の推進 |
| 2.3 生涯学習の推進 | 6.1 良好な住環境の推進 |
| 4.8 スポーツ・レクリエーション活動の推
進 | 2.4 魅力と活力を育む土地利用の推進 |
| 2.9 文化芸術の振興 | 7.7 総合的な交通基盤の充実 |
| 3.0 文化財の保護・活用 | 5.7 下水道事業の推進 |
| 2.0 活力ある工業の振興 | 4.2 安全・安心な市民生活の確保 |
| 3.4 活気ある商業の振興 | 3.8 危機管理体制の強化 |
| 2.0 魅力ある都市農業の振興 | 8.0 安定した水道水の供給 |

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1.1 人権尊重・男女共同参画社会の推進 | 2.1 情報化の推進 |
| 3.0 コミュニティ活動の支援と協働の推進 | 3.2 その他 |
| 1.3 国際化の推進 | 48.3 わからない |
| 1.8 市民参加の推進 | 10.6 無回答 |
| 3.7 計画的・効率的な行財政運営の推進 | |

(2) 合併によって悪くなったと感じることは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1.0 健康づくりの推進と医療の充実 | 1.0 環境の保全と創造 |
| 1.4 子育て環境の充実 | 1.8 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進 |
| 1.5 誰もが安心できる生活環境の充実 | 1.3 良好な住環境の推進 |
| 3.1 高齢者の暮らしの充実 | 0.9 魅力と活力を育む土地利用の推進 |
| 1.0 知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざす学校教育の推進 | 1.5 総合的な交通基盤の充実 |
| 1.0 青少年の健全育成 | 2.1 下水道事業の推進 |
| 0.6 生涯学習の推進 | 1.9 安全・安心な市民生活の確保 |
| 1.0 スポーツ・レクリエーション活動の推進 | 1.3 危機管理体制の強化 |
| 0.5 文化芸術の振興 | 1.4 安定した水道水の供給 |
| 0.2 文化財の保護・活用 | 0.6 人権尊重・男女共同参画社会の推進 |
| 0.5 活力ある工業の振興 | 0.6 コミュニティ活動の支援と協働の推進 |
| 1.2 活気ある商業の振興 | 0.5 国際化の推進 |
| 0.6 魅力ある都市農業の振興 | 1.2 市民参加の推進 |
| 0.5 新しい産業の創出・振興 | 2.1 計画的・効率的な行財政運営の推進 |
| 1.0 安心して働き続けることのできる職場づくりの推進 | 0.6 情報化の推進 |
| 0.8 美しくうるおいのある景観形成の推進 | 4.0 その他 |
| 1.5 豊かな水と緑に親しめる都市の創出 | 69.1 わからない |
| | 14.1 無回答 |

問9 市町村合併の全体的な評価について、あなたの考えに一番近いものを次の1~5の中から一つだけ選び、○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|-----------------|--------------|
| 8.4 評価している | 27.2 ある程度評価している | 8.2 あまり評価しない |
| 3.1 評価しない | 48.3 わからない | 4.9 無回答 |

自由記入

◆ これからは個々の施策についておたずねします。

◆ 防災についておたずねいたします。

問10 災害時の備えとして、どのようなことを行っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

65.2 食料や飲料水の備蓄 (平均 4.1 日分)

29.6 非常用トイレの備蓄 (平均 9.9 回分)

43.0 非常持出袋の用意

37.7 家具の転倒防止

6.4 感震ブレーカーの設置

5.8 その他 自由記入

10.2 無回答

)

問11 川口市や町会・自治会などで実施している防災訓練に参加したことはありますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

29.6 参加したことがある

42.7 参加したことはない

25.8 実施していることを知らない 1.9 無回答

問12 分散避難・在宅避難※についてご存知ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

44.9 知っており、分散避難・在宅避難をしたいと考えている

9.3 知っているが、分散避難・在宅避難はできない状態である

42.3 知らない 3.5 無回答

※ 分散避難とは災害発生時にホテルや親戚宅、知人宅等避難所以外の場所に避難すること、在宅避難とは分散避難の一種であり、安全を確認したうえで自宅での生活を続けることです。分散避難先の検討や家具の転倒防止対策、備蓄など、平時から災害時の備えをしておきましょう。

問13 市から発信する防災・災害情報をどのような手段で入手していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

53.0 防災行政無線

1.1 防災行政無線無料ティフォンサービス (0800-800-4344)

13.9 川口市メールサービス (きらり川口情報メール等)

23.9 川口市ホームページ

24.4 テレビのデータ放送

8.3 川口市公式LINE

9.0 その他 自由記入

9.2 無回答

)

◆ 受動喫煙防止対策についておたずねいたします。

問14 あなたはたばこを吸いますか。あてはまる番号に○をつけてください。
(○は1つ)

- 79.2 吸わない
5.1 以前は吸っていたが1か月以上吸っていない
1.9 時々吸う日がある
12.5 毎日吸っている 1.3 無回答

問15 受動喫煙は「他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされること」を言います。
あなたは受動喫煙という言葉を知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。
(○は1つ)

- 91.9 受動喫煙という言葉については健康被害があるということを含めて知っている
3.0 受動喫煙という言葉のみを知っている
3.5 知らない 1.6 無回答

問16 国では、健康増進法を改正し、受動喫煙対策を強化しています。あなたはこのような国
の動きを知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。
(○は1つ)

- 73.0 知っている
24.2 知らない
2.8 無回答

問17 あなたはおよそ1年の間に次のような施設（敷地内の屋外、屋内を含む）などで受動
喫煙にあいましたか。あてはまるものに○をつけてください。
(○は1つ)

	施設	回答欄			
		あった	あわなかつた	行かなかつた	無回答
1	学校	1.8	27.1	51.7	19.4
2	職場	19.5	43.5	19.4	17.7
3	家庭	14.6	64.3	3.4	17.7
4	路上	65.7	21.4	2.0	10.9
5	公共交通機関	12.3	61.7	7.5	18.5
6	医療機関（病院・診療所等）	3.0	72.6	5.6	18.8
7	行政機関（市役所、公民館等）	4.3	66.1	10.6	18.9
8	劇場・映画館・スポーツ施設	6.1	50.3	24.4	19.1
9	ゲームセンター・パチンコ店 等娯楽施設	16.1	19.9	45.6	18.4
10	飲食店	33.3	40.0	11.4	15.3

◆児童虐待防止についておたずねします。

全国で児童虐待に関する相談件数は増加しており、重大な事件も後を絶ちません。児童虐待防止は社会全体で取り組むべき重要な課題であることから、川口市では、虐待の発生予防、早期発見・早期対応に向け、様々な取り組みを実施しているところです。

今後、さらに社会全体で児童虐待防止に向けた取り組みを実施していくために、皆さまのご意見をお聞かせください。

問18 あなたは児童虐待についてどの程度関心をお持ちですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- 45.5 関心がある
- 40.5 どちらかといえば関心がある
- 7.2 どちらかといえば関心がない
- 2.2 関心がない
- 4.6 無回答

問19 下記の行動は、「児童虐待」にあたると思いますか。

以下の質問に対してあてはまる番号を○につけてください。(○は1つ)

番号	質問項目	どんな場合 も児童虐待 にあたる	児童虐待 の場合と そうでな い場合が ある	児童虐待に はあたらな い	無回答
1	言葉で3回注意したけど言うことを聞かないので、顎をたたく	42.9	44.4	7.2	5.5
2	友達を殴ってケガをさせたので、同じように子どもを殴る	63.1	27.2	4.0	5.7
3	何日間も子どもに同じ服や下着を着させ、不衛生な状態のままでいさせる	82.7	9.9	1.9	5.5
4	子どもの目の前で配偶者に対して暴言をはく	55.5	32.1	6.4	6.0
5	乳幼児の手の届くところに、たばこを置いている	58.9	22.5	12.5	6.0
6	子どもが性的なメディアを見られるような状態にしている	56.7	27.5	9.3	6.4
7	宿題をしなかったので、夕ご飯を食べさせない	71.8	20.0	2.4	5.8
8	やる気を出させるために、きょうだいや友達を引き合いにしてけなす	49.6	38.5	5.8	6.1
9	買い物に行くなどの短い時間だけ、仕方なく乳幼児を家に残し外出する	57.0	31.4	6.0	5.6
10	子どもの目の前で配偶者に暴力を振るう	80.0	11.0	3.3	5.7

問20 あなたが、児童虐待について知っていることはなんですか。あてはまる番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

72.5 児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること

18.1 具体的な通告先

45.9 通告は匿名でもできること

35.6 虐待に関する相談窓口

34.1 児童虐待の通告をした人の秘密は守られること

10.6 「オレンジリボン」は、児童虐待防止のシンボルマークであること

3.4 毎年11月は児童虐待防止の推進月間であること

27.2 虐待かもと思った時などに、すぐに児童相談所に通告・相談ができる「児童相談所虐待対応ダイヤル『189（いちはやく）』」があること

1.7 その他

自由記述

8.8 いずれも知らない

4.9 無回答

}

◆広報かわぐちについておたずねします。

問21 広報かわぐちを読んでいますか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○は1つ)

41.5 每月必ず読んでいる

8.1 2～3カ月に1回

29.4 興味のある記事があるときだけ

18.7 読まない

2.3 無回答

問22 広報かわぐちに満足していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○は1つ)

16.8 満足している

51.4 ある程度満足している

13.6 あまり満足していない

7.0 満足していない

11.2 無回答

問23 情報の量についてお伺いします。あてはまる番号に○をつけてください。

(○は1つ)

61.7 ちょうどよい

3.1 多すぎる

10.2 やや多い

9.5 やや少ない

2.3 少なすぎる

13.2 無回答

問24 希望する広報かわぐちの入手方法はありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○は1つ) ※現在の入手方法に関わらず、お聞かせください。

- | | | |
|------|------------|---------|
| 67.6 | 自宅への配布 | |
| 9.9 | 公共施設で | |
| 7.6 | コンビニ・スーパーで | |
| 8.4 | インターネットで | |
| 1.3 | その他 | 5.2 無回答 |

問25 発行頻度(月1回)についてお伺いします。あてはまる番号に○をつけてください。(○

は1つ)

- | | | |
|------|-----------------------|---------|
| 86.8 | ちょうどよい | |
| 5.4 | 多い (年 平均 4.9 回がよい) | |
| 1.0 | 少ない (月 平均 2.3 回がよい) | 6.9 無回答 |

問26 好きなページについてお伺いします。あてはまる番号に○をつけてください。

(○はいくつでも)

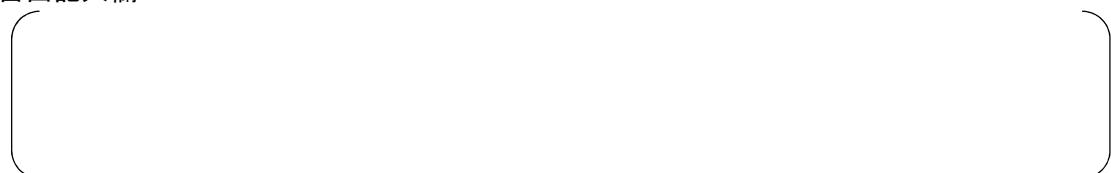
- | | | |
|------|---------------|----------|
| 14.6 | 表紙 | |
| 22.5 | 特集 (カラーページ) | |
| 48.6 | 暮らしの情報 | |
| 33.3 | 施設の情報 | |
| 12.1 | 子育てページ | |
| 15.2 | 保健ひろば | |
| 11.4 | 無料相談窓口 | |
| 12.9 | リリア・インフォメーション | |
| 40.1 | 日曜・祝日当番医 | |
| 3.5 | その他 () | 13.8 無回答 |

問27 今後どのような記事を載せて欲しいですか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○はいくつでも)

- | | | |
|------|---------------|----------|
| 20.5 | 子ども向けの記事 | |
| 26.7 | 働く世代向けの記事 | |
| 30.4 | 高齢者向けの記事 | |
| 4.0 | マンガ | |
| 3.7 | 市マスコットきゅぽらん | |
| 19.5 | 市民参加による記事 | |
| 52.4 | 市内の見どころ・名所の紹介 | |
| 15.1 | 活躍する市民の紹介 | |
| 4.6 | その他 () | 11.3 無回答 |

自由記入欄



◆スポーツに対する意識・実態についておたずねします。

問28 過去1年間に運動やスポーツ・レクリエーション活動をする機会がどの程度ありましたか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

※運動やスポーツ・レクリエーション活動には以下のような活動も含みます。

ウォーキング・散歩、ジョギング・ランニング、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすこと、水泳、体操（ストレッチ・ラジオ体操など）、ヨガ・ピラティス、登山（トレッキングなど）、ボウリング、ゴルフ、筋力・ウェイトトレーニング、釣り、サイクリング、ゲートボールなど

- 25.3 週に3回以上
22.9 週に1～2回程度
13.4 月に1～3回程度
13.6 年に数回程度
23.0 全くしていない 1.8 無回答

問29 問28でスポーツをする機会があった方に質問します。

運動やスポーツをする目的は何ですか。

あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- 70.0 健康や体力の維持・増進のため
49.5 気分転換、気晴らしのため
60.0 運動不足を解消するため
20.8 運動することが楽しい、面白い、好きだから
18.8 友人・仲間との交流のため
33.3 体型の維持・改善のため
11.4 家族とのふれあいのため
3.7 試合や大会への参加のため
3.6 自己記録や能力向上のため
1.9 その他 ()
1.1 特に理由はない 1.6 無回答

問30 問28でスポーツをする機会があった方に質問します。

過去1年間にどのような場所や施設で運動やスポーツを行いましたか。

あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- 5.6 小・中学校、高校のグラウンドや体育館
28.4 公園、運動広場
18.6 公共スポーツ施設（運動場、体育館、スポーツセンターなど）
16.1 民間スポーツ施設（スポーツクラブ、スポーツジムなど）
6.2 その他の施設（公民館等コミュニティ施設）
50.9 特に施設を利用しなかった（自宅での運動や一般道路など）
7.5 その他 () 3.6 無回答

問31 問28で「月に1～3回」「年に数回程度」「全くしていない」のいずれかにあった方に質問します。運動やスポーツをしなかった理由は何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

46. 1 仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから
15. 5 費用がかかる（金銭的な余裕がない）から
14. 4 身近に施設や場所がないから
6. 3 予約が取れないなど、施設や場所が利用しにくいから
6. 0 施設や場所等に関する情報が得られないから
11. 0 一緒に運動・スポーツする仲間がいないから
14. 4 運動やスポーツが好きではないから、興味がないから
9. 2 その他（
14. 2 特に理由はない 9. 6 無回答

問32 問28でスポーツをする機会があった方に質問します。
過去1年間に行った運動やスポーツの種目は何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

ア行	0.0	アイスホッケー	58.5	ウォーキング・散歩
	0.2	インディアカ	2.5	エアロビクス
	0.5	ウェイトリフティング		
カ行	0.3	空手	0.2	ゲートボール
	0.2	弓道	0.3	剣道
	11.7	筋力・ウェイトトレーニング	8.6	ゴルフ
	1.1	グラウンドゴルフ		
サ行	0.3	サーフィン	8.9	水泳
	7.2	サイクリング	2.2	スキー
	2.7	サッカー	0.5	スケート
	0.5	自転車競技	1.9	スノーボード
	0.1	射撃	0.2	相撲
	0.2	柔道	0.5	ソフトテニス
	0.1	少林寺拳法	1.6	ソフトボール
	14.9	ジョギング・ランニング		
タ行	0.5	ターゲットバードゴルフ	4.4	釣り
	18.6	体操（ストレッチ、ラジオ体操）	3.2	テニス（硬式）
	0.2	体操競技	4.8	登山（トレッキング等）
	3.8	卓球	1.0	トランポリン
	3.8	ダンス・舞踊		
ナ行	0.0	なぎなた	7.2	なわとび
ハ行	2.7	バスケットボール	1.2	フットサル
	5.9	バドミントン	0.1	ポート・漕艇
	1.6	バレーボール	4.1	ボウリング
	0.1	ハンドボール	0.7	ボクシング
	0.0	フェンシング	0.2	ホッケー
マ行	0.5	ミニテニス		
ヤ行	3.6	野球	9.6	ヨガ・ピラティス
ラ行	0.2	ラグビー	0.0	レスリング
	0.8	陸上競技		
	2.9	その他()		
	11.2	無回答		

自由記入欄

川口市の市政やまちづくりについて、ご意見やご要望等を自由にお書きください。

◆ 調査結果を統計的に分析するために必要です。ご協力をお願いいたします。
あなたご自身のことについておたずねいたします。あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

F1 あなたの性別は。

42.3 男性 54.1 女性 3.6 無回答

F2 あなたの年齢は。(年齢は回答日現在)

1.5 20歳未満	10.5 40～44歳	8.1 65～69歳
3.8 20～24歳	10.0 45～49歳	7.9 70～74歳
5.5 25～29歳	8.5 50～54歳	12.3 75歳以上
6.6 30～34歳	7.0 55～59歳	3.5 無回答
8.0 35～39歳	6.9 60～64歳	

F3 あなたのお生まれは。

27.6 川口市内(※旧鳩ヶ谷市も含みます)	55.4 埼玉県外
10.7 川口市以外の埼玉県内	2.6 国外 3.7 無回答

F4 あなたの職業は、次の分類ではどれにあてはまりますか。

2.1 専門職(医師、弁護士、大学教授、僧侶など)
6.1 管理職(官公庁や事業所の重役、部課長など)
23.3 事務・技術職(一般事務員、公務員、技師、保育士、看護師など)
9.7 販売・生産・労務職(店員、工員、職人、運転手、作業員など)
0.2 農林水産業従事者
7.9 自営業・サービス業従事者
13.3 パート・アルバイト従事者
2.6 学生
13.3 家事に専念している
14.9 無職
2.6 その他()
4.0 無回答

F5 F4で1～8または11を選んだ方にお伺いします。あなたの現在の勤務先、通学先は、次のうちどれにあてはまりますか。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 34.7 川口市内 | 40.9 東京都内 |
| 16.4 埼玉県内（川口市以外） | 3.7 埼玉県、東京都以外の県 |
| | 4.3 無回答 |

F6 あなたの家族構成は、どれにあてはまりますか。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 13.4 ひとり暮らし（単身世帯） | 6.8 親と子と孫など（3世代以上） |
| 22.0 夫婦のみ | 2.8 その他（ ） |
| 50.2 親と子（2世代） | 4.7 無回答 |

F7 あなたのお住まいは、どれにあたりますか。

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 50.2 持家（一戸建） | |
| 23.0 持家（分譲マンションなど集合住宅） | |
| 19.1 民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など） | |
| 1.9 U R都市機構（旧公団）・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパート | |
| 1.3 社宅・公務員住宅など給与住宅 | |
| 0.3 住み込み、寮、寄宿舎など | |
| 4.3 無回答 | |

F8 あなたは、川口市（※旧鳩ヶ谷市も含みます）にお住まいになってどのくらいになりますか。

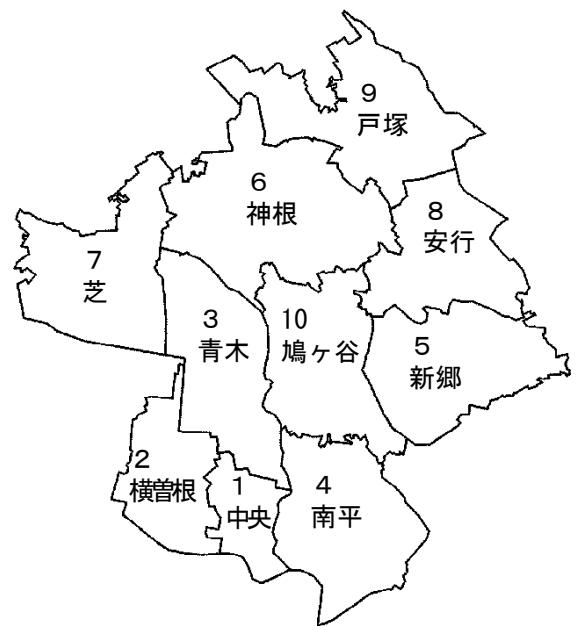
- | | |
|---------------------|----------------------|
| 16.9 生まれてからずっと住んでいる | 16.3 在住して10年以上～20年未満 |
| 12.7 在住して5年未満 | 12.4 在住して20年以上～30年未満 |
| 9.2 在住して5年以上～10年未満 | 28.2 在住して30年以上 |
| | 4.4 無回答 |

F9 あなたが住んでいる地域は川口市内のどちらですか。あてはまる番号に○を付けてください。

- | | | |
|-----------|----------|------------|
| 9.9 中央地域 | 5.6 新郷地域 | 12.0 戸塚地域 |
| 9.4 横曽根地域 | 8.0 神根地域 | 12.0 鳩ヶ谷地域 |
| 11.6 青木地域 | 12.0 芝地域 | 4.2 無回答 |
| 9.8 南平地域 | 5.6 安行地域 | |

※回答のための住所一覧と地図です。回答は上の番号に○をしてください。

1 中央地域	本町、栄町、金山町、舟戸町、幸町、川口1~3丁目
2 横曽根地域	川口4~6丁目、飯塚、西川口、仲町、飯原町、原町、宮町、南町、緑町、荒川町、並木元町、並木
3 青木地域	青木、中青木、西青木、上青木、上青木西、前上町、前川、南前川、前川町、本前川
4 南平地域	朝日、末広、新井町、元郷、弥平、領家、東領家、河原町
5 新郷地域	赤井、東本郷、蓮沼、前野宿、東貝塚、大竹、峯、新堀町、榛松、新堀、江戸、江戸袋、本蓮
6 神根地域	安行領根岸、安行領在家、道合、神戸、木曾呂、東内野、源左衛門新田、石神、赤芝新田、西新井宿、新井宿、赤山、在家町、北園町、柳根町
7 芝地域	芝、伊刈、芝宮根町、芝東町、芝高木、小谷場、芝中田、芝新町、芝下、芝樋ノ爪、芝富士、芝園町、芝塚原、芝西、柳崎
8 安行地域	安行、安行原、安行領家、安行慈林、安行吉岡、安行藤八、安行吉蔵、安行北谷、安行小山、安行西立野、安行出羽
9 戸塚地域	戸塚、西立野、長蔵新田、久左衛門新田、藤兵衛新田、行衛、東川口、差間、北原台、戸塚鉢町、戸塚境町、戸塚東、戸塚南、長蔵
10 鳩ヶ谷地域	坂下町、桜町、里、辻、鳩ヶ谷本町、前田、鳩ヶ谷緑町、南鳩ヶ谷、八幡木、三ツ和



※この地域分けは、今回のアンケートだけの区分です。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

本調査票は、返信用封筒に入れて6月21日（月）までに郵便ポストへ投函をお願いいたします。

切手は不要です。調査票及び封筒に記名の必要はありません。

**令和3年度
総合計画のための市民意識調査結果報告書**

令和3年8月

発 行：川口市役所
編 集：川口市企画財政部企画経営課
〒332-8601 埼玉県川口市青木 2-1-1
TEL：048-258-1110（代表）